えびの市埋蔵文化財調査報告書　第52集

下　鶯　遺　跡

県営経営体育成基盤整備事業中内竪地区に伴う下鶯遺跡発掘調査報告書

2011

宮崎県えびの市教育委員会

・図版 71　下段　土器№330 内 43
・図版 71　下段　土器№332 内 54
・図版 76　上段　土器№533 内 82

以上３ヶ所は誤植です。

えびの市埋蔵文化財調査報告書　第52集

下　鶯　遺　跡

県営経営体育成基盤整備事業中内竪地区に伴う下鶯遺跡発掘調査報告書

2011

宮崎県えびの市教育委員会

序

えびの市は、宮崎県の南西端に位置し、北の九州山地・加久藤カルデラ壁と南の霧島山系に囲まれた狭長な盆地であります。県内で唯一西へ流れる川内川へは大小20あまりの支流が合流し、発達した河岸段丘の殆どは周知の遺跡であります。当地は、日向・肥後・薩摩・大隅の分岐点にあたり、古くから様々な文化・文物が混在した独特の地域として発展してきました。

霧島山系の主峰は、標高1,700ｍの韓国岳であり、豊富な降雨と湧水に加え、肥沃な氾濫原が生産性を高め、段丘面の殆どが周知の遺跡となっております。

本市の北西部、白川左岸から川内川右岸にかけての中内竪地区の圃場整備事業が採択され、北西端の下鶯地区については周知の遺跡であり、平成15年度に県文化財課によって試掘調査も実施され、竪穴住居や溝状遺構が検出されています。

本書は、平成21年度に実施した、下鶯遺跡発掘調査の報告書であります。近現代の開墾によって３～４割が消滅していましたが、縄文時代晩期の落とし穴のほか、弥生時代後期～古墳時代の竪穴住居15棟、古代末の木棺墓などの遺構や縄文時代～古代を主とする遺物が約20,000点出土しております。

本書が学術資料としてだけでなく、生涯学習や学校教育の場で活用され、埋蔵文化財の保護に対する理解と認識が深まれば幸いです。

本遺跡の調査にあたり、ご指導・ご協力頂いた諸先生方、調査に対してご理解・ご協力頂いた地権者・耕作者の諸氏、発掘作業・整理作業に従事して頂いた作業員の方々に対しまして厚く御礼申し上げます。

平成23年３月

えびの市教育委員会

教育長　　萩　原　和　範

例　言

1．本書は、平成21年度に実施した、県営経営体育成基盤整備事業中内竪地区に伴う下鶯遺跡発掘調査の報告書である。

2．調査は、えびの市教育委員会が主体となり、平成21年11月25日から平成22年３月２日にかけて実施した。

3．本報告作成のための整理作業は、主として平成22年度に実施した。

4．遺跡の航空写真および航空測量は、九州航空株式会社に委託した。

5．遺構および遺物の写真撮影は、中野が担当した。

6．本書の執筆および編集は、中野が担当した。

7．調査の関連資料や出土遺物は、えびの市歴史民俗資料館に保管・一部展示している。

凡　例

1．本文使用の第２図は、昭和57年（1982）年作成図であり、写真図版の現況とは若干の違いがある。

2．本書掲載の遺構は、ＳＡ：竪穴住居、ＳＢ：掘立柱建物跡、ＳＤ：溝状遺構、ＳＫ：土坑・土壙墓・落とし穴、ＳＲ：道路状遺構、ＳＺ：用途不明　として略している。

3．遺構分布図では、近現代の削平段落ちや攪乱、サブトレンチ、自然樹木痕、風倒木痕等は削除している。

4．遺構は、検出順に通し番号を付け、柱穴と攪乱は区ごとに01番から付けている。

5．遺構実測図記載の方位は、国土座標軸（日本測地系）の北を示す。

6．竪穴に関しては全て住居であり、工房その他特殊建物ではないことから、竪穴建物とは呼称していない。

7．竪穴住居の土層において、「覆土」は住居廃絶後の自然流入土（第１層）とし、貼床（人為埋め土；第２層）とは明確に区別している。また、柱穴の深さの数値は、２層下の底面からの深さである。

8．出土土器実測図のスクリーントーンは丹塗りを示し、痕跡程度の場合は実測図の半分で止めている。

9．鉄器と銅製品の実測図および写真は、保存処理前のものである。

10．石器の剥離面のリングの線は、ガラス質～光沢のある石材は実線で、安山岩や粘板岩等の石材は破線で表現している。

11．断面層序の注記および出土遺物観察表の胎土欄に記載した砂粒は、目測で、微砂：概ね直径0.5㎜未満、細砂：概ね0.5～1.5㎜位、粗砂：概ね1.5～2.5㎜位、小礫：３㎜以上に分けている。

12. 同表の調整欄に記載した「工具ナデ」は「意図的ではないハケ」であり、「半ミガキ」は、「意図的ではないミガキ」を示す。

13. 写真図版に写っているピンポールの長さは、すべて１ｍである。

調　査　組　織

調査主体　えびの市教育委員会　教育長　萩　原　和　範

社会教育課長　白　坂　良　二（平成21年度）

上加世田たず子（平成22年度）

文化係長　岩　下　百　年（平成21年度）

鶴　田　晃　一（平成22年度、兼課長補佐）

主査　西　　正　利（平成21年度～、事務・連絡調整）

主任技師　中　野　和　浩

平成21年度

発掘作業員　青山つや子、市原親幸、入佐孝、小倉克己、小倉カツ子、小倉和美、岡田俊昭、狩集憲子、假屋千代子、上熊須さとみ、木原典子、楠元美智子、新屋勝子、田方利子、田方義一、瀧山志保子、田代俊二、出水一美、豊永ヨシ子、中村純子、西脇ミキ、原内るり子、樋口敏夫、福重真諭美、福園次男、福園初美、深田しげ子、深利茂男、星指利江子、松下ヤヱ子、本坊武志、本坊福子、安井春子

遺構実測　出水一美、本坊福子

実測補助　木原典子、楠元美智子、星指利江子

整理作業員　有木美穂、石野チエミ、塩屋春美、橋爪真美

平成22年度

整理作業員　入木和代、大田由美子、末継さおり、楢木たか子、山元里美

本　文　目　次

第１章　はじめに……1
第２章　遺跡の位置と歴史的環境……1
第３章　発掘調査
　第１節　はじめに……3
　第２節　基本的層序……7
　第３節　地区別の概要と主要遺構以外の出土遺物……7
　第４節　時代別遺構と出土遺物
　　１．縄文時代……21
　　２．弥生～古墳時代……27
　　３．古代……77
　　４．近世後半～近現代……79
第４章　まとめ……80

挿　図　目　次

第１図　遺跡の位置と周辺の遺跡位置図……２
第２図　調査地と周辺の地形……３
第３図　調査地の地区割と地形……４
第４図　Ⅰ～Ⅵ区主要遺構と標高……５・６
第５図　Ⅰ・Ⅳ・Ⅴ区遺構検出・Ⅳａ1層の遺存範囲（拡張前）検出遺構……８
第６図　Ⅰ～Ⅴ区遺構分布図……９・10
第７図　Ⅵ区遺構分布図……11
第８図　Ⅰ区主要遺構以外出土遺物実測図……12
第９図　Ⅱ区主要遺構以外出土遺物実測図……13
第10図　Ⅲ区主要遺構以外出土遺物実測図……14
第11図　Ⅳ区主要遺構以外出土遺物実測図（１）……15
第12図　Ⅳ区主要遺構以外出土遺物実測図（２）……16
第13図　Ⅴ区主要遺構以外出土遺物実測図（１）……17
第14図　Ⅴ区主要遺構以外出土遺物実測図（２）……18
第15図　Ⅵ区主要遺構以外出土遺物実測図（１）……19
第16図　Ⅵ区主要遺構以外出土遺物実測図（２）……20
第17図　ＳＫ－27遺構実測図……21
第18図　ＳＫ－30・33遺構実測図……22
第19図　ＳＫ－42・45遺構実測図……23
第20図　ＳＫ－10・28・34遺構実測図……24
第21図　ＳＫ－27・45・10出土遺物実測図……24
第22図　ＳＫ－28・31・34出土遺物実測図……26
第23図　ＳＡ－01遺構実測図……28
第24図　ＳＡ－01出土遺物実測図……29
第25図　ＳＡ－02遺構実測図……30
第26図　ＳＡ－02出土遺物実測図……30
第27図　ＳＡ－03遺構実測図……31・32

第28図　ＳＡ－03Ａ－１層出土遺物実測図（１）……33
第29図　ＳＡ－03Ａ－１層出土遺物実測図（２）……34
第30図　ＳＡ－03Ａ－１層出土遺物実測図（３）、２層出土遺物実測図……35
第31図　ＳＡ－03・ＳＡ－03Ｂ－１層出土遺物実測図……36
第32図　ＳＡ－04遺構実測図……37
第33図　ＳＡ－04出土遺物実測図……38
第34図　ＳＡ－05遺構実測図……39・40
第35図　ＳＡ－05Ａ－１・２層、ＳＡ－05－１層出土遺物実測図……41
第36図　ＳＡ－05Ａ・Ｂ－１層、ＳＡ－05Ｂ－１層・２層出土遺物実測図……56
第37図　ＳＡ－06遺構実測図、南壁層序図‥43
第38図　ＳＡ－06出土遺物実測図……43
第39図　ＳＡ－07遺構実測図……44
第40図　ＳＡ－07出土遺物実測図……45
第41図　ＳＡ－08遺構実測図……46
第42図　ＳＡ－08出土遺物実測図……47
第43図　ＳＡ－09遺構実測図……49・50
第44図　ＳＡ－09出土遺物実測図（１）‥‥51
第45図　ＳＡ－09出土遺物実測図（２）‥‥52
第46図　ＳＡ－09出土遺物実測図（３）‥‥53
第47図　ＳＡ－09出土遺物実測図（４）‥‥54
第48図　ＳＡ－10遺構実測図……55
第49図　ＳＡ－10－１・１a層出土遺物実測図……56
第50図　ＳＡ－10－１a・ｂ層出土遺物実測図……57
第51図　ＳＡ－10－２層出土遺物実測図‥‥58
第52図　ＳＡ－11遺構実測図……59・60
第53図　ＳＡ－11出土遺物実測図（１）‥‥61
第54図　ＳＡ－11出土遺物実測図（２）‥‥62
第55図　ＳＡ－12遺構実測図……63・64
第56図　ＳＡ－12出土遺物実測図……65
第57図　ＳＡ－13遺構実測図……66
第58図　ＳＡ－13出土遺物実測図……67
第59図　ＳＡ－14遺構実測図……67
第60図　ＳＡ－14出土遺物実測図……68
第61図　ＳＡ－15遺構実測図……68
第62図　ＳＡ－15出土遺物実測図……69
第63図　ＳＡ－16遺構実測図……69
第64図　ＳＡ－16出土遺物実測図……69
第65図　ＳＫ－20・37・39・41遺構実測図‥71
第66図　ＳＫ－29・31・35遺構実測図‥‥‥72
第67図　ＳＫ－43・44遺構実測図……73
第68図　ＳＫ－36遺構実測図……74
第69図　ＳＫ－20・29・35・37出土遺物実測図……75
第70図　ＳＫ－37・44・36出土遺物実測図‥76
第71図　ＳＫ－36出土遺物実測図（２）‥‥77
第72図　ＳＫ－09遺構実測図……77
第73図　ＳＫ－40遺物出土状態・遺構実測図……78
第74図　ＳＫ－09・40ほか出土遺物実測図‥78
第75図　Ｉ区中央部Ⅳa層断面、ＳＢ－01～03遺構実測図……79

表　目　次

表１　出土遺物観察表（１）……81
表２　出土遺物観察表（２）……82
表３　出土遺物観察表（３）……83
表４　出土遺物観察表（４）……84

表５　出土遺物観察表（５）……85
表６　出土遺物観察表（６）……86
表７　出土遺物観察表（７）……87
表８　出土遺物観察表（８）……88
表９　出土遺物観察表（９）……89
表10　出土遺物観察表（10）……90
表11　出土遺物観察表（11）……91
表12　出土遺物観察表（12）……91
表13　出土遺物観察表（13）……91
表14　出土遺物観察表（14）……91
表15　出土遺物観察表（15）……91
表16　出土遺物観察表（16）……92

写　真　図　版　目　次

図版１　調査地遠景（南西から、調査前）
図版２　調査地近景（南西から）
図版３　Ⅰ～Ⅴ区完掘全景（左が北）
図版４　Ⅰ区完掘全景、Ⅱ区完掘全景
図版５　Ⅲ～Ⅴ区完掘全景（左下が北）
図版６　Ⅵ区完掘全景
図版７　Ⅰ区南半部Ⅳa1層遺物出土状態（西から）、Ⅱ区東半部遺構検出状態（南から）、Ⅳ区南半部遺構検出・Ⅳa1層遺存状態（北東から）
図版８　Ⅳ区南側中央付近Ⅳa1層遺物出土状態（北から）、ＳＫ－09・37付近（北から）
図版９　Ⅴ区ＳＡ－03・04遺構検出・Ⅳa1層遺物出土状態（北から）、ＳＡ－04以東Ⅳa1層遺物出土状態（北から）
図版10　ＳＫ－27断面層序（南から）、完掘状態（南から）、底面中央pit半截
図版11　ＳＫ－30断面層序（南から）、底面やや上礫出土状態（南から）、底面pit内の礫（南から）、pit完掘（南から）
図版12　ＳＫ－30完掘全景（南東から）、ＳＫ－33断面層序（南東から）
図版13　ＳＫ－33底面中央pit半截断面（南から）、ほぼ完掘（南西から）、底面中央pit裏込め石（南から）、完掘（南から）
図版14　ＳＫ－33完掘状態（北西から）、ＳＫ－42完掘状態（東から）
図版15　ＳＫ－45断面層序（北西から）、完掘状態（北東から）
図版16　ＳＫ－28完掘状態（南西から）、ＳＫ－31遺物出土状態（南から）
図版17　ＳＫ－34遺物出土状態（北東から）、台石出土状態（南東から）、完掘状態（南東から）
図版18　ＳＡ－01･02遺構検出状態･平板測量（北西から）、ＳＡ－01　１層遺物出土状態（南西から）
図版19　ＳＡ－01内区１層遺物出土状態（東から）、断面層序（南西から）、近接
図版20　ＳＡ－01完掘状態（北から）、ＳＡ－02　１層遺物出土状態（北から）、断面層序（南西から）

図版21　ＳＡ－02完掘状態（南東から）、ＳＡ－03・04検出・Ⅳa1層遺物出土状態（北東から）

図版22　ＳＡ－03 １層遺物出土状態（北東から）、（西から）

図版23　ＳＡ－03東南部１層遺物出土状態（南東から）、須恵器・鉄床石ほか出土状態

図版24　ＳＡ－03北東部１層遺物出土状態（北から）、ＳＡ－03Ａ南東部１層遺物出土状態（南東から）

図版25　ＳＡ－03断面層序（南東から）、土器埋設炉周辺

図版26　ＳＡ－03土器埋設炉断面層序（南東から）、完掘状態（北から）

図版27　Ⅳa1・a2層遺物出土状態・ＳＡ－04検出状態（北から）、ＳＡ－04 １層遺物出土状態（北から）

図版28　ＳＡ－04内区焼土・炭化材出土状態（南から）、（南東から）

図版29　ＳＡ－04断面層序（南西から）、内区（南西から）、礫・砥石出土状態（南から）

図版30　ＳＡ－04完掘状態（北から）、（東から）

図版31　ＳＡ－05 １層遺物出土状態（北東から）、（東から）

図版32　ＳＡ－05断面層序（南東から）、２本柱検出・土器埋設炉断面、完掘状態（東から）

図版33　ＳＡ－06拡張前１層遺物出土状態・南壁断面層序（北東から）、拡張部１層遺物出土状態（北東から）、完掘状態・南壁断面層序（北東から）

図版34　ＳＡ－07 １層遺物出土状態（南西から）、断面層序（南西から）

図版35　ＳＡ－08 １層遺物出土状態（北から）、東寄りセクション断面層序（北東から）、完掘状態（南西から）

図版36　ＳＡ－09 １層遺物出土状態（南から）、内区（南から）

図版37　ＳＡ－09内区南側１ｂ層遺物出土状態（南から）、断面層序（南東から）

図版38　ＳＡ－09東西断面層序（南から）、南北断面層序（東から）、完掘状態（南から）

図版39　ＳＡ－10 １層遺物出土状態（南西から）、（北西から）

図版40　ＳＡ－10北西部１層遺物出土状態（北西から）、内区１ｂ層遺物出土状態（南西から）、接写（南東から）

図版41　ＳＡ－10断面層序（南東から）、完掘状態（南西から）

図版42　県試掘坑と黒色土の広がり（南西から）、黒色～灰色土遺物出土状態（南から）、ＳＡ－11　黒～灰色土除去・１層遺物出土状態（南西から）

図版43　ＳＡ－11中央付近１層遺物出土状態（南西から）、１層遺物出土状態（北東から）

図版44　ＳＡ－11北西部１層遺物出土状態（北から、下位に焼土と炭化材）、東西断面層序（南西から）、南北断面層序（南東から）

図版45　ＳＡ－11完掘状態（北西から）、北主柱穴付近の樹木痕内淡灰色粘土

図版46　ＳＡ－12 １層遺物出土状態（南西から）、（南東から）

図版47　ＳＡ－12南西部１層遺物出土状態（南西から）、北中央付近高坏出土状態（北西から）

図版48　ＳＡ－12断面層序（南東から）、中央部（南東から）、完掘状態（南東から）

図版49　ＳＡ－13 １層遺物出土状態（南西から）、（南東から）

図版50　ＳＡ－13断面層序（南から）、南東部断面層序（南西から）、完掘状態（南東から）

図版51　ＳＡ－06・14遺構検出状態（北東から）、ＳＡ－14　１層遺物出土状態（北東から）

図版52　ＳＡ－14北半部１層遺物出土状態（北東から）、断面層序（北東から）、完掘状態（東から）

図版53　ＳＡ－15と下層遺物出土状態（東から）、断面層序（南東から）、（北西から）

図版54　ＳＡ－16 ２層遺物出土状態（南東から）、ＳＡ－15・16完掘状態（南から）

図版55　ＳＫ－10断面層序（北東から）、南拡張後完掘状態（北東から）

図版56　ＳＫ－20遺物出土状態（南から）、ＳＫ－35遺物出土状態（北東から）、完掘状態（南西から）

図版57　ＳＫ－29遺物出土状態（南西から）、断面層序（西から）、完掘状態（南西から）

図版58　ＳＫ－36遺物出土状態（南東から）、断面層序（南から）

図版59　ＳＫ－37遺物出土状態・断面層序（北東から）、ＳＫ－39遺物出土状態・断面層序（北東から）、ＳＫ－41遺物出土状態（南西から）

図版60　ＳＫ－43遺物出土状態（南東から）、（南から）

図版61　ＳＫ－44南端部遺物出土状態（南西から）、断面層序（南西から）、北拡張部遺物出土状態（南西から）

図版62　ＳＫ－44南端以北遺物出土状態（南東から）、断面層序（南から）

図版63　Ｖ区南縁拡張部Ⅳa1層・ＳＫ－40（左端）遺物出土状態（北東から）、ＳＫ－40遺物出土状態（北東から）

図版64　ＳＫ－09断面層序（北東から）、全景（東から）、Ⅲ・小Ⅲ出土状態（東から）

図版65　Ⅰ区出土縄文土器、Ⅱ区出土縄文土器、Ⅲ区出土縄文土器

図版66　Ⅳ区出土縄文土器、Ⅳ区ＳＫ－10出土縄文土器、Ｖ区出土縄文土器

図版67　ＳＫ－27・31・34・36・45出土縄文土器、Ⅵ区出土縄文土器（１）

図版68　Ⅵ区出土縄文土器（２）、ＳＡ－01 １層出土土師器、２層出土土師器・ＳＡ－02出土土師器、ＳＡ－03Ａ １層出土土師器（１）

図版69　ＳＡ－03Ａ １層出土土師器（２）～（４）、ＳＡ－03 １層出土土師器（１）

図版70　ＳＡ－03 １層出土土師器（２）、埋設炉の土器、ＳＡ－04 １層出土土師器

図版71　ＳＡ－05Ａ １層出土土師器（１）、（２）、埋設炉の土器、ＳＡ－05Ａ・Ｂ １・２層出土土師器

図版72　ＳＡ－05Ｂ １層出土土師器、ＳＡ－06 １層出土土師器、ＳＡ－08 １・２層出土土師器

図版73　ＳＡ－07 １・２層出土土師器、ＳＡ－09 １層出土土師器（１）～（５）

図版74　ＳＡ－09 １層出土土師器（６）～（９）
図版75　ＳＡ－09 １ｂ層出土土師器、２層･攪乱出土土師器、ＳＡ－10出土土師器（１）、（２）
図版76　ＳＡ－10 １ａ～２層出土土師器、１・１ａ層出土土師器
図版77　ＳＡ－10 １ｂ層出土土師器、１ａ層出土土師器、１ｂ＋２層出土片接合土器、ＳＡ－11 １ａ層出土土師器
図版78　ＳＡ－11 １ｂ層出土土師器（１）、（２）、２層出土土師器
図版79　ＳＡ－12 １ｂ層出土土師器（１）～（４）
図版80　ＳＡ－13～16出土土師器、ＳＫ－34出土縄文土器、ＳＫ－28出土縄文土器、ＳＫ－10・20・29出土土師器
図版81　ＳＫ－35～37・40出土土師器、ＳＫ－44出土土師器、ＳＤ－03・攪乱ほか出土土師器
図版82　ＳＫ－09出土土師器（１）～（６）、Ⅰ区Ⅳa1層、Ⅱ区Ⅱ層・攪乱・小pit出土土師器
図版83　Ⅲ～Ⅴ区Ⅳa1層ほか出土土師器、Ⅳ区Ⅳa1層ほか出土土師器、Ⅴ区Ⅳa1層ほか出土土師器（１）
図版84　Ⅴ・Ⅵ区Ⅳa1層ほか出土土師器、Ⅴ区Ⅳa1層ほか出土土師器、Ⅰ・Ⅴ区出土黒色土器
図版85　調査区出土須恵器　外面、内面、土器片加工円盤、高坏転用鞴羽口
図版86　調査区出土玉類、輸入陶磁器・国産陶磁器、金属製品
図版87　調査区出土打製石鏃と未製品、石錐・石匙・磨製石鏃・石包丁など
図版88　調査区出土磨製石斧・抉り入り刃器・砥石・敲石・火打石、打製石斧・刃器
図版89　調査区出土磨石・敲石、竪穴住居出土砥石・敲擦石
図版90　調査区出土大型剥片・石核・石鍋片、　ＳＡ－01出土鉄床石　Ａ面　Ｂ面、台石、ＳＡ－03Ａ出土台石（１）
図版91　ＳＡ－03出土鉄床石、ＳＡ－03Ａ出土台石（２）、ＳＡ－04出土鉄床石、ＳＡ－09出土被熱・弾けのある礫、ＳＡ－09出土台石（１）、（２）
図版92　ＳＡ－11出土台石、ＳＫ－34出土台石、ＳＫ－36出土台石、ＳＫ－37出土台石

第１章　はじめに

平成15年度、本市の北西部に位置する中内竪地区38haの基盤整備事業が採択された。北西端の下鶯地区は周知の遺跡であることから、県文化財課による試掘調査が実施された。その結果、西側と東側の丘陵部に弥生時代後期～古墳時代の集落が包蔵していることが判明し、全面調査の場合は約2,500㎡が調査面積となることが想定された。

平成20～21年度にかけて、県文化財課のほか、西諸県農林振興局、市農村整備課と協議を重ね、21年度の稲刈後に発掘調査を実施し、22年度に本報告書を作成・刊行するという方針が決定した。

第２章　遺跡の位置と歴史的環境（第１図）

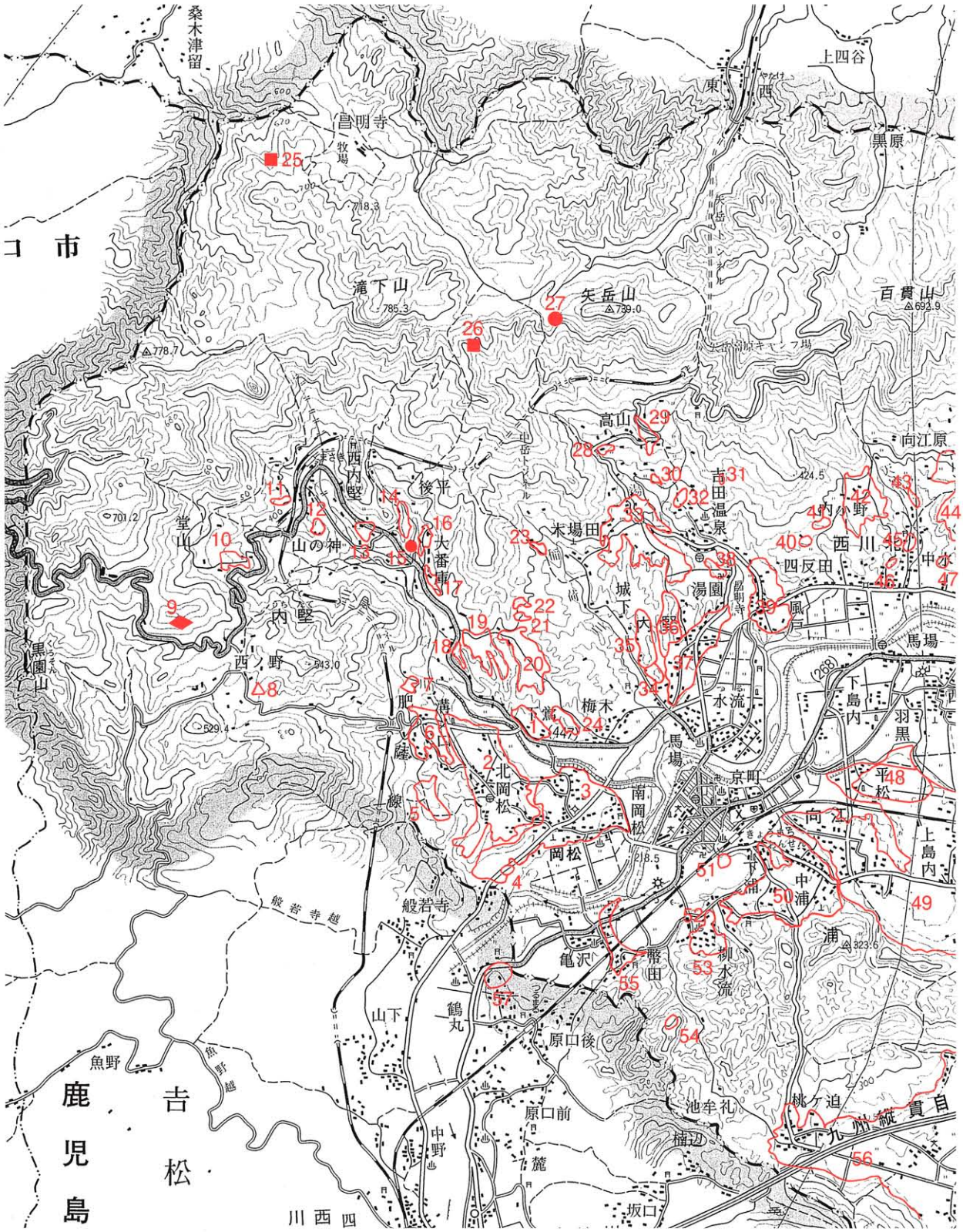
下鶯遺跡は、えびの市大字内竪字下鶯、三反の狭小な尾根２筋に立地する。中央には深い谷が入り、西尾根は段差の大きい（１～1.5ｍ）水田に開墾されており、現況の標高は252.6～255.7ｍで、南の白川とは14～23ｍの比高がある。東尾根の現況は斜度４～６度の畑で、標高254～257.8ｍを測る。

100～200ｍ北へ上がる（比高25ｍ）と、南北600ｍ・東西150～250ｍの広大な田平第１遺跡（20；縄文～古墳時代の散布地）が立地し、深い谷を挟んで西側にも、南北430ｍ・東西200ｍ（南半は間に谷が入る）の山王前遺跡（19；縄文～平安時代の散布地）が立地する。

北西5.5kmには、旧石器時代後期から南九州各地に流通する黒曜石の原産地（25）がある。遺跡の対岸には、縄文時代前期の落とし穴16基のほか弥生時代後期～古墳時代後期の竪穴住居約200軒や小型形式の地下式横穴墓27基を検出した天神免遺跡（２）と、竪穴住居28軒と小型形式の地下式横穴墓２基等を検出した岡松遺跡（３）が立地する。南西２kmには、奈良時代後期～平安時代の蓮花寺跡があるが、須恵器壷転用の蔵骨器２点が採取されているのみで実態は不詳である。

東３kmには、平成23年１月現在、短甲６・皮小板漆塗草摺１・冑４・刀33・剣49・蛇行剣10・鉄矛４・鉄鏃833・骨鏃190・刀子117・鉄斧３・鉋11・鑿子４・錐１・弓金具２組・轡２・辻金具９・鉄鐸１・耳環11・貝釧55・ガラス小玉61・朱玉１・砥石１のほか、人骨304・糞石３といった多種多様の遺物が出土している島内地下式横穴墓群（48）がある。

中世には盆地を眺望する丘陵突端部や段丘端部に山城が構築され、肥沃な盆地の覇権が争われた。北北西３kmには、近世の番所跡（大番庫）があり、その北西隣には、近世末～近代の鉄鉱石（９）の精錬所跡（14）がある。北２kmには、古墳時代以降に砥石として使用された風化カオリンを産出する通称「砥石木場」原産地（26）がある。



1：下鶯遺跡　2：天神免遺跡　3：岡松遺跡　4：赤花城跡（消滅）　5：垣傍遺跡　6：宮ノ平遺跡　7：松尾遺跡　8：西ノ野第１遺跡　9：鉄鉱石採掘跡　10：大河平第１遺跡　11：大河平第２遺跡　12：大河平第３遺跡　13：大河平第４遺跡　14：大河平第５遺跡　15：鉄鉱石精錬所跡　16：後平第１遺跡　17：後平第２遺跡　18：瀬戸口遺跡　19：山王前遺跡　20：田平第１遺跡　21：田平第２遺跡　22：田平第３遺跡　23：田平木場田遺跡　24：牛ヶ迫遺跡　25 桑ノ木津留遺跡・黒曜石原産地　26：砥石木場　27：矢岳第４遺跡　28：矢岳第２遺跡　29：矢岳第１遺跡　30：矢岳第３遺跡　31：山王第２遺跡　32：山王第１遺跡　33：高山遺跡　34：松尾城跡　35：杉尾城跡　36：松ノ尾城跡　37：昌明寺遺跡　38：油田遺跡　39：風戸遺跡　40：老松田遺跡　41：西小原遺跡　42：内小野遺跡　43：芦刈遺跡　44：宮ノ東遺跡　45：東福城跡　46：寺園遺跡　47：新城跡　48：島内地下式横穴墓群　49：島内遺跡　50：中浦遺跡　51：徳永牟田遺跡　52：古城跡　53：古城遺跡　54：猿ヶ城跡　55：幣田遺跡　56：岡元遺跡　57：鶴丸・馬場地下式横穴墓群（鹿児島県湧水町）

第１図　遺跡の位置と周辺の遺跡位置図（１：50,000）

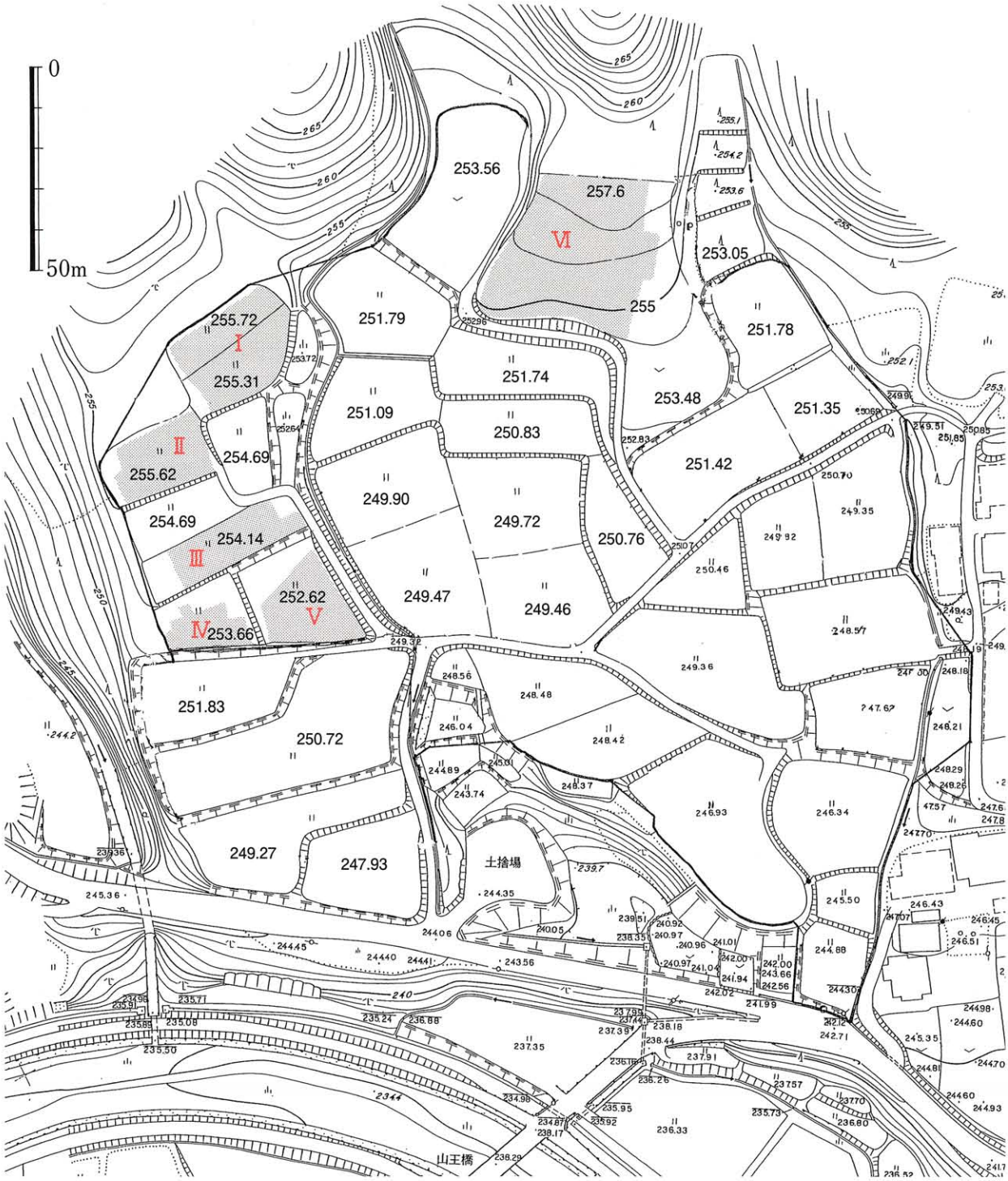
第２図　調査地と周辺の地形（１：5,000）

第３章　発掘調査

第１節　はじめに

西側と東側の高位面は全て削平される計画であることから、高位面を調査対象とした（間の谷の部分は無遺構・無遺物である）。西側の南半分は、試掘調査をしていないために遺構の有無が不明であったことから、表土剥ぎの初日にバックホウで約５ｍおきに試掘をして、遺物包含層や遺構・遺構面の削失を確認した。その結果、調査不要のスペースができたので排土置き場とし、Ⅰ～Ⅴ区にわけた。なお、Ⅴ区以南は工事対象外である。

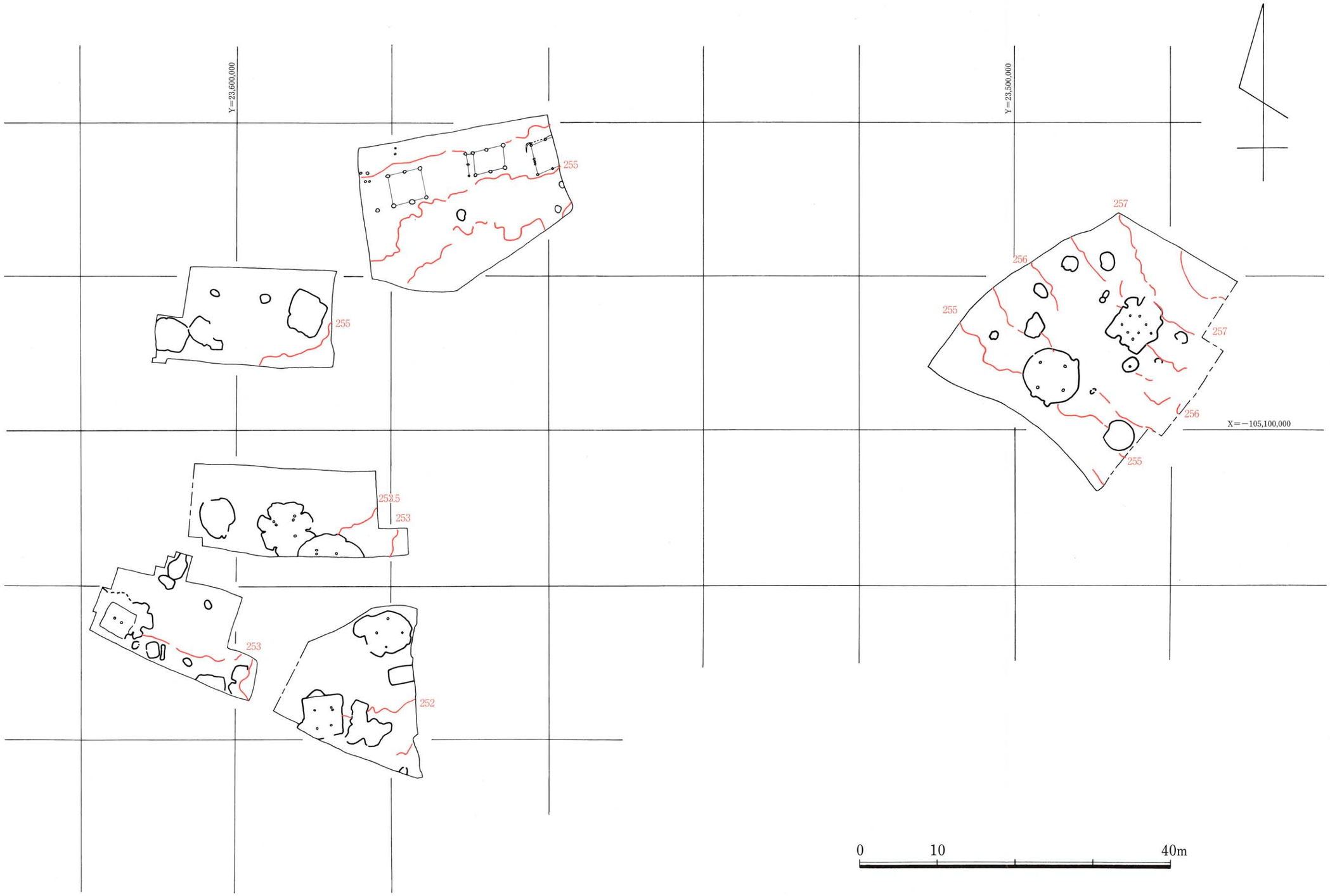
東側の傾斜地（畑地）は旧地形をある程度は保っていることが予想された。南東部分については



第３図　調査地の地区割と地形

詳細が不明であったことからバックホウで試掘溝を４本入れたが、遺構・遺物は発見されなかった。その結果、北西の上位部に略方形の調査区を設定し、Ⅵ区とした。

発掘作業はⅤ区から着手し、Ⅳ→Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ→Ⅵ区へと移動して行き、遺構検出順に番号を付けていった。なお、調査の仮終了後に、Ⅱ区の西側のほか、Ⅳ区の中央北部と南側１ｍ前後、Ⅴ区の南側１ｍ前後を拡幅し、遺物包含層と新たな遺構や竪穴住居の延長部などを追加調査しているので、遺構番号が不自然な面もあるが、現場での番号をそのまま使用して報告する。



第４図　Ⅰ～Ⅵ区　主要遺構と標高（50cmコンタ）

第２節　基本的層序

層序は、上からⅠ層：黒灰色土（耕作土）、Ⅱ層：床土・客土・近世以降の灰色系土、Ⅲ層：淡黒灰色土、Ⅳa1層：アカホヤ火山灰２次堆積層および相当層、Ⅳa2層：淡黒灰色土（主として縄文時代前期）、Ⅳｂ層：アカホヤ火山灰（B.P7,300）、Ⅴ層：灰褐色＋淡黒褐色火山灰（きわめて部分的）、Ⅵ層：淡黒褐色土、Ⅶ層：淡黄褐色砂質土に分別した。

Ⅲ層は通常の段丘であれば30～40cm堆積しているが、Ⅰ～Ⅴ区においては開墾により削失が著しく、各筆の南半部に10～20cm程度が遺存する。Ⅵ区においては全く遺存せず、開墾による削失もしくは耕作土壌化あるいは、流失したものと思われる。Ⅳa1層は、Ⅰ～Ⅴ区では厚さ10～15cm程度であるがⅥ区では最大50cmほどの厚さがあり東側が厚く、間層として小礫～礫主体の層が入る。Ⅳa2層は、Ⅰ区とⅤ区の南東部でのみ確認された。Ⅳｂ層は、段丘面においては通常40cm程度の層厚であるが、当遺跡においては30cmほどであり、Ⅵ区の東半部では流失や粘質土化している。Ⅳｂ層以下は無遺物層であり、Ⅶ層には小林ボラ（B.P16,700）を微量含む。

第３節　地区別の概要と主要遺構以外の出土遺物

Ⅰ区　北半はⅣｂ層下部～Ⅶ層まで削失し、南半は、Ⅳa1層以下が良好に遺存していた。上面の遺構検出においては、溝状遺構（ＳＤ－03～05）や多数の攪乱・柱穴（ＳＢ－01～03）を検出し、掘り込み終了後、Ⅳa1層およびa2層を手掘りで掘り下げた。Ⅳｂ層上面の遺構は、落とし穴１（ＳＫ－42）のみであった。

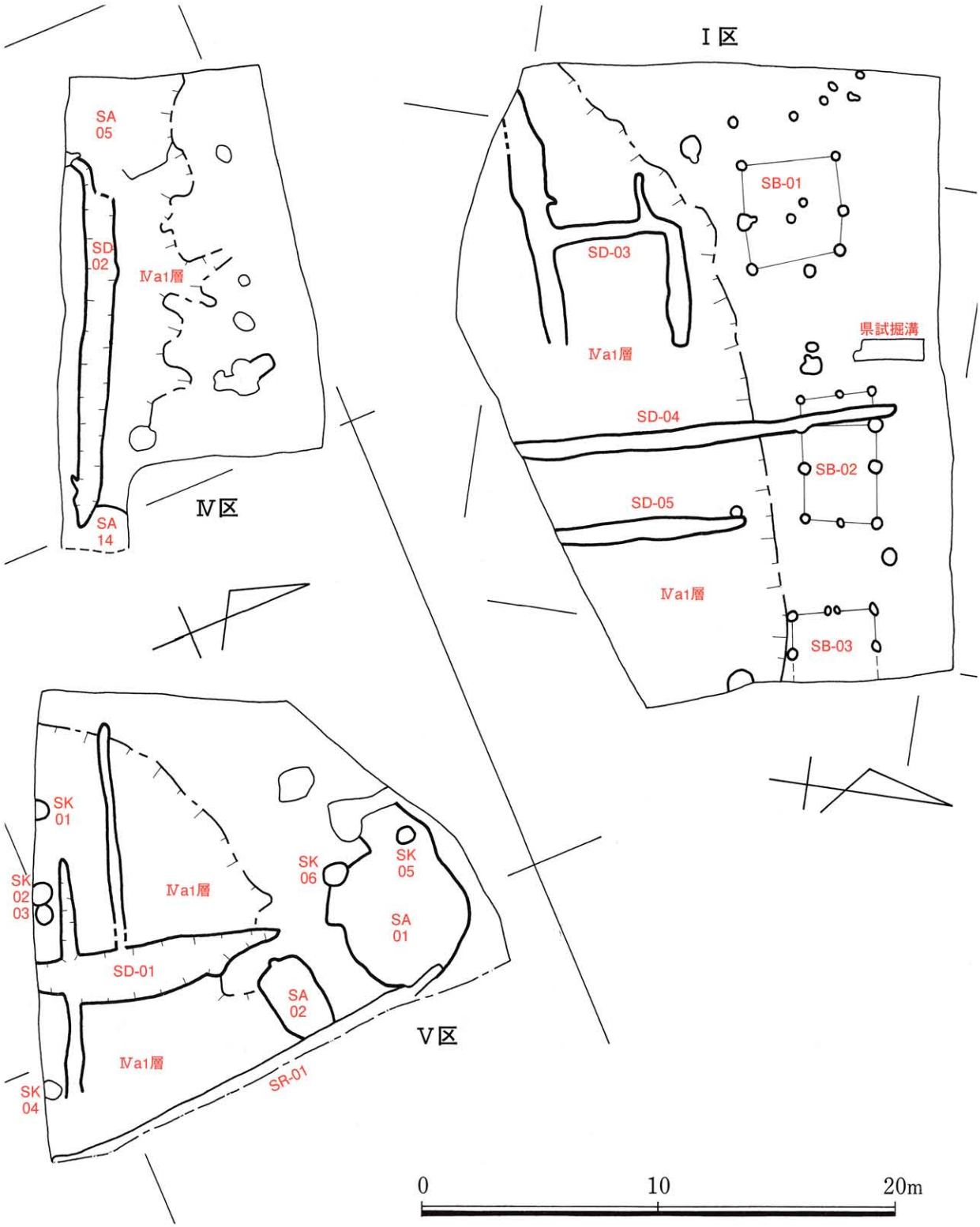
主要遺構以外の出土遺物は、主としてⅣa1層から、縄文時代中期末～晩期の土器片72点のほか、弥生時代後期～古代の土師器830点、剥片等26点、近現代の溝状遺構３条から縄文土器片10点のほか、弥生時代後期～古代の土師器片187点、黒色土器１点、剥片等２点がある。これらは小片が殆どであり、図化できたのは少量（第８図）である。弥生～古代の遺構は未確認であり、これらの遺物は、調査区外（北側）からの流れ込みと考えられる。

Ⅱ区　表土を剥ぐとすぐにⅦ層になり、当初は中央やや西側で止め、竪穴住居１（ＳＡ－10）と土坑１（ＳＫ－20・26）、座棺墓５（ＳＫ－21～25）を検出していた。後日、残りの西側にはⅡ層相当の鉄分集積土が覆っていることに気付き、Ⅶ層上面まで５～10cm剥ぐと、県試掘坑を含む竪穴住居１棟（ＳＡ－16）と竪穴住居状遺構（ＳＡ－15）と土坑１（ＳＫ－41）を検出した。

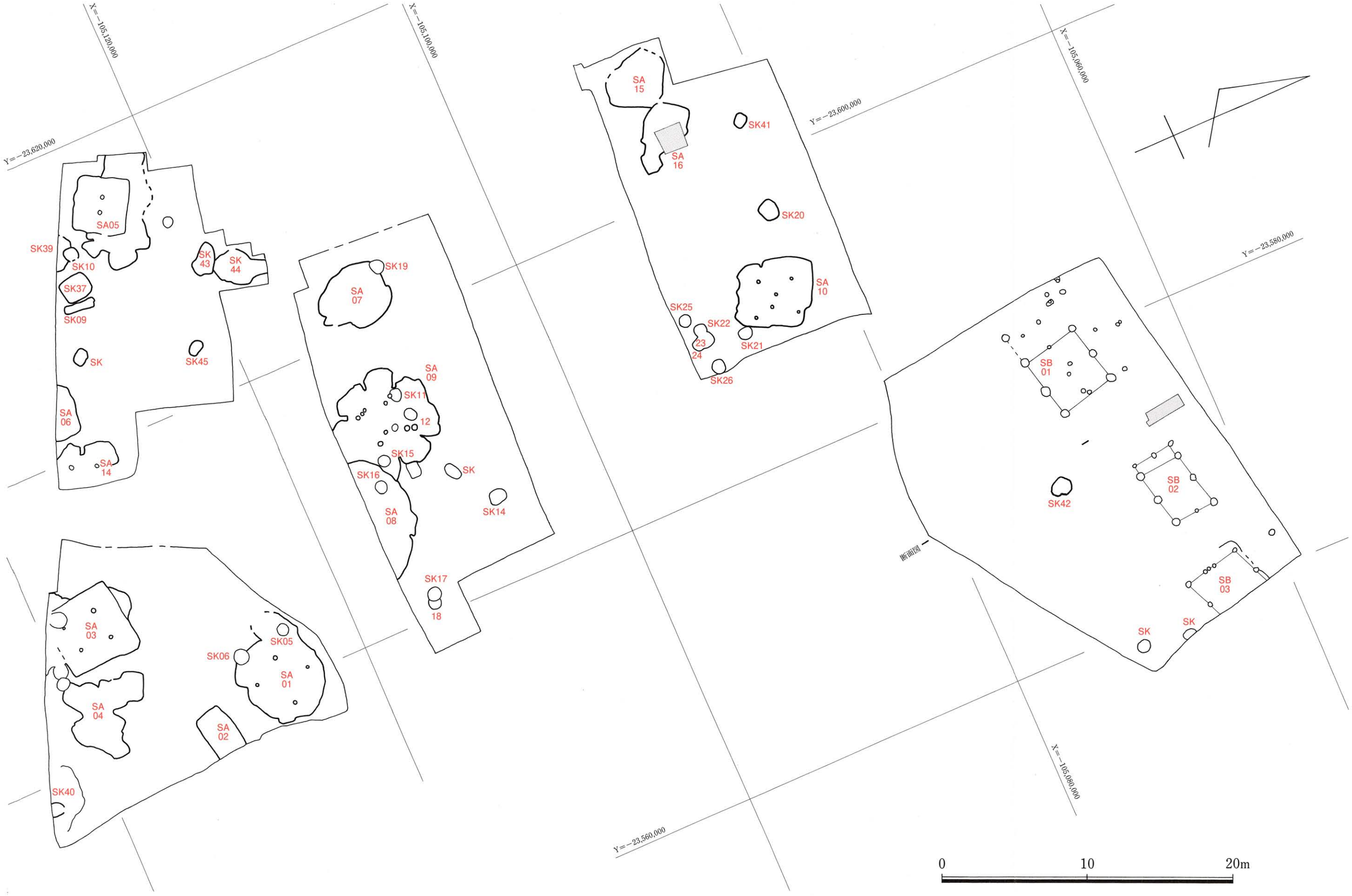
主要遺構以外の出土遺物は、主として西半部のⅡ層水田基盤造成土から、縄文土器片119点、弥生時代後期～古墳時代後期の土器片121点、須恵器片２点、剥片等116点がある。15・16号住居に帰属する遺物も含まれている反面、図化できたものは少量（第９図）である。縄文土器は中期後葉から晩期前半までの土器があるが、遺構はない。近現代の座棺墓のうち、ＳＫ－23から煙管（41）が、ＳＫ－26から鉄銭（40）が出土しており、市内では稀な副葬品である。

Ⅲ区　Ⅱ区との間はⅡ区よりも１ｍ近く削平されており、バックホウによる試掘溝を４本入れたが全て表土下Ⅶ層で、遺構・遺物は検出されなかったことから、排土置き場とした。Ⅲ区の南半はⅣ

ａ層以下が遺存し、遺物も確認されたことからほぼ一筆を調査区とした。北半は表土下Ⅶ層が露呈、西寄りには単独で竪穴住居１（ＳＡ－07）が、中央～西側はⅣａ層を若干掘り下げた段階で切り合う２棟（ＳＡ－08・09）を検出した。東端部には自然に谷へ下降するⅢ～Ⅳa1層が若干遺存しており、少量の遺物が出土した。半円で検出した08号住居の南は開墾によって1.5ｍ削失しており、遺構は消滅している。14号土坑の中～下位からイノシシの頭や四肢骨の一部が出土したが、近現代であることから、記録には残していない。



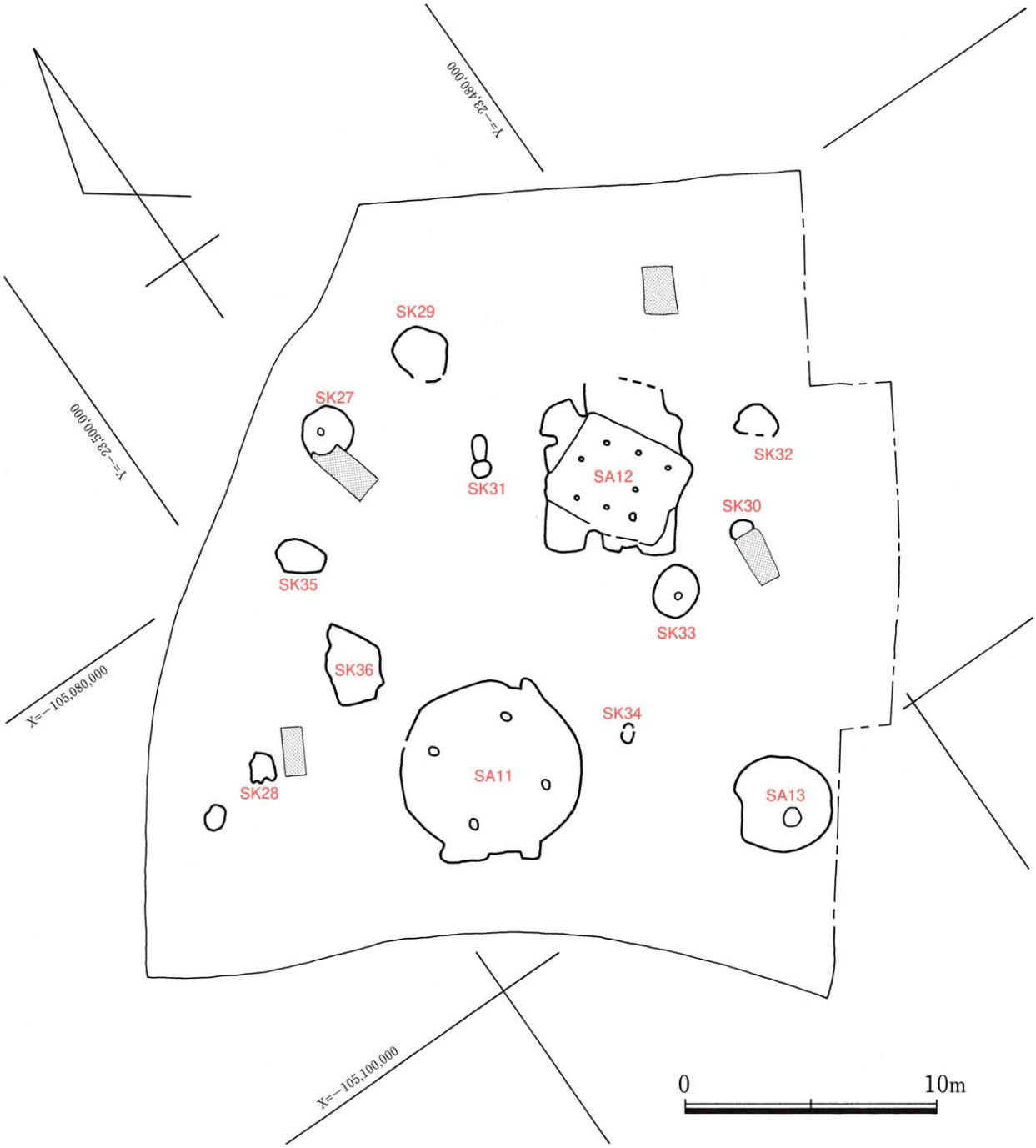
第５図　Ⅰ・Ⅳ・Ⅴ区　遺構検出・Ⅳa1層の遺存範囲（拡張前）検出遺構



第６図　Ⅰ～Ⅴ区　遺構分布図　　アミ目は県試掘溝

主要遺構以外の出土遺物は、主としてⅣa1層から、縄文土器片44点のほか、弥生時代後期～古墳時代後期の土器片257点、剥片等53点がある。これらは小片が多く、図化できたものは少ない（第10図）。なお、ＳＫ－11出土の鉄鏃茎部（57）は、ＳＡ－09に帰属する。

Ⅳ区　当初の調査区の北壁は真直で、南辺は１ｍほど北側の位置で、プランが不明瞭な住居状遺構（ＳＡ－05）のほか、数基の土坑、機能不明の土坑状遺構（のちのＳＡ－06）、溝状遺構（ＳＤ－02）を検出していた。近現代の土坑群とＳＤ－02堀込後にⅣa1層を掘り下げると、05号住居の



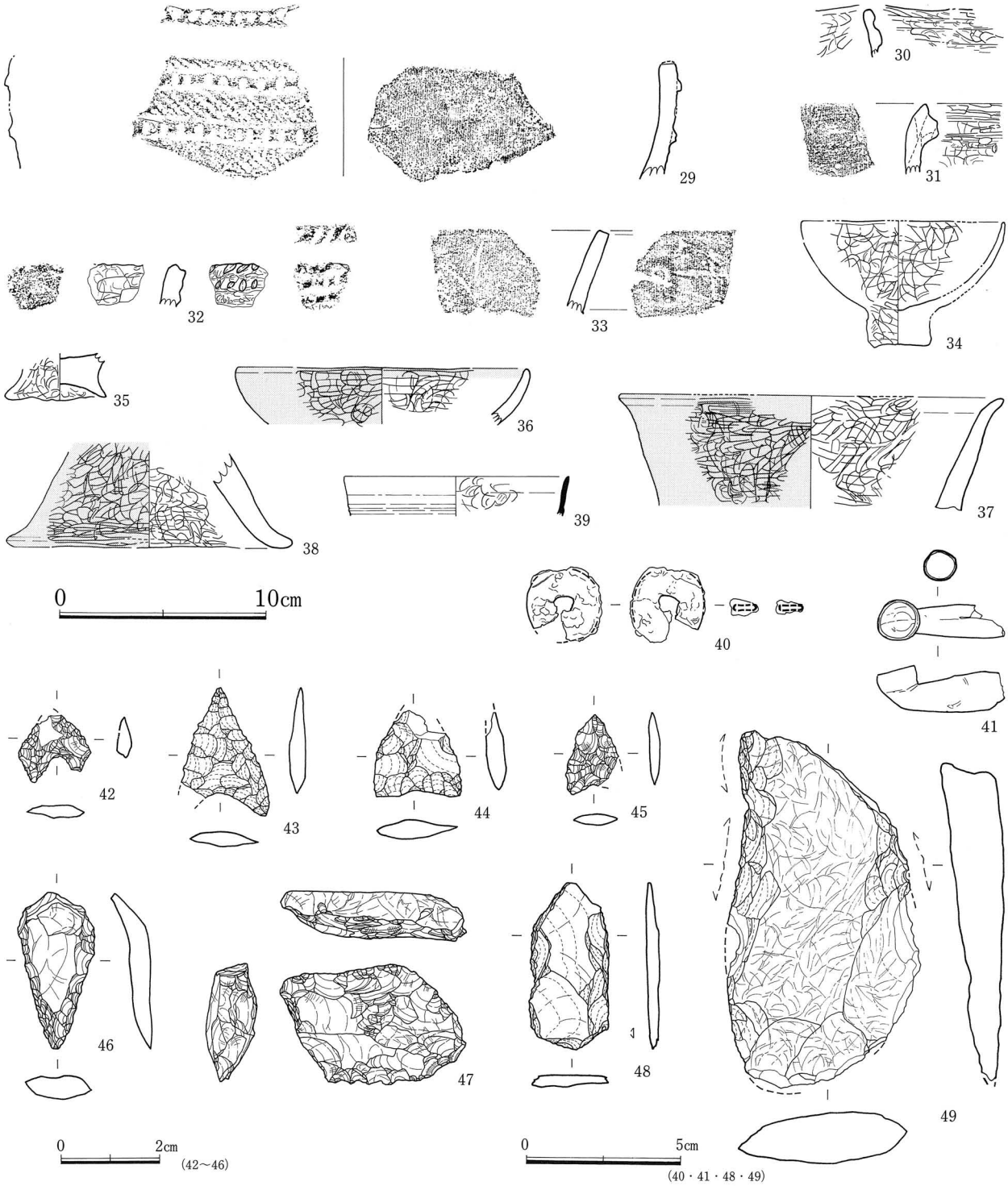
第７図　Ⅵ区　遺構分布図　　アミ目は県試掘溝

プランがより明確になるとともに、09・10号土坑等を検出した。Ⅳa1層と遺構の存在により、南

第８図　Ⅰ区　主要遺構以外　出土遺物実測図

へ１ｍ前後拡張したところ、06号住居と37号土坑の確定と14号住居の存在に気付いた。調査終了間際には北辺中央寄りの土坑43号の存在に気付き、北へ２度拡張して全体の把握に努めた。45号土坑は検出時は不整形な攪乱状であったが、一段掘り下げると楕円形プランになり、セクションを設定して掘り下げた。

主要遺構以外の出土遺物としては、主としてⅢ～Ⅳa1層から、縄文土器片164点のほか、弥生時代後期～古墳時代後期の土器片1330点、石器・剥片等175点、土製品３点が、02号溝から縄文土器

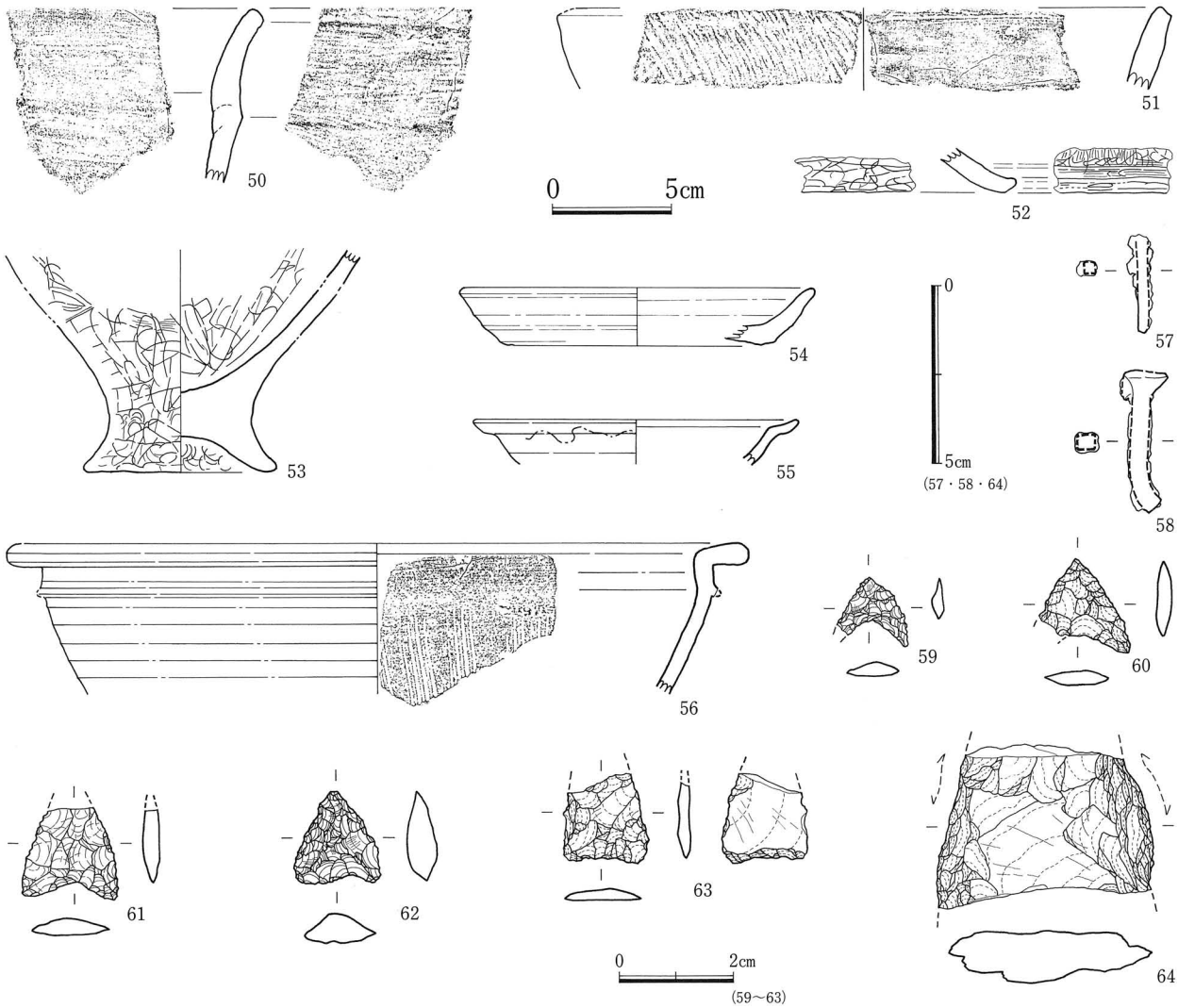


第９図　Ⅱ区　主要遺構以外　出土遺物実測図

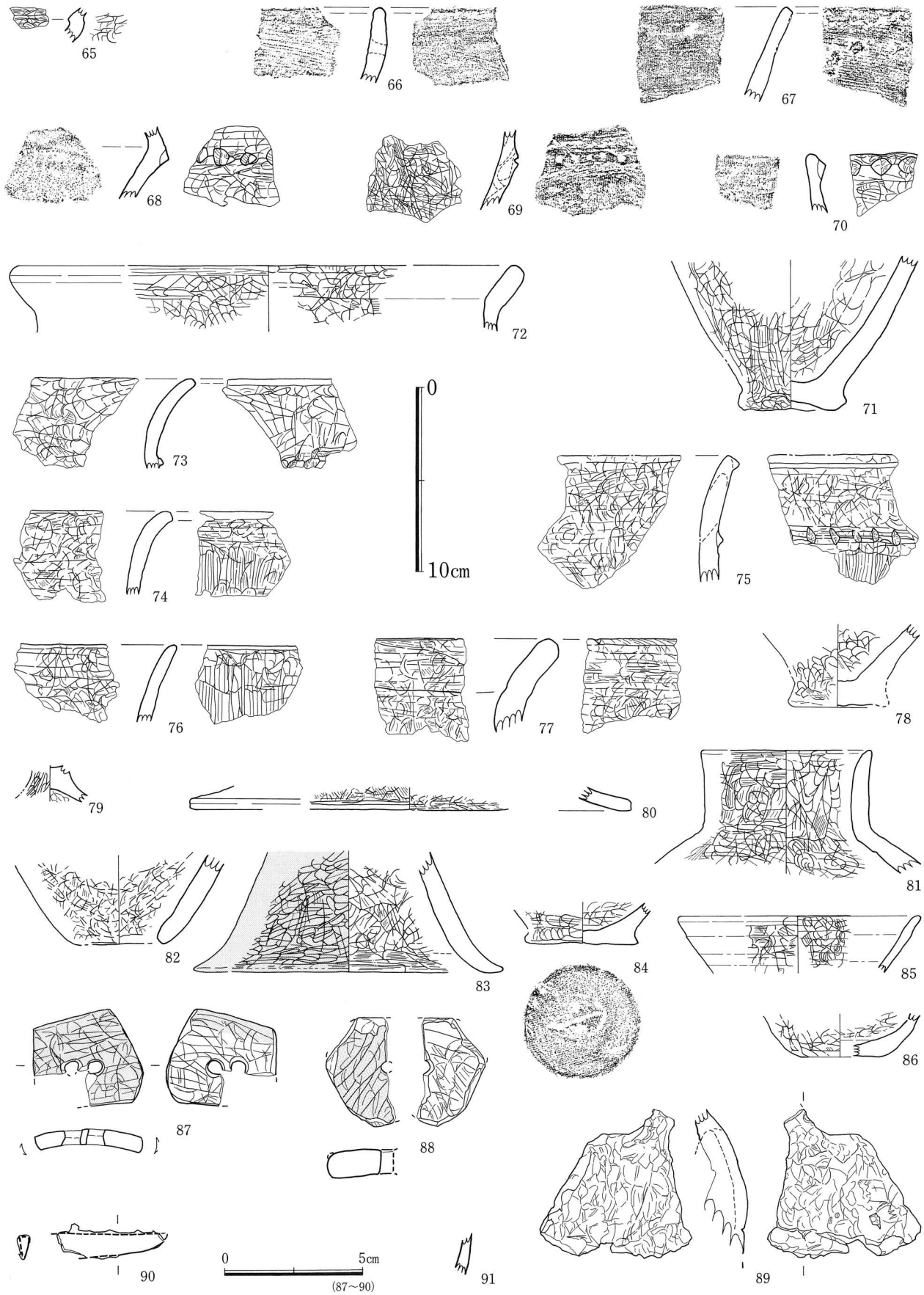
片４点と土師器片190点、須恵器片・鉄器各１点、石器・剥片等17点が出土している。これらも小片が多く、図化できたものは少ない（第11・12図）。なお、02号溝出土の刀子（**90**）は、05号住居に帰属か。石包丁（**97**）は、05号と06号住居の中間やや北側で出土し、どちらかに帰属すると推定される。

Ⅴ区　当初の南辺は１ｍほど北の位置で、北半部は著しく削失し、01号住居のプランは明瞭であった。南東部にはⅣａ層が遺存し、近現代の溝状遺構（ＳＤ－01）とⅣa1・a2層を掘り下げると竪穴住居２（ＳＡ－03・04）の存在が明瞭になった。03号住居の南西端の検出と南東部のⅣａ層を追加調査する必要性から南へ１ｍ拡張すると、焼土を多量に含み上面に古代の土師器を伴う土坑１（ＳＫ－40）を検出した。

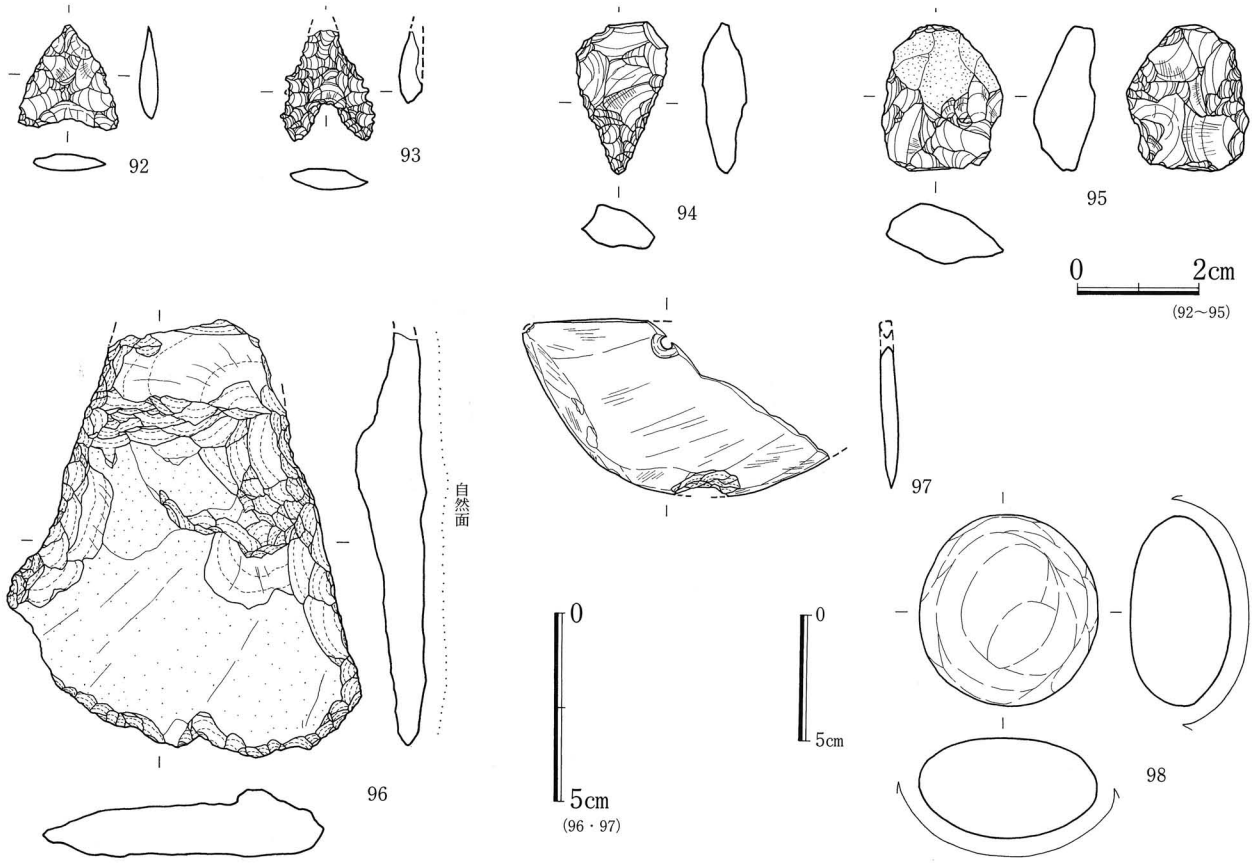
主要遺構以外の出土遺物としては、主としてⅣa1層から（Ⅳa2層からは若干）、縄文土器片54点のほか、弥生時代後期～古墳時代後期の土器片2548点、黒色土器片１点、石器・剥片類53点が、01号溝から、縄文土器片３点、弥生時代後期～古墳時代後期の土器片182点、黒色土器片１点、石器・剥片等６点が出土している。量的にはかなり多いが、小片が殆どであり、図化できたものは少ない（第13・14図）。**100～102**は同一個体かもしれない出水式土器（後期前葉）であるが、縄文



第10図　Ⅲ区　主要遺構以外　出土遺物実測図



第11図　Ⅳ区　主要遺構以外　出土遺物実測図（1）



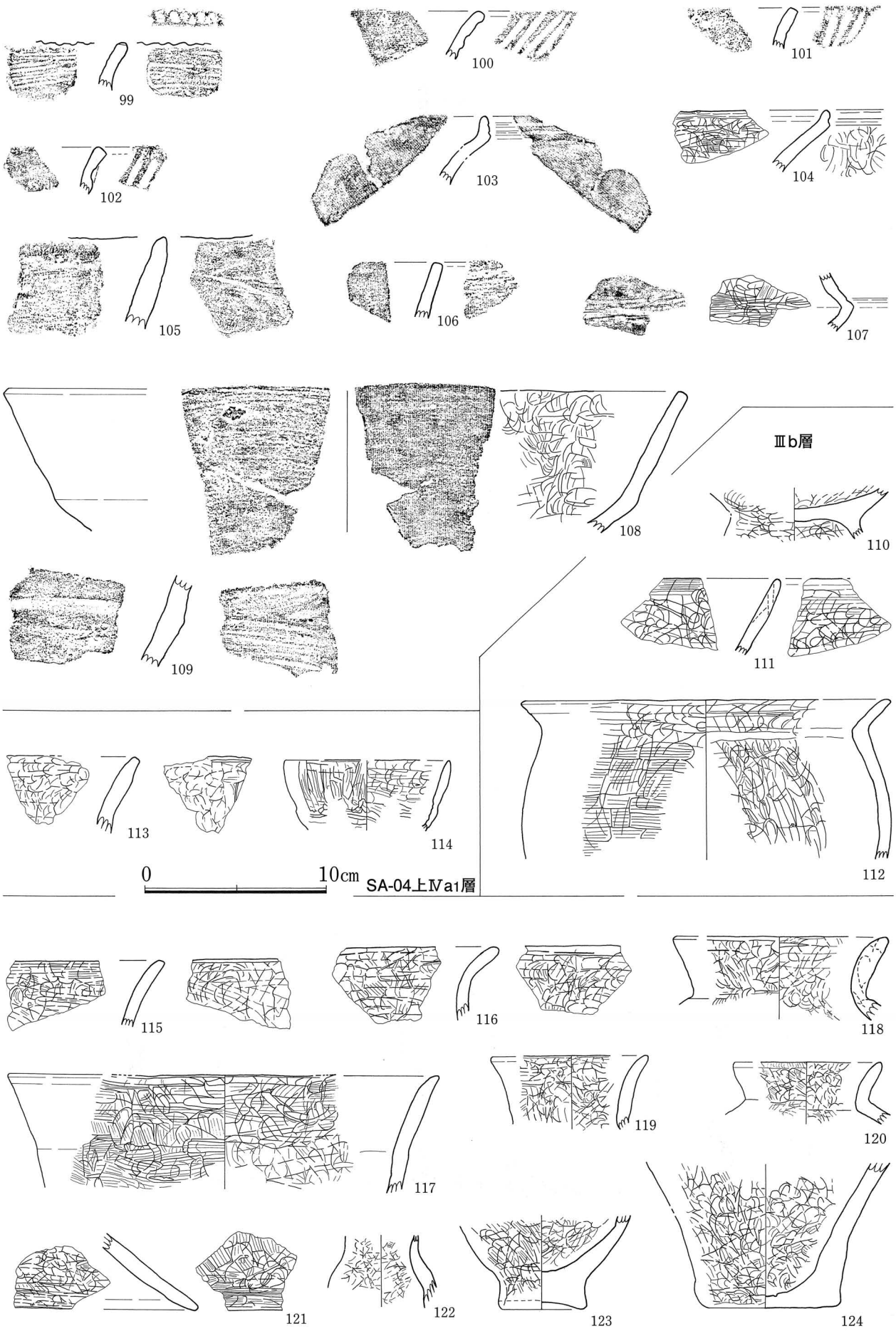
第12図　Ⅳ区　主要遺構以外　出土遺物実測図（２）

土器の主体は晩期前半である。弥生時代後期後半～古墳時代初頭の土器**113**と**114**は、04号住居に帰属すると断定される。丹塗り土師器の**128～130**や須恵器は６世紀末～７世紀前葉であり、03号住居に帰属する可能性がある。**141**は石英製の石核状のものであるが、稜が潰れ、近現代の溝状遺構からの出土という点から火打石であろうと推定される。

Ⅵ区　標高254～257.6ｍ、斜度４～６度の緩斜面で、Ⅰ～Ⅱ層（10～20㎝）を剥ぐとすぐにⅣa1層になった。掘削直後は、北東部では礫混じりの土が多く、Ⅶ層と思い込んでいた。遠目には、県試掘坑と重複する黒色土の広がりが２ヶ所あり、竪穴住居であることは予想された（写真図版７・42）。県試掘坑全てを完掘すると、Ⅳa1層が10～50㎝ほど堆積しており、Ⅳa1層を10㎝ほど掘り下げないと古墳時代以前の遺構が検出できないことを再確認した。南辺も0.5～１ｍ拡幅し、遺物・遺構の有無を確認した。最終的には、縄文時代の落とし穴３（SK－27・30・33）と土坑（SK－28・34）、弥生～古墳時代の竪穴住居３（SA－11～13）と土坑５（SK－29・31・35・36）等を検出した。また、遺構堀込と並行しつつ、Ⅳa1層を掘り下げ、遺物を採取した。

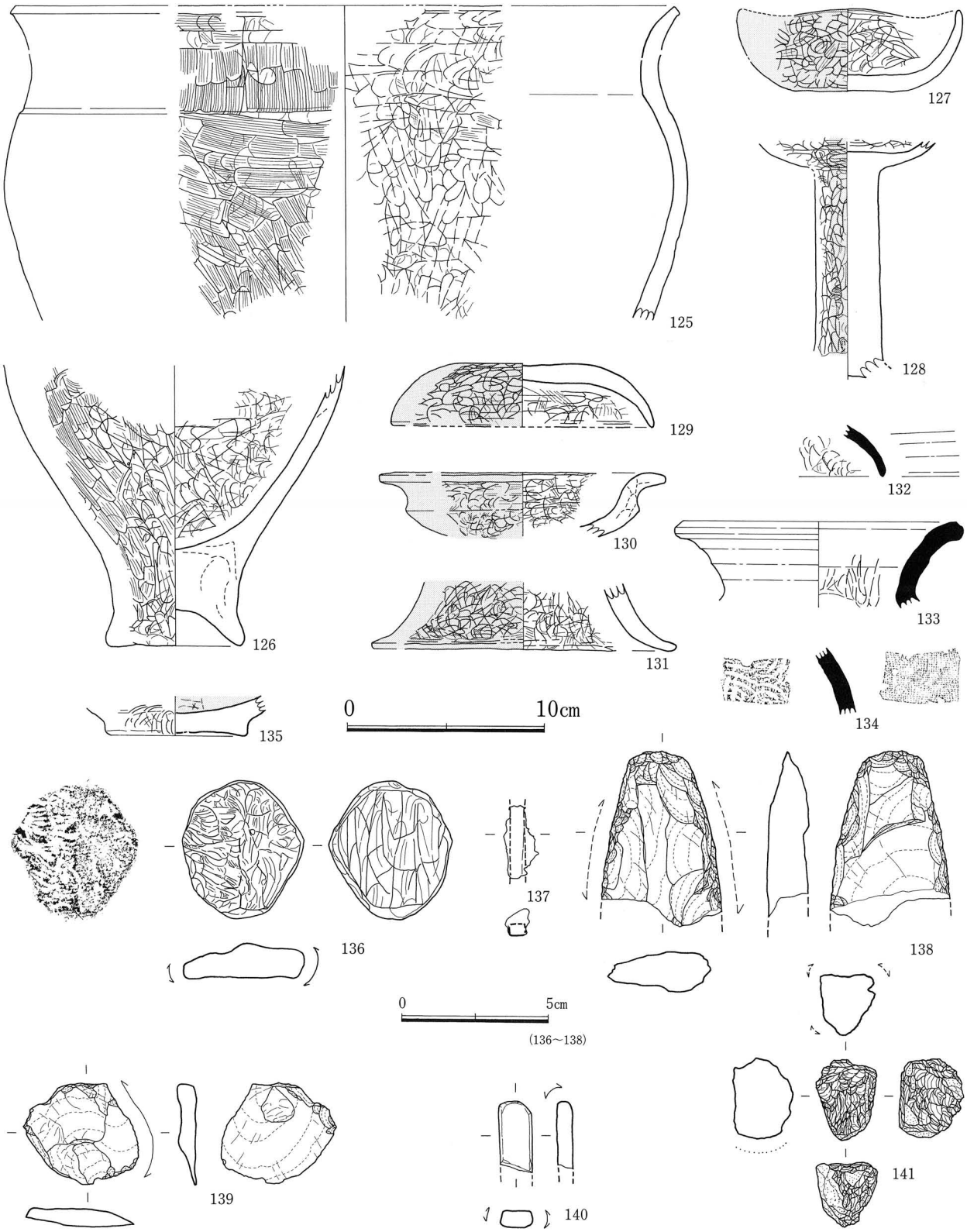
主要遺構以外の出土遺物は、主としてⅣa1層から、縄文土器513点のほか、弥生時代後期～古墳時代後期の土器片587点、石器・剥片等132点が出土している。縄文晩期の遺物が目立つが、小片が多く、図化できたものは少ない（第15・16図）。

縄文土器は、晩期前半の天城式土器が主で、若干の粗製深鉢（**157・158**）もあり、晩期末の黒

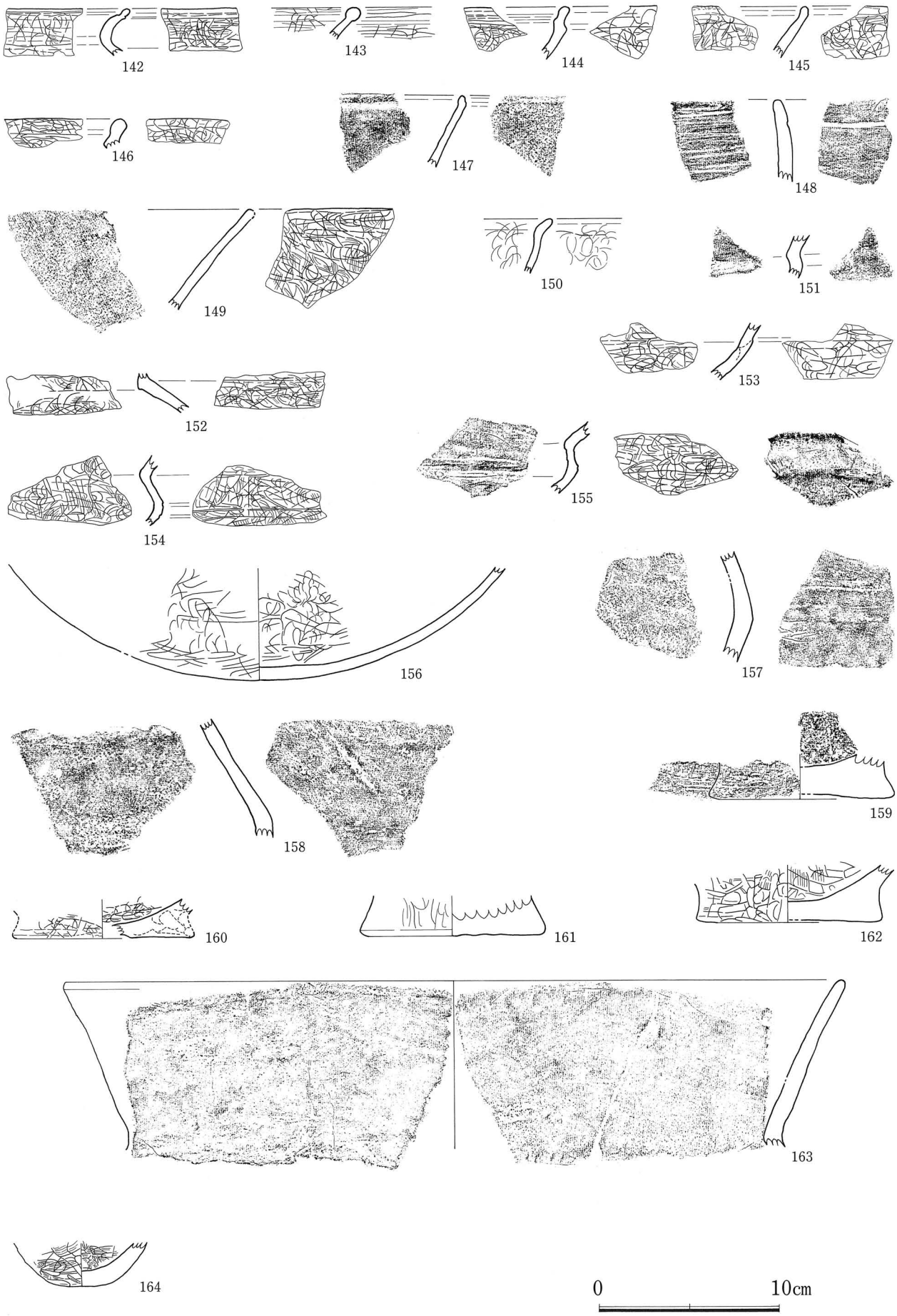


第13図　Ⅴ区　主要遺構以外　出土遺物実測図（1）

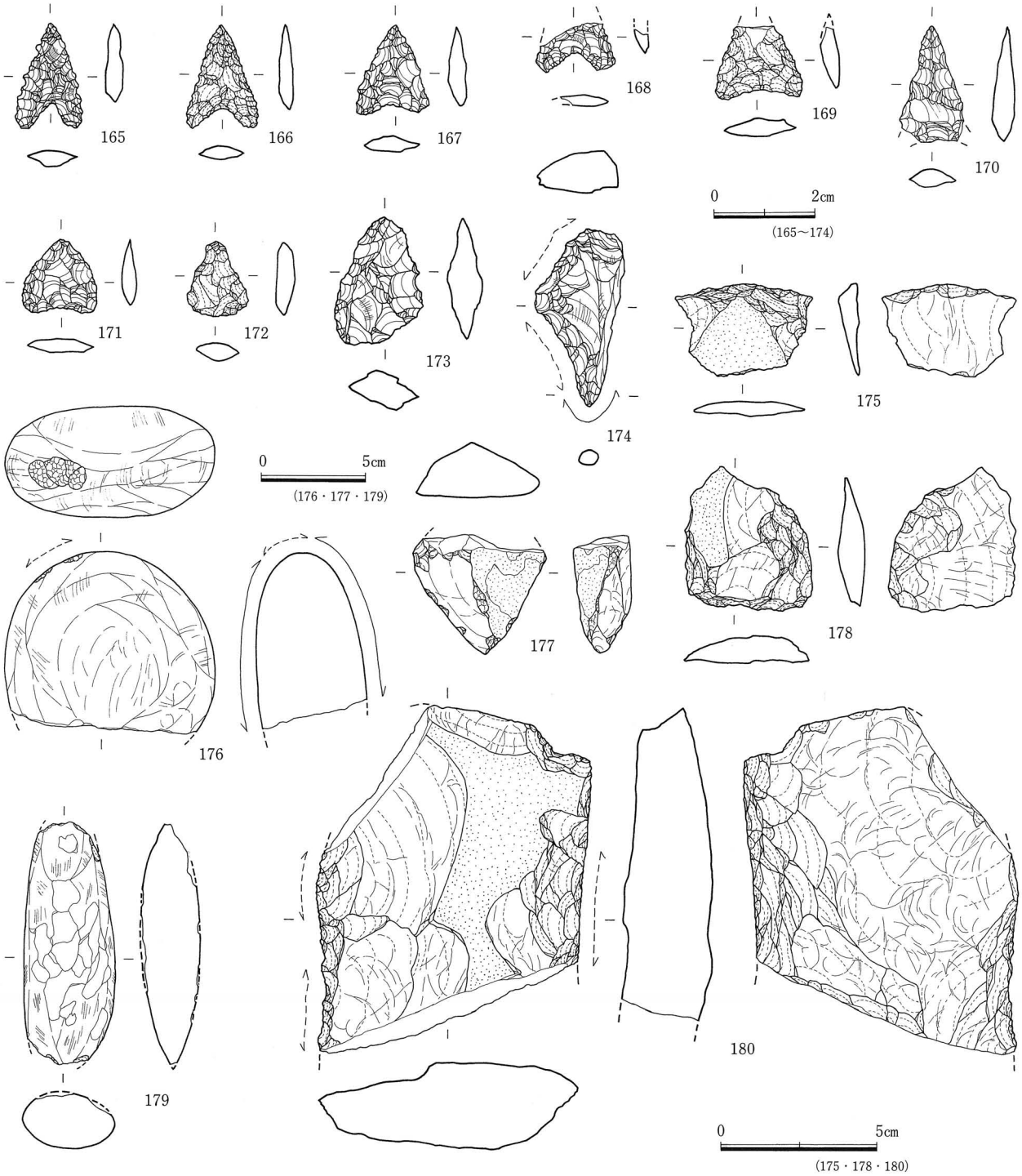
川式（163）までみうけられる。179は蛇紋岩製の磨製石斧で、前期の所産と思われる。180は打製石斧の基部で、両側縁に刃潰しがみられる大型のタイプである。



第14図　Ⅴ区　主要遺構以外　出土遺物実測図（2）



第15図　Ⅵ区　主要遺構以外　出土遺物実測図（1）



第16図　Ⅵ区　主要遺構以外　出土遺物実測図（2）

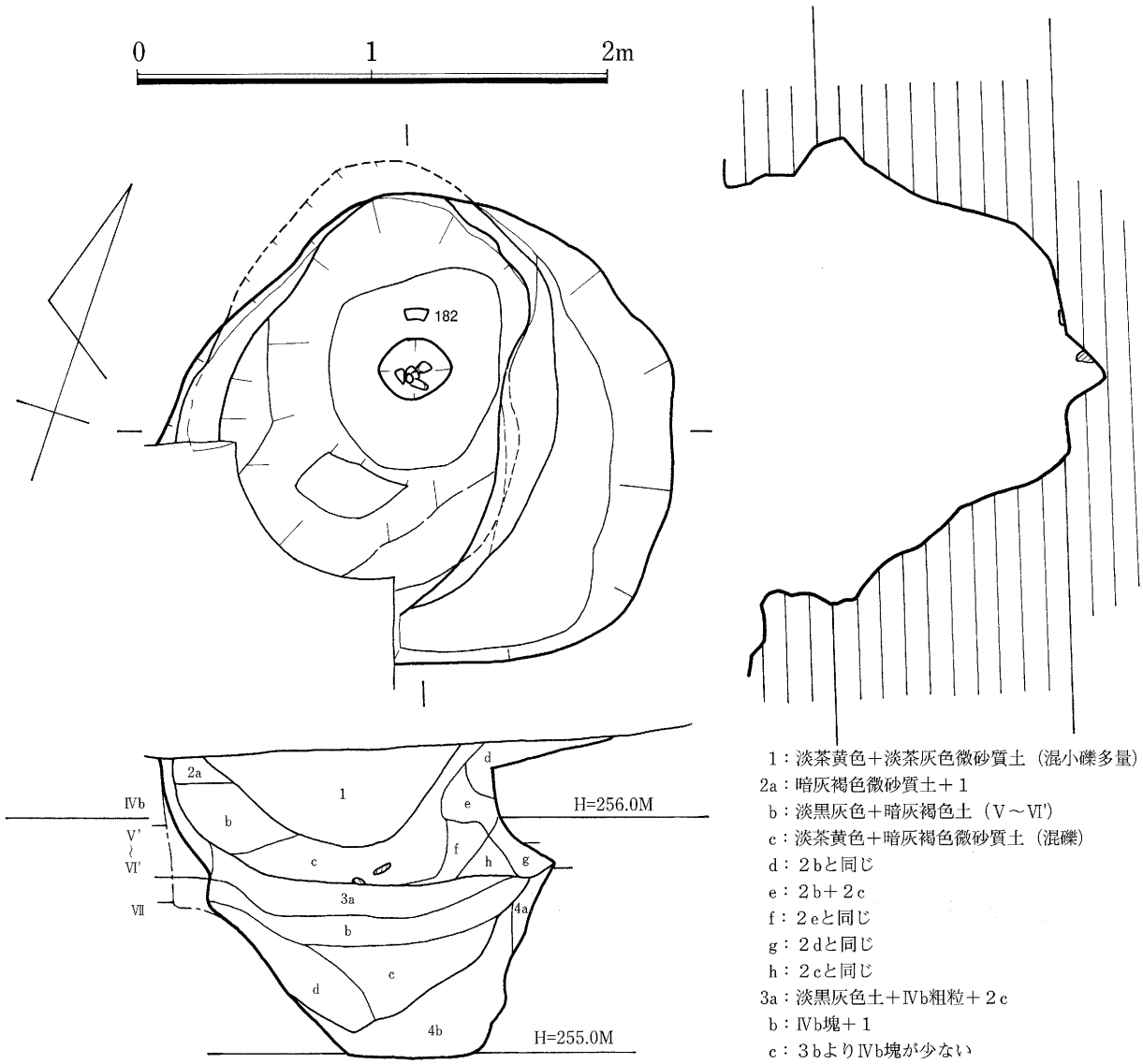
第４節　時代別遺構と出土遺物

以下、時代を追って個別遺構と出土遺物について述べる。

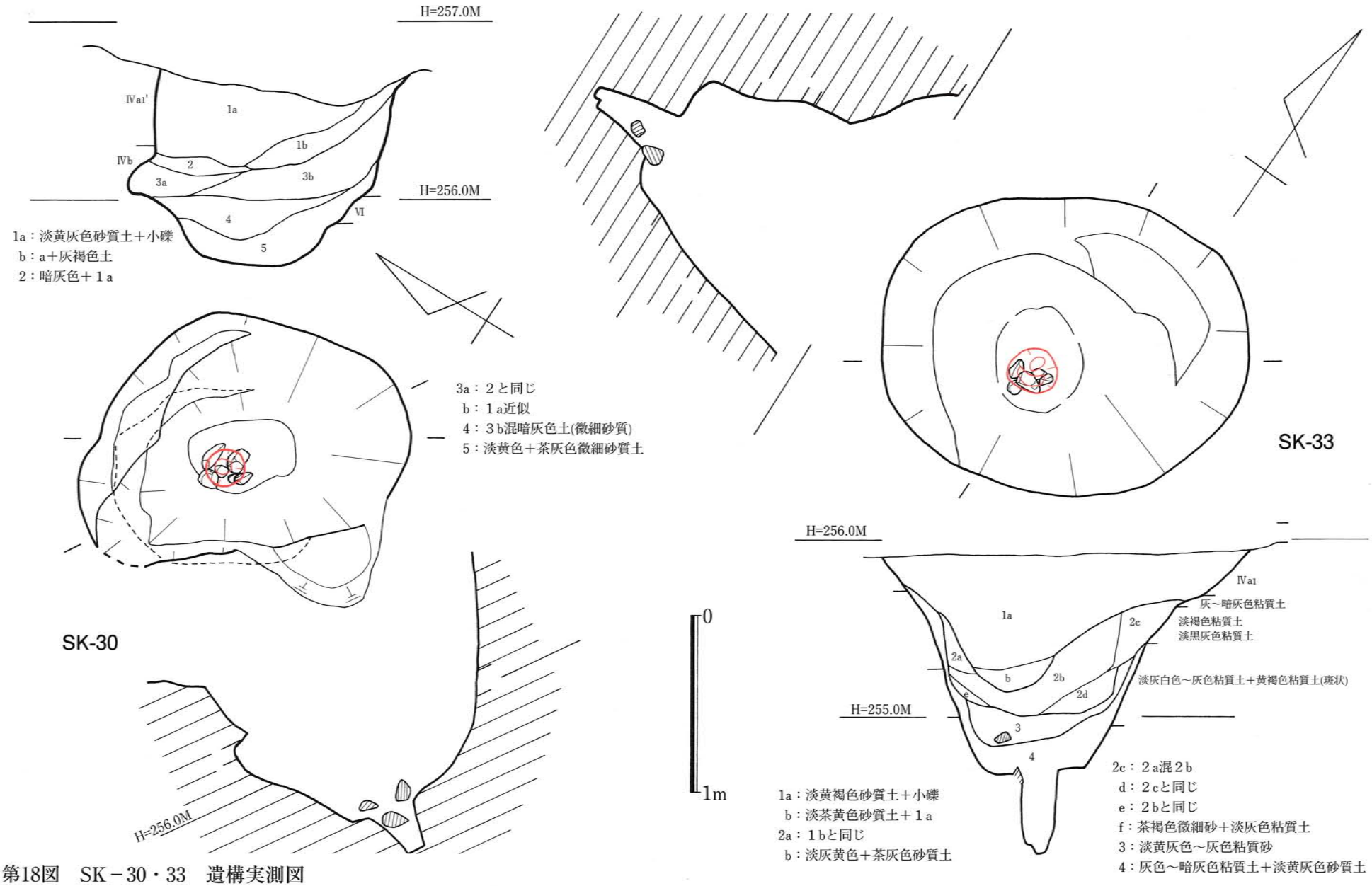
１．縄文時代　　落とし穴５と貯蔵穴１、土坑１がある。

ＳＫ－27（第17図）

南西部が県試掘坑に切られており、この範囲では攪乱か土坑か落とし穴か判定困難な覆土である。検出時は、長径2.1ｍの不整円形を呈したが、東側0.6～0.75ｍの範囲は深さ10㎝程で底面になり、深掘部の上面は0.9×1.36ｍの楕円形になる。東壁中～上位はオーバーハングし、西～南壁は傾斜が緩い。深さは1.33ｍで、底面は70×92㎝の平坦な面である。底面中央には、長径31㎝・短径27㎝の柱穴があり、裏込めの小礫５個を検出した。柱穴の掘形から北へ10㎝の位置で、抉り入り刃器１（182）を検出した。通常は石器の原材としない非常に硬い珪化凝灰岩の大型剥片を使用した粗製の刃器であり、獲物解体等に使用したものと思われる。このほか遺構検出面から縄文土器



第17図　SK－27　遺構実測図



第18図　SK－30・33　遺構実測図

１（181）が、覆土から細片１が出土しているほかは遺物が少ないが、縄文晩期前半の落とし穴と推定する。

ＳＫ－30（第18図）

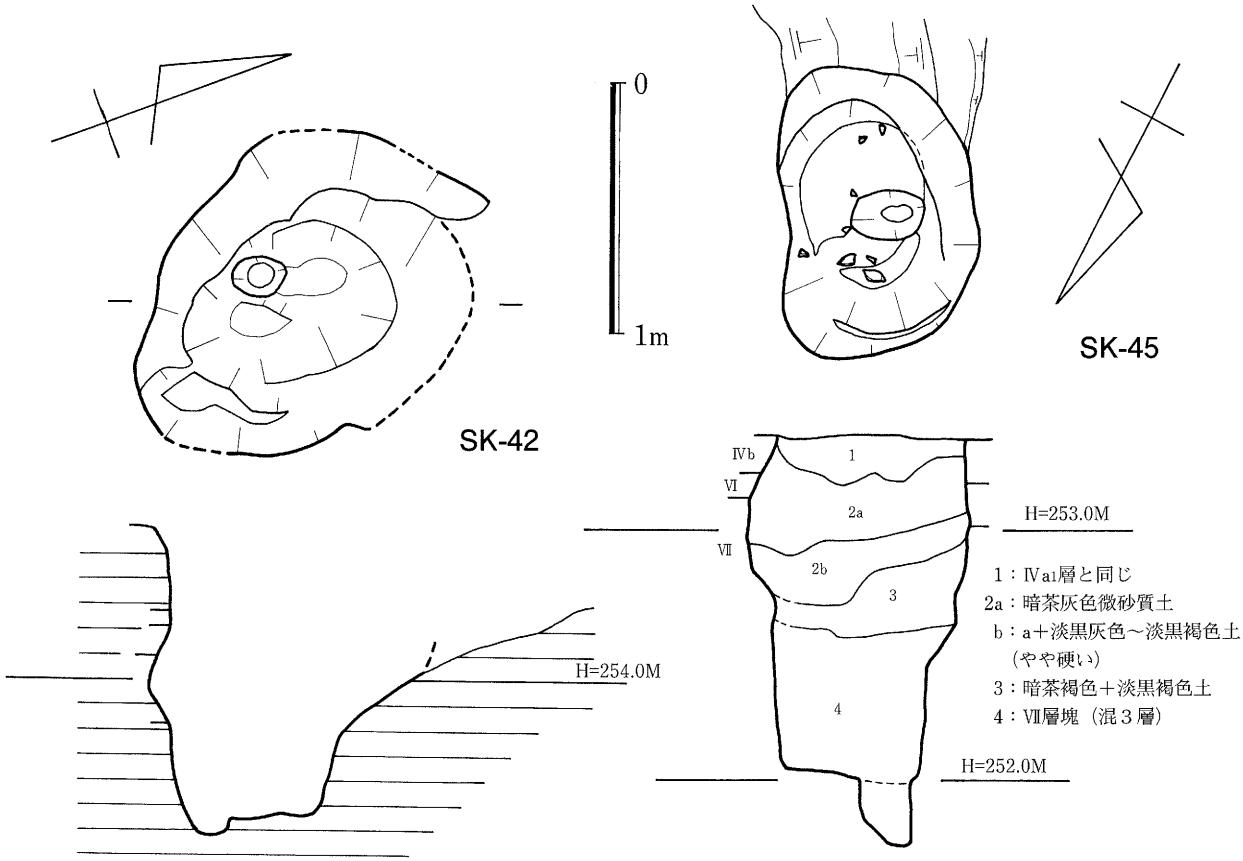
Ⅳa1層を10㎝程下げた段階で、長径1.90ｍ・短径1.34ｍの不整楕円形として検出した。深さは1.15ｍで、北壁中位は抉れる。抉れ部上位～南西攪乱部まで覆土が広がり、円形に近くなる可能性も残したが、サブトレンチで確認するべきであった。底面は30×56㎝の平坦面で、中央やや北寄りに、長径22㎝・短径20㎝・深さ26㎝の杭穴と５個の裏込め石を検出した。出土遺物は桑ノ木津留産黒曜石の原石１点（長径15㎜程の転石）であるが、覆土の土質がＳＫ－27に近似することから縄文晩期前半の落とし穴と推定する。

ＳＫ－33（第18図）

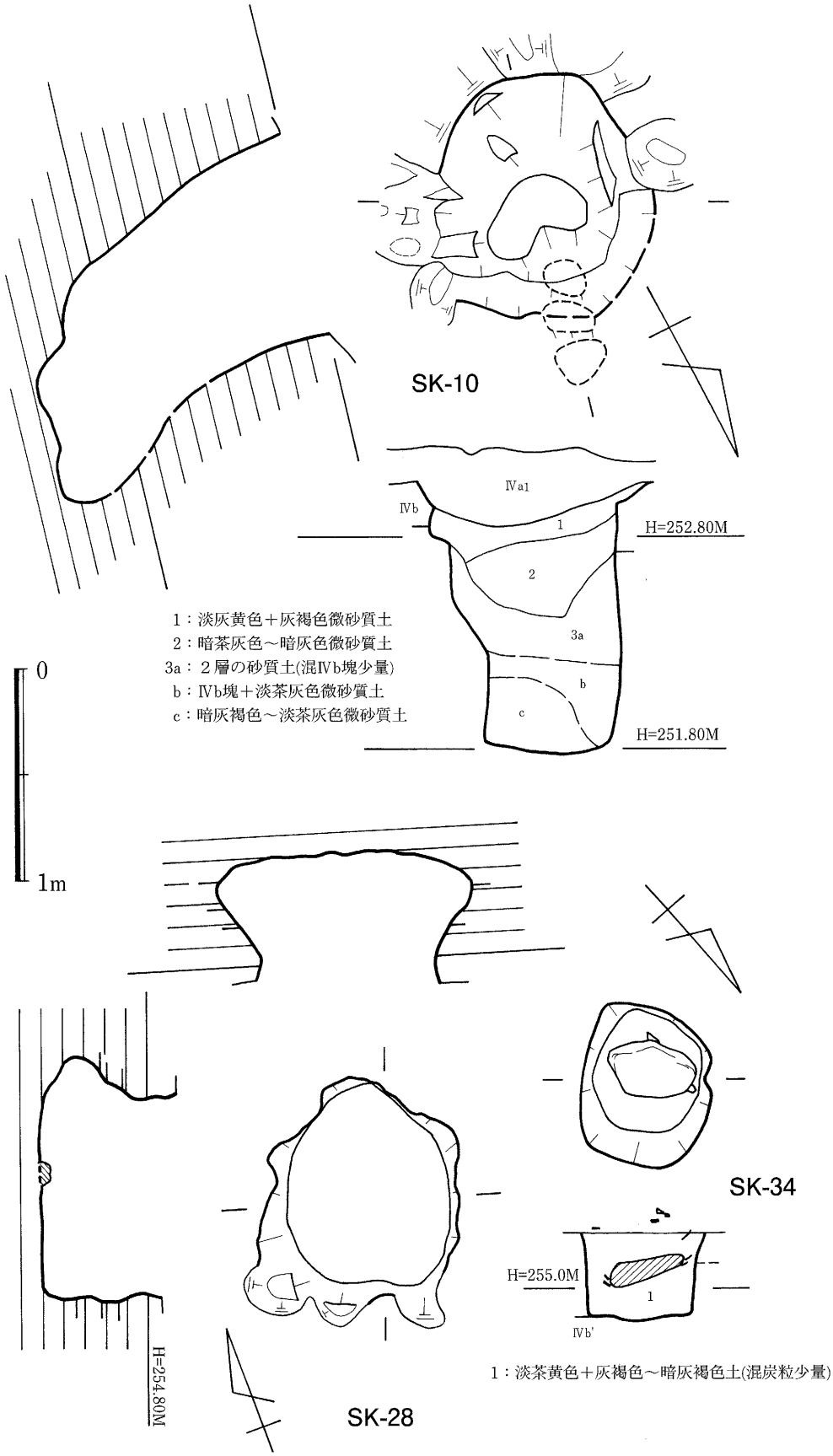
ＳＫ－30の南西約６ｍに位置し、Ⅳa1層－20㎝で検出した、長径2.06ｍ・短径1.67ｍの楕円形を呈するプランである。深さは1.20ｍで、48×57㎝の底面がある。中央では、長径28㎝・短径24㎝・深さ47㎝の杭穴と裏込め石５個を検出した。覆土から、縄文土器片５点と半透明～黒色黒曜石の風化剥片１点が出土したが、図化できたのは無い。覆土とで勘案すると、縄文晩期前半の落とし穴と推定される。なお、４層上面はやや締まっており、２次面として使用された可能性がある。

ＳＫ－42（第19図）

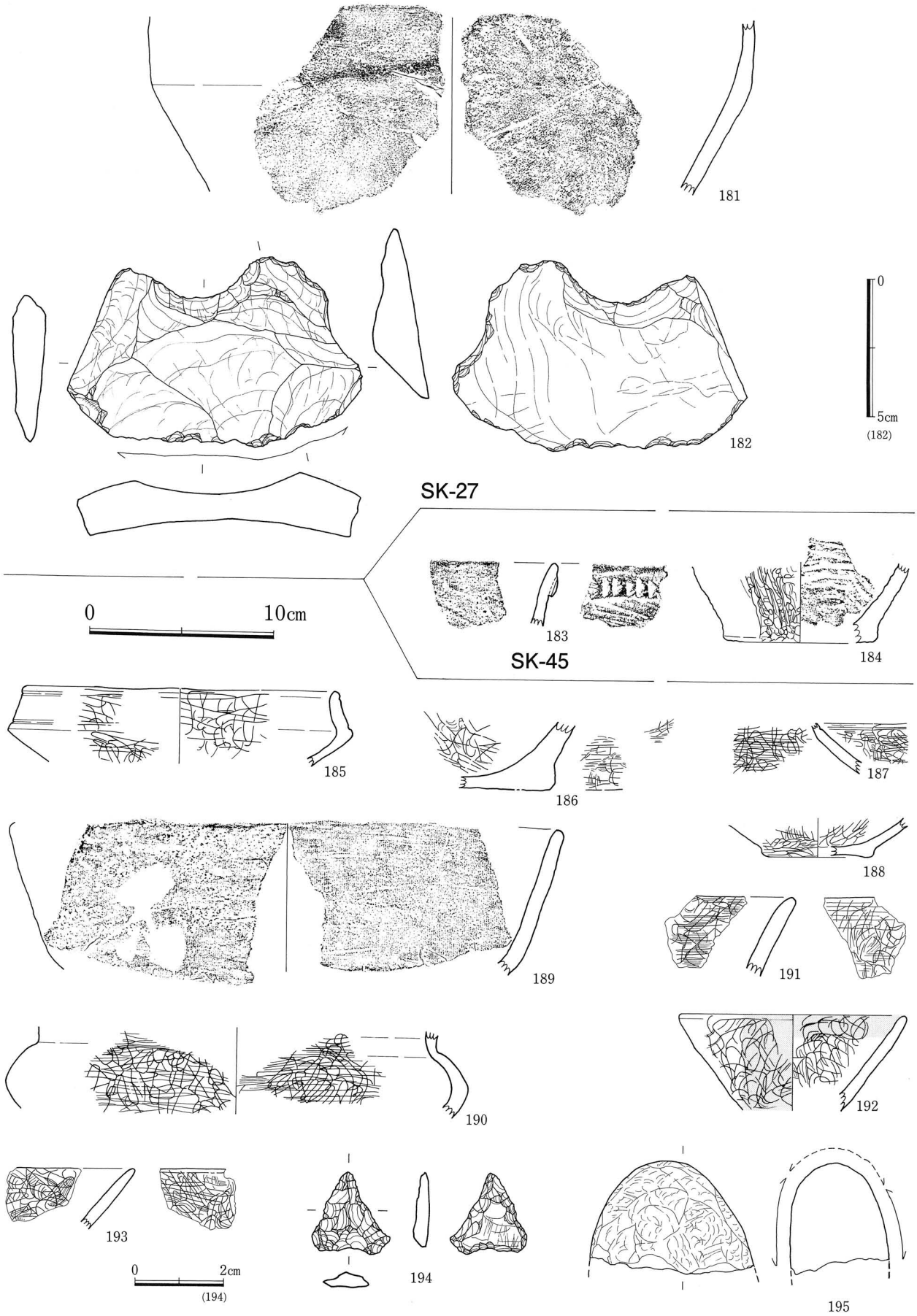
Ⅳa2層掘り下げ時、同時に掘り下げてしまったが、覆土も黒灰色系の締まった土であったためである。長径1.50ｍ・短径1.0ｍの楕円形を呈し、深さは1.16ｍを測る。底面中央西寄りには、長径



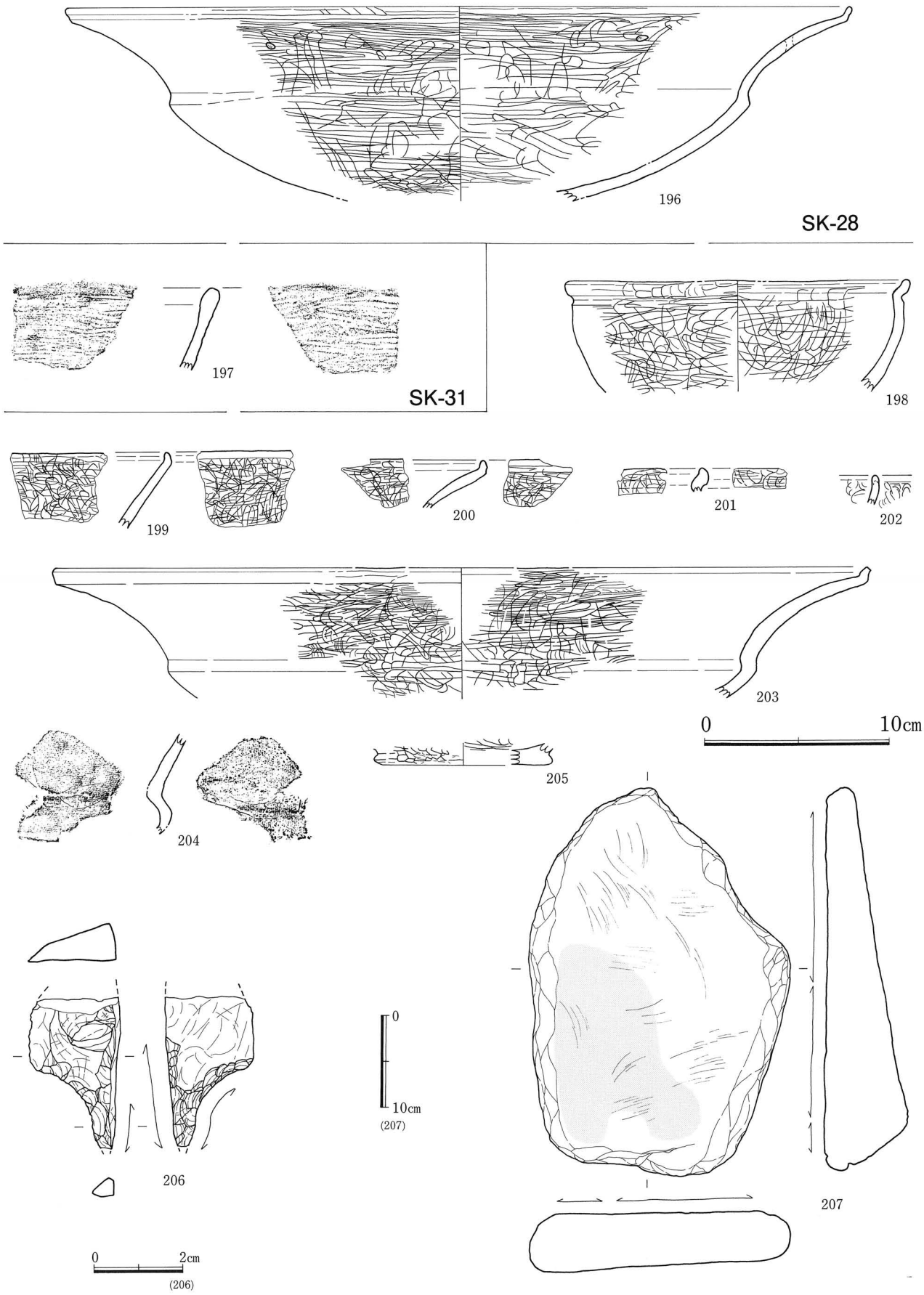
第19図　SK－42・45　遺構実測図



第20図　SK－10・28・34　遺構実測図



第21図　SK－27・45・10　出土遺物実測図



第22図　SK－28・31・34　出土遺物実測図

21cm・短径16cm・深さ６cmの浅いpitがある。出土遺物は無いが、覆土の特徴から、縄文前期の落とし穴と推定される。

ＳＫ－45（第19図）

検出時は、樹根状を呈する攪乱と思っていたが、５cmほど掘り下げた段階で、北端部が、長径1.15ｍ・短径0.73ｍの不整楕円形を呈した。深さは1.38ｍを測る。東壁の上半はオーバーハングし、西壁もやや膨らむ。底面の中央東寄りには、長径27cm・短径20cm・深さ17cmのpitがあり落とし穴としての認定根拠とした。覆土は黒灰色系のやや締まった土で、縄文土器片９と剥片16が出土したが、図化できたのは縄文土器２点（183・184）である。剥片のうち３点は頁岩の小剥片、２点は大型礫器の剥片、９点は黒曜石の小剥片、１点は小指大の黒曜石原石である。覆土と形態・底面のpitから、縄文晩期後半の落とし穴と推定する。

ＳＫ－10（第20図）

SK－39に南側を切られた、長径1.18ｍ・短径1.03ｍの楕円形を呈する。検出面から1.22ｍの深さで北へ50cm奥まで３段落ちる。覆土の上層からは弥生～土師器片99点が出土しているが、中層以下では縄文土器片と剥片が出土し、縄文晩期後半の貯蔵穴の可能性を推定している。縄文土器は15点出土し、６点（185～190）を図化し、このほか磨石１（195）や剥片・小原石が21点出土している。

ＳＫ－28（第20図）

長径1.0ｍ・短径0.86ｍの不整楕円形を呈し、深さ59～64cmを測る袋状土坑である。土層的には、10～20cmの削失が推定される。覆土はⅣa1層類似の土で、縄文土器浅鉢（196）が上層から出土している。晩期前半の貯蔵穴と推定される。

ＳＫ－34（第20図）

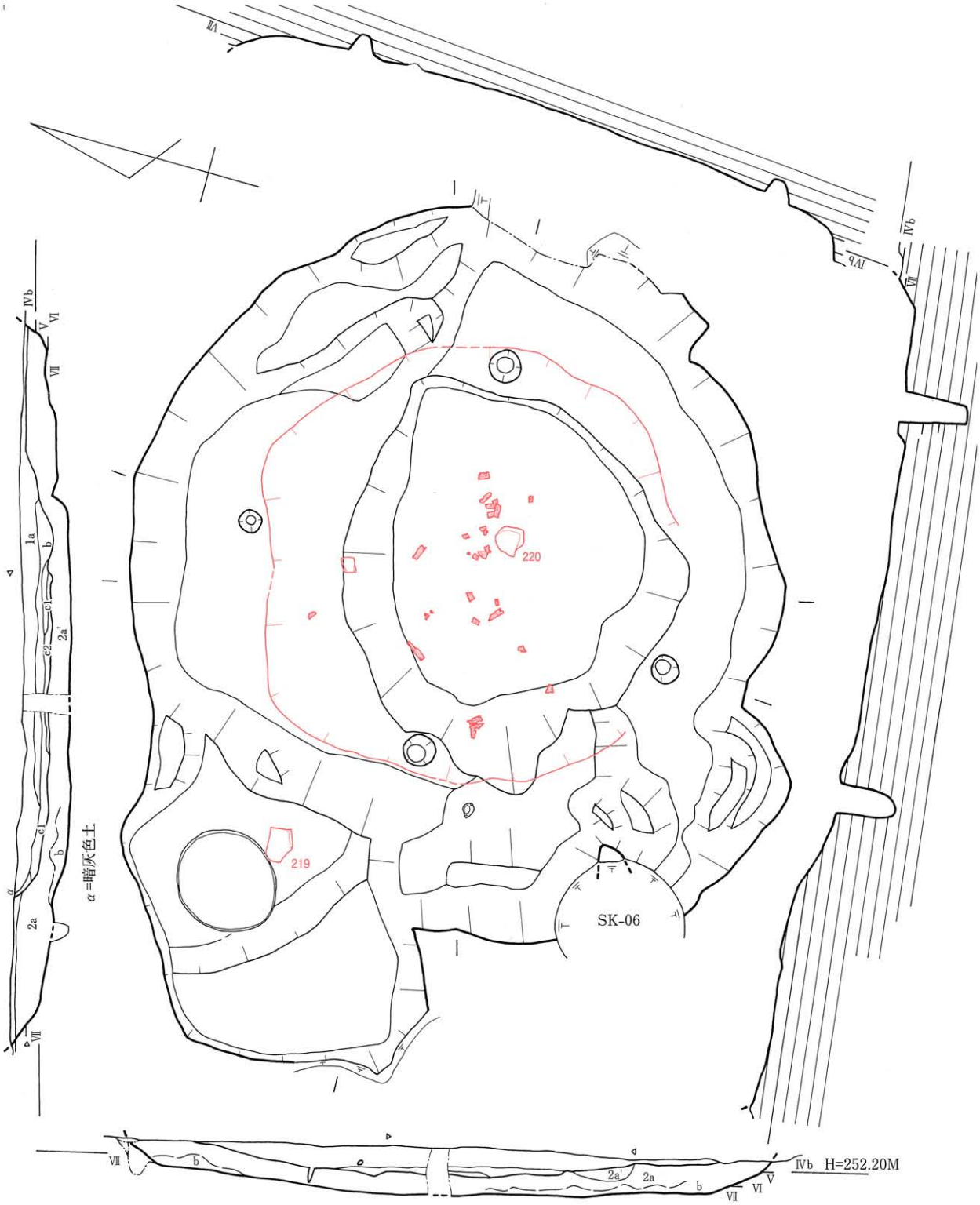
Ⅳa1層を15cm程掘り下げ、サブトレンチを入れた段階で平断面を確認した。長径74cm・短径60cmの不整楕円形を呈し、深さは38～43cmを測る。上位～上層では縄文土器片が32点出土し、中位では使用痕のある台石１（207）が出土した。出土遺物から、縄文晩期前半のデポを推定している。

２．弥生～古墳時代

ＳＡ－01（第23図）

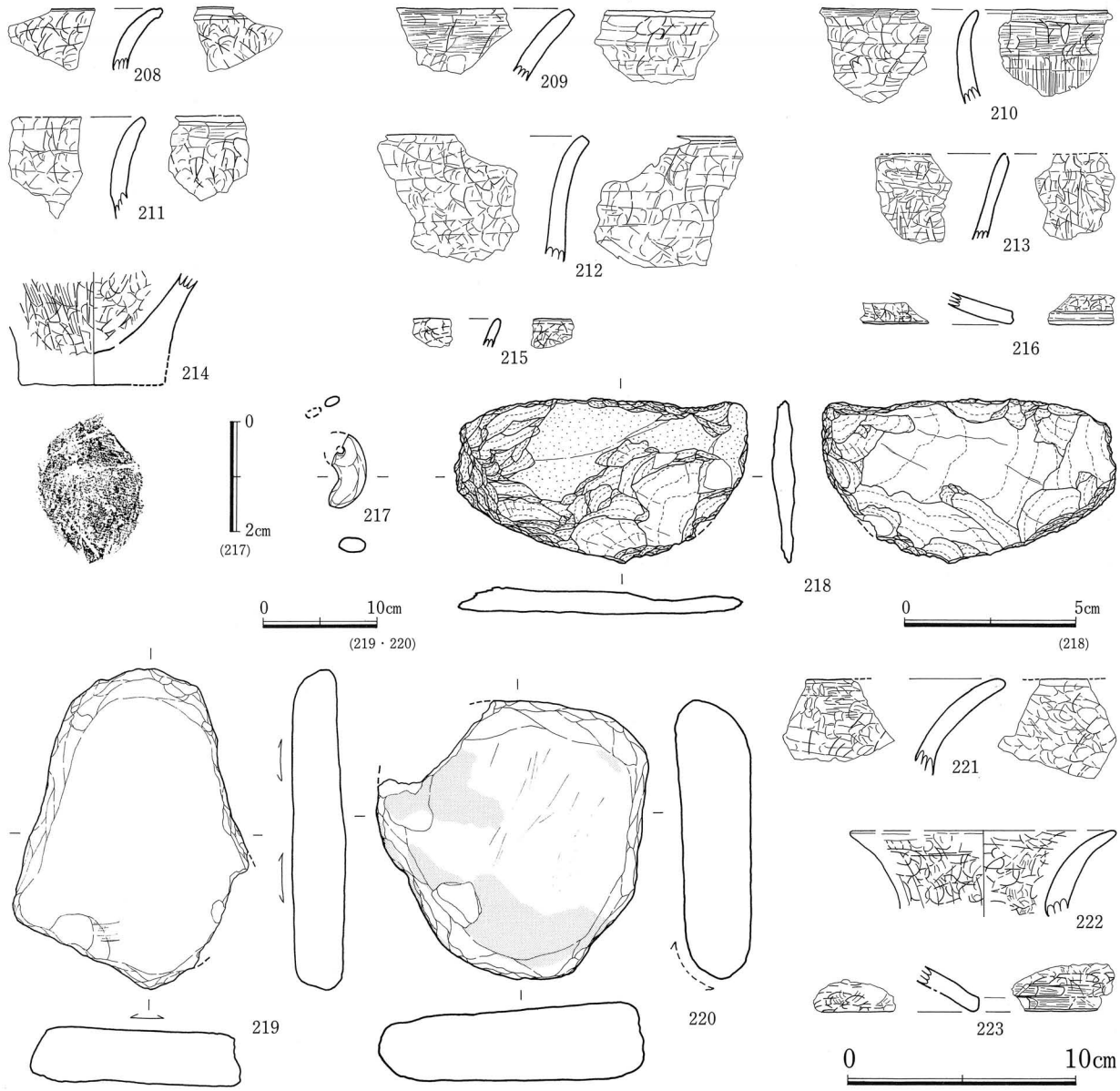
30～50cm削平され、一見、不整形である。本来は、円形基調の直径約9.2ｍの間仕切り住居であり、外縁は北西部のみ形状を残し、ＳＫ－06の東側に間仕切り突出部の先端が遺存する。遺存する東西は7.4ｍ・南北5.5ｍを測る。外区周縁部は、幅0.8～1.4ｍを測り、内区は直径3.7ｍで５～６角形を呈し、１段（18～25cm）低くなる。床面には、厚さ１～５cmの灰白色でやや硬い粘質土が敷かれている。

床面はかなり硬化し、台石と小炭化材が散在し、中央やや西寄りには長径１ｍの泥土化した炭（地床炉）がある。貼床は、厚さ18～33cm施される。主柱穴は４本で、直径18～28cm・深さ20～



1a：淡茶黄色微砂質土(混Ⅳb塊少量)
b：１a＋暗茶褐色微砂質土
c1：淡黄褐色＋茶灰色微砂質土
c2：炭泥(軟質)
2a：茶灰色～茶褐色微砂質土＋Ⅳb塊＋Ⅶ塊
▷◁間の上面に灰色粘土(やや硬い)
b：Ⅶ塊(混Ⅳb塊・Ⅴ～Ⅵ塊少量)

第23図　SA－01　遺構実測図　　赤色：内区掘形ラインと炭化材・台石



第24図　SA－01　出土遺物実測図　　221～223は２層出土

58cmを測る。

覆土から、縄文土器片３点のほか、弥生時代後期～古墳時代前期の土器片が256点、石器・剥片等21点がある。台石は北西部（219）と中央部（220）から出土し、後者は被熱・弾けの状況から鉄床石と断定される。

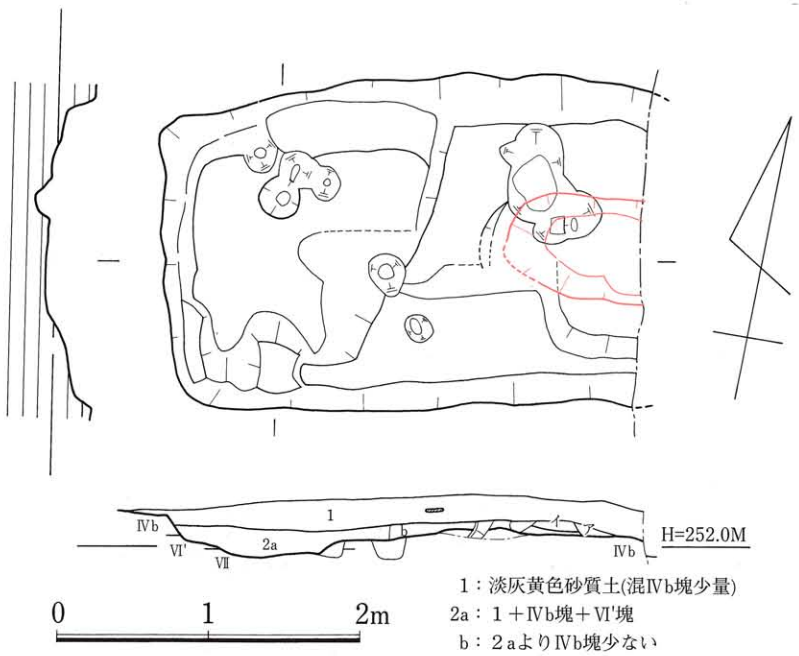
なお、鉄床石の出土により、地床炉の覆土を採取して水洗選別したところ、鍛造剥片等は検出できなかったが、頭部の半分を欠損した石製勾玉１（217）を発見した。

２層からは、弥生後期を主とする土器片95点と剥片等が３点出土している。

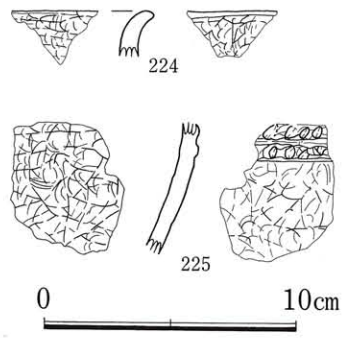
ＳＡ－02（第25図）

東端を農道（SR－01）に切られ、東西3.2ｍ以上、南北1.97～2.20ｍの隅円長方形を呈する。１層は14～22cm遺存し、東端には、幅68cm・長さ90cm以上の土坑が伴う。貼床は、８～19cm施される。主柱穴と火処は不明であるが、貼床の存在から、竪穴住居に含めている。

覆土から、土師器片93点と剥片等７点が、２層から土師器片９点が出土しているが、図化でき



第25図　SA－02　遺構実測図



第26図
SA－02　出土遺物実測図

たのは２点であり、遺構の年代を決め難いが、５世紀～６世紀前半か。

ＳＡ－03（第27図）

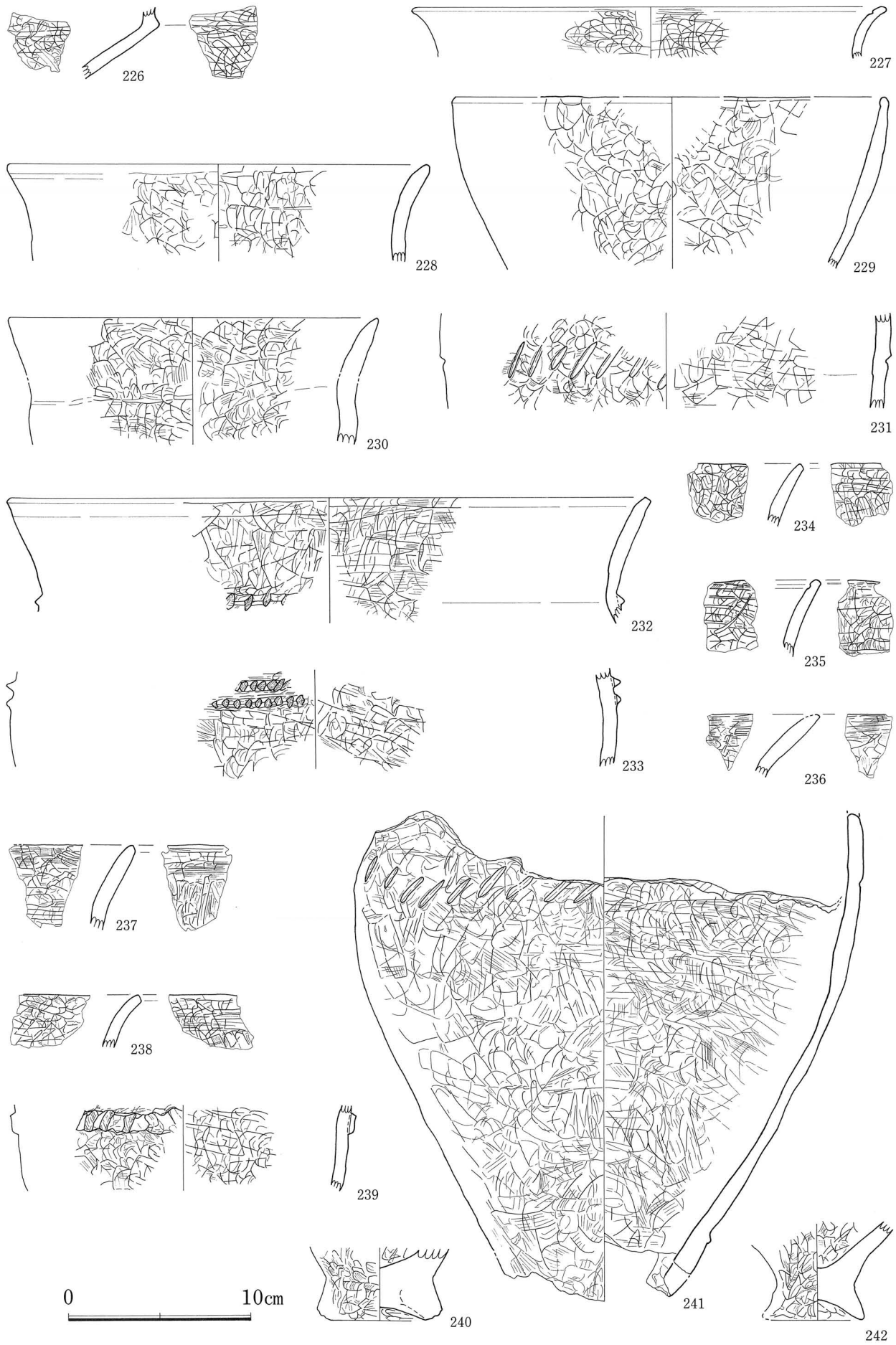
構築当初は、直径7.5～８ｍの間仕切り住居であり、北辺部と南西隅・南東端に外縁が遺存する。南縁は、開墾によって削失している。主柱穴は４本（Ｐ１～４）と推定され、直径22～31㎝・深さ22～62㎝を測る。

６世紀後半、東西4.0ｍ・南北4.14ｍの方形住居が再建される（ＳＡ－03Ａとする）。覆土は26～40㎝で、東壁中央やや南寄りには、長径55㎝・短径52㎝・深さ13㎝の土坑が設けられる。主柱穴は２本（Ｐ５・６）で、直径20～32㎝・深さ30・46㎝を測る。中央やや北寄りには、甕の口縁部と底部を打ち欠いた土器埋設炉（**242**）があり、外面中位まで焼土がとり巻いている。主軸方位は、Ｎ５°Ｗである。

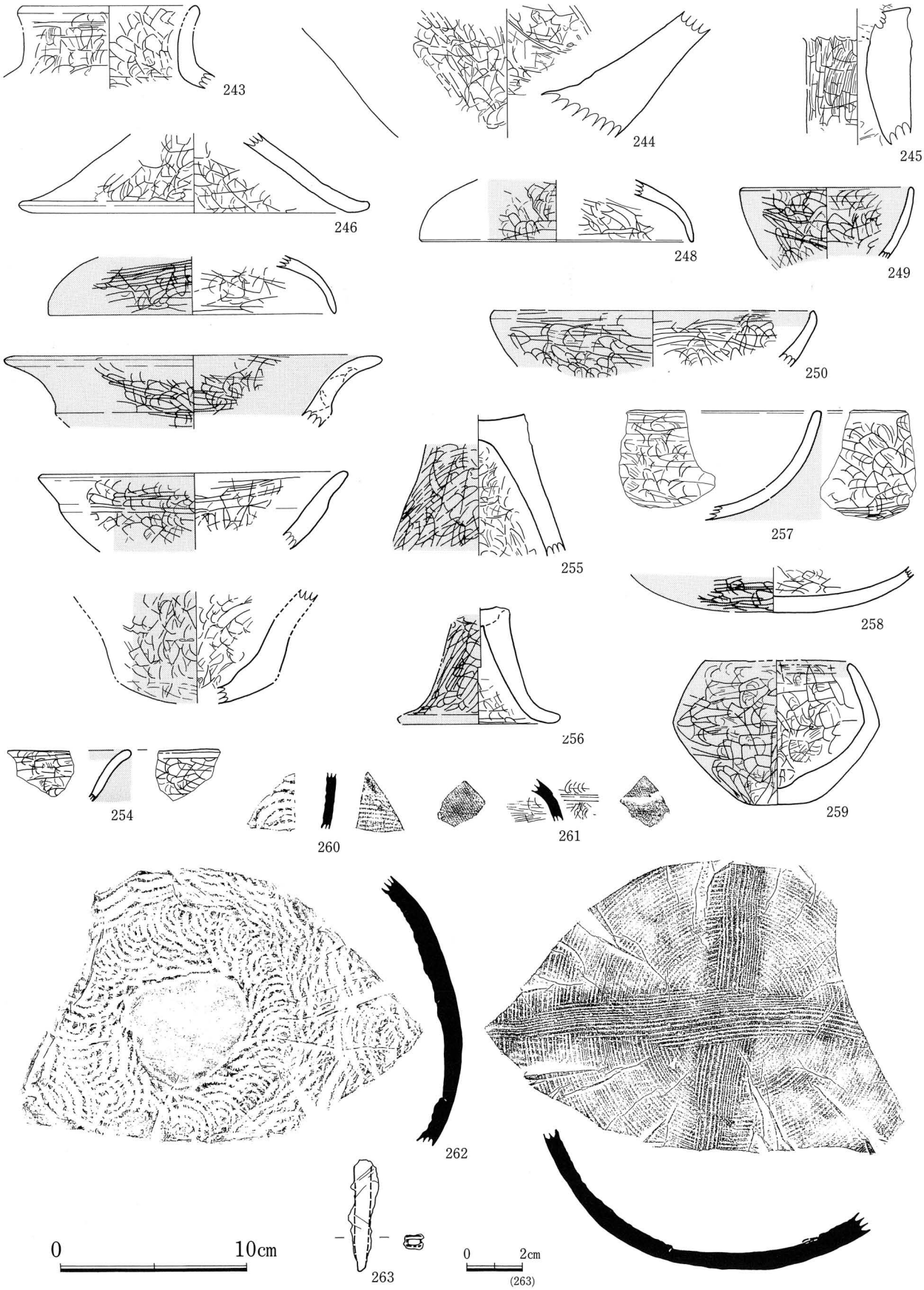
当初はＡ・Ｂの重複が判別できず、全体を10㎝ほど掘り下げた際に、縄文土器片５点のほか、古墳時代前期の土器片1054点、須恵器片３点、剥片等20点を取り上げ（大半はＡに帰属する）、その後、Ａの１層出土品として、縄文土器片１点のほか、土師器片408点、須恵器片２点、鉄器１点、剥片等13点を、２層出土品として、縄文土器片１点ほか土師器片43点、須恵器片１点、剥片等２点を取り上げている。Ａの１層内、中央やや南寄りで、床面よりも10～20㎝上位に傾いた状態で鉄床石（**266**）が出土した。上面に被熱と弾け、鍛造剥片が多く見られ、稜も潰れ、顕著な使用痕がある。Ｂの出土品としては、１層から縄文土器片１点、古墳時代前期の土器片134点のほか剥片等３点がある。２層からは弥生後期～終末の土器片11点が出土した。なお火処の覆土を持ち帰って水洗選別をしたが、小鍛治に伴う遺物は発見されなかった。

図化した土師器片も小破片が多いが、**229**の様に口縁部が外方へ開くタイプの甕は古墳時代後期

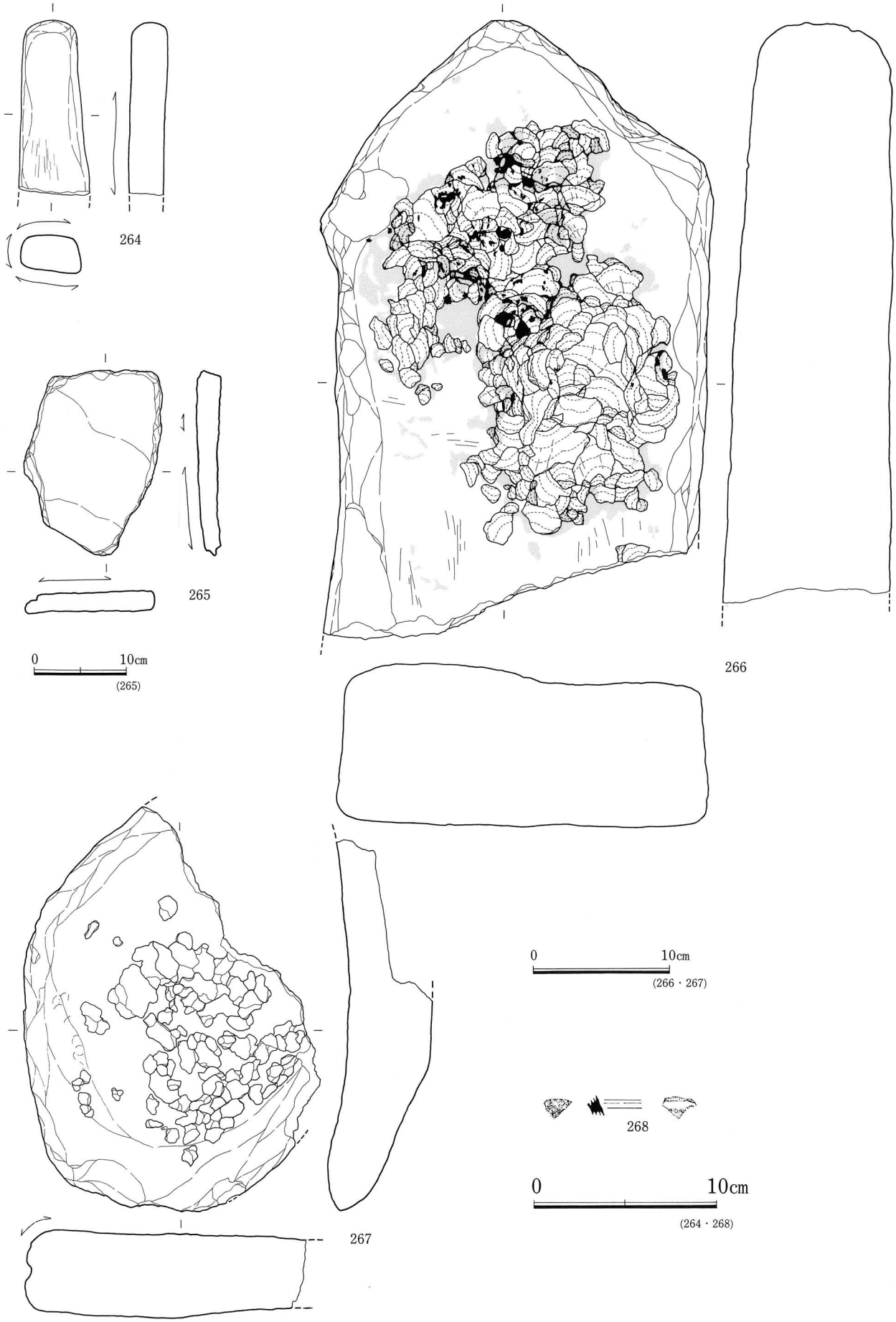
第27図　SA－03　遺構実測図　　アミ目は焼土



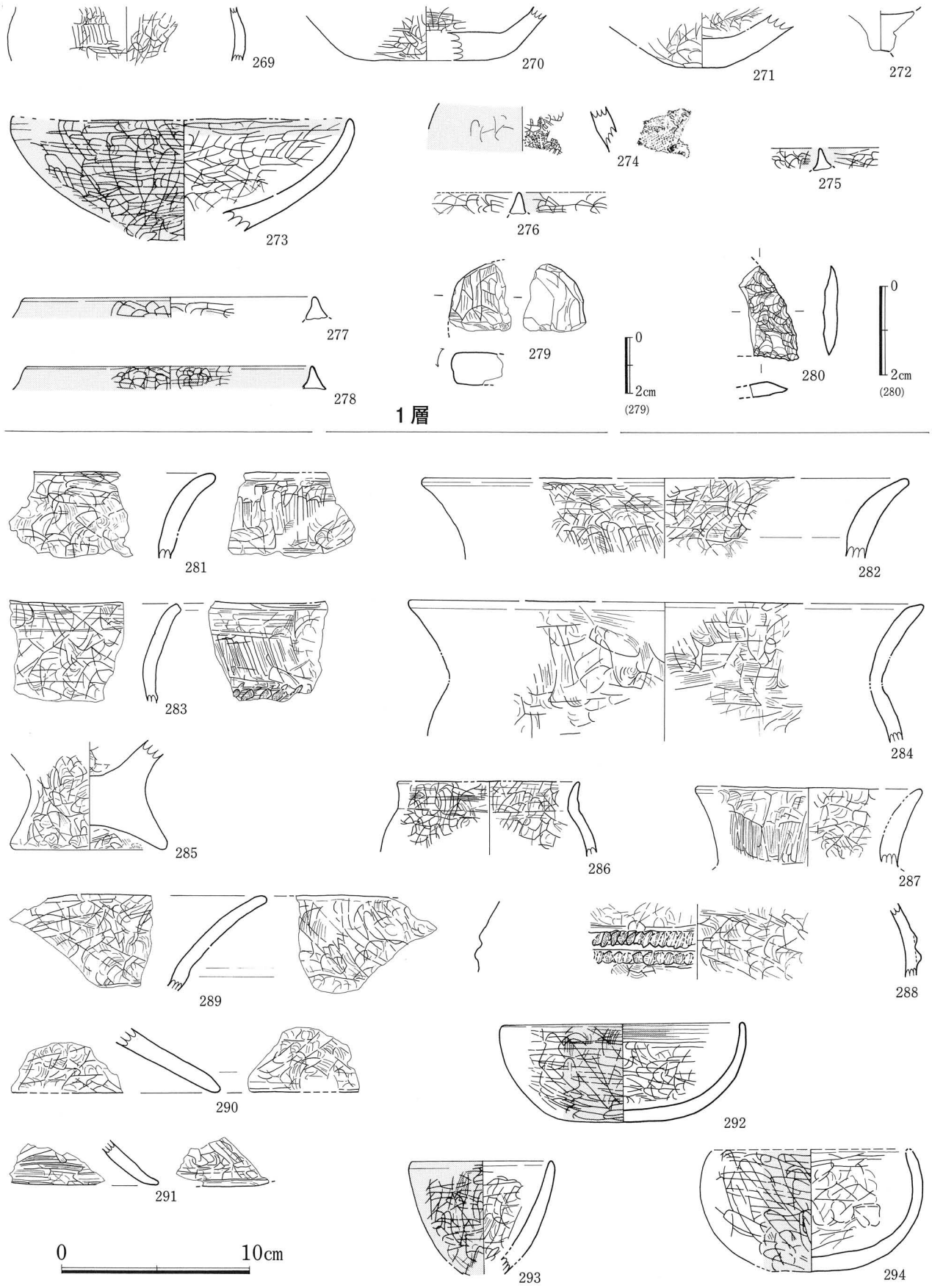
第28図　SA－03A－１層出土遺物実測図（1）



第29図　SA－03A－１層出土遺物実測図（2）



第30図　SA－03A　１層出土遺物実測図（3），２層出土遺物実測図

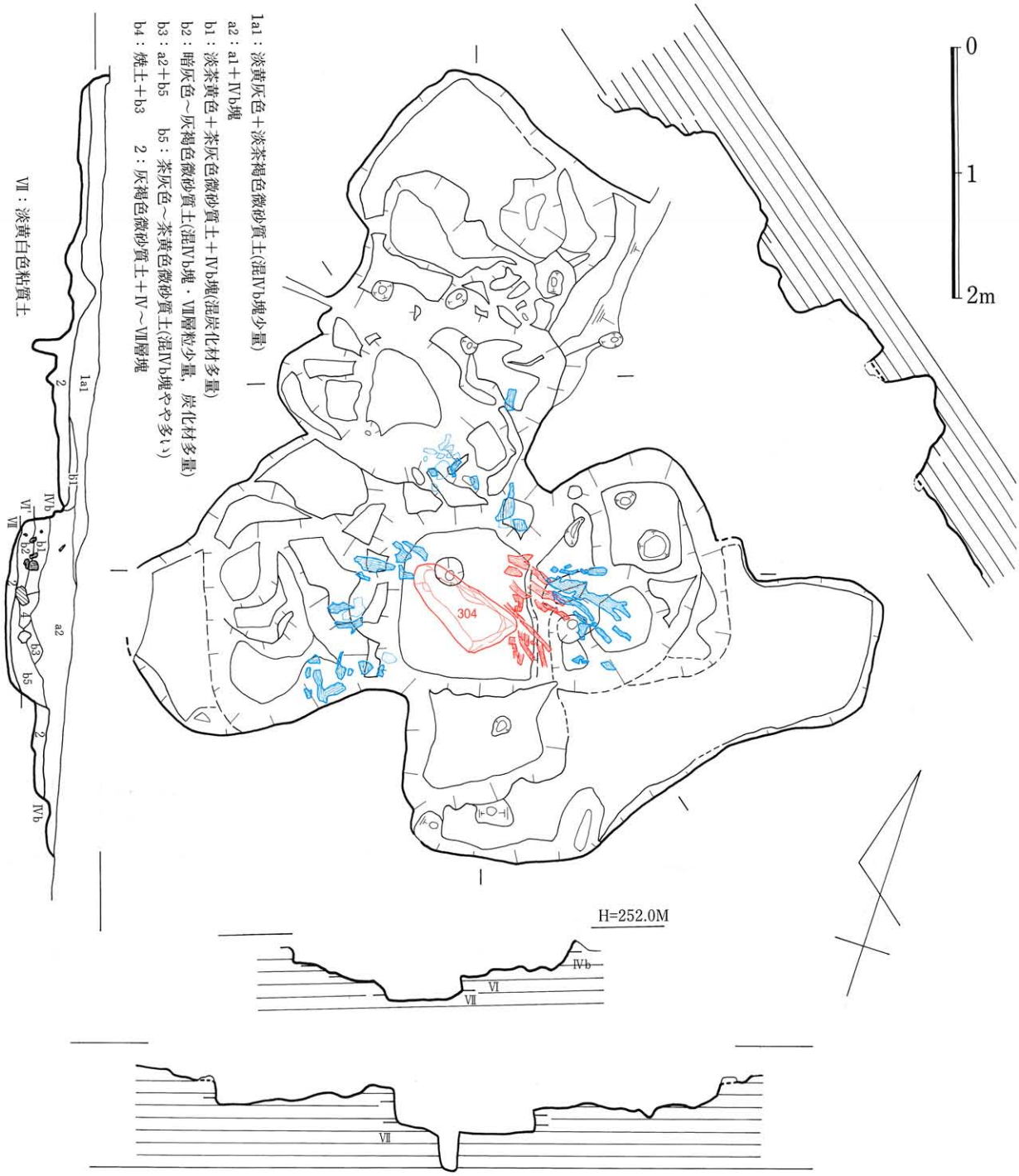


第31図　SA－03－1層・SA－03B－１層　出土遺物実測図

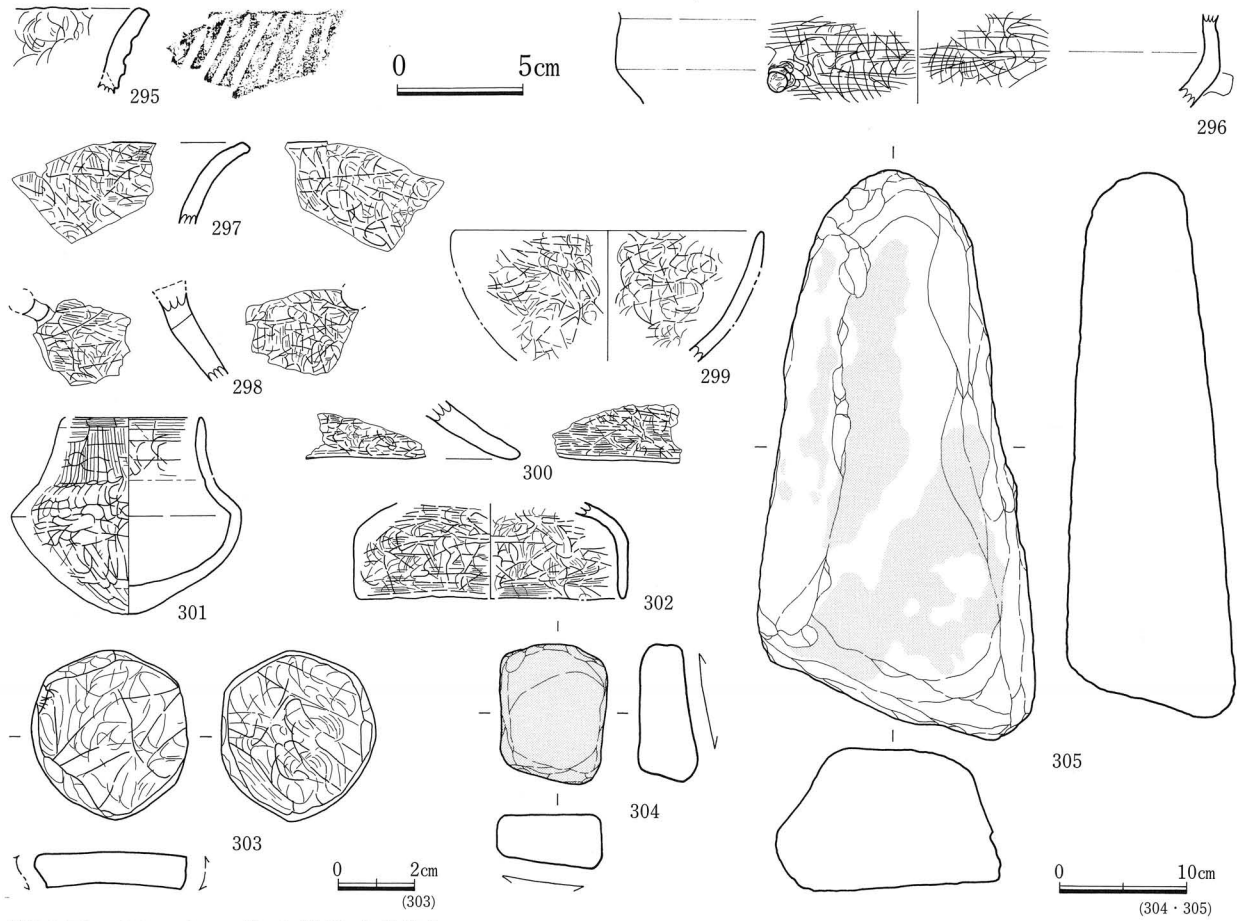
に多い。230・232の甕はB（間仕切り住居）に帰属すると思われる。鉄床石（267）は表皮が敲打によって弾け、擦痕も多いが、明瞭な被熱はない。

ＳＡ－04（第32図）

01号溝とⅣa1層掘り下げ後に検出した、東西6.2ｍ・南北6.3ｍの歪つな間仕切り住居であり、内区の形状と北西～西部の壁が方形に近いことから、方形基調を意識したものと判断する。西南端部と東南端部の平坦面はⅣｂ層を掘ってすぐに埋め戻したような、一般的な２層とは異なることから、本質的には除外するべきかもしれない。本来は、東西4.5ｍかもしれない。１層は、６～23㎝



第32図　SA－04　遺物実測図　　アミ目は焼土　　赤色：下部炭化材と鉄床石



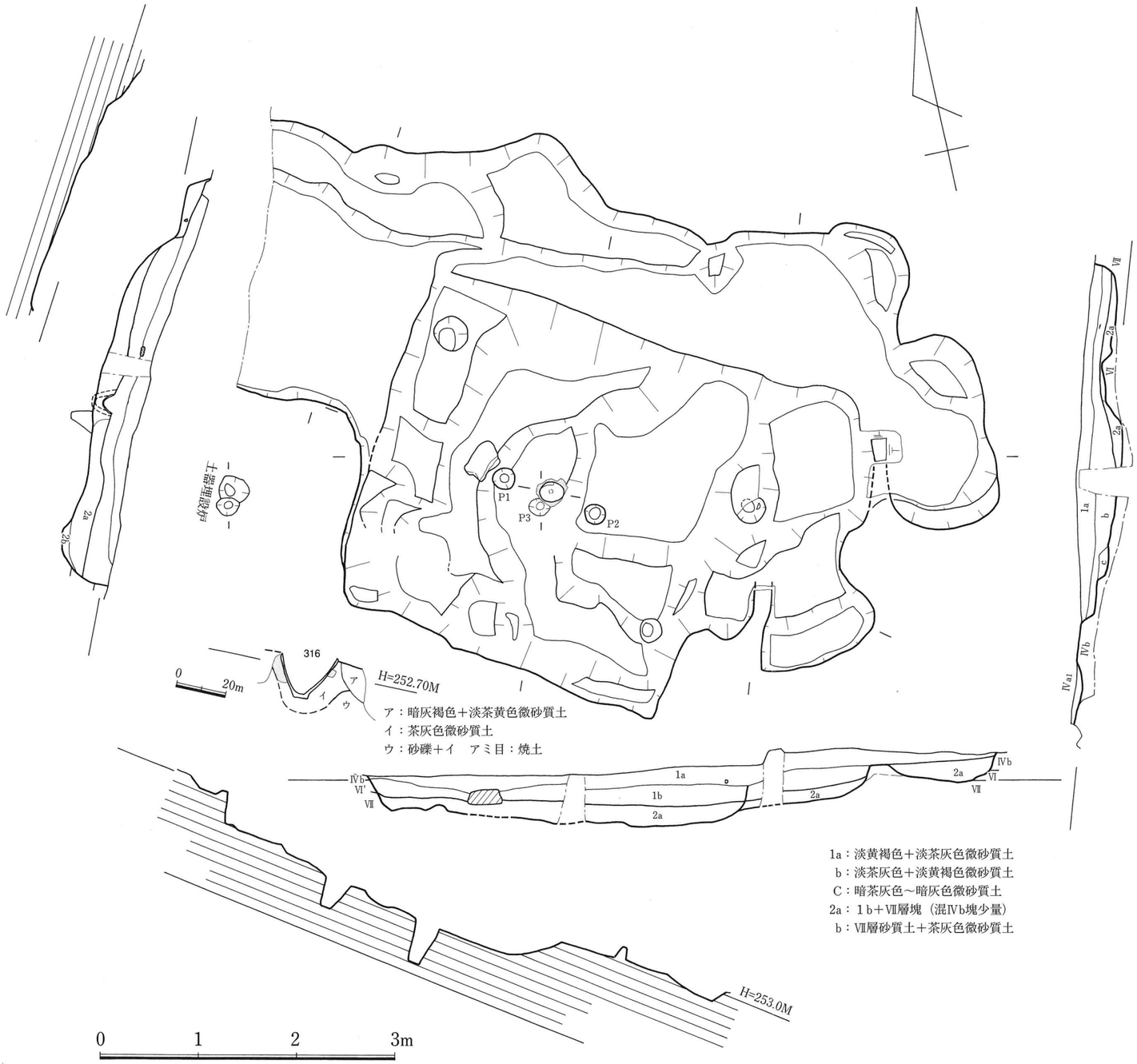
第33図　SA－04　出土遺物実測図

遺存し、南側中央部には東西1.2ｍ・南北1.4ｍ・深さ34～38cmの内区が構築され、４～８cmの貼床が施されている。肩部の西～北～東半部には、炭化材と焼土が多量にあり、被熱と擦痕・稜部敲打痕のある鉄床石（**305**）も流入する。ただし、床面や壁には明瞭な被熱痕跡が無い。炭化材と焼土を除去すると、北西寄りの位置で直径22～25cm・深さ33cmのpit（主柱穴と推定）を検出した。従って、炭化材と焼土は、廃絶後の放火によるものと推定される。その際、小型壷（**301**）を伴う祭祀が行われたようである。

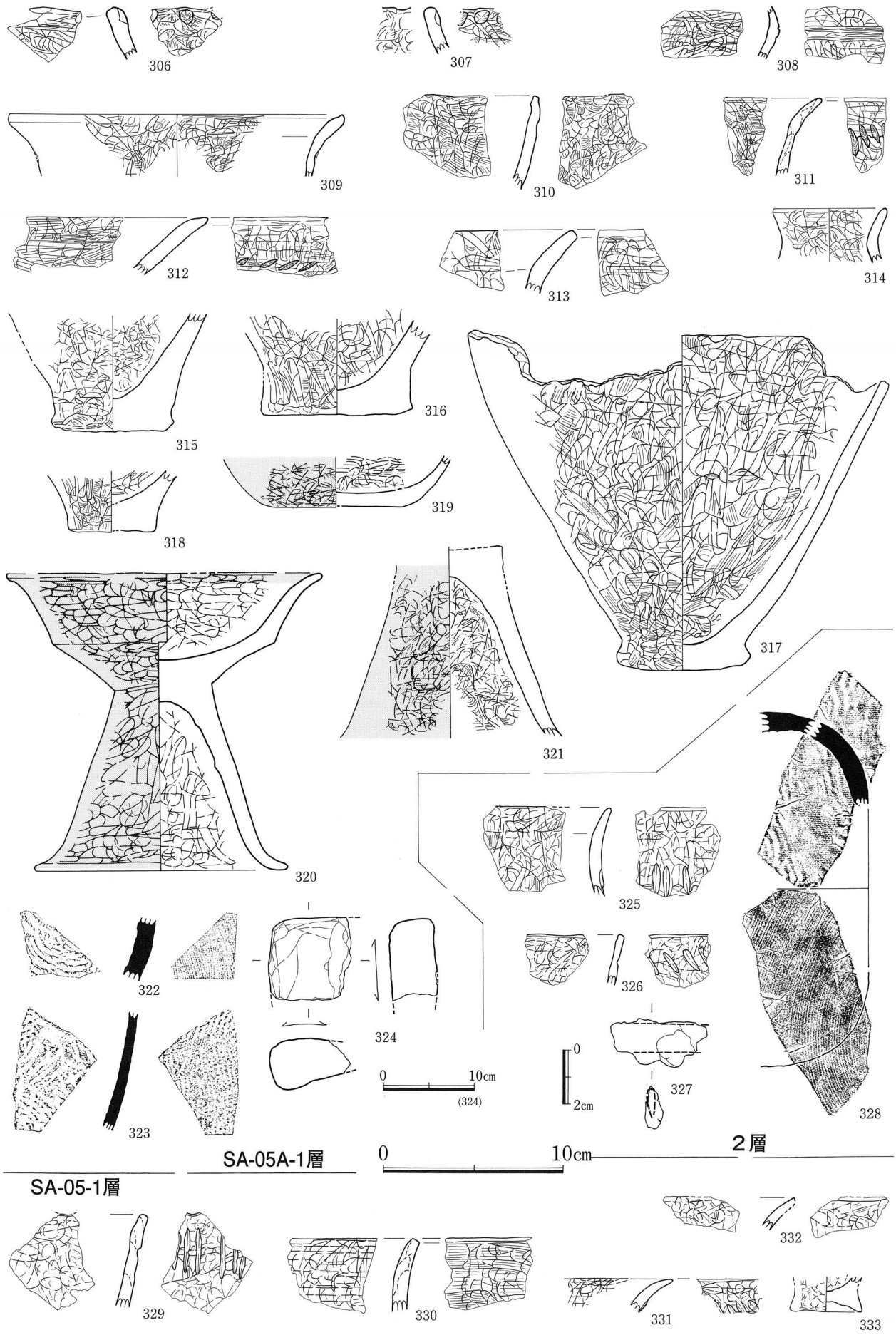
覆土から、縄文土器片５点のほか、弥生後期～古墳前期の土器片221点、須恵器片１点（混入か）、土製品１点、剥片等５点が出土しているが、小片が多い。２層の遺物は少なく、弥生後期～古墳前期の土器片８点が出土している。**304**は小型の台石であり、Ａ面～４側面はほぼ全面被熱し、Ａ面の中央付近～下部と右側面・左側面下半は黒色に熱変している。Ｂ面はやや平滑で、砥石的使用が推定される。

ＳＡ－05（第34図）

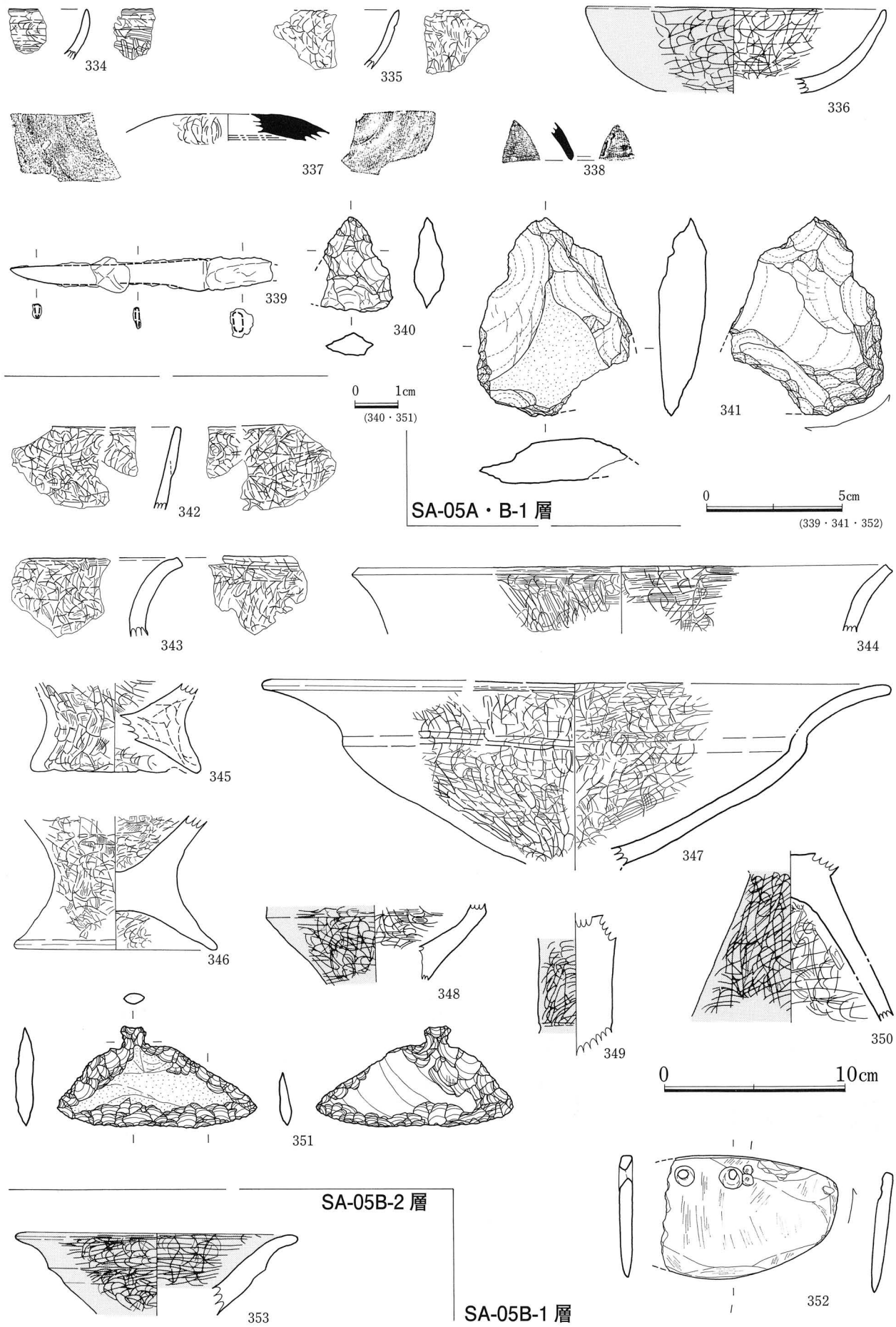
検出時は、東西８ｍ以上・南北６ｍ以上の歪つな間仕切り住居として検出した（Ｂ）が、最上層が覆う前に、長さ3.66ｍ・幅3.64ｍの方形住居（Ａ）が再構築されている。Ｐ３は初期（Ｂ）の柱穴と思われ、火処は不明である。再建時の主柱穴は２本（柱間1.1ｍ）で、直径20～22cm・深さ32・40cmを測る。その中央には、甕の口縁部を打ち欠いた土器埋設炉（**317**）がある。その掘形は



第34図　SA－05　遺構実測図



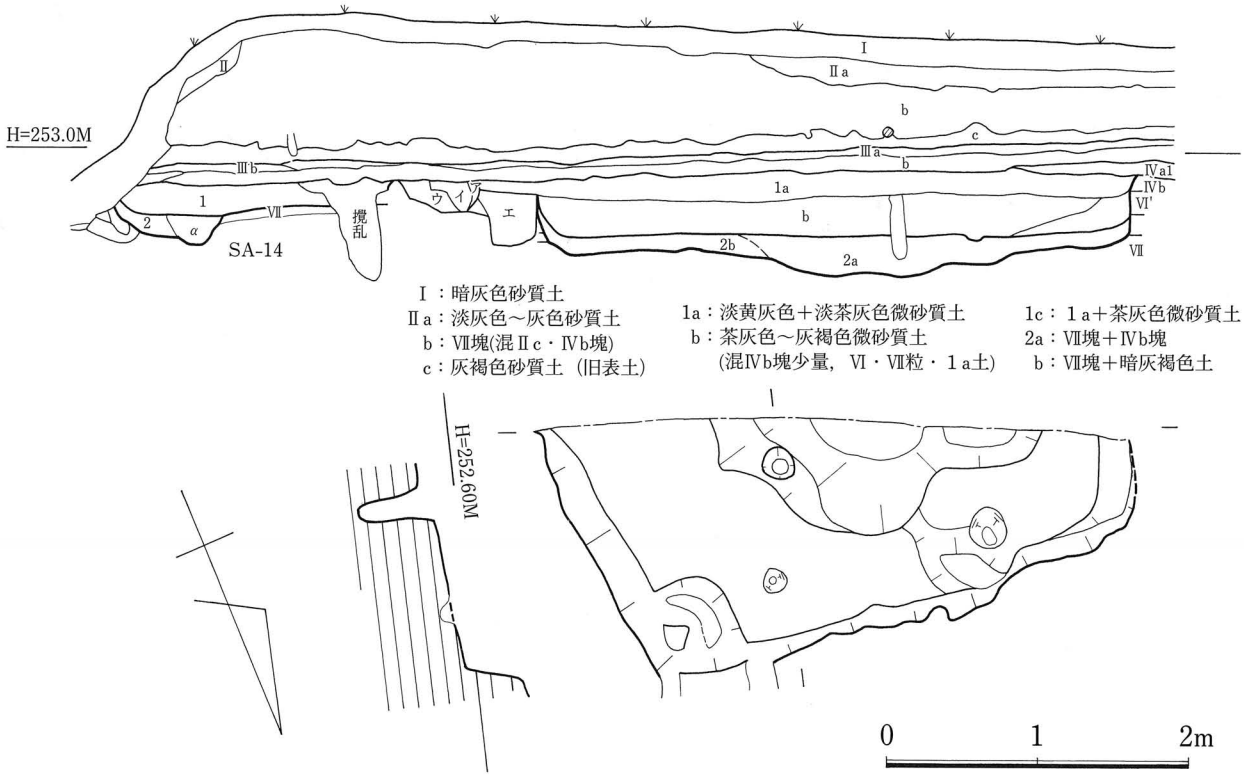
第35図　SA－05A－１・２層，SA－05－１層　出土遺物実測図



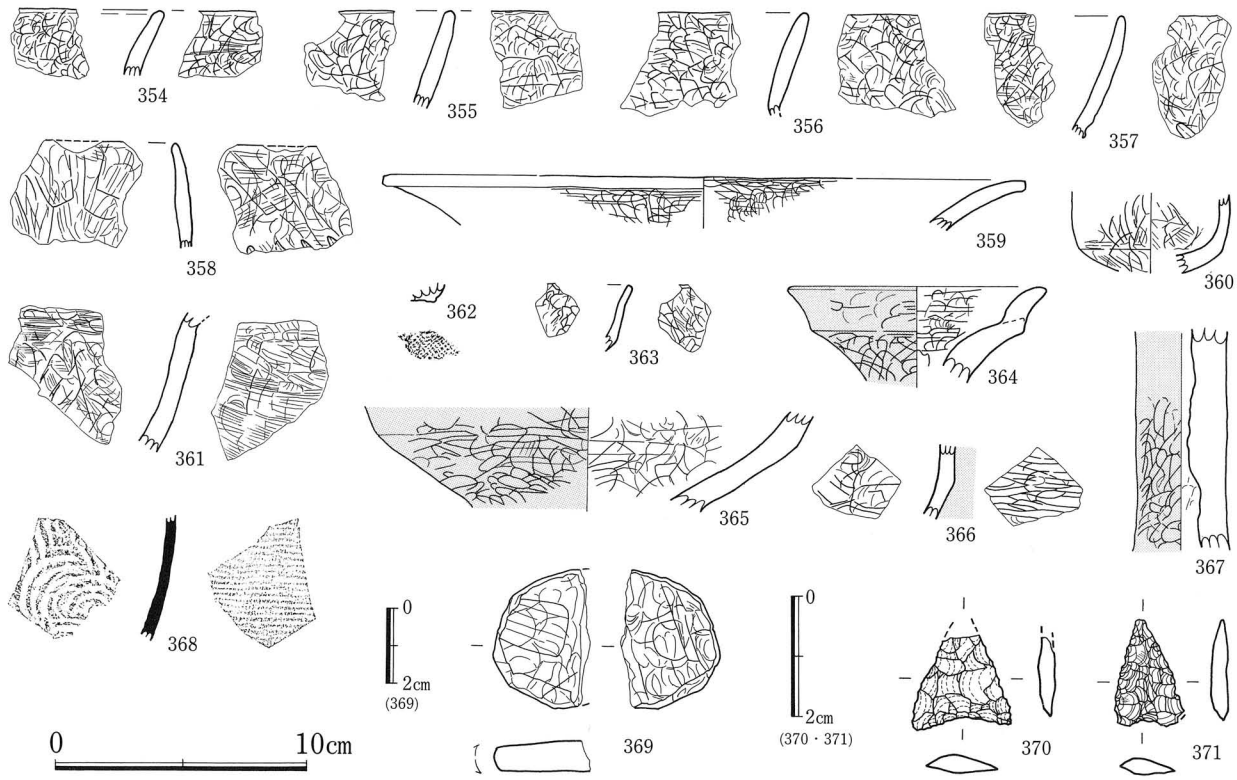
第36図　SA－05A・B－１層，SA－05B－１層・２層　出土遺物実測図

２層に僅かに達する程度である。覆土は10～40㎝あり、２層は14～20㎝の厚さがある。Ｂの中央付近床面には、淡灰白色粘質土（やや硬い）が敷かれている。主柱穴の主軸方位は、Ｎ57°Ｅである。

Ａ・Ｂ分離前の掘り込み時に、１層から縄文土器片10点のほか、弥生～土師器片601点、須恵器



第37図　SA－06　遺構実測図，南壁層序図

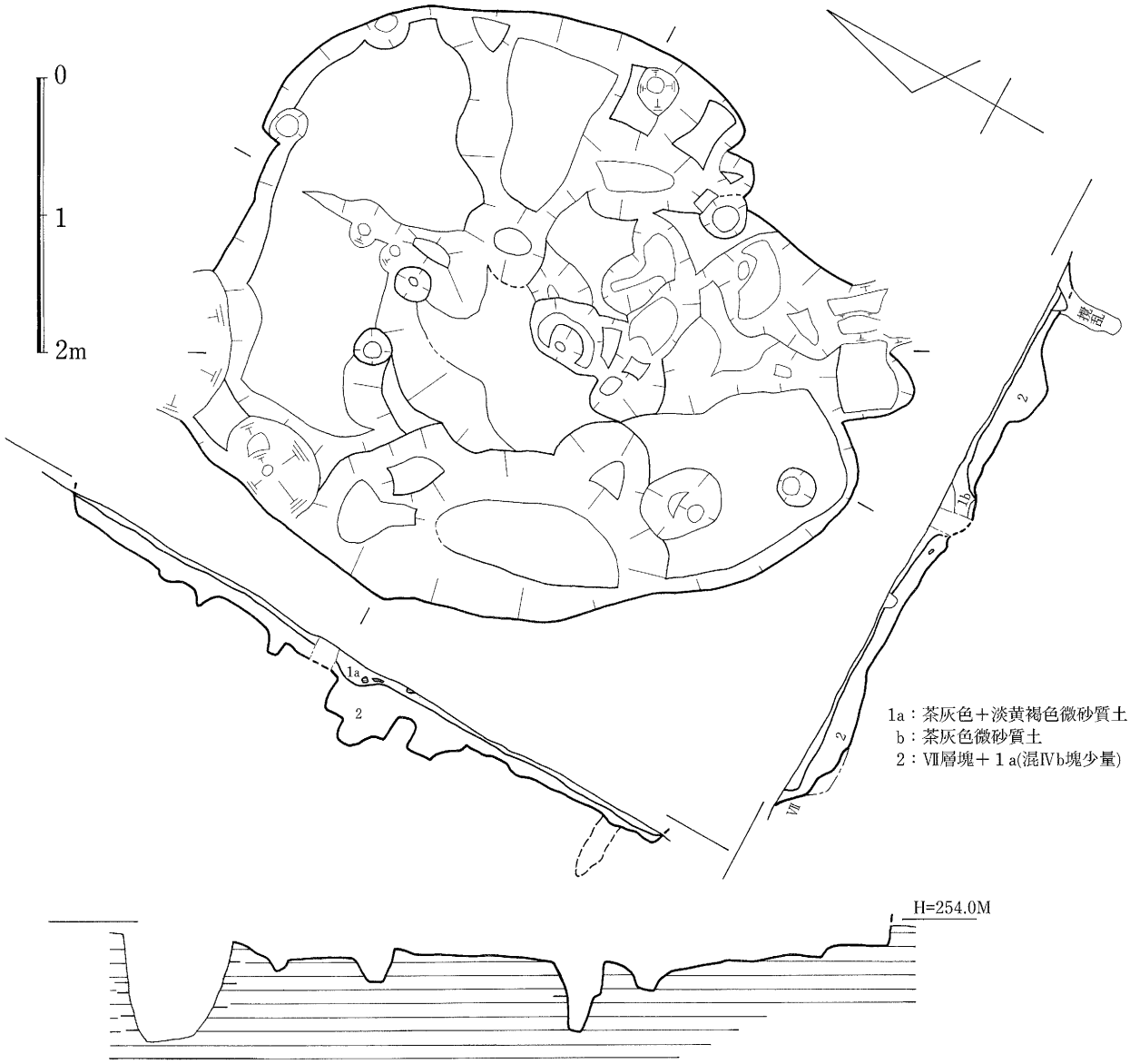


第38図　SA－06　出土遺物実測図

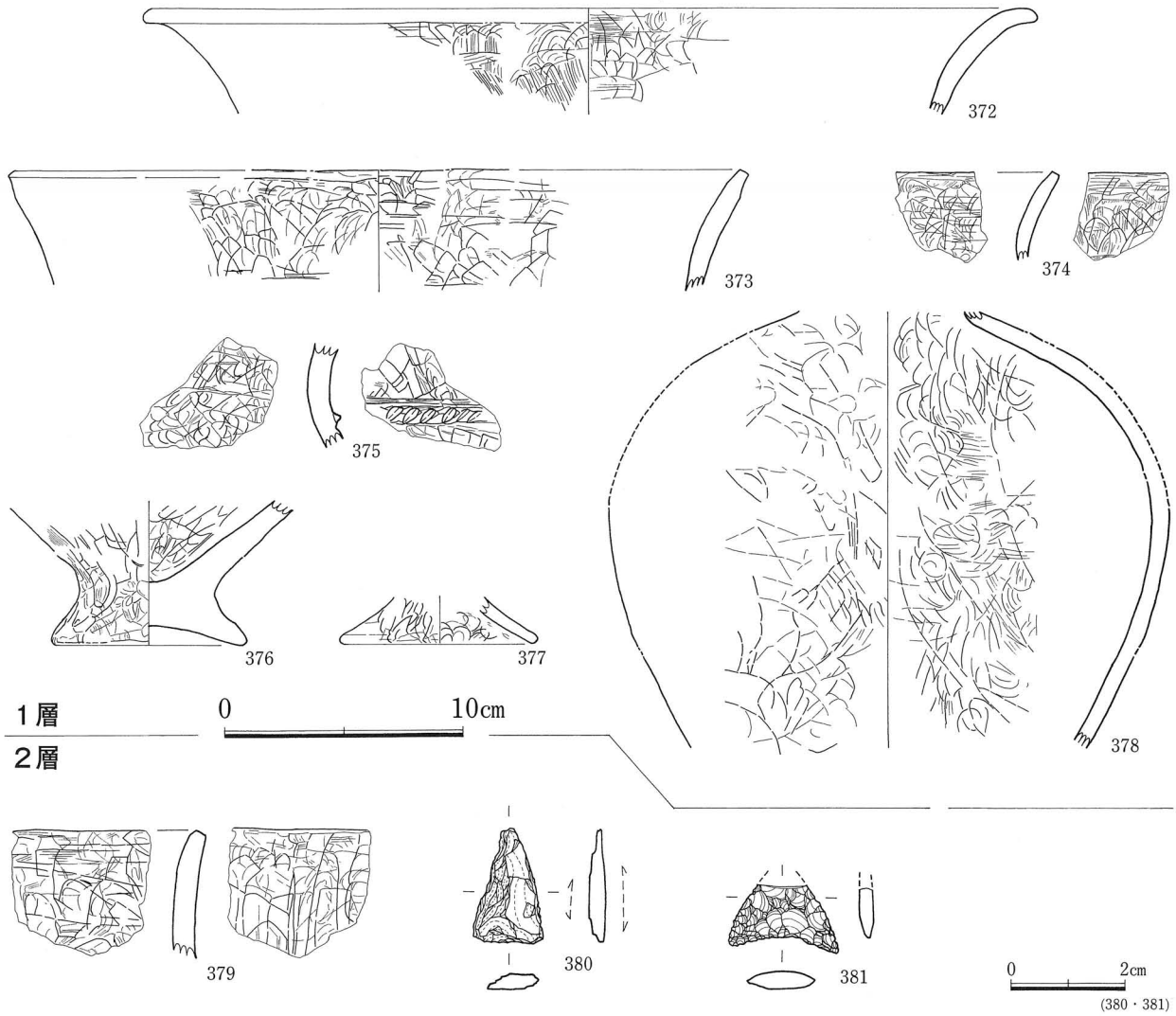
片１点、鉄器２点（327・339）、剥片等72点を、２層から弥生～土師器片155点のほか、須恵器片２点、剥片等13点を取り上げている。分離後のＡの１層から、土師器片176点のほか、須恵器片２点、剥片等12点を、２層から縄文土器片２点、土師器片14点、剥片等５点を取り上げている。なお、須恵器の坏身片（ＳＫ－37出土品に類似）も出土しているが、遺物出土状態の写真撮影時にはすでに紛失している。分離後Ｂの１層からは、縄文土器片５点のほか弥生～土師器片97点、剥片等13点を、２層から縄文土器片１点のほか、弥生～土師器片18点、剥片等２点が出土している。

Ａ（長方形住居）の１層出土品のうち、完形に近い丹塗り高坏（320）が唯一の床面付近の土器であり６世紀後半頃と推定される。Ａ・Ｂ混在の遺物（第36図上位）の大半は、Ａに伴うと思われる。

Ｂ本来の遺物は、高坏（347）と石包丁（352）であり、弥生時代後期の所産か。なお、Ｂ－２層として取り上げた丹塗り高坏（353）は混入で、Ａに帰属すると思われる。



第39図　SA－07　遺物実測図



第40図　SA－07　出土遺物実測図

ＳＡ－06（第37図）

東西3.5ｍ・南北1.8ｍ以上の隅円方形もしくは長方形である。覆土は、厚さ40～46㎝を測る。２層は10～24㎝の厚さで、締まりが弱い。底面南側に、直径22㎝・深さ36㎝の柱穴１を検出している。

覆土から、縄文土器片19点のほか、土師器片306点、須恵器片１点、剥片等７点、土器片加工円盤１点（**369**）が、２層から、土師器片２点と剥片等２点が出土している。須恵器を伴うことから、６世紀末～７世紀前葉の時期と推定される。

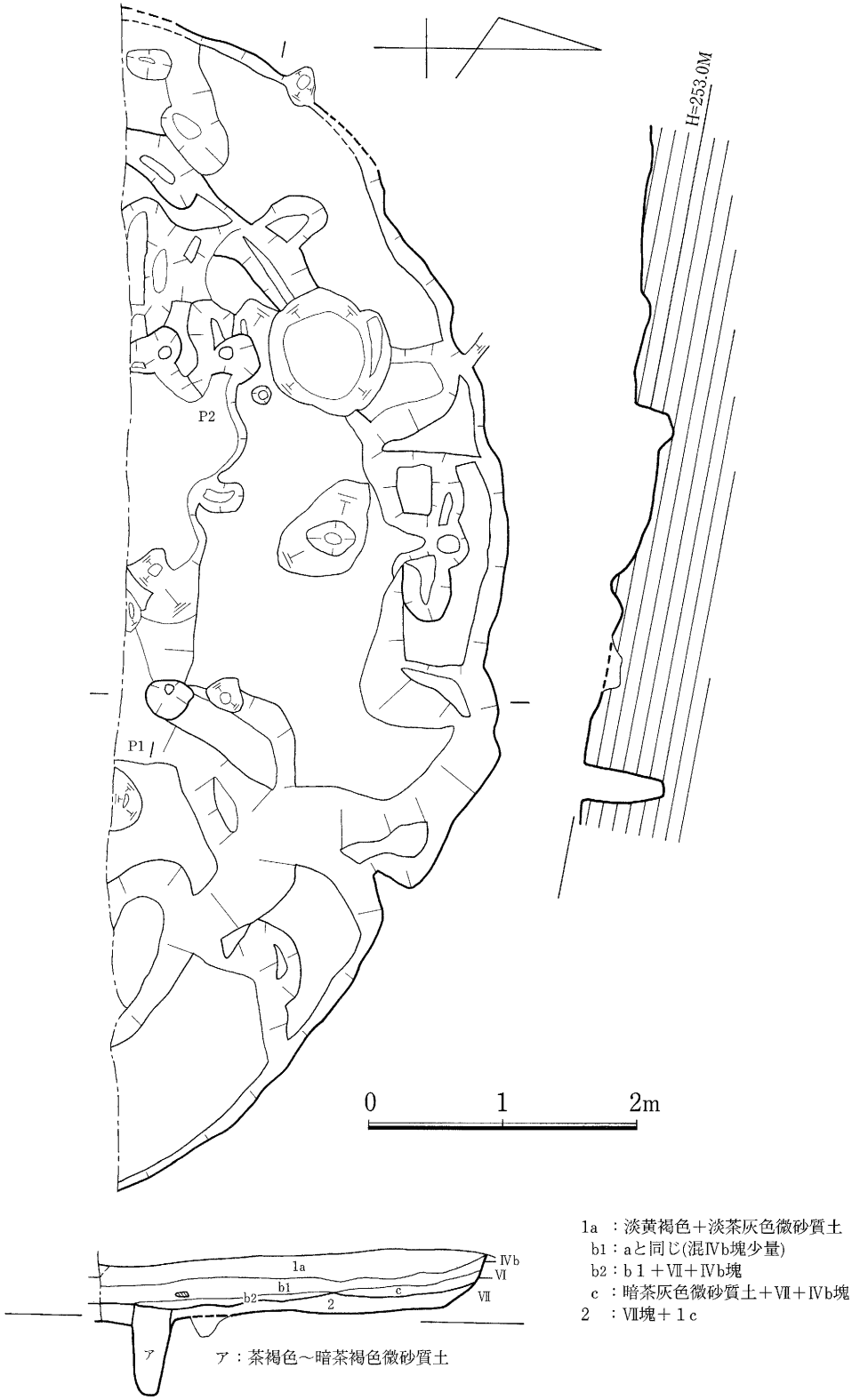
ＳＡ－07（第39図）

東西4.44ｍ・南北5.32ｍの範囲が遺存する円形基調の間仕切り住居である。北側と南側に間仕切りの名残がある。覆土は２～６㎝遺存し、土層的には40㎝以上の削失が推定される。これには外区を含むことが推定される。中央部には、長径56㎝・短径40㎝・深さ10～16㎝の土坑があるが、炭や焼土は検出されない。２層は４～20㎝施され、中央付近や西側は土坑状掘り込みがあるが、機能していない。主柱穴は、不明である。

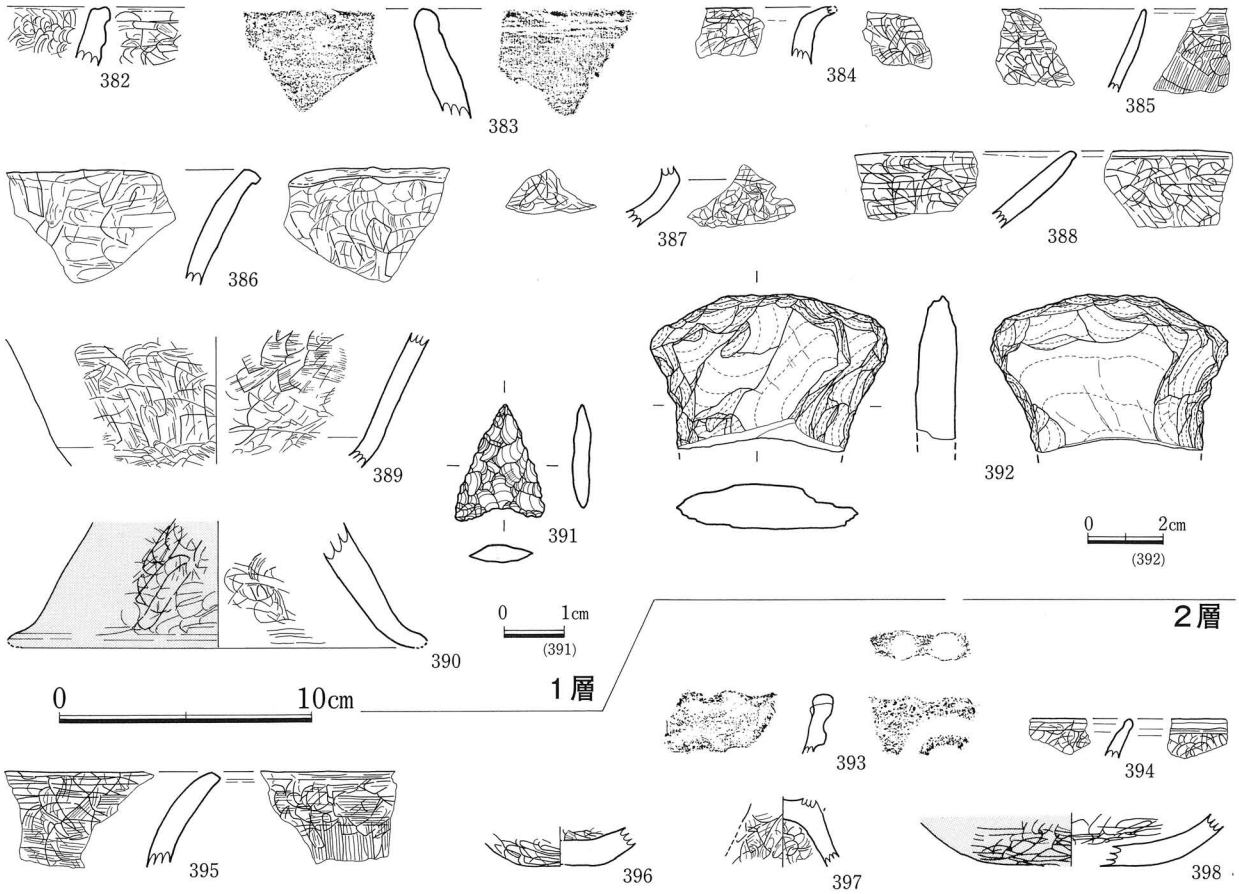
覆土から、縄文土器片１点のほか、弥生～土師器片294点、剥片等13点が、２層から縄文土器片５点のほか、弥生～土師器片54点、剥片等23点が出土している。遺物は小片が多く、特筆すべきものは無い。年代の決め手に欠けるが、古墳時代前期前葉か。

ＳＡ－08（第41図）

09号住居を切り、南側は１ｍ以上削平されているために遺存していない。推定直径10.0ｍの円形



第41図　SA－08　遺構実測図



第42図　SA－08　出土遺物実測図

を呈し、北東部に僅かに間仕切りの名残がある。西～北中央の掘形から0.5～１ｍには、幅30～40㎝・深さ３～12㎝の初期の壁溝が遺存する。東側1/3は、当初の掘形のままである。拡幅部分は、ベッド状遺構として、１段高くなっている。Ｐ１は２層上面から掘り込まれており、拡幅時の柱穴と推定される。Ｐ２は浅く、主柱穴ではないかもしれないが、４～６本柱の建物と思われる。覆土は30～36㎝、２層は８～15㎝の厚さがある。

覆土から、縄文土器片19点のほか、土師器片270点、剥片等21点が、２層から縄文土器片８点のほか、土師器片75点、剥片等16点が出土している。小片が多く、図化できたものは僅かである。高坏（**390**）等から、５世紀代と推定する。

ＳＡ－09（第43図）

開墾によって30㎝程の削平を受け、南縁も削失しているが凡そは把握できる。東西約８ｍ・南北約７ｍの円形基調の間仕切り住居で、内区は3.1×4.5ｍの楕円形を呈し15～32㎝低くなる。主柱穴は４本であるが、位置と数量から、２～３回の建替があったと思われる。覆土は５～45㎝遺存し、２層は、８～34㎝の厚さがある。南側中央には、掘形を伴う河原石17個が据え置かれた状態で出土しており、廃絶後の２次的利用がみられる。河原石の半数は被熱し、うち１例（**468**）には弾けがみられる。

覆土から、縄文土器片62点のほか、弥生～土師器片1460点、三角形の鉄片（**455**）１点、打製石

斧・擦石・敲石（462・463・465・466）、剥片等200点が、２層から縄文土器片３点のほか、弥生～土師器片360点、碧玉製管玉（461）、剥片等36点が出土している。近世後半以降の座棺墓ＳＫ－11から出土した鉄鏃の茎部（第９図－57）は、当住居に帰属する。

419は、弥生時代終末の高坏を蓋に転用した土器であり、住居の年代を示している。甕の底部（424）や高坏（435～444）等、主として弥生時代終末～古墳時代前期前葉と思われる。鉄床石（464）と三角形の鉄片の出土は、小鍛冶を想定させるが、鍛造剥片等は未検出である。管玉は、深緑色の良質な碧玉製と思われるが、流れ込みである。

ＳＡ－10（第48図）

地層的には、北半部では40㎝程の削失が推定され、4.7×５ｍ程が遺存する。西辺南寄りには突出部が、東部中央には、突出部的な掘り残しがある。覆土は30～52㎝が遺存し、中央部は１辺2.28ｍの方形に18～24㎝低くなる。２層は、厚さ６～26㎝を測る。主柱穴に注目すると、２本柱（Ｐ１・２）から４本柱（Ｐ３～６）への建替が想定される。２本柱は直径22～31㎝・深さ44㎝を測り、４本柱は直径18～26㎝・深さ25～53㎝を測る。

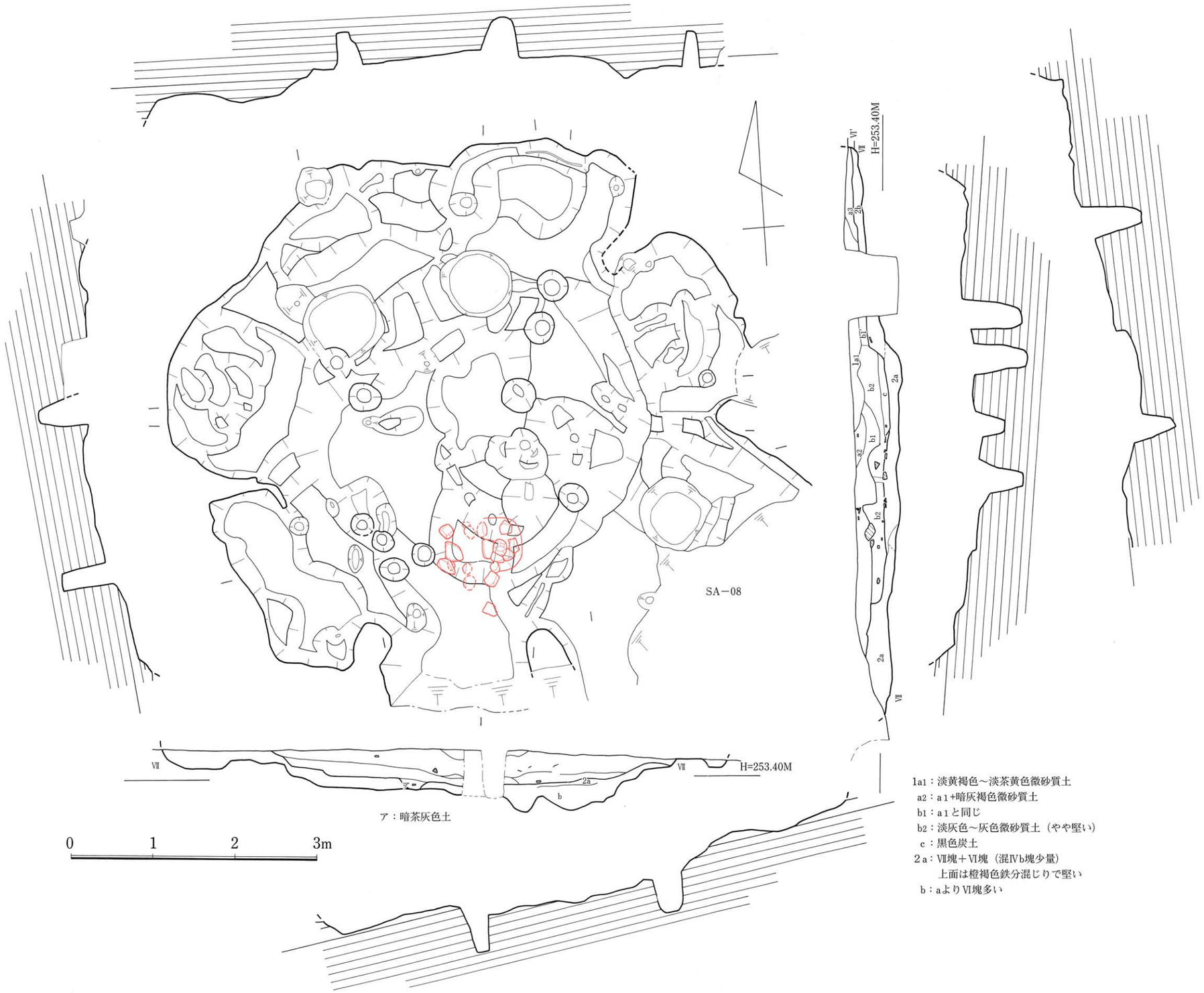
覆土から、縄文土器片67点のほか、弥生～土師器片867点、砥石（527）や剥片ほか29点が、２層から弥生～土師器片105点、剥片等11点が出土した。１a層出土遺物は全て流れ込みで、507や508の鉢類は新しい要素である。１ｂ層出土の遺物の多くは床面に近く、住居の廃棄年代を示すが、514の甕や520～522の小型壷類から、古墳時代前期と推定される。砥石の主要面には著しい光沢がみられる。なお、排土中からガラス小玉１（536）を採取しており、当住居に帰属すると思われる。

ＳＡ－11（第52図）

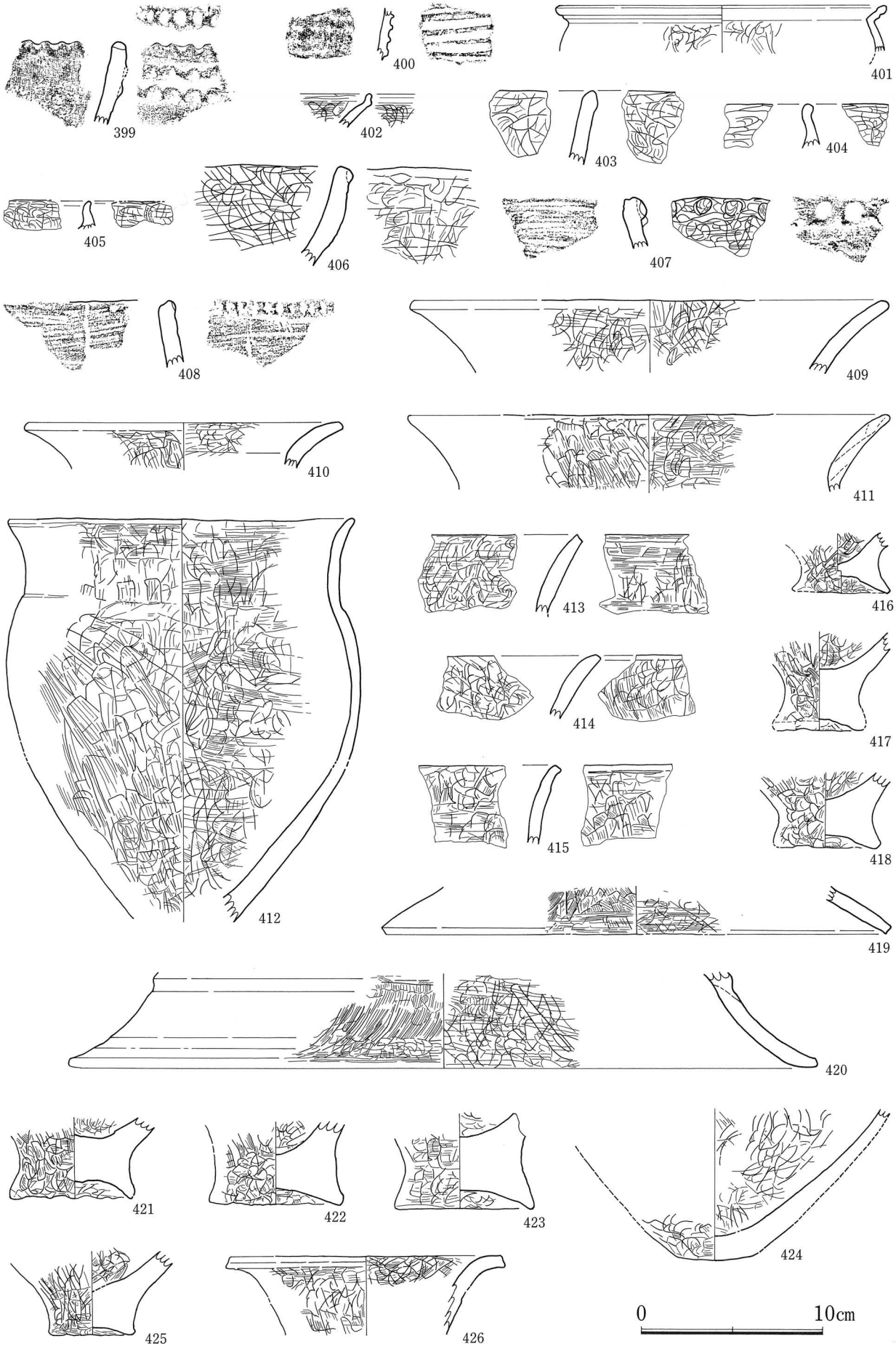
県試掘坑を掘り上げ、埋没住居中央の凹みに溜まった古代～中世前半の黒～灰色系の最上層（１a1・a2層）を掘り下げ、周辺も含めたⅣa1層を掘り下げ、サブトレンチを多用した結果、直径10ｍ前後の間仕切り住居状のプランが不明瞭ながらも検出された。さらに10㎝程を掘り下げると、南２ヶ所に突出部のある円形住居が明瞭に検出できた。１a層からは、縄文土器片155点のほか、弥生～土師器片276点、剥片等31点が出土している。

間仕切り状の外縁部は貼床もみられず、自然の造形とみなした。本質的には、長径7.20ｍ・短径6.80ｍの円形を基調とする住居であり、南西に幅0.8ｍ・深さ６㎝の小突出があり、1.34ｍ隔てて、幅1.75ｍ・深さ４～６㎝の突出部があり、両方とも貼床と硬化面は無いものの、出入口的機能が推定される。外区は、1.2～1.5ｍ幅で一段高い。内区は、直径4.5～4.7ｍの円形で、10～20㎝の深さがある。中央には直径１ｍの混炭土があり、地床炉と思われる。主柱穴は４本（Ｐ１～４）で、直径30～50㎝・深さ42～92㎝を測る。Ｐ５・６は深さ30㎝で、補助的柱穴の可能性がある。

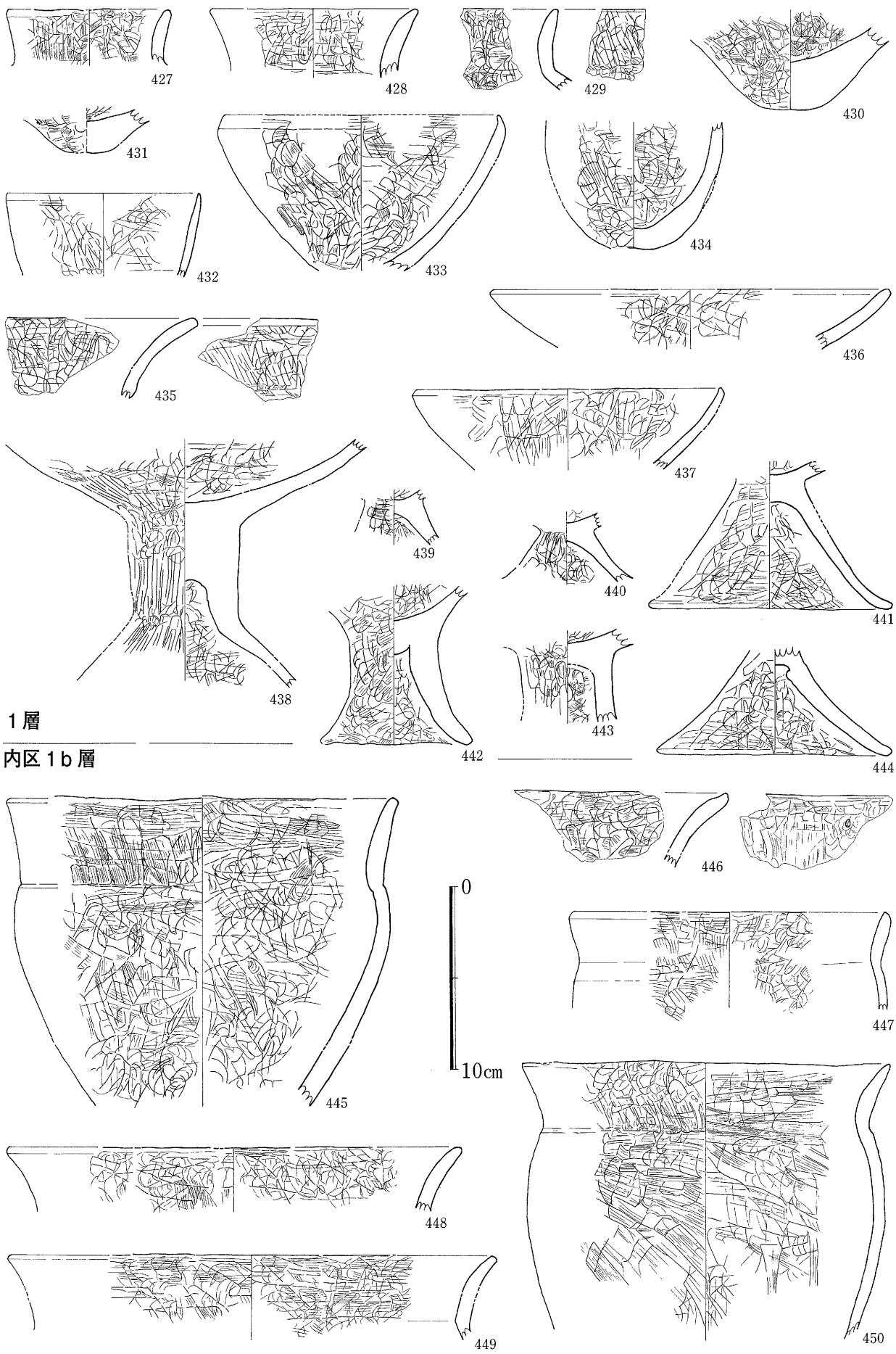
覆土は５～40㎝、２層は10～26㎝の厚さがある。２層の最上位には、やや硬い淡灰色混砂粘質土が使用され、締まった床面になっている。Ｐ２の東１ｍには、同類の粘質土が空洞部に取り巻いた状態の木痕があり、粘質土を採取・利用した可能性がある。



第43図　SA－09　遺構実測図

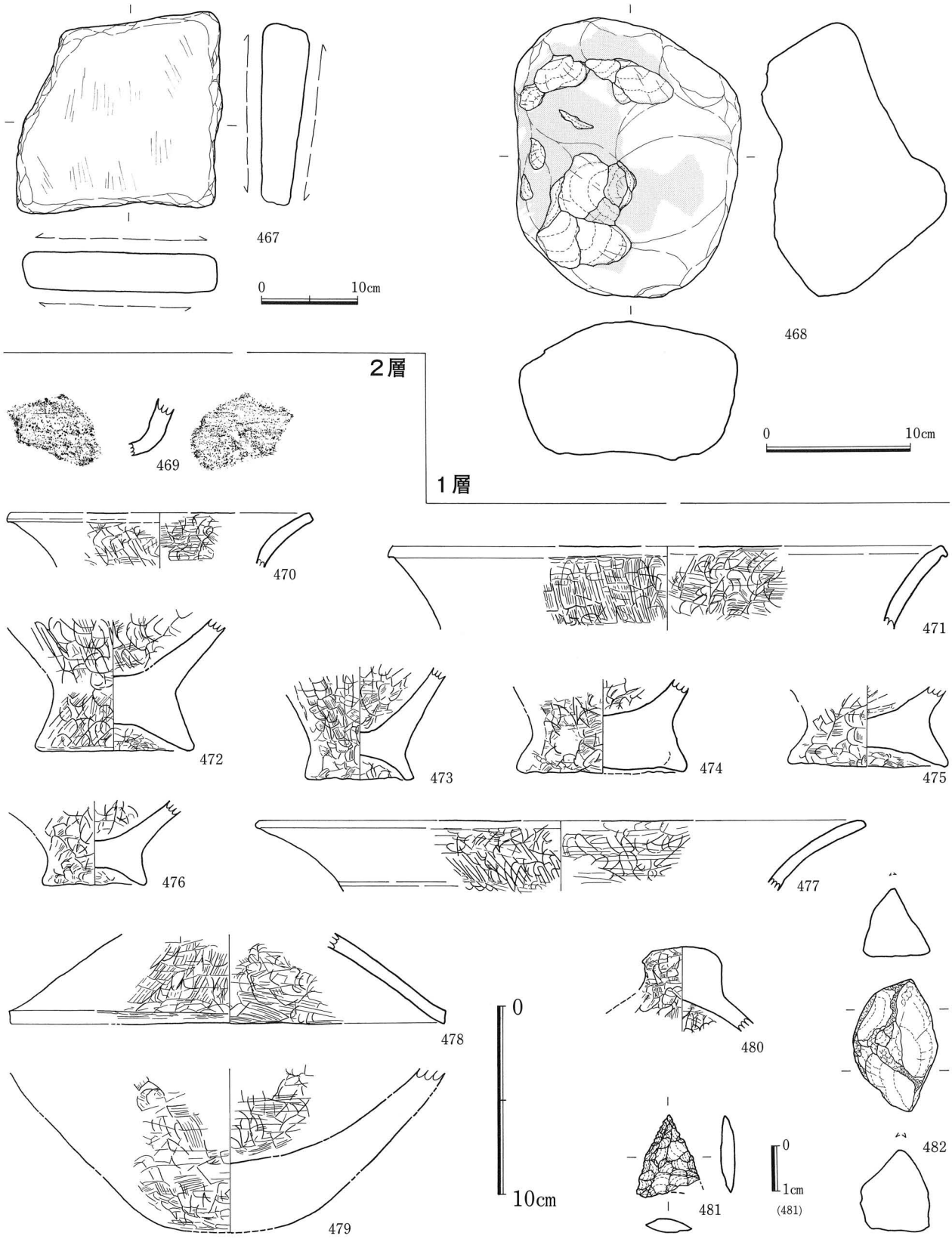


第44図　SA－09　出土遺物実測図（1）　　1層

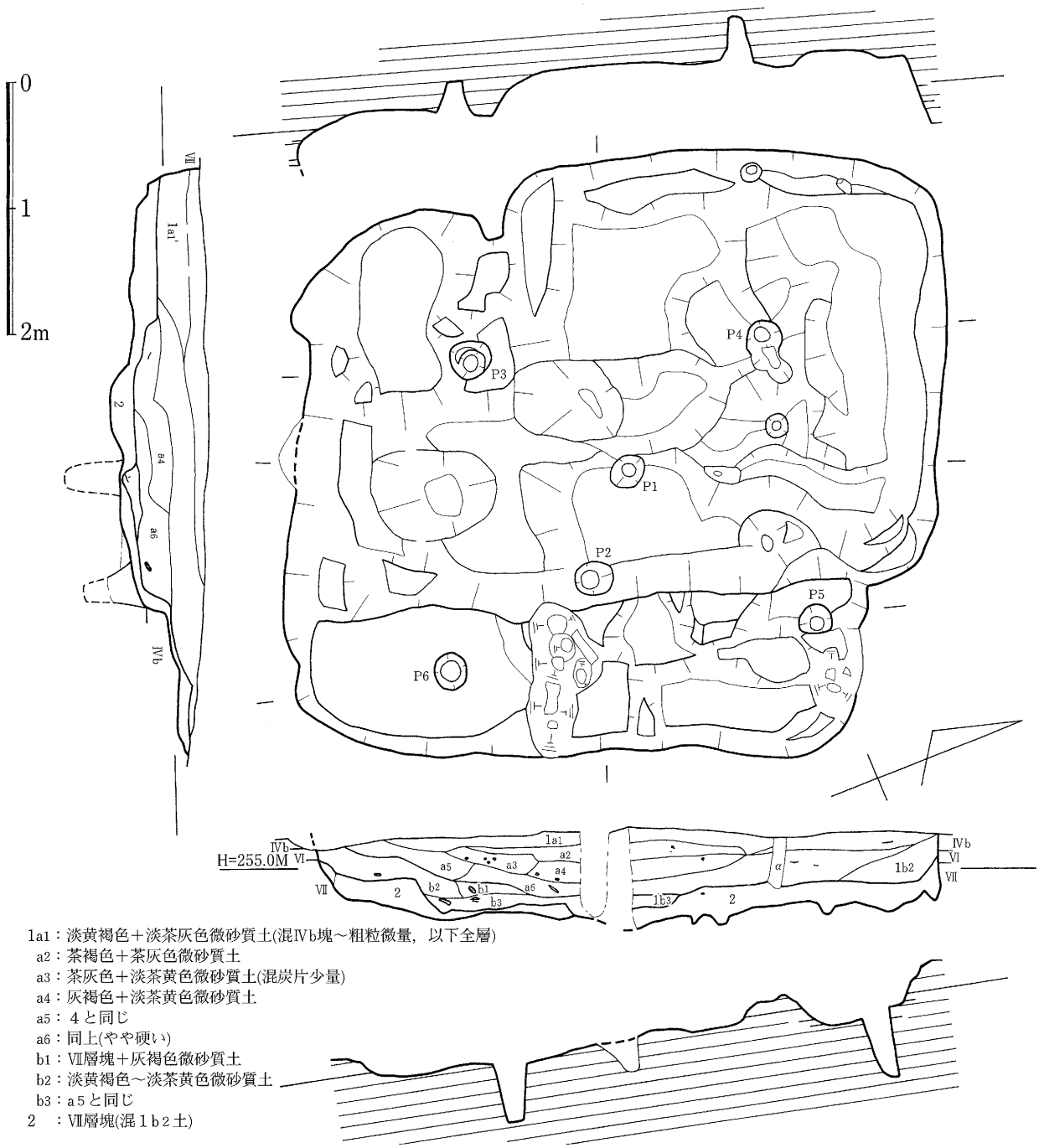


第45図　SA－09　出土遺物実測図（2）　　1層，内区1b層

第46図　SA－09　出土遺物実測図（3）　　内区1b層出土土器・鉄器，1層出土石器



第47図　SA－09　出土遺物実測図（4）

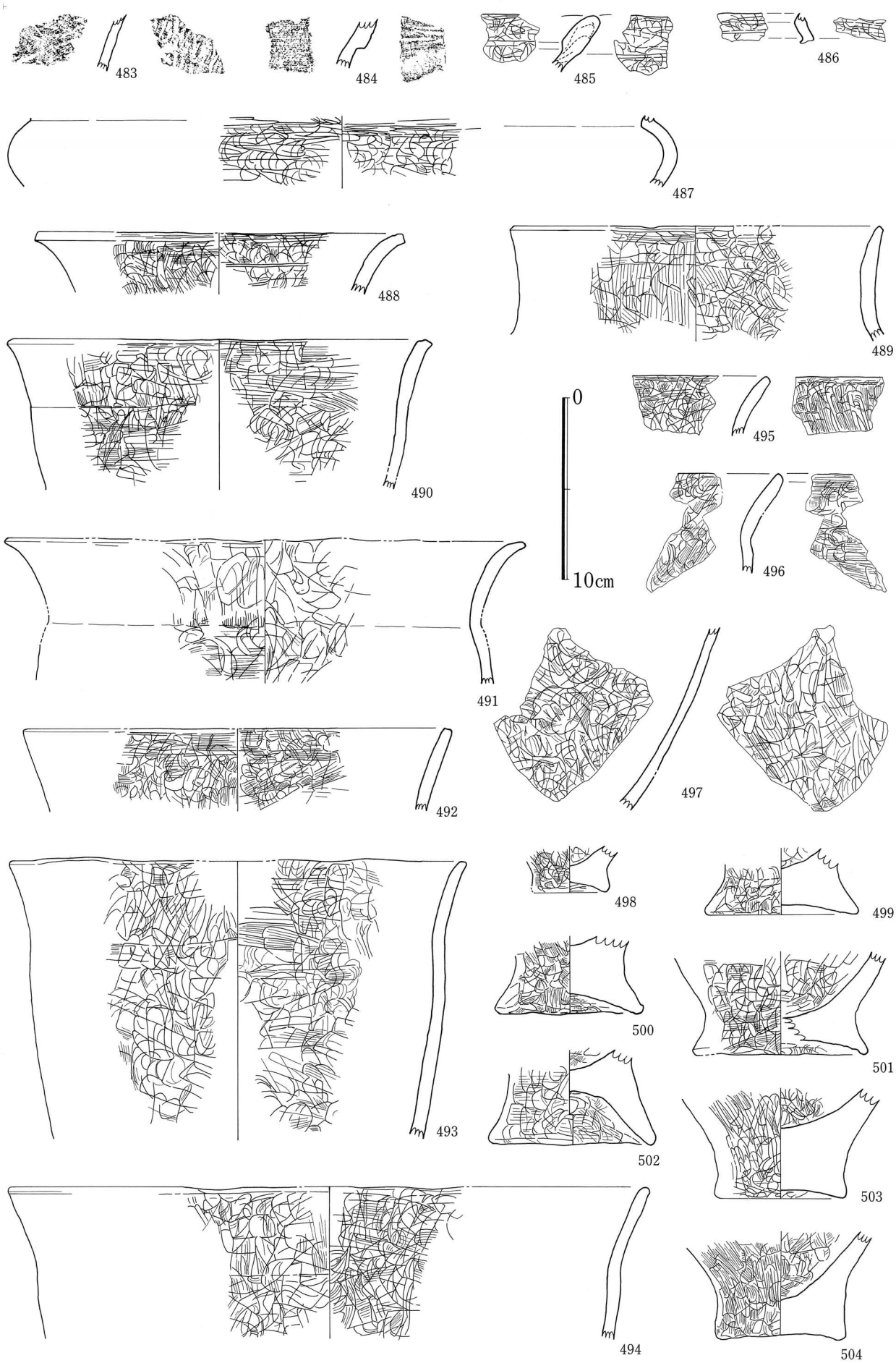


第48図　SA－10　遺構実測図

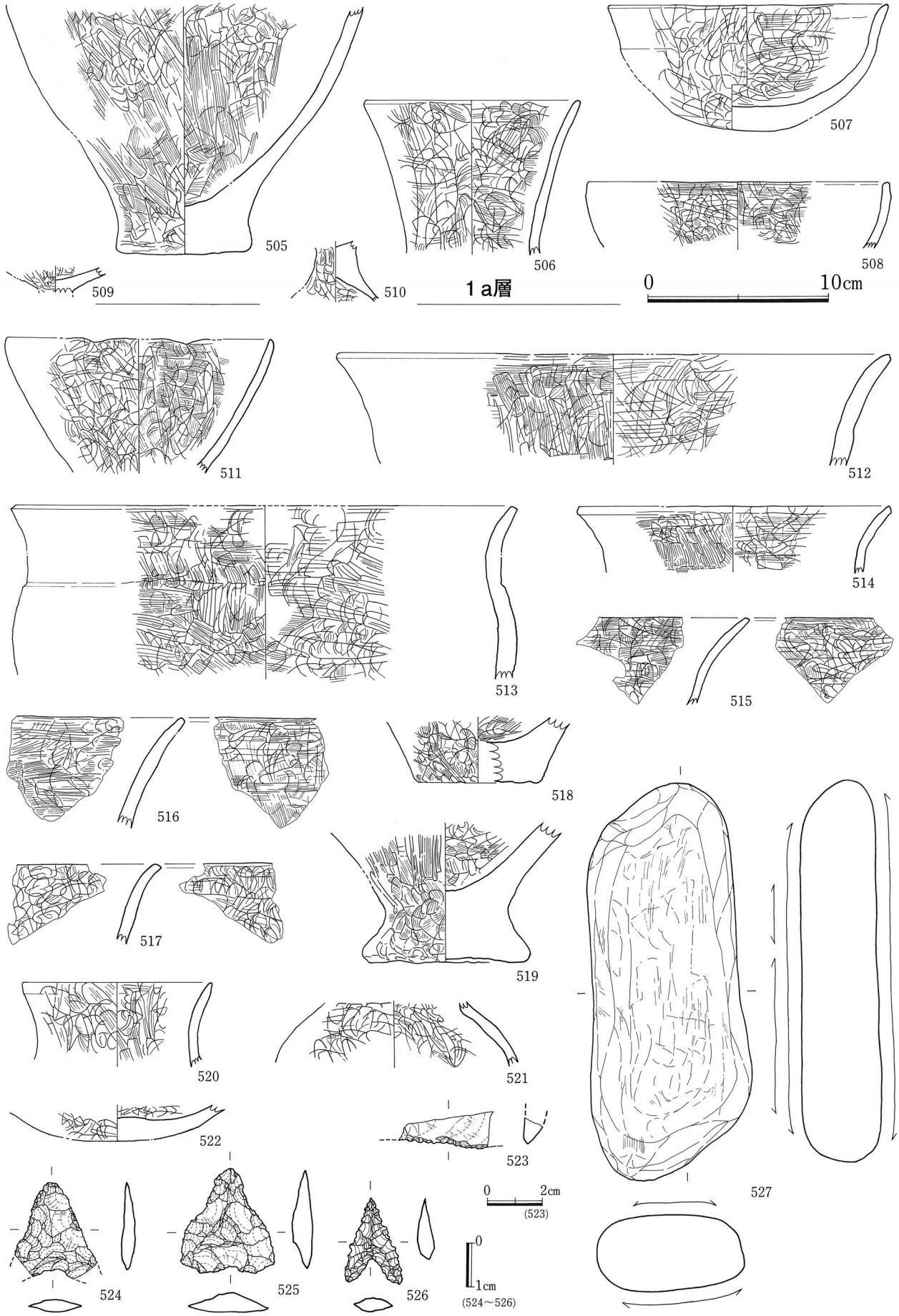
出土遺物も多く、覆土から、縄文土器片161点のほか、土師器片693点、砥石１点（573）、剥片等47点が、２層から弥生～土師器片16点と剥片等４点が出土している。台石（574）は、南側の内外区の境において床面よりも２～６㎝上位で出土している。小型壷（563～567）や高坏（570）から、古墳時代前期後半の４世紀後半頃と推定される。

ＳＡ－12（第55図）

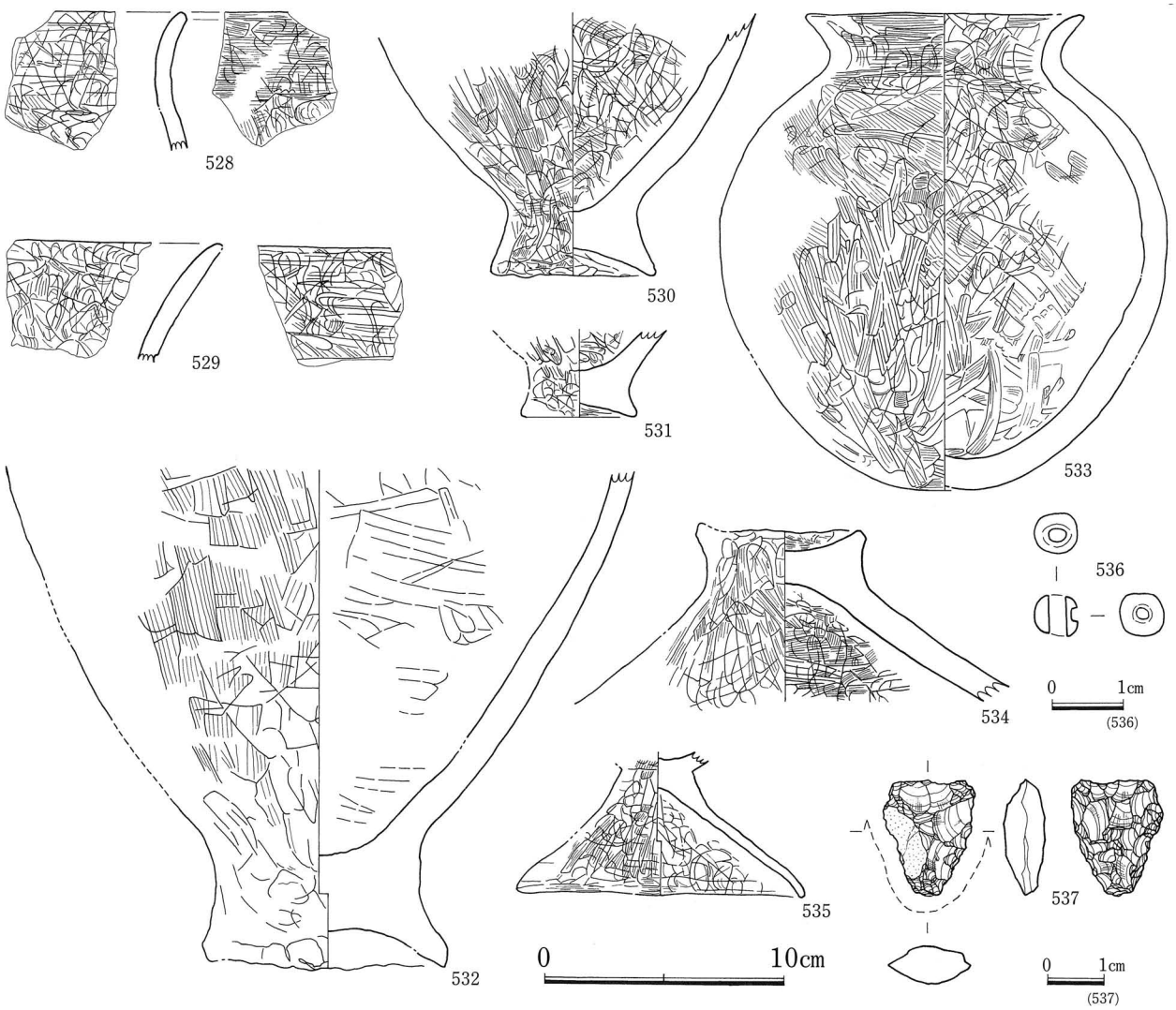
11号住居と同様の黒灰色～暗灰色土が直径４～4.5ｍに広がっており、竪穴住居の存在を明示していた。この１a層とⅣa1層を剥ぎ、遺構検出に努めたが、検出困難な遺構と判明したことからサブトレンチを多用し、面的掘り下げも実施したところ、６×７ｍ程の方形基調の間仕切り住居（A）を検出した。１a層からは、縄文土器片10点のほか、弥生～土師器片13点、剥片等３点が出



第49図　SA－10　1・1a層出土遺物実測図



第50図　SA－10　1a・b層出土遺物実測図

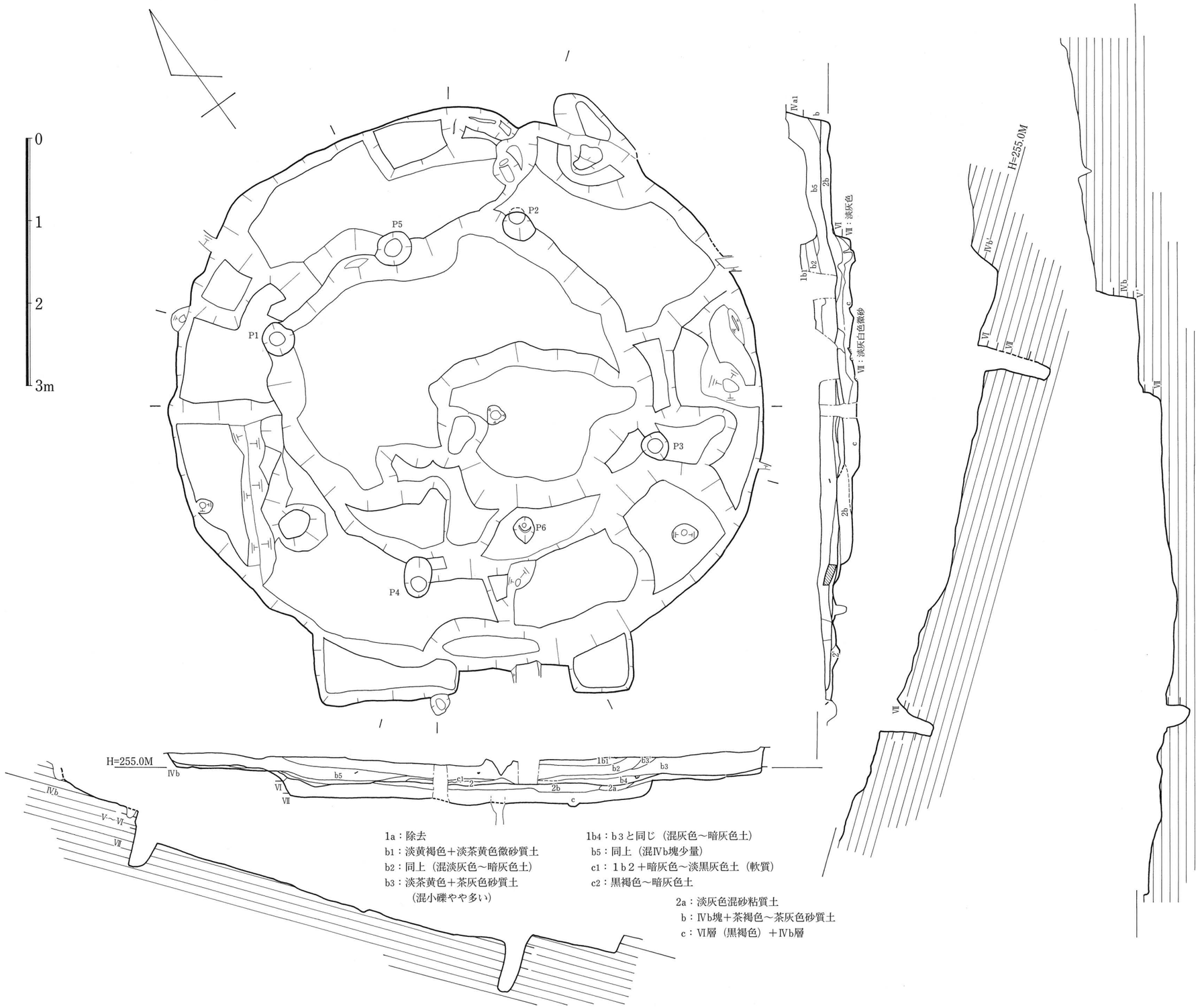


第51図　SA－10　２層出土遺物実測図　　536は排土

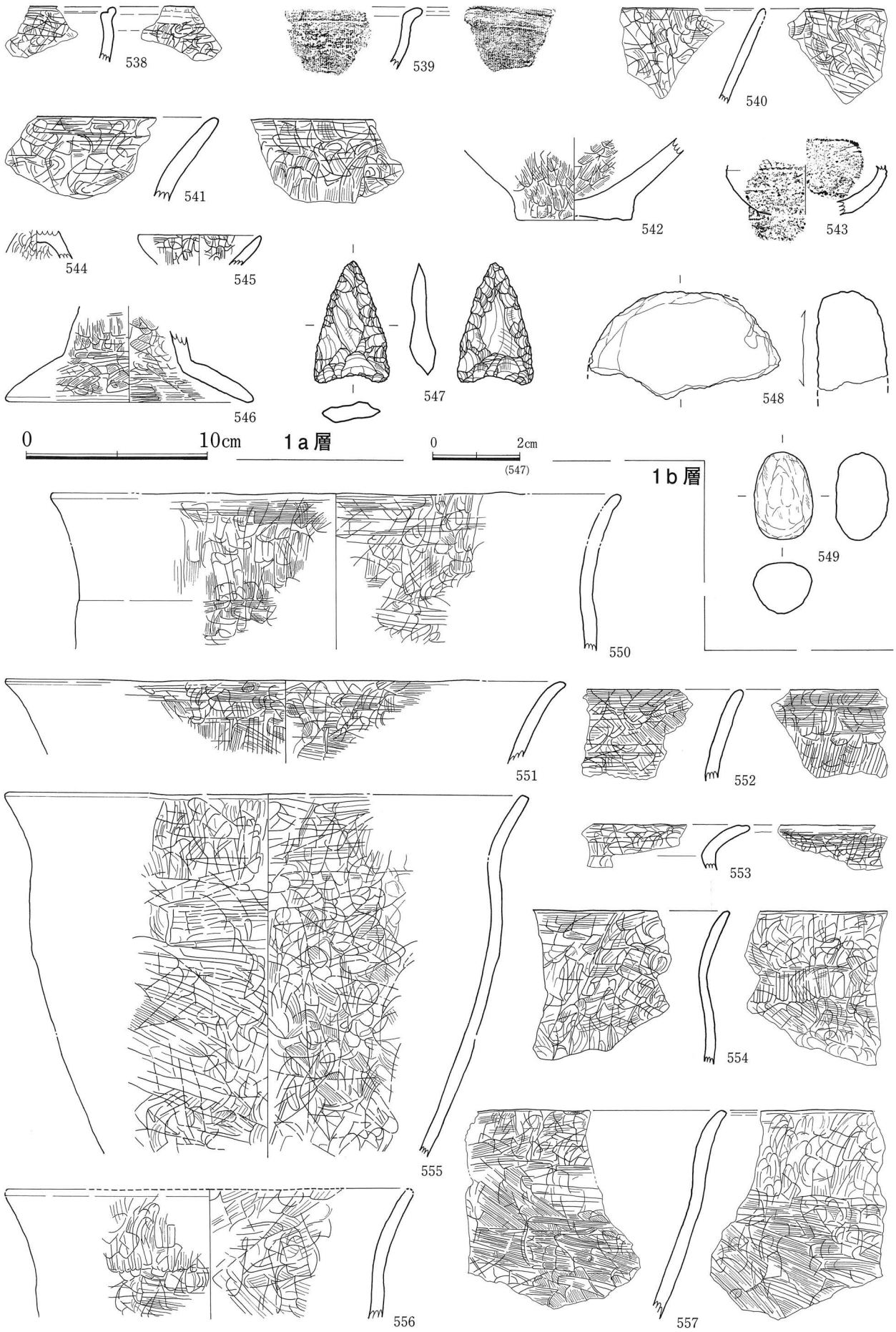
土している。

１ｂ層を掘り下げた段階で、長さ3.8～4.1ｍ・幅3.1～3.34ｍの隅円長方形プラン（Ｂ）を検出し、建替を認識した。Ａの覆土は10cm前後で、Ｂは１ｂ・ｃ層が26～56cmの厚さがある。床面中央部はやや堅く、直径60～80cmの炭粒を伴う地床炉を検出した。２層は４～20cmの厚さがあり、南側が厚い。２層除去後に柱穴を検出し、Ｐ１・２の２本柱が初期の間仕切り段階で、Ｐ３～８が再建時の６本柱と想定したいが、Ｐ１は６本柱の棟持柱的位置にあり、Ｐ２との軸は間仕切り住居段階の主柱穴とは言えない。北と北西部・東中央部の段落ち（Ｃ）は不自然であり、Ｐ１・４・２・８を主柱穴としたＢの前段階の、4.2×５ｍ程の隅円方形住居を想定したほうが構造が理解できる。Ｐ３～８は、直径16～24cm・深さ10～24cmを測る。Ｐ６は３個のpitが重複し、南から、抜き取り穴・Ｂ段階（６本柱）・Ａ段階の主柱穴と推定している。Ｂの主軸方位は、N27°Wである。

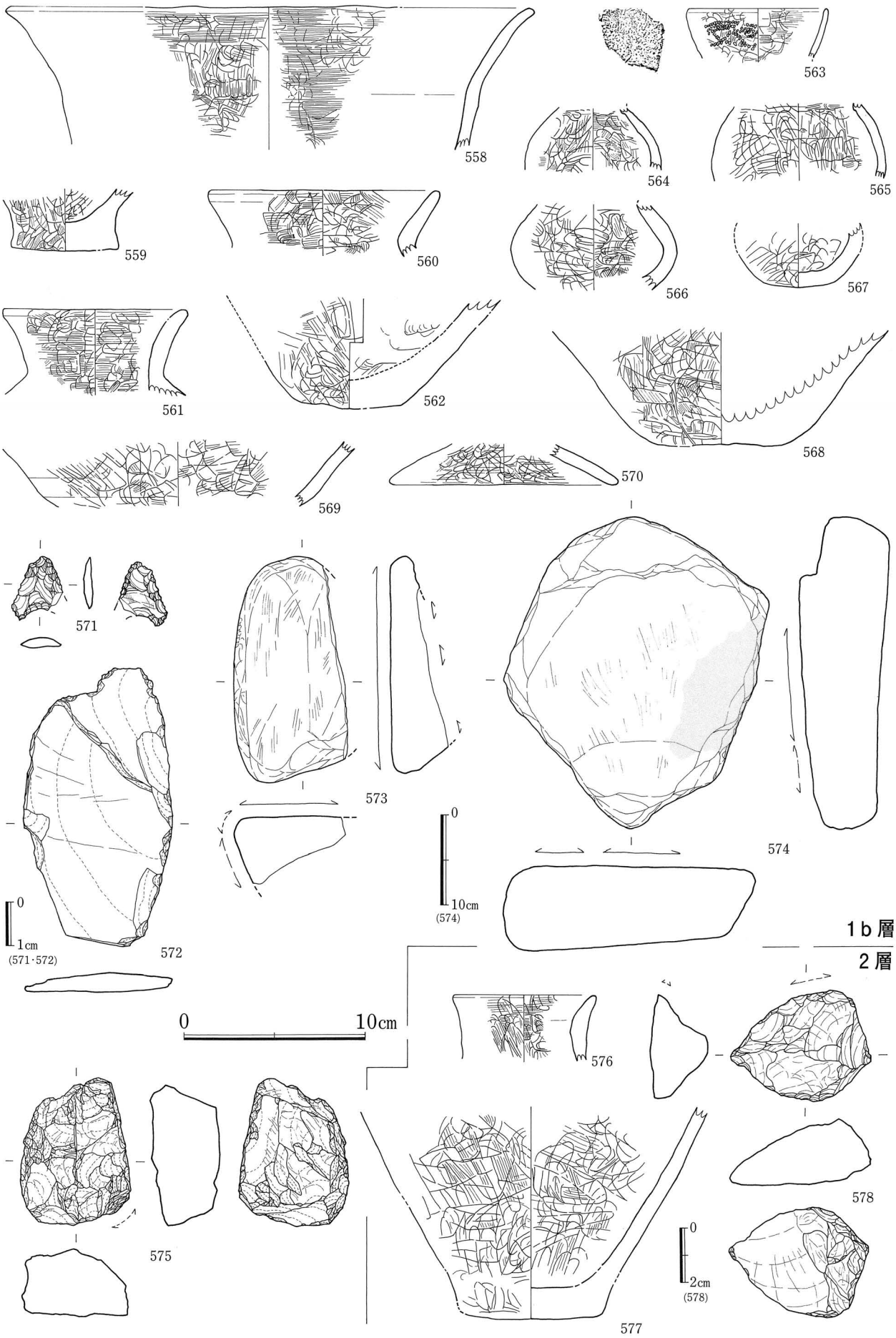
出土遺物は少なめで、Ａ・Ｃ住居内からは殆ど出土せず、大半がＢ住居からである。覆土から、縄文土器片134点のほか、土師器片126点、剥片等27点が、２層から縄文土器片８点のほか、弥生～土師器片５点、剥片等４点が出土している。598の台石は若干の弾けがみられ、鉄床石の可能性



第52図　SA－11　遺構実測図



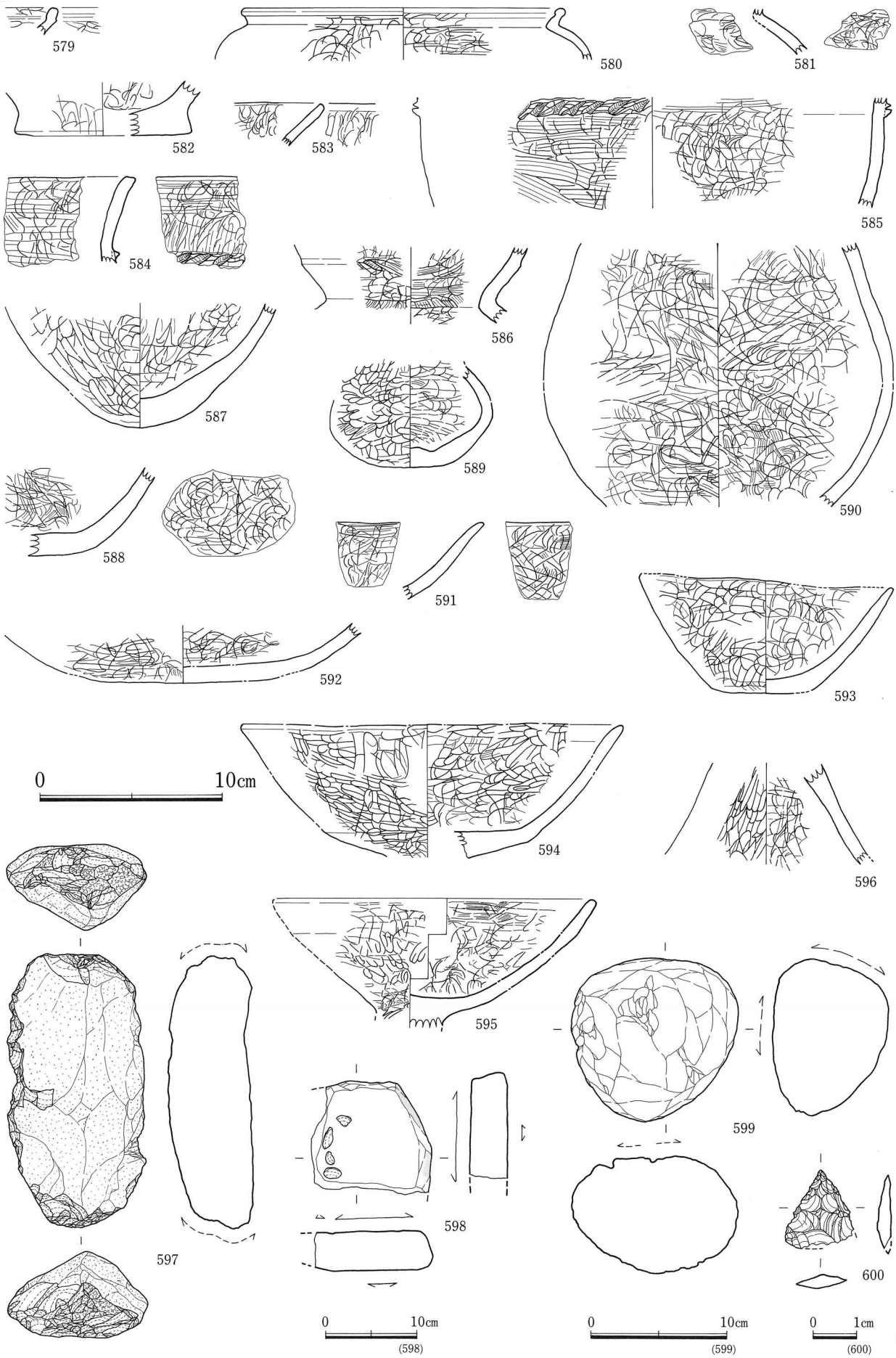
第53図　SA－11　出土遺物実測図（1）



第54図　SA－11　出土遺物実測図（2）

1a1：黒褐色土（Ⅲb相当，中世）
a2：暗灰色土＋Ⅳa1層土（Ⅲc相当，古代）
b1：淡黄褐色～淡茶黄色微細砂質土
b2：b1混Ⅳb塊少量
b2'：同（混Ⅳb塊・小礫・炭粒少量）
b3：淡茶褐色＋淡茶黄色砂質土（混粗細砂礫やや多い）
b4：Ⅳa1層に近似
c1：淡茶黄色砂質土＋小礫
c2：淡灰色土＋b2'
c3：b2近似（礫少量）
ア：黒色炭粒（軟質）
2：上面：淡灰色粘質土＋茶褐色粘質土，硬い
下：Ⅳa混礫＋淡茶褐色粘質土

第55図　SA－12　遺構実測図



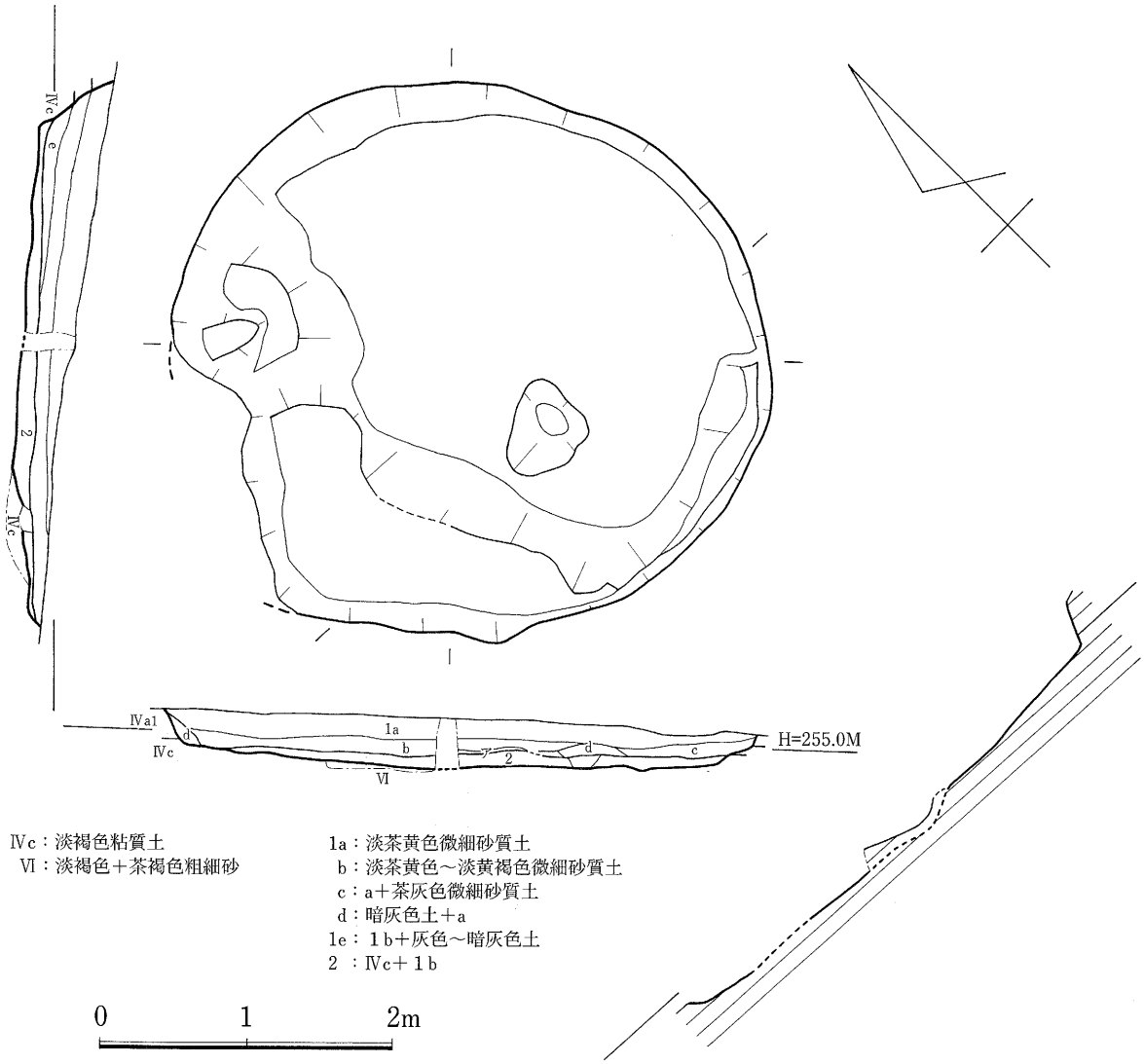
第56図　SA－12　出土遺物実測図　　579：1a層，580～：1b層

がある。廃絶時の年代は決め難いが、小型壷（589）や高坏（594）から、５世紀前半頃と推定する。

ＳＡ－13（第57図）

攪乱とⅣa1層10cmを掘り下げた段階で検出した。長径4.10ｍ・短径3.80ｍの円形を呈し、覆土は14～38cmの厚さがある。床面中央南寄りには、貼床施工時に長径60cmの不整楕円形を呈した深さ10cmに整形した炉があり、炭片を大量に含んでいた。覆土は10～40cm、２層は５～14cmの厚さで、主柱穴は検出されなかった。

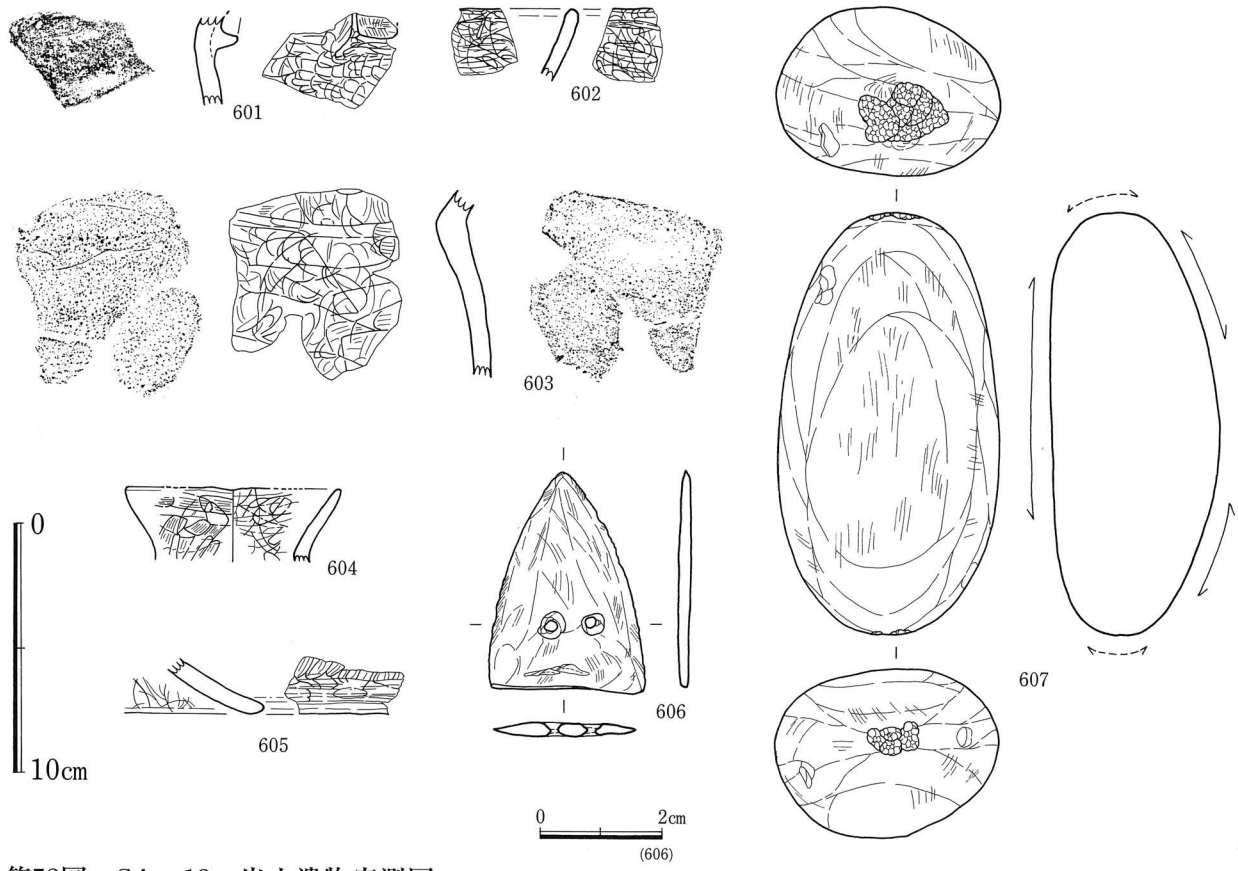
覆土から、縄文土器片21点のほか、弥生～土師器片25点、砥石１（607）、剥片等７点が出土しているが小片が多く、図化できたものは少ない（第58図）。小型壷（604）から、弥生時代終末～古墳時代初頭と推定される。



第57図　SA－13　遺構実測図

ＳＡ－14（第59図）

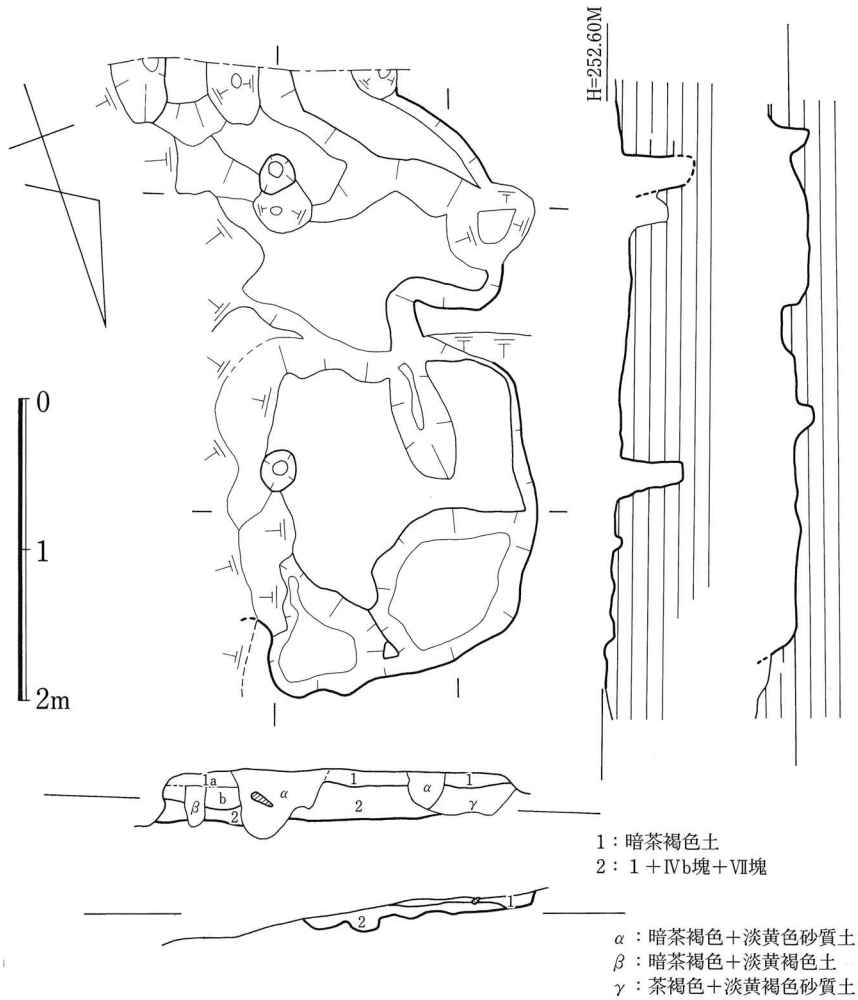
溝状遺構と開墾削平により、西半分の基底部が遺存していた。南北4.1ｍ・東西1.7ｍ以上の円形基調の間仕切り住居である。北東隅と西辺中央部に突出部がある。覆土は２～20cm遺存し、土層的には40cm程の削失が推定される。厚さ２～26cm施された２層除去後に主柱穴２本を検出し、配



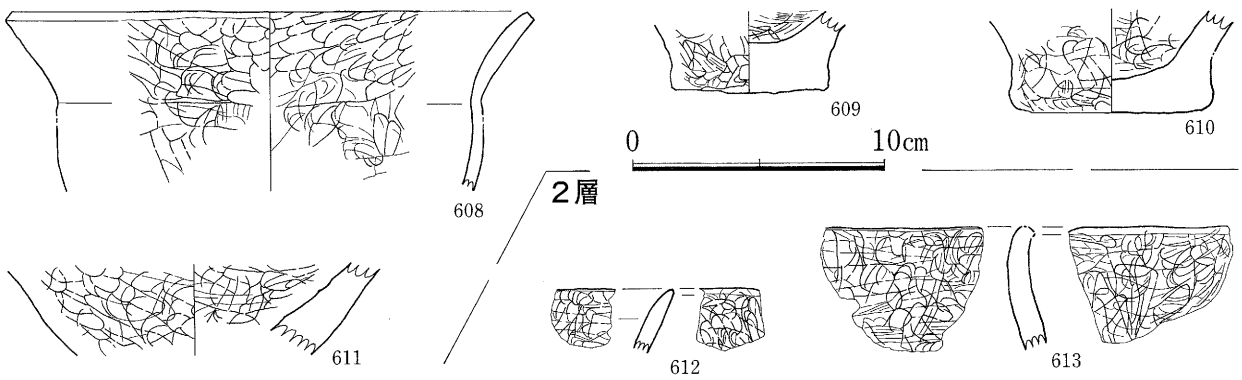
第58図　SA－13　出土遺物実測図

置的には４本柱であったと推定される。主柱穴の規模は、直径22～29㎝・深さ43・48㎝である。

覆土から、弥生～土師器片72点と剥片等２点が、２層から縄文土器片２点と弥生～土師器片10点が出土している。遺物は小片が多く、図化できたものは少ない（第60図）。608の甕から、古墳時代前期初頭と推定する。



第59図　SA－14　遺構実測図

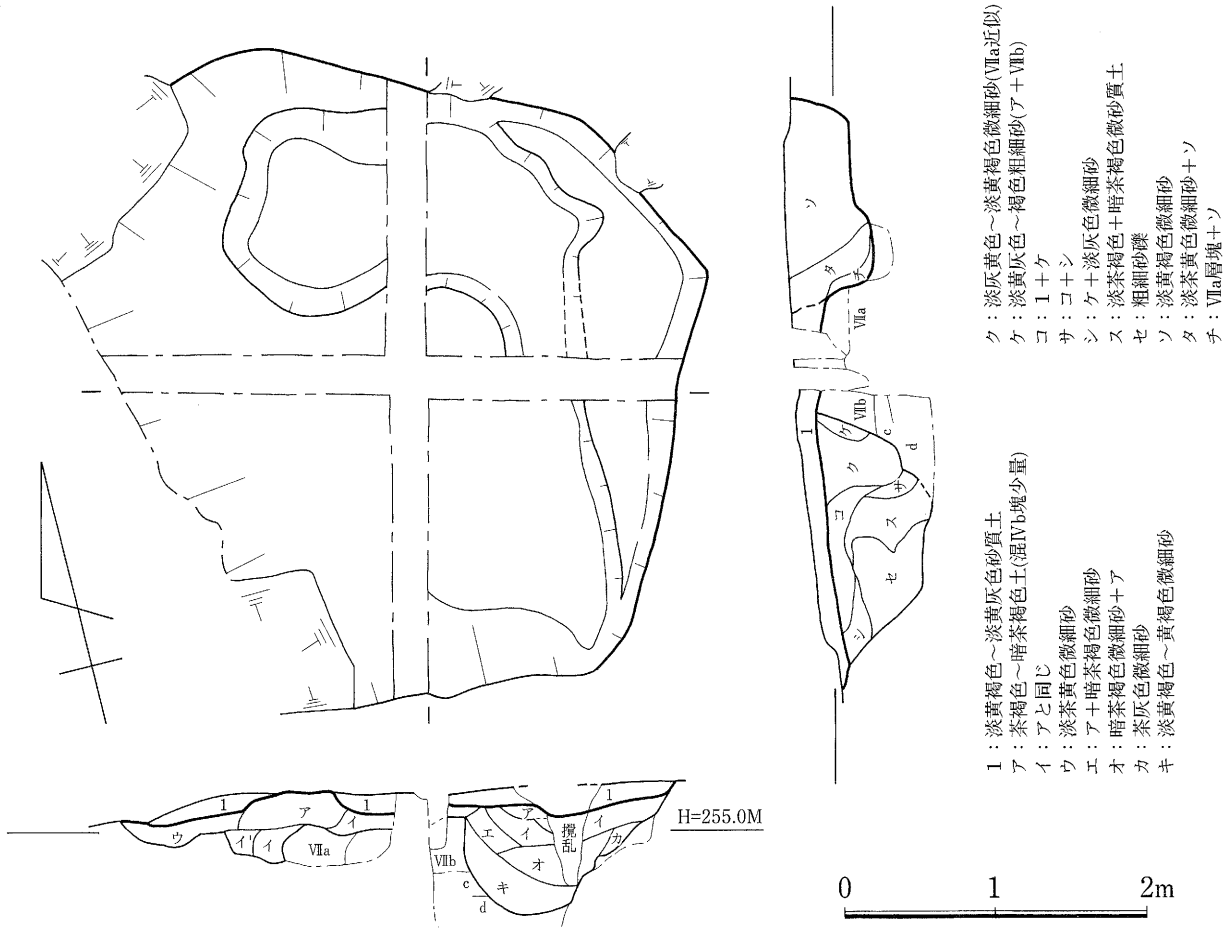


第60図　SA－14　出土遺物実測図

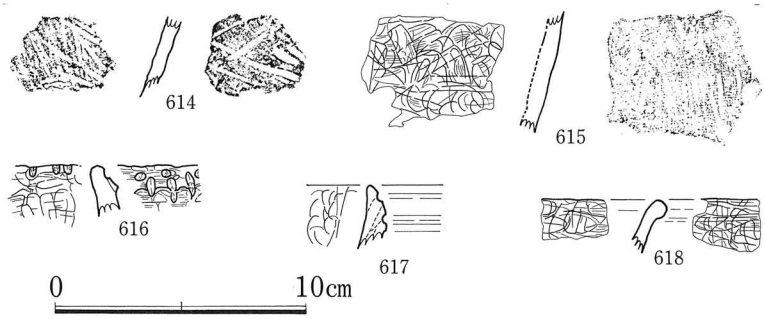
ＳＡ－15（第61図）

16号住居に切られ、西～南西縁は開墾による削平を受ける。直径４ｍ前後の多角形プランを呈する。覆土は10～14cmと推定されるが、硬化面や主柱穴・火処も検出できなかった。下層は、縄文土器を少量含む攪乱や風倒木痕が重複し、調査も不充分に終わった。

覆土および下層から、縄文土器片95点のほか、弥生～土師器片９点、剥片等89点が出土した。図化できた遺物は全て縄文土器で（第62図）、年代の決め手に欠けるが、５～６世紀前半頃と思われる。



第61図　SA－15　遺構実測図

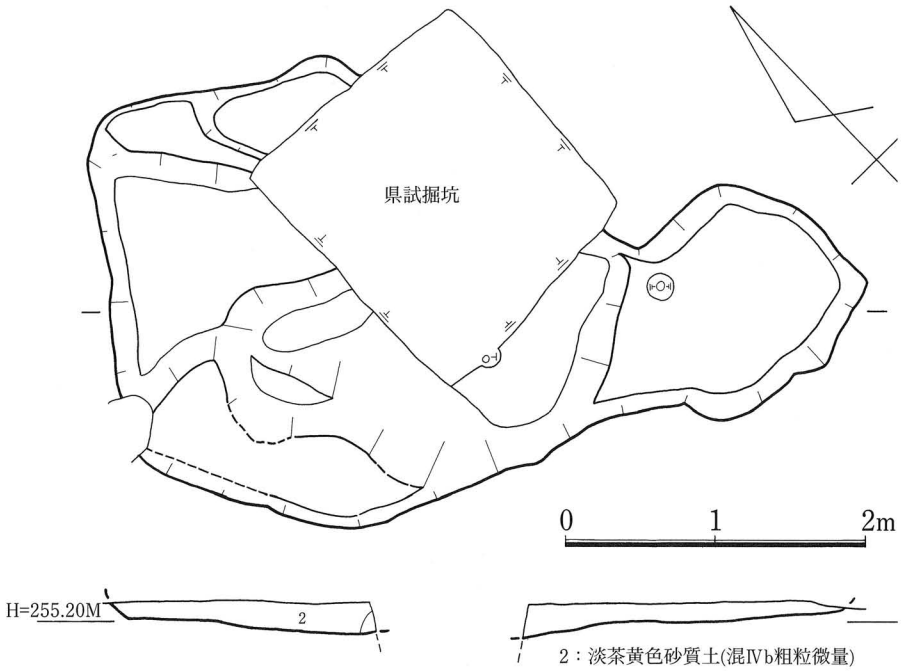


第62図　SA－15　出土遺物実測図

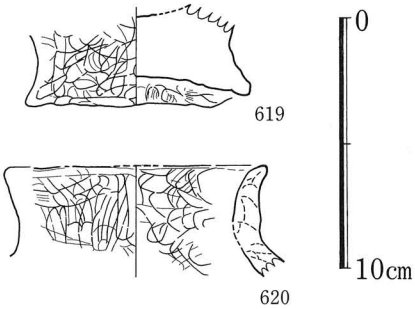
ＳＡ－16（第63図）

覆土は遺存せず、開墾による50㎝程の削失と県試掘坑深掘による削失とで、遺存状態が悪い。現状では、直径5.24ｍ以上の間仕切り住居としか言えない。床面も削失しているが、２層が８～20㎝遺存する。主柱穴と火処は不明である。

試掘の際、覆土から土器片４点が出土し、本調査の２層から、縄文土器片13点のほか、弥生～土師器片10点、剥片等７点が出土している。619の甕底部は、試掘の際、１層から出土している。620の壷は本調査時の２層出土である。弥生時代終末～古墳時代前期である。



第63図　SA－16　遺構実測図



第64図　SA－16　出土遺物実測図

ＳＫ－20（第65図）

10号住居の西2.6ｍに位置した、長径4.12ｍ・短径1.18ｍの楕円形土坑である。深さは20～32㎝を測るが、土層的に40㎝以上の削失が推定される。

覆土から、縄文土器片８点のほか、弥生～土師器片16点、剥片等10点が出土している。

ＳＫ－29（第66図）

12号住居の4.5ｍ北西に位置した、長径2.24ｍ・短径1.75ｍの不整楕円形を呈する。深さは52～60㎝を測り、北西～西壁はオーバーハングする。

覆土から、縄文土器片38点のほか、弥生時代終末～古代土師器片170点、剥片等17点が出土した。

ＳＫ－31（第66図）

12号住居の2.5ｍ北西に位置した、長径86㎝・短径68㎝の不整楕円形を呈する。深さは、28㎝を測る。覆土から、縄文土器片13点と剥片等２点が出土しているが、古墳時代の可能性が高い。

ＳＫ－35（第66図）

11号住居の７ｍ北に位置した、長径2.13ｍ・短径1.36ｍの不整楕円形を呈する。深さは15～30㎝を測るが、底面は凹凸が激しく、Ⅳｂ層の塊を主とする覆土は、掘削後ほどなく埋め戻されたようである。覆土から、縄文土器片８点のほか、弥生時代終末～古墳時代前期の土師器片17点、石匙（635）や剥片５点が出土している。

ＳＫ－37（第65図）

05号住居の1.5ｍ南東に位置した、長さ2.0ｍ・幅1.32～1.75ｍの半円半方形土坑である。深さは30～36㎝で、１ｂ層と２層の層界が明瞭であるが、硬化面は無い。覆土から、縄文土器片７点のほか、弥生～土師器片203点、須恵器片２点、土器片加工円盤１点（639）、敲磨石１点（640）ほか、剥片等11点が出土している。６世紀末～７世紀前半の用途不明土坑である。

ＳＫ－39（第65図）

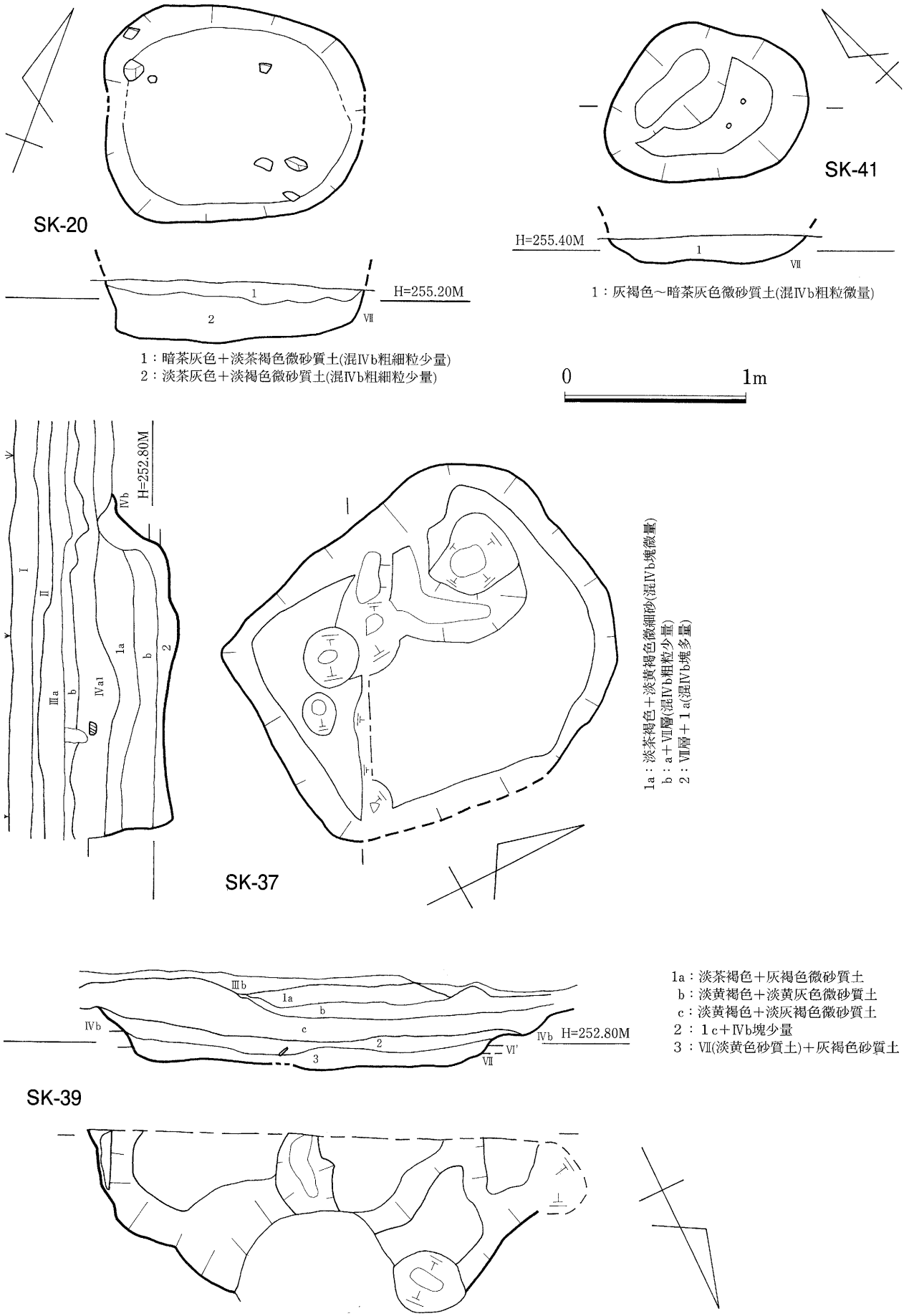
05号住居の南東に位置した、東西約2.6ｍ・南北１ｍ以上の規模であるが、平面プランは不明である。深さは40㎝程で、２・３層が貼床の可能性を残し、05号Ｂ住居の一部かもしれない。覆土から、縄文土器片３点のほか、弥生～土師器片12点、剥片等３点が出土しているものの、図化に耐える遺物が無い。

ＳＫ－41（第65図）

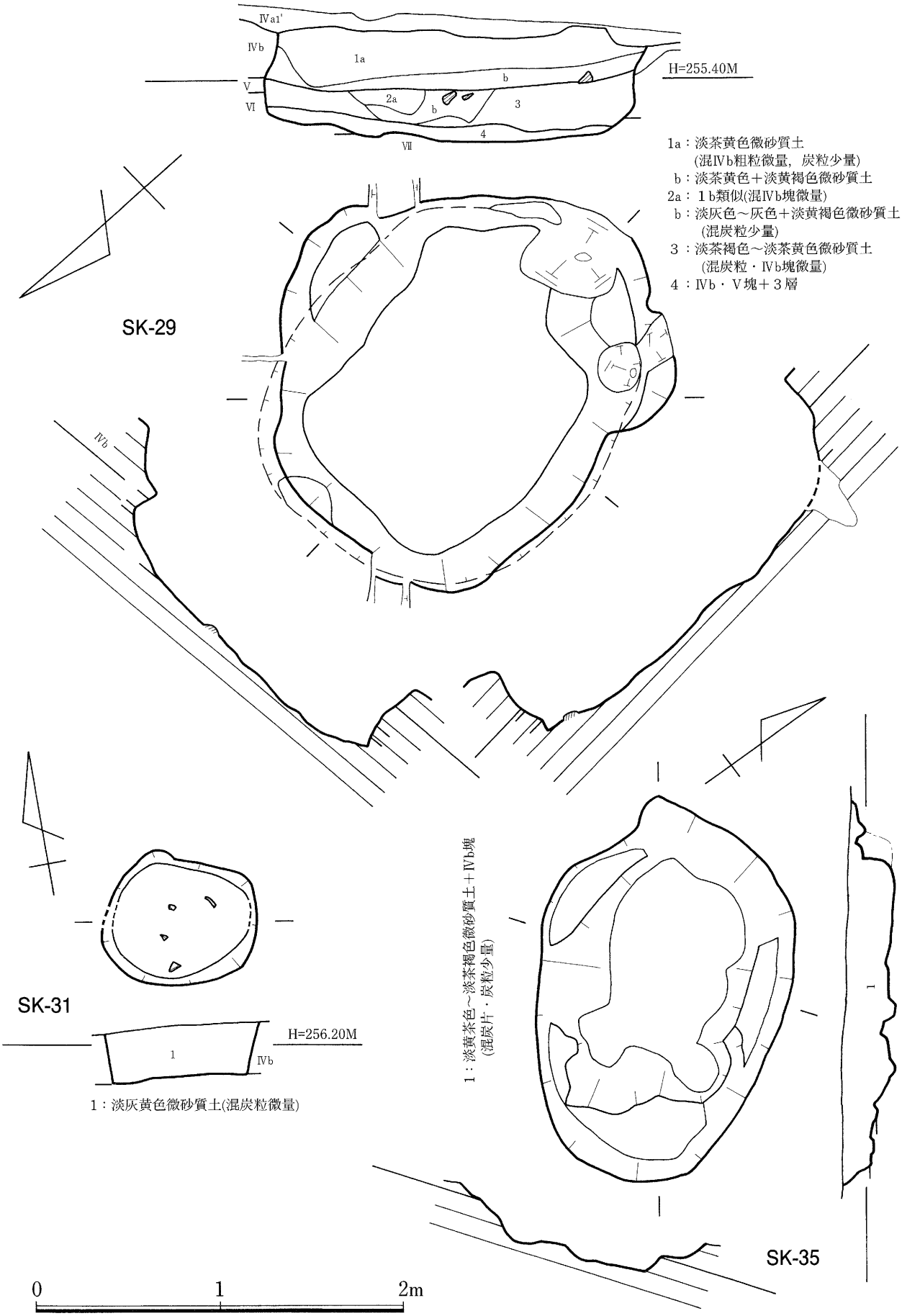
16号住居の３ｍ北に位置した、長径1.15ｍ・短径0.8ｍの不整楕円形を呈する。深さは15㎝であるが、土層的には40㎝以上の削失と判断される。覆土から、縄文土器片２点と剥片等４点が出土しているが、図化に耐える遺物が無い。

ＳＫ－43（第67図）

05号住居の３ｍ北東に位置した、長さ2.22ｍ・幅1.53ｍの片側小口付設土坑である。最深部は深さ35㎝であるが、土層的には40㎝程の削失と推定される。覆土から、縄文土器片８点と土師器片



第65図　SK－20・37・39・41　遺構実測図

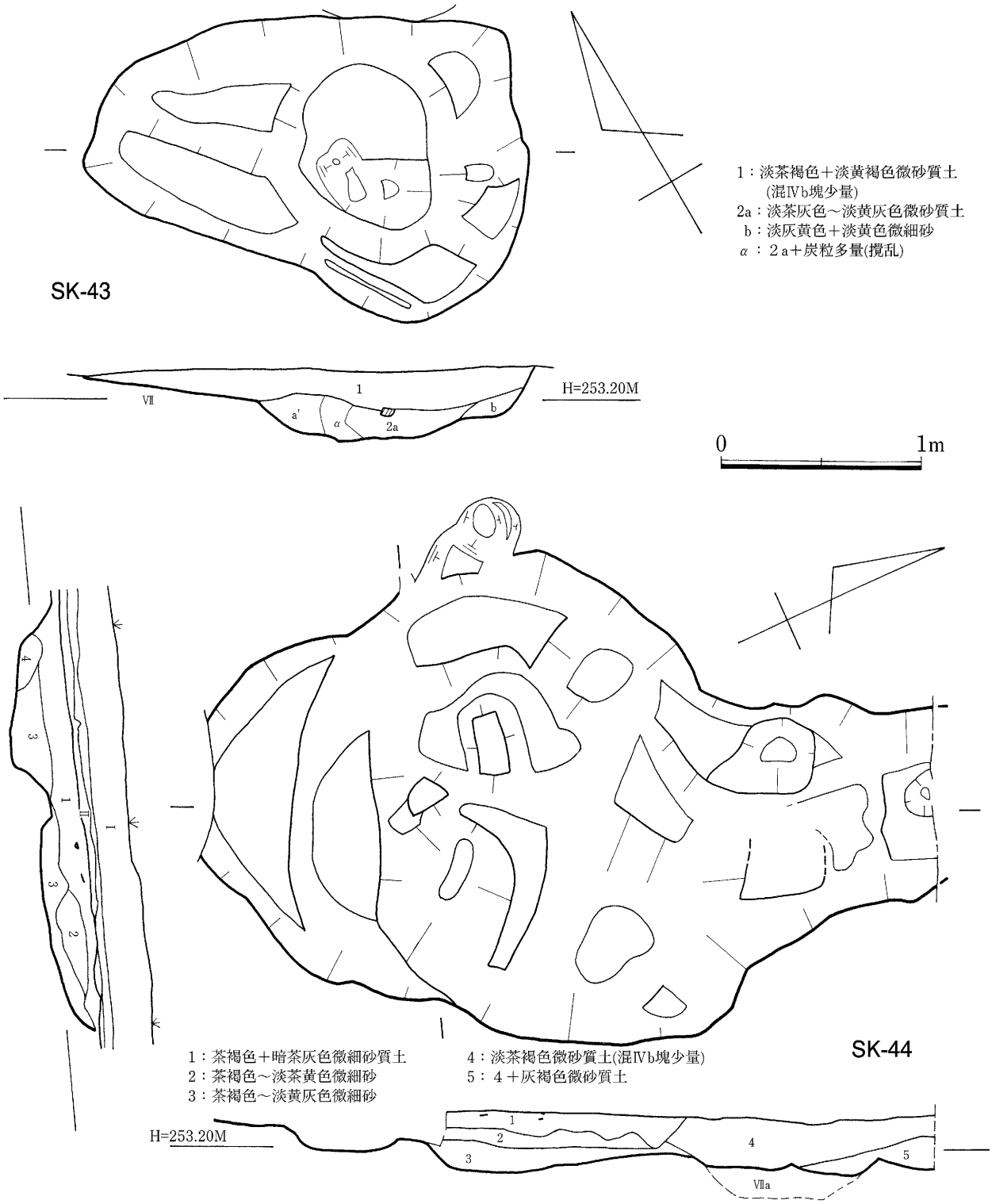


第66図　SK－29・31・35　遺構実測図

１点、剥片等９点が出土しているが、図化に耐える遺物が無い。

ＳＫ－44（第67図）

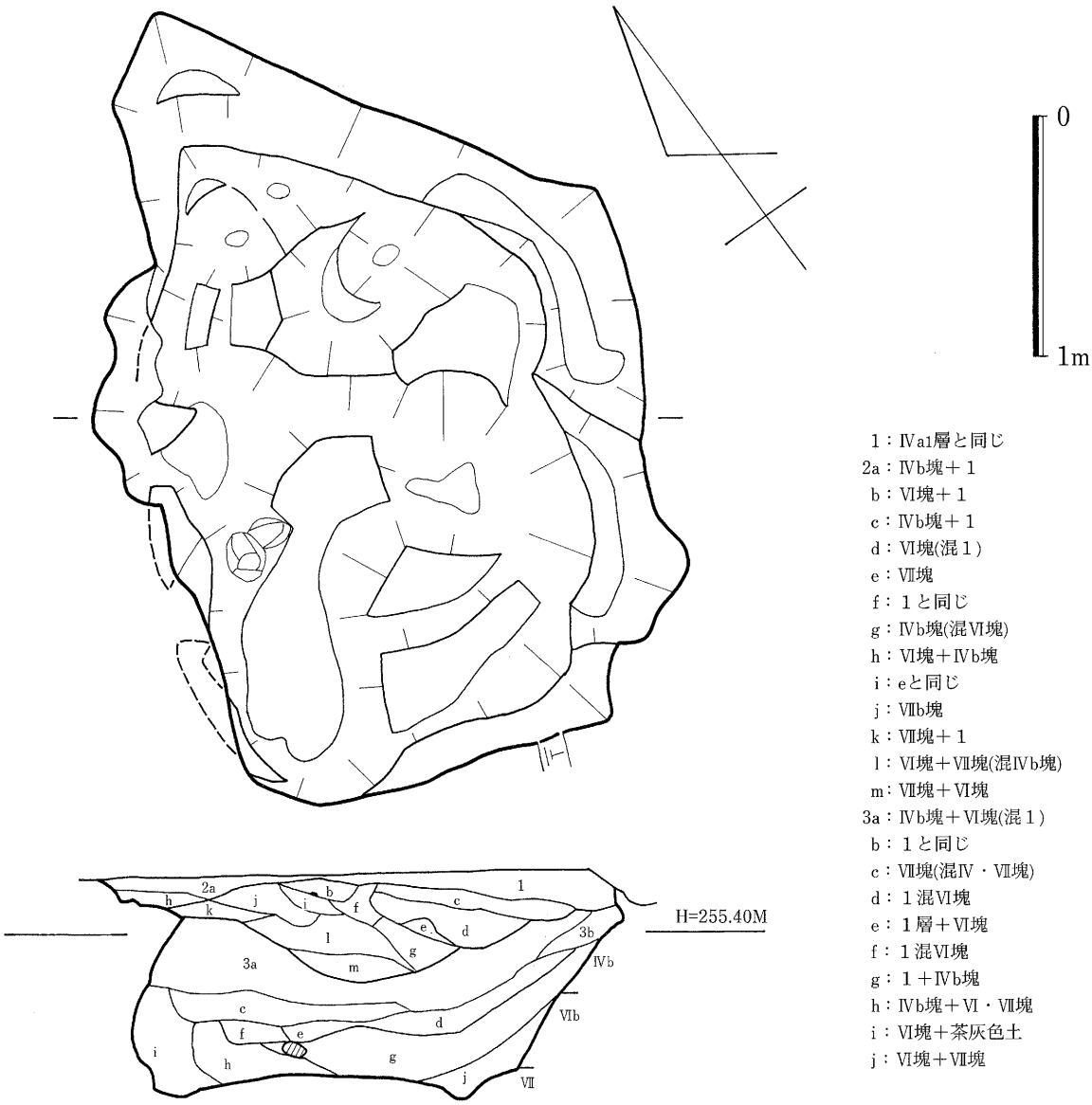
43号土坑に切られた、長さ3.7ｍ以上・幅0.9～2.4ｍの歪つなプランとして検出したが、底面と土層からみると３～４基の重複とみなしたほうが良い。深さは４～30㎝であるが、50㎝程の削失と思われる。覆土から、縄文土器片39点のほか、土師器片146点、剥片等36点が出土している。



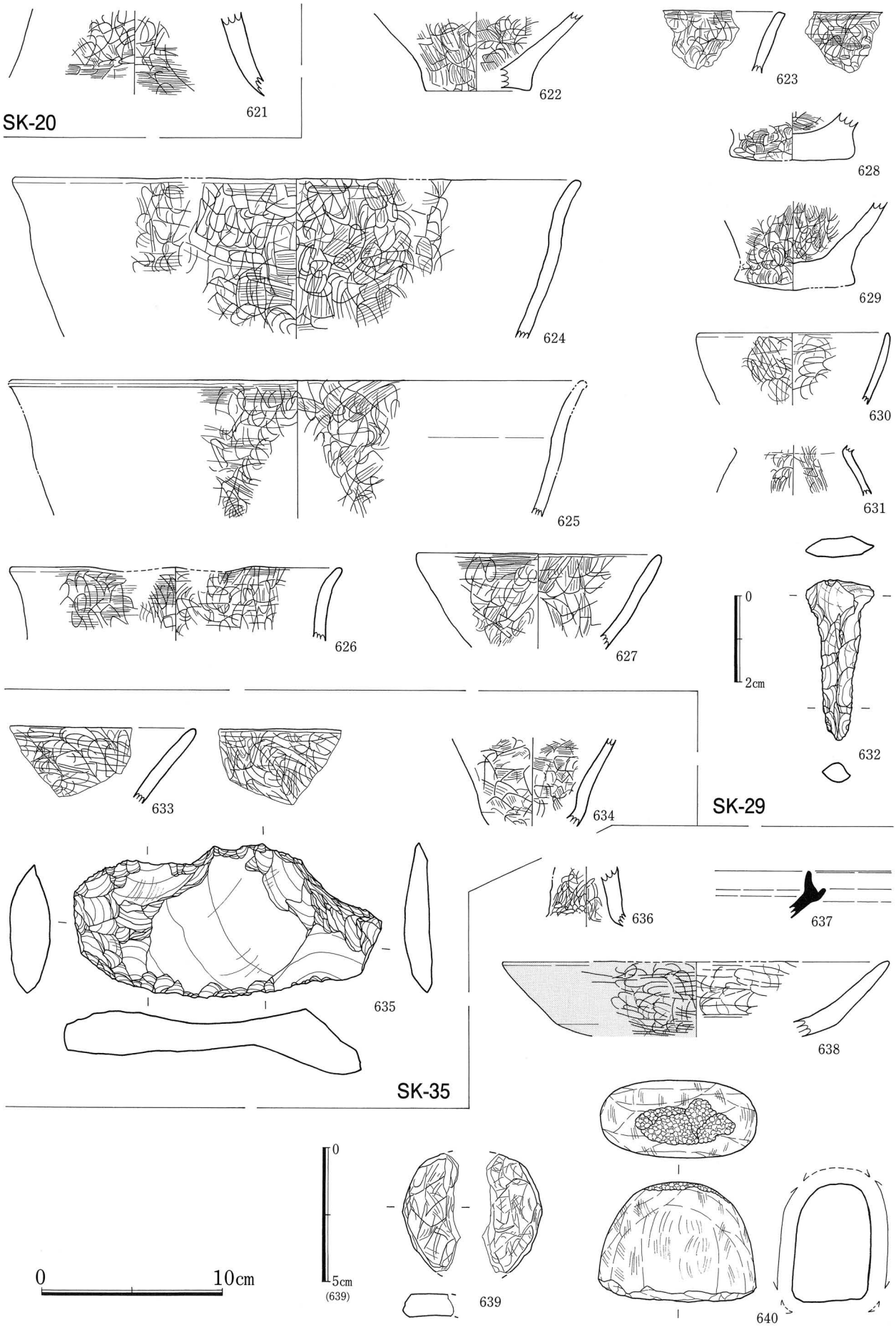
第67図　SK－43・44　遺構実測図

ＳＫ－36（第68図）

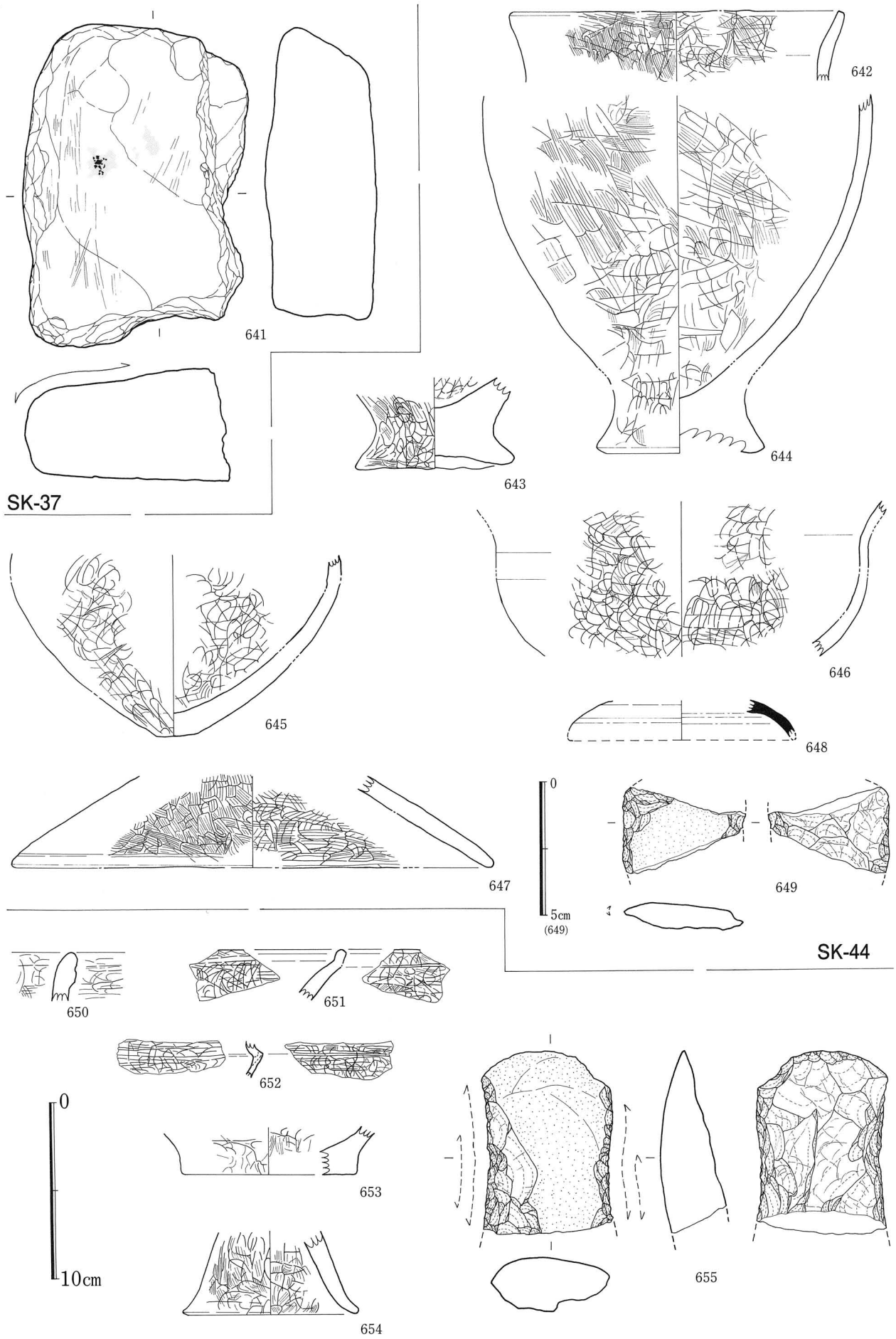
11号住居の２ｍ北西に位置した、長さ2.2～3.4ｍ・幅1.6～1.9ｍの不整台形を呈する。西壁は風倒木痕土層で、下3/4がオーバーハングする。深さは84～92cmである。覆土の中～下層（3a～j層）は人為的埋め土であり、底面の灰白色粘土は竪穴住居の貼床に使用している粘土であることから、粘土採掘穴と推定される。覆土から、縄文土器片28点と、土師器片２点、剥片等10点が出土している。年代は決め難いが、５世紀代か。



第68図　SK－36　遺構実測図



第69図　SK－20・29・35・37　出土遺物実測図

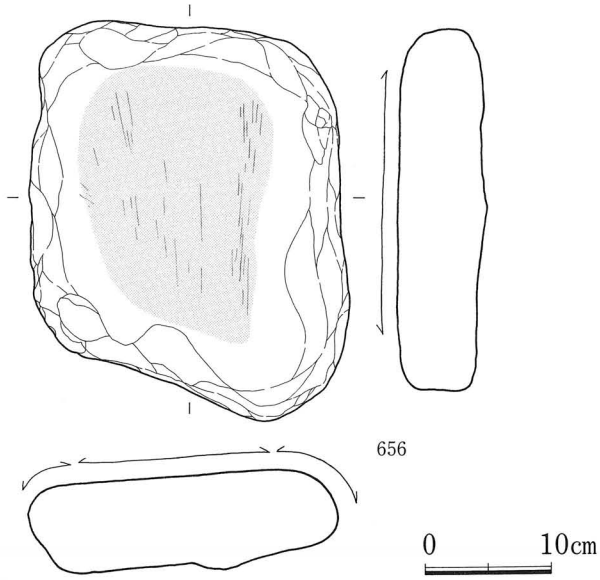


第70図　SK－37・44・36　出土遺物実測図

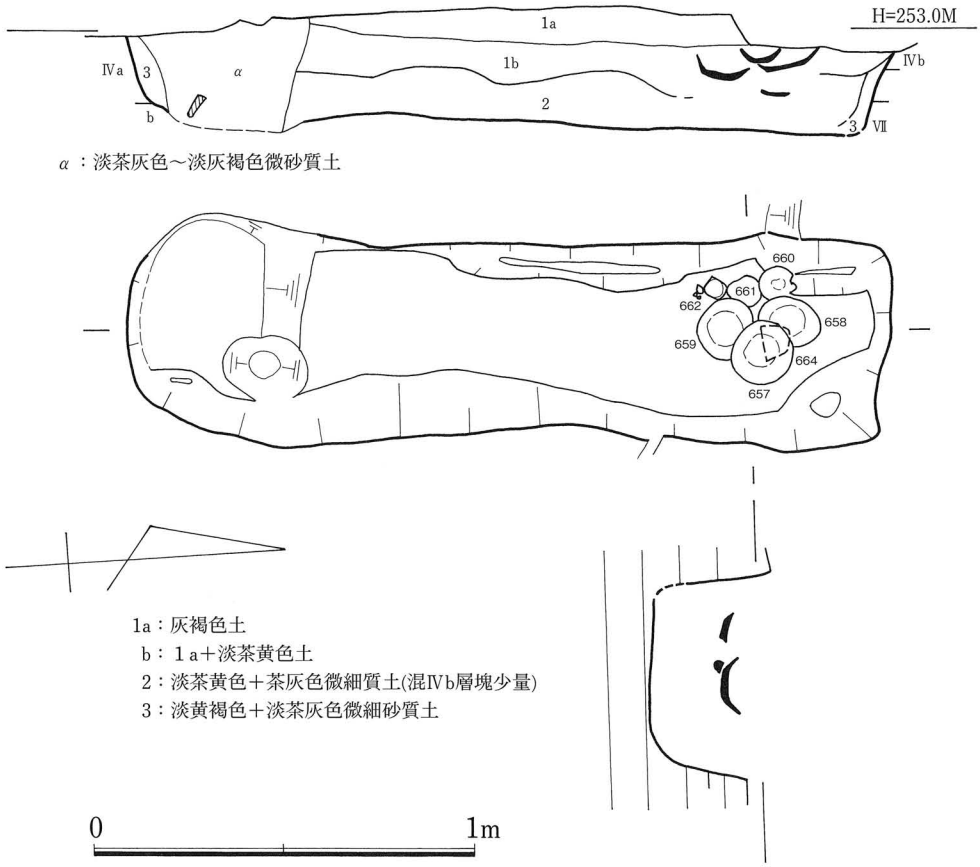
3．古代

ＳＫ－09（第72図）

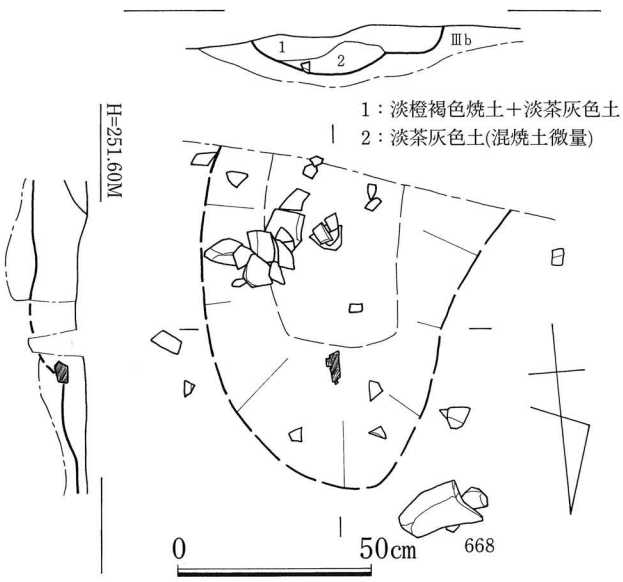
主軸を南北方向（Ｎ４°Ｗ）にとる、長さ2.0ｍ・幅0.48～0.56ｍの不整隅円長方形を呈し、深さは30㎝内外を測る。両小口の第３層の存在と、底面壁沿いの深さ３～５㎝の凹みから、木棺墓を推測させる。人骨は遺存していないが、北側の方が若干幅広いので北頭位と思われる。北端中位において、大皿３枚（**657～659**）と中皿３枚（**660～662**）・小皿１枚（**663**）のほか、白磁片（**664**）が出土しており、棺蓋上での供献と推定される。白磁の年代から、12世紀後半頃と推定される。



第71図　SK－36　出土遺物実測図（２）



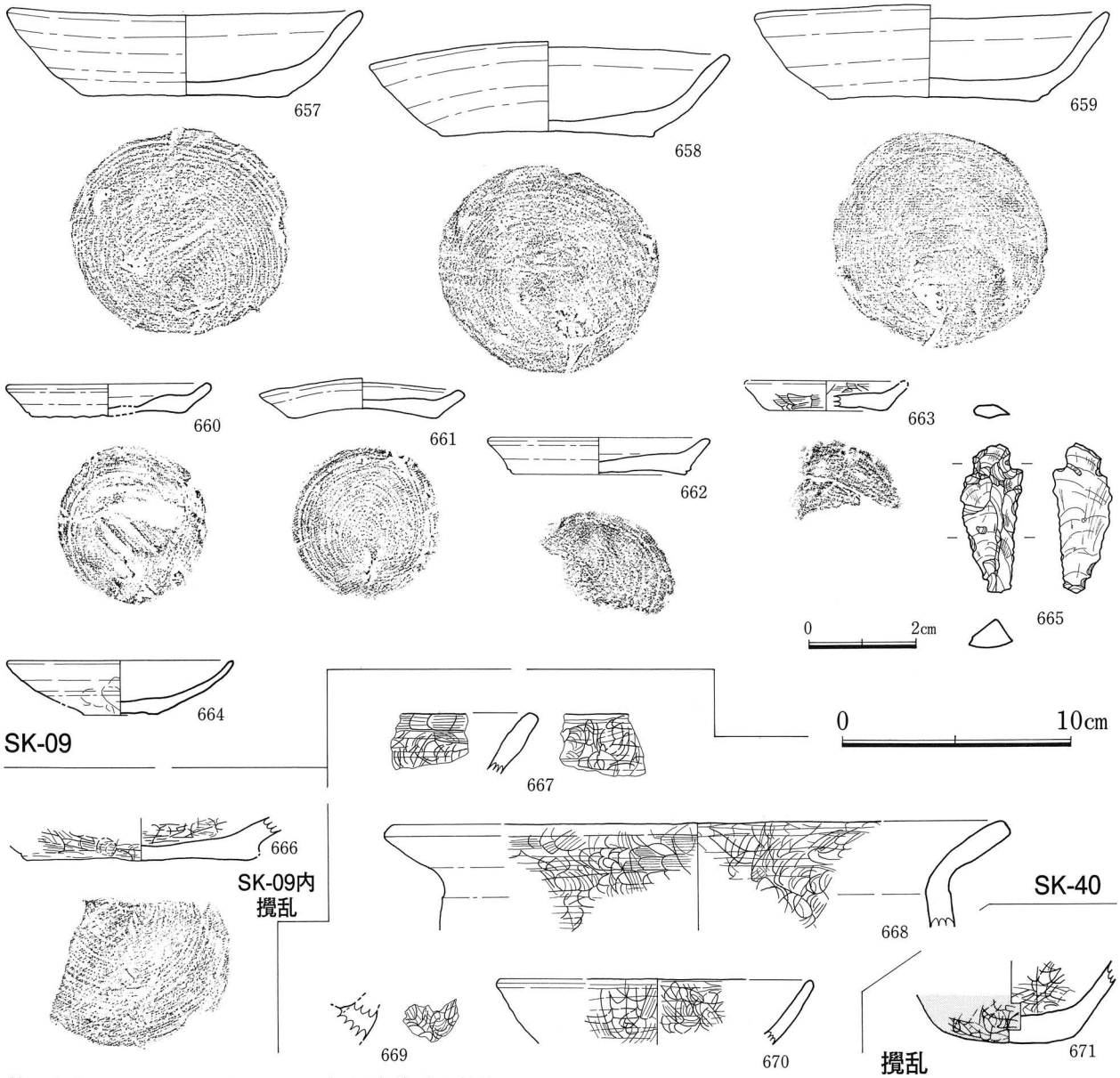
第72図　SK－09　遺構実測図



第73図　SK－40　遺物出土状態・遺構実測図

ＳＫ－40（第73図）

Ｖ区南東部を拡幅した際、南北80㎝以上・東西50㎝の範囲に焼土が厚く堆積しており、深さ９～13㎝の掘り込みを確認した。周辺には主として古代の土師器片20点あまりが散在しており、土器焼成土坑の可能性がある。



第74図　SK－09・40ほか　出土遺物実測図

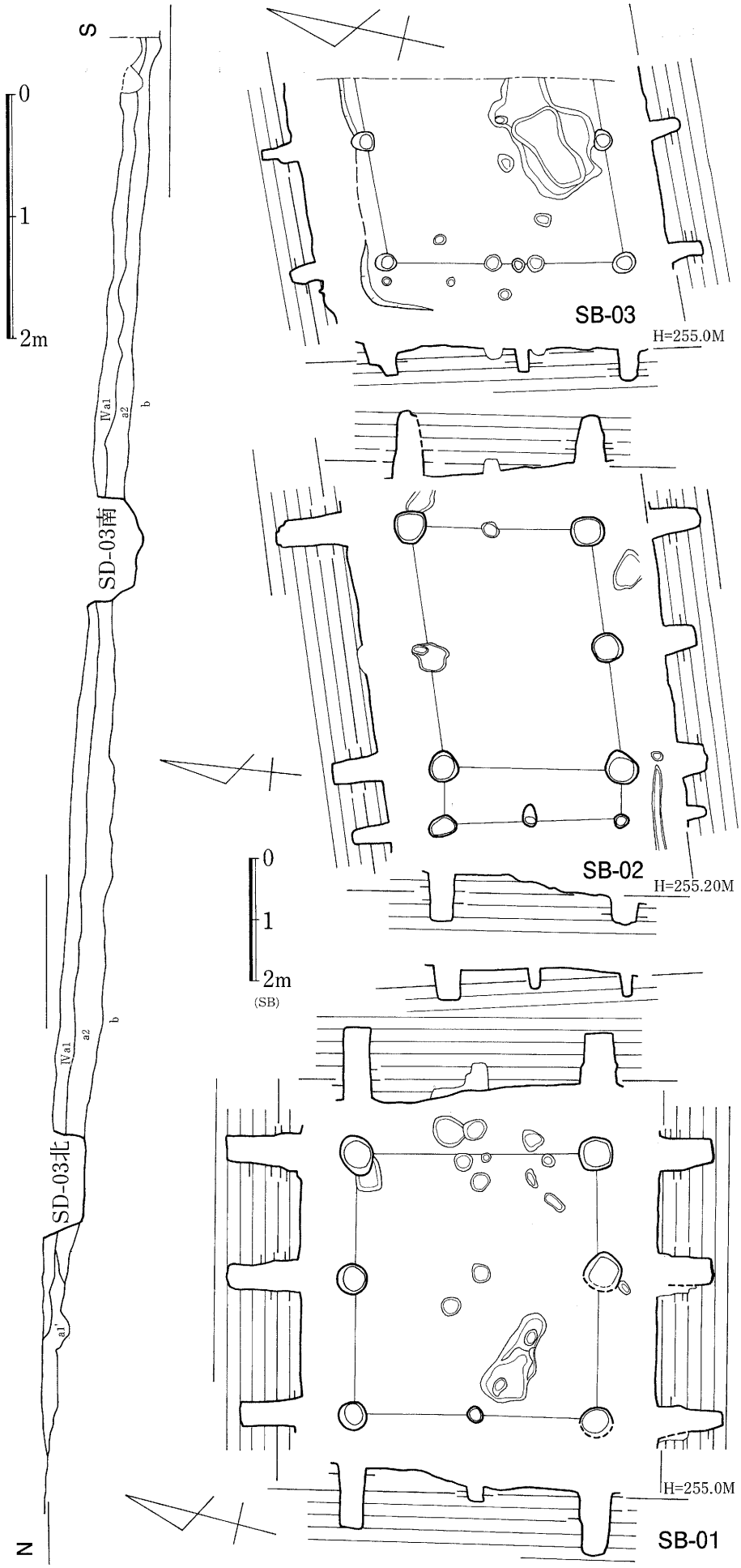
4．近世後半～近現代

ＳＢ－01（第75図）

梁行１間（3.9～4.0ｍ）、桁行２間（4.25～4.33ｍ）の掘立柱建物跡で、上部20～50㎝を削失している。柱穴の規模は、直径45～60㎝・深さ84～118㎝を測る。南桁の西方には深さ93㎝の柱穴があるが、対置すべき北桁部には無いので、関連性は低い。主軸方位はＮ75°Ｅである。北西隅の柱穴から、18世紀～幕末の南九州産の陶器（第８図－**24**）が出土している。

ＳＢ－02（第75図）

01号建物の6.5ｍ東に位置した、梁行１間（2.95ｍ）、桁行２間（3.88～3.94ｍ）の身舎の南西面に幅半間（0.8～0.95ｍ）の廂が付く。柱穴の規模は、直径45～56㎝・深さ45～108㎝を測り、南桁２基の柱穴が浅い。廂の柱穴は、直径20～45㎝・深さ34～43㎝を測る。主軸方位は、Ｎ75°Ｅである。南桁中央の柱穴から、寛永通宝（第８図－**25**）が出土



第75図　Ⅰ区中央部Ⅳa層断面，SB－01～03　遺構実測図

している。

ＳＢ－03（第75図）

02号建物の東３ｍに位置した、梁行２間（3.90ｍ）・桁行２間以上の掘立柱建物跡で、北西面30cmと南西面75cmは１段掘り下げられている。柱穴の規模は、直径21～35cm・深さ36～56cmを測る。主軸方位は、N67°Eである。覆土は灰色で、最も新しい近現代の建物跡である。

第４章　まとめ

狭長な２条の緩斜面を調査した結果、対岸の天神免・岡松遺跡と同質の集落であった。以下、年代を追ってまとめておく。

縄文時代前期　滑石を多く含む曽畑式土器片微量と蛇紋岩製石斧が出土し、Ｉ区で当該期の落とし穴１基を検出したほかは顕著でない。

中期　滑石を多く含む阿高式土器片１点のみの出土。

後期　出水式・北久根式・西平式土器の小片が少量出土。

晩期　前半の天城式を主とする黒色磨研土器が広範囲に出土。底面中央に杭pitを有する落とし穴４基と貯蔵穴１基を検出。

後半、刻目突帯文土器と打製石斧が少量出土し、陸稲や畑作等の生産地となったか。

弥生時代終末～**古墳時代前期**　間仕切り住居を構築して定住。鉄床石など、小鍛冶を想定させる遺物も出土。（ＳＡ－01・03Ｂ・05Ｂ・07・09・10・12・14・16）

中期　円形住居（ＳＡ-08・11・13）

後期　03Ａ・05Ａ　住居内に土器埋設炉を有する方形・長方形住居を構築。

平安時代前期　土師器と黒色土器が微量出土。

末期　木棺墓１基

近世後半～近代　座棺墓

掘立柱建物３棟、溝状遺構（一筆境か）

縄文時代前期から食糧獲得域としての形跡があり、晩期前半に遺構・遺物が集中する。弥生時代初頭から後期前半までと奈良～平安時代初期・中期、中世～近世前半には断絶があり、弥生時代終末～古墳時代初期の間仕切り住居を営む段階がピークである。竪穴住居と土坑との相関は不明瞭であるが、ＳＡ－05ＡとＳＫ－43、ＳＡ－12とＳＫ－29は関連が強い。また、ＳＫ－36は、円形住居の貼床の粘土採掘坑と推定される。

表１　出土遺物観察表（１）

縄文土器　弥生土器　土師器　須恵器　黒色土器

NO	出土地	種類	器種	法量（mm）			調整		胎土	焼成	色調		備考
				口径	底径	器高	外面	内面			外面	内面	
第８図 1	Ⅰ区　撹乱	縄文土器	深鉢	--	--	--	工具ナデ	強い工具ナデ	滑石やや多い	良	淡橙褐	暗灰褐	
2	Ⅰ区　SD-05の東 撹乱	縄文土器	深鉢	--	117	--	工具ナデ	工具ナデ	微細砂微量	良	淡桃橙～淡黄褐	淡茶黄～暗茶灰	
3	Ⅰ区　Ⅳa1層	縄文土器	深鉢	--	--	--	擬似縄文	粗工具ナデ	粗細砂少量 小礫・角閃石微量	良	淡茶褐～暗茶褐	淡灰黄～淡茶灰	
4	Ⅰ区　Ⅳa1層	縄文土器	深鉢	--	--	--	工具ナデ	工具ナデ	良	良	茶褐	淡茶褐～淡橙褐	
5	Ⅰ区　Ⅳa1層	縄文土器	深鉢	--	--	--	粗工具ナデ	工具ナデ	粗細砂微量 滑石やや多い	良	暗灰褐	暗茶褐	内面：被熱
6	Ⅰ区　Ⅳa1層	縄文土器	深鉢	--	--	--	工具ナデ	工具ナデ	粗細砂少量	良	淡茶黄	淡黄～淡茶黄	
7	Ⅰ区　Ⅳa層	縄文土器	浅鉢	--	--	--	工具ナデ	工具ナデ ～半ミガキ	微細砂・ 角閃石少量	良	暗茶褐・淡褐	暗茶褐～淡黒灰	被熱
8	Ⅰ区　Ⅳa1層	縄文土器	深鉢	--	--	--	粗ミガキ	ミガキ	微細砂微量	良	暗灰～淡黒灰	茶灰～暗灰褐	
9	Ⅰ区　Ⅳa1層	縄文土器	深鉢	約450	--	--	粗工具ナデ	工具ナデ	白色粒・ 角閃石少量	良好	淡黄褐～灰褐	淡褐	
10	Ⅰ区　Ⅳa1層	縄文土器	浅鉢	--	--	--	工具ナデ	丁寧工具ナデ	微細砂・ 角閃石少量	良好	淡茶褐～淡茶灰	淡灰黄～淡黄	
11	Ⅰ区　Ⅳa層	縄文土器	深鉢	約400	--	--	半ミガキ～ 粗工具ナデ～ 工具ナデ	工具ナデ	微細砂・ 角閃石少量	良	淡黒灰	淡灰黄～淡灰褐	
12	Ⅰ区　Ⅳa1層	縄文土器	深鉢	約450	--	--	工具ナデ	丁寧工具ナデ	微砂少量、粗細砂・ 角閃石少量	良	茶褐～暗茶褐	暗灰褐～暗茶褐	
13	Ⅰ区　Ⅳa1層	土師器	甕	284	--	--	工具ナデ→ハケ	ハケ	白色粒・ 茶褐色粒微量	良	茶褐	淡茶褐～淡褐	
14	Ⅰ区　Ⅳa1層	土師器	甕	--	--	--	工具ナデ～ハケ	工具ナデ	白色粒・ 茶褐色粒少量	良	茶褐～暗茶褐	茶褐～淡黄褐	
15	Ⅰ区　Ⅳa1層	土師器	高坏	約400	--	--	ハケ	工具ナデ	茶褐色粒微量	良	淡黄褐～淡橙	茶褐～淡黄褐	被熱
16	Ⅰ区　Ⅳa1層	土師器	蓋	約400	--	--	工具ナデ	半ミガキ	微細砂・茶褐色粒少量、 小礫微量	良	茶灰～暗茶灰 ・黒斑	暗茶褐～淡黒灰	
17	Ⅰ区　Ⅳa1層	土師器	甕	--	82	--	工具ナデ	工具ナデ	白色粒少量 茶褐色粒微量	良	黄褐～淡茶褐	淡茶褐～淡灰褐	内面：オコゲ少量
18	Ⅰ区　Ⅳa1層	土師器	甕	--	68×74	--	粗工具ナデ	半ミガキ	微細砂少量、白色 粒・茶褐色粒微量	良好	淡橙～淡黄	淡黒灰	
19	Ⅰ区　Ⅳa1層	土師器	甕	--	49×53	--	粗工具ナデ	工具ナデ	微細砂・白色粒少量、 茶褐色粒やや多い	良	暗茶灰～淡黄	淡茶褐	
20	Ⅰ区　ＳＤ-03	土師器	高坏	146	--	--	ミガキ	ミガキ	良	良	淡赤茶	淡赤茶・淡橙褐	丹塗り
21	Ⅰ区　ＳＤ-03	土師器	坏	--	66	--	ナデ	工具ナデ	黒褐色・茶褐色粒少 量、白色粒微量	ややあまい	淡褐～褐	淡黄～褐	底部：ヘラ切り→ 工具ナデ
22	Ⅰ区　SD-05の東 撹乱	土師器	埦	--	65	--	ナデ	ミガキ	茶褐色粒微量	良	淡褐～淡茶褐 ・桃褐	淡黄褐	底部：ヘラ切り痕
23	Ⅰ区　ＳＤ-03	黒色土器	埦か	--	--	--	工具ナデ	ミガキ	良	ややあまい	淡黄褐	淡黒灰	
第９図 29	Ⅱ区　ＳＫ-23	縄文土器	深鉢	325	--	--	擬似縄文	工具ナデ	微細砂・ 角閃石少量	良	淡茶黄～淡茶灰	淡橙茶・暗灰褐	
30	Ⅱ区　Ⅱ層	縄文土器	深鉢	--	--	--	工具ナデ	工具ナデ	滑石少量	良	淡黄褐	淡褐	
31	Ⅱ区　ＳＡ-15上 撹乱	縄文土器	深鉢	約300	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微砂少量	良好	灰褐～暗茶褐	淡茶褐・淡黒灰	
32	Ⅱ区　ＳＡ-15上面 撹乱	縄文土器	深鉢	--	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微細砂・ 角閃石微量	良	淡橙～淡黄	淡橙～淡黄	
33	Ⅱ区　Ⅱ層	縄文土器	深鉢	--	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微砂少量	良	褐	褐～淡黄褐	
34	Ⅱ区　D5西60cm 小pit撹乱	土師器	台付鉢	100	31×34	63	丁寧工具ナデ	丁寧工具ナデ	赤褐色・黒褐色・ 白色粒微量	良	淡橙褐・淡黄褐	橙褐・淡茶褐	
35	Ⅱ区　Ⅱ層	土師器	小型甕	--	48	--	工具ナデ	粗工具ナデ	微細砂やや多い	良	灰・淡茶褐	黒灰	歪つ
36	Ⅱ区　<03>	土師器	鉢	144	--	--	ミガキ	ミガキ	良	良	淡赤茶～明茶褐	淡黄灰～淡灰褐	外面：丹塗り 内面：丹痕
37	Ⅱ区　<03>	土師器	高坏	190	--	--	ミガキ	半ミガキ	赤褐色粒少量	ややあまい	暗桃褐	淡褐～橙褐	外面：丹塗り
38	Ⅱ区　<03>	土師器	高坏	--	140	--	ミガキ (ヨコ→タテ)	工具ナデ	黒褐色粒少量	良	薄赤茶～淡赤桃	暗灰～灰	外面：丹塗り
39	Ⅱ区　Ⅱ層	須恵器	甑	111	--	--	ナデ	工具ナデ	良	良	淡黒灰	淡灰・黒褐 (下半：自然釉)	やや歪つ
第10図 50	Ⅲ区　ＳＫ-08北の 風倒木	縄文土器	深鉢	約450	--	--	工具ナデ	条痕	微細砂やや多い 小礫少量	良	暗灰～淡黒灰 ・淡黄	暗灰～淡黄灰	
51	Ⅲ区　撹乱	縄文土器	深鉢	248	--	--	条痕	ミガキ	微細砂・ 小礫微量	良好	黄褐～淡茶褐 ～灰褐	淡黒灰～淡黄褐	被熱
52	Ⅲ区　Ⅳａ層	土師器か	蓋	約450	--	--	工具ナデ	工具ナデ	茶褐色粒微量	良	淡黄～淡褐	暗灰～淡茶褐	
53	Ⅲ区　撹乱	弥生土器	甕	--	82	--	工具ナデ	粗工具ナデ	白色粒・ 茶褐色粒微量	良	黄褐～淡黄	暗灰～淡黄	
54	Ⅲ区　排土	土師質土器	Ⅲ	150	116	25	ナデ→工具ナデ	ナデ	茶褐色粒少量	良	淡灰～淡黄白	淡黄褐	古代、被熱 底部：糸切り
第11図 65	Ⅳ区　ＳＫ-44	縄文土器	浅鉢	約250	--	--	粗ミガキ	丁寧工具ナデ ・工具ナデ	微細砂微量	良	茶褐～淡黒灰	茶橙～淡茶褐	
66	Ⅳ区　Ⅰ・Ⅱ層	縄文土器	浅鉢	--	--	--	工具ナデ	条痕	微細砂少量	良	暗茶褐	淡茶褐	被熱 内面：補修孔
67	Ⅳ区　Ⅲ層	縄文土器	深鉢	約400	--	--	工具ナデ	半ミガキ	微細砂・角閃石少 量、白色粒微量	良	茶褐～暗茶灰	暗茶灰～淡茶褐	
68	Ⅳ区　ＳＫ-44	縄文土器	深鉢	--	--	--	工具ナデ	工具ナデ	角閃石少量	良	淡橙褐～淡茶褐	褐	
69	Ⅳ区　ＳＫ-44上 Ⅱ層	縄文土器	鉢	--	--	--	粗工具ナデ	丁寧工具ナデ	微細砂少量 粗砂微量	良	淡黄灰～灰褐	暗灰～淡茶褐	被熱
70	Ⅳ区　Ⅳａ層	縄文土器	深鉢	--	--	--	工具ナデ	工具ナデ	粗砂・角閃石微量	良	淡灰～淡黄褐	灰褐～暗灰褐	
71	Ⅳ区　ＳＫ-39	縄文土器	深鉢	--	56×62	--	工具ナデ	工具ナデ	細砂多量 粗砂・茶褐色粒・ 黒褐色粒少量	良	淡橙褐～茶褐	暗灰褐～淡茶褐	
72	Ⅳ区　Ⅲｂ層	土師器	甕	270	--	--	半ミガキ	工具ナデ	微砂・角閃石少量	良好	褐～暗茶褐	茶褐	
73	Ⅳ区　Ⅲｂ層	弥生土器か	甕	約300	--	--	工具ナデ	工具ナデ	白色粒・茶褐色粒 少量、微細砂・角 閃石微量	良	茶褐～淡褐	淡橙褐～淡黄褐	
74	Ⅳ区　Ⅳａ層	土師器	甕	--	--	--	ハケ	工具ナデ	白色粒微量	良	淡褐	淡褐～褐	
75	Ⅳ～Ⅴ区 Ⅲ・Ⅳａ層	弥生土器	甕	--	--	--	工具ナデ	工具ナデ	細砂やや多い 茶褐色粒少量	良	茶褐～淡褐	褐～淡褐	
76	Ⅳ区　Ⅳａ層	土師器	甕	約400	--	--	工具ナデ	工具ナデ	良	良	茶灰～淡黄	茶褐～淡黄褐	
77	Ⅳ～Ⅴ区 Ⅲ・Ⅳａ層	土師器	甕	約450	--	--	工具ナデ	工具ナデ	白色粒・茶褐色粒 少量、小礫微量	良好	淡褐～淡茶褐	淡黄褐	古代

表２　出土遺物観察表（２）

縄文土器　弥生土器　土師器　手捏ね土器　須恵器　黒色土器

ＮＯ	出土地	種類	器種	法量（mm） 口径	底径	器高	調整 外面	内面	胎土	焼成	色調 外面	内面	備考
第11図 78	Ⅳ区　ＳＡ-06上 Ⅳａ'層	土師器	甕	--	53×55	--	工具ナデ	工具ナデ	微細砂やや多い、赤褐色粒・白色粒少量	良	暗灰褐～淡褐	淡茶褐・淡黒灰	
79	Ⅳ区　Ⅱ層	土師器	ミニチュア高坏	--	--	--	ミガキ 外底：工具ナデ	工具ナデ	白色粒少量	良	淡褐～茶褐	淡茶褐	
80	Ⅳ区　Ⅲ層	弥生土器	蓋	240	--	--	ハケ	工具ナデ	黒褐色粒少量	良	淡褐～暗茶褐	淡黄褐～暗茶褐	
81	Ⅳ区　Ⅳａ層	土師器	壷	93	--	--	工具ナデ ～半ミガキ	工具ナデ	赤褐色粒少量 白色粒微量	良	淡茶灰～淡灰黄	淡灰黄～淡橙	
82	Ⅳ～Ⅴ区 Ⅲ～Ⅳａ層	土師器	甑	--	48	--	工具ナデ	工具ナデ	微細砂少量 茶褐色粒微量	良	灰～淡黒灰・淡黄褐	暗茶灰～淡黄褐	
83	Ⅳ区　Ⅳａ層	土師器	高坏	--	169	--	ミガキ	工具ナデ～ナデ	良	ややあまい	橙桃	暗灰～淡黄灰	外面：丹塗り
84	Ⅳ区　Ⅲｂ層	土師器	坏	--	61	--	工具ナデ	工具ナデ	茶褐色粒少量	ややあまい	淡茶褐～淡黄灰	淡黄灰～淡褐	古代
85	Ⅳ区　Ⅲｂ層	土師器	坏か	132	--	--	ナデ→工具ナデ	半ミガキ	良	良	黄褐	淡橙	古代
86	Ⅳ区　Ⅲｂ層	土師器	坏	--	44	--	工具ナデ	工具ナデ	良	ややあまい	茶褐・暗灰	茶灰～茶褐	古代 底部：ヘラ切り
第13図 99	Ⅴ区　Ⅲ層	縄文土器	深鉢	400以上	--	--	粗条痕	条痕	雲母少量	良	暗茶褐～褐	淡橙～淡黄灰	
100	Ⅴ区南東部 Ⅳａ層	縄文土器	深鉢	約450	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微砂少量	良	淡黄褐～茶橙	淡茶黄	
101	Ⅴ区　ＳＡ-04上 Ⅳａ層	縄文土器	深鉢	約450	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微砂微量	良	暗茶褐～茶褐	淡黄褐	
102	Ⅴ区　ＳＤ-01	縄文土器	深鉢	400以上	--	--	工具ナデ	工具ナデ	良	良好	淡黄褐～桃褐	淡黄褐～淡橙	
103	Ⅴ区　ＳＡ-02南 撹乱	縄文土器	深鉢	--	--	--	半ミガキ	丁寧工具ナデ	微砂少量 粗砂・角閃石微量	良	暗茶褐	淡黄褐・暗茶褐	
104	Ⅴ区東南部 Ⅳａ2層	縄文土器	鉢	約450	--	--	半ミガキ	ミガキ	微細砂・角閃石微量	良	茶褐～淡灰黄	淡黄褐～淡灰黄	
105	Ⅴ区南東部 Ⅳａ層	縄文土器	深鉢	約450	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微細砂少量 角閃石微量	良	暗茶灰～暗茶褐	淡黄灰～暗茶褐	
106	Ⅴ区　ＳＤ-01	縄文土器	深鉢	400以上	--	--	条痕・工具ナデ	工具ナデ	角閃石少量	良	暗灰褐	淡茶灰～暗灰	
107	Ⅴ区　ＳＡ-02南 撹乱	縄文土器	浅鉢	--	--	--	ミガキ～半ミガキ	条痕	微細砂・角閃石少量	良	茶褐	茶灰～暗茶灰	被熱
108	Ⅴ区　Ⅲ層	縄文土器	浅鉢	380	--	--	条痕	工具ナデ	微細砂・角閃石少量	良	暗茶褐～淡黄褐	暗灰～淡黄灰	
109	Ⅴ区　Ⅱ層	縄文土器	深鉢	--	--	--	条痕	工具ナデ	微細砂・角閃石少量、小礫微量	良好	淡茶褐	茶灰～淡灰褐	
110	Ⅴ区　Ⅲｂ層	土師器	埦	--	--	--	工具ナデ	半ミガキ	赤褐色粒少量、黒褐色粒やや多い	ややあまい	淡黄褐～淡褐	淡黄褐	内面：若干被熱
111	Ⅴ区　Ⅲｂ層	土師器	鉢か	約300	--	--	工具ナデ	ハケ～工具ナデ	茶褐色粒少量	良	淡黄褐	暗茶褐～淡黄茶	
112	Ⅴ区　Ⅲｂ層	土師器	甕	205	--	--	工具ナデ～ハケ	工具ナデ ～ケズリ	微細砂・茶褐色粒やや多い、小礫少量	ややあまい	茶褐～淡黄褐	茶褐～淡黄褐	
113	Ⅴ区　ＳＡ-04上 Ⅳａ層	土師器	甕	約450	--	--	工具ナデ	工具ナデ	黒褐色粒少量 白色粒微量	良	茶褐～淡褐	淡灰褐～暗茶褐	
114	Ⅴ区　ＳＡ-04上 Ⅳａ層	土師器	小型鉢	92	--	--	粗工具ナデ	ケズリ	粗細砂微量	良	淡褐～淡茶褐	淡褐～淡黄褐	
115	Ⅴ区　Ⅳａ層	土師器	甕	約400	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微細砂・茶褐色粒少量	良	淡茶褐	淡褐～茶褐	
116	Ⅴ区　Ⅳａ層	土師器	甕	約450	--	--	ハケ→工具ナデ	工具ナデ	白色粒少量、茶褐色・黒褐色粒微量	良	淡橙褐	淡褐	
117	Ⅴ区　Ⅳａ層	土師器	甕	241	--	--	ハケ	ハケ→工具ナデ	微細砂・白色粒少量	良	淡橙褐～茶褐	淡茶黄	
118	Ⅴ区　Ⅳａ層	土師器	壷	120	--	--	工具ナデ	工具ナデ	茶褐色粒微量	良	淡黄～淡黄褐	淡黄白～淡黄褐	
119	Ⅴ区　Ⅳａ層	土師器	小型壷	87	--	--	工具ナデ ～半ミガキ	工具ナデ	微砂少量	良	淡褐	淡黄～淡灰褐	
120	Ⅴ区　Ⅳａ層	土師器	壷	82	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微細砂少量、白色粒・黒褐色粒微量	良	暗褐～暗灰褐	暗黄褐・橙褐	
121	Ⅴ区　Ⅳａ層	土師器	蓋	--	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微砂少量 小礫微量	良	暗茶褐～暗灰	淡黒灰～茶灰・橙黄	
122	Ⅴ区　Ⅳａ層	手捏ね土器	壷	--	--	--	粗工具ナデ	工具ナデ	白色粒少量	良	淡黄褐・暗灰	淡灰褐～淡灰黄	
123	Ⅴ区　Ⅳａ層	土師器	小型甕	--	43	--	ハケ～工具ナデ	工具ナデ	白色粒微量 茶褐色粒少量	良	淡褐～暗茶褐	暗茶褐～淡褐・淡黄	
124	Ⅴ区　Ⅳａ1下 ～ａ2層	土師器か	甕	--	75	--	工具ナデ	工具ナデ	微細砂・白色粒少量、小礫微量	良	淡黄褐～淡橙褐・淡黒灰	淡黒灰・淡黄褐	
第14図 125	Ⅴ区　ＳＡ-04南東端 外ＰＰ	土師器	甕	341	--	--	ハケ	工具ナデ	粗細砂少量	良	暗灰褐～淡灰褐	淡茶灰・淡黒灰	
126	Ⅴ区　Ⅳａ1下 ～ａ2層	土師器か	甕	--	71	--	強い工具ナデ～ハケ、底：粗工具ナデ	工具ナデ	赤褐色・白色粒少量、微細砂微量	良	淡褐～淡灰褐～暗茶褐	淡褐～淡橙褐	
127	Ⅴ区　Ⅳａ1層	土師器	鉢	112	55	43	ミガキ	ミガキ	赤褐色粒少量	ややあまい	淡赤茶	橙褐・淡黄褐	外面：丹塗り やや歪つ
128	Ⅴ区　Ⅳａ層	土師器	高坏	--	--	--	ミガキ	粗ミガキ 底：工具ナデ	白色粒微量	ややあまい	暗茶褐・淡赤茶	淡橙	丹痕 被熱
129	Ⅴ区　Ⅳａ層	須恵器模倣土師器	坏蓋	135	--	--	ミガキ	粗ミガキ	微砂・黒褐色粒微量	良	暗桃橙	桃褐～黄褐	外面：丹塗り
130	Ⅴ区　Ⅳａ層	土師器	高坏	147	--	--	粗ミガキ	ミガキ	黒褐色粒少量	良	淡赤茶	淡赤茶・淡黄褐	丹塗り
131	Ⅴ区　Ⅳａ層	土師器	高坏	--	156	--	ミガキ (ヨコ→タテ)	丁寧工具ナデ	良	良	赤桃	茶灰～淡茶褐	被熱 丹塗り
132	Ⅴ区　Ⅲ層	須恵器	坏蓋	約200	--	--	ケズリ～ナデ	ナデ→工具ナデ	粗細砂少量	良好	淡黒褐	暗灰～暗灰褐	
133	Ⅲ～Ⅴ区 Ⅲ～Ⅳａ層	須恵器	壷	147	--	--	ナデ	ナデ→工具ナデ	微細砂少量 小礫微量	良	暗灰	灰褐～暗灰	内面：灰被り
134	Ⅴ区　南端Ⅲ層	須恵器	提瓶か	--	--	--	カキ目	同心円タタキ	良	堅緻	淡灰褐	灰青	
135	Ⅴ区　Ⅲ層	黒色土器	埦	--	73	--	工具ナデ	ミガキ	良	良	淡黄褐	黒褐～暗灰褐	
第15図 142	Ⅵ区　ＳＡ-11北 Ⅳａ1'層	縄文土器	浅鉢	約450	--	--	ミガキ	ミガキ	微砂微量	良	茶褐～暗茶褐	茶褐～暗灰褐	
143	Ⅵ区　ＳＡ-12上 Ⅳａ層	縄文土器	浅鉢	約200	--	--	ミガキ	ミガキ	良	良	淡黒褐・淡茶褐	淡黒褐・暗茶褐	
144	Ⅵ区　ＳＡ-12西 Ⅳａ1層	縄文土器	浅鉢	--	--	--	半ミガキ	ミガキ	良	良	暗茶褐	茶褐	
145	Ⅵ区　ＳＫ-35上 Ⅳａ1層	縄文土器	浅鉢	--	--	--	ミガキ	ミガキ	微砂少量 角閃石微量	良	淡黒灰～暗灰	暗茶灰～淡茶褐	
146	Ⅵ区　Ｅ６北１ｍの 撹乱	縄文土器	浅鉢	約450	--	--	ミガキ	ミガキ	微細砂微量	ややあまい	淡黄～淡黄灰	淡黄～淡黄灰	
147	Ⅵ区　ＳＡ-12上 Ⅳａ層	縄文土器	深鉢	--	--	--	ミガキ	ミガキ	微細砂少量	ややあまい	暗茶褐	淡茶褐～暗茶褐	

表3　出土遺物観察表（3）　縄文土器　弥生土器　土師器

NO	出土地	種類	器種	法量(mm) 口径	底径	器高	調整 外面	内面	胎土	焼成	色調 外面	内面	備考
第15図 148	Ⅵ区 南西部風倒木 Ⅳa層	縄文土器	深鉢	約400	--	--	ミガキ	工具ナデ	微細砂少量	良	淡黄褐～暗灰褐	淡黄褐～淡茶褐	
149	Ⅵ区 SA-11北 Ⅳa1'層	縄文土器	鉢か	約450	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微砂やや多い、細砂・角閃石少量	良	暗茶褐～茶褐	淡茶褐～暗茶褐	
150	Ⅵ区 E6北1mの撹乱	縄文土器	浅鉢	約250	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微細砂少量 粗砂微量	良	暗茶褐	暗茶褐	
151	Ⅵ区 SK-33	縄文土器	浅鉢	--	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微細砂少量	良	淡黄褐～暗茶褐	黄褐・淡黒灰	
152	Ⅵ区 SA-11北 Ⅳa1'層	縄文土器	浅鉢	--	--	--	ミガキ	ミガキ	微砂少量	良	茶褐～暗灰褐	暗茶褐～暗茶灰	
153	Ⅵ区 SA-12の西 Ⅳa1層	縄文土器	浅鉢	--	--	--	ミガキか	丁寧ミガキ～粗ミガキ	微細砂・角閃石少量	良	淡橙褐～茶橙	淡褐～淡茶灰	
154	Ⅵ区 SA-12の西 Ⅳa1層	縄文土器	浅鉢	--	--	--	工具ナデ	工具ナデ	茶褐色粒多量 白色粒少量	良	淡褐～灰褐	淡黄褐	
155	Ⅵ区 SA-11北 Ⅳa1'層	縄文土器	浅鉢	--	--	--	粗ミガキ	工具ナデ	粗細砂少量	良	淡黄褐	淡黄・暗茶灰	被熱
156	Ⅵ区 SA-12の西側 Ⅳa1層	縄文土器	浅鉢	--	--	--	ミガキ	ミガキ	微細砂やや多い 粗細砂・白色粒・角閃石少量	良	暗茶灰～淡黒灰	暗茶褐～茶褐	
157	Ⅵ区 SA-11北 Ⅳa1'層	縄文土器	深鉢	--	--	--	粗ミガキ	工具ナデ	微細砂少量 角閃石微量	良	暗茶褐～暗灰褐	暗茶褐～暗茶灰	
158	Ⅵ区 SA-12内の撹乱	縄文土器	深鉢	--	--	--	工具ナデ	工具ナデ	粗細砂少量	良	淡黄灰～淡黄褐	淡黄褐	
159	Ⅵ区 SA-12上 Ⅳa'層	縄文土器	深鉢	--	103	--	工具ナデ	工具ナデ	粗細砂・角閃石少量	良好	茶～茶褐	茶褐～褐灰	
160	Ⅵ区 SA-11北 Ⅳa1'層	縄文土器	深鉢	--	101	--	工具ナデ	工具ナデ	微細砂少量 角閃石微量	良	橙褐～淡黄褐	黄褐	
161	Ⅵ区 Ⅳa'層	縄文土器	深鉢か	--	103	--	工具ナデ	--	粗細砂やや多い 角閃石少量	ややあまい	桃橙～茶褐	--	
162	Ⅵ区 SA-12の西側 Ⅳa1層	縄文土器	深鉢	--	95×103	--	工具ナデ	丁寧工具ナデ	微細砂・角閃石少量、小礫・茶褐色粒微量	良	淡黄褐～淡褐	淡灰黄～淡灰褐	
163	Ⅵ区 SA-11北 Ⅳa1'層 (撹乱pit内)	縄文土器	深鉢	436	--	--	工具ナデ	半ミガキ～工具ナデ	微細砂少量 小礫・角閃石微量	良	淡黄～淡褐	淡黄灰～淡灰褐	被熱
164	Ⅵ区 SA-11北 Ⅳa1'層	土師器	小型壺	--	--	--	半ミガキ	工具ナデ	微細砂・白色粒少量	良	淡茶橙～黄褐	淡褐～褐	
第21図 181	SK-27	縄文土器	深鉢	--	--	--	工具ナデ・半ミガキ	工具ナデ	微細砂やや多い 粗砂・黒褐色粒少量	良	暗茶灰～淡褐	淡茶褐～淡灰黄	
183	SK-45	縄文土器	深鉢	約450	--	--	条痕	工具ナデ	微細砂少量	良	淡橙褐	淡茶橙	
184	SK-45	縄文土器	深鉢	--	85	--	工具ナデ	条痕	微細砂少量	良	橙褐・淡黄褐	淡茶褐～暗灰褐	
185	SK-10 上層	縄文土器	浅鉢	172	--	--	粗ミガキ	工具ナデ	良	良	淡黄～淡灰褐	淡黄褐～淡灰褐	被熱
186	SK-10	縄文土器	深鉢	--	約170	--	条痕	半ミガキ	良	良	茶灰～淡灰褐	茶褐～淡褐	被熱、底部：白色付着物少量
187	SK-10	縄文土器	鉢	--	--	--	丁寧ミガキ	丁寧ミガキ (ヨコ→タテ)	微砂少量	良	黒褐	黒褐	外面：沈線内朱痕
188	SK-10 下層	縄文土器	鉢	62	--	--	粗ミガキ	ミガキ	良	良	淡黄白～淡灰・淡黒灰	淡褐	
189	SK-10	縄文土器	浅鉢	303	--	--	粗工具ナデ	強い工具ナデ	微細砂少量 小礫微量	良	暗灰～淡黄灰	暗灰～灰褐	
190	SK-10 下層	縄文土器	鉢	--	--	--	ミガキ	ミガキ	良	良	灰～淡黒灰	暗灰～淡黒灰	
191	SK-10	土師器	甕	--	--	--	工具ナデ→ナデ	工具ナデ	微砂・白色粒少量	良	淡褐～茶灰	淡褐～淡褐灰	
192	SK-10 上層	土師器	小型鉢	124	--	--	ミガキ	工具ナデ	白色粒微量	ややあまい	淡赤茶	淡赤茶・淡黄	外面：丹塗り痕 内面：丹塗り
193	SK-10	土師器	高坏	約250	--	--	ミガキ (ヨコ→タテ)	ミガキ	良	ややあまい	淡褐	淡褐・暗灰褐	
第22図 196	SK-28	縄文土器	浅鉢	429	--	--	ミガキ	ミガキ	角閃石やや多い	良	淡黄褐～淡黒灰	淡茶褐～淡灰褐	内径4㎜、外径6×8㎜の両面穿孔(補修孔か)
197	SK-31	縄文土器	浅鉢	--	--	--	粗条痕	条痕	微砂少量	良	淡茶褐～暗茶褐	淡茶灰・暗茶褐～淡黒褐	
198	SK-34	縄文土器	浅鉢	190	--	--	ミガキ	ミガキ	微細砂・角閃石少量	良	暗茶褐～淡茶灰	淡茶褐～暗灰褐	
199	SK-34	縄文土器	浅鉢	約400	--	--	ミガキ	ミガキ	微細砂少量 角閃石微量	良	茶褐	灰褐～淡茶褐	口唇：淡黒褐
200	SK-34南の撹乱	縄文土器	浅鉢	--	--	--	ミガキ	工具ナデ～ミガキ	良	良	黒灰～暗茶褐	淡黒灰～茶褐	被熱
201	SK-34	縄文土器	浅鉢	--	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微細砂少量	良	茶褐～暗茶褐	茶褐～暗褐	
202	SK-34	縄文土器	鉢	約250	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微砂少量	良	暗茶褐～淡黒褐	黒褐～暗茶褐	
203	SK-34	縄文土器	浅鉢	426	--	--	ミガキ (ヨコ→タテ)	ミガキ (ヨコ→タテ)	微細砂少量 角閃石やや多い	良	茶褐～暗茶褐	淡茶褐・黒褐	内面：斜半分黒褐色
204	SK-34	縄文土器	浅鉢	--	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微細砂微量	良	淡黄褐～淡茶褐	暗茶灰・淡茶褐	
205	SK-34	縄文土器	浅鉢	--	97	--	工具ナデ	半ミガキ	微細砂少量	良	茶橙～淡黄褐	暗灰褐～暗茶褐	被熱
第24図 208	SA-01 1層	土師器か	甕	約300	--	--	ハケ	工具ナデ	微細砂少量 茶褐色粒微量	ややあまい	淡茶褐～淡茶黄	淡褐～淡黄	
209	SA-01 1層	土師器か	甕	約450	--	--	工具ナデ	ハケ	微砂・茶褐色粒微量	良	暗茶褐～褐	淡褐・茶褐	
210	SA-01 1層	土師器か	甕	約400	--	--	ハケ	工具ナデ	微砂微量	良	茶褐・黒斑	淡褐～淡黄褐	
211	SA-01 1層	土師器か	甕	約250	--	--	工具ナデ	工具ナデ	良	良	淡茶褐～淡茶灰	淡褐・淡黒褐	
212	SA-01 1層	土師器か	甕	約350	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微細砂少量	良	淡褐灰～淡黄褐	淡黄褐	
213	SA-01 1層	土師器か	甕か甑	--	--	--	工具ナデ	工具ナデ	良	良	淡茶黄～橙褐	淡橙褐・淡黄	
214	SA-01 1層	土師器か	甕	--	66	--	ハケ	工具ナデ	微細砂少量 粗砂微量	良	茶灰～茶黄	暗灰～黒褐	底部：木葉痕
215	SA-01 1層	土師器か	鉢か	約200	--	--	工具ナデ	工具ナデ	黒褐色粒微量	良	暗灰褐～淡黄褐	淡橙黄	
216	SA-01 1層	土師器か	蓋か	約400	--	--	ハケ	工具ナデ	微砂・赤褐色粒少量	ややあまい	淡褐	淡褐	
221	SA-01 2層	弥生土器か	甕	約350	--	--	工具ナデ	ハケ	黒褐色粒微量 茶褐色粒少量	良	淡茶褐	淡褐～淡黄褐	
222	SA-01 2層	弥生土器か	壺	118	--	--	工具ナデ	工具ナデ・ハケ	粗細砂・茶褐色粒微量	ややあまい	淡褐～淡黄	淡褐～茶褐	
223	SA-01 2層	弥生土器か	蓋	--	--	--	ハケ	工具ナデ	茶褐色粒少量	良	淡茶褐～淡黄褐	淡茶褐～暗灰褐	

表４　出土遺物観察表（４）

縄文土器　土師器　須恵器

ＮＯ	出土地	種類	器種	法量(mm) 口径	底径	器高	調整 外面	内面	胎土	焼成	色調 外面	内面	備考
第26図 224	ＳＡ-02　北半	土師器	甕	約300	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微細砂少量	良	淡褐～淡灰褐	暗茶褐～暗灰褐	
225	ＳＡ-02　南半	土師器	壷	約400	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微細砂・白色粒少量、赤褐色粒微量	ややあまい	淡褐～淡橙黄	淡褐	
第28図 226	ＳＡ-03　1層	縄文土器	浅鉢	--	--	--	ミガキ	ナデ・丁寧ミガキ	粗細砂微量	良	暗茶褐～淡黒褐	淡灰黄～暗灰褐	
227	ＳＡ-03　2層	縄文土器	浅鉢	265	--	--	ミガキ	ミガキ	微砂少量	良	暗茶褐	淡黒褐～暗茶灰	
228	ＳＡ-03Ａ　1層	土師器	甕	234	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微細砂・茶褐色粒少量	ややあまい	暗桃褐	淡茶褐	
229	ＳＡ-03Ａ　1層	土師器	甕	239	--	--	粗工具ナデ	ハケ～工具ナデ	微細砂・白色粒少量	良	茶褐～茶灰	茶褐・淡褐	被熱
230	ＳＡ-03Ａ　1層	土師器	甕	206	--	--	ハケ	工具ナデ	微細砂・白色・茶褐色粒微量 黒褐色粒少量	ややあまい	淡黄褐～淡褐	淡茶褐～淡褐	
231	ＳＡ-03Ａ　1層	土師器	甕	--	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微細砂・白色・茶褐色粒少量	良	淡黄褐～茶褐	茶褐～褐	
232	ＳＡ-03Ａ　1層	土師器	甕	357	--	--	工具ナデ・ナデ	工具ナデ	微細砂少量、白色・茶褐色粒微量	良	淡茶橙	淡橙褐～淡褐	
233	ＳＡ-03Ａ　1層	土師器	壷	--	--	--	工具ナデ	半ケズリ～工具ナデ	微細砂・赤褐色粒少量	良	橙褐～黄褐	淡黄褐	
234	ＳＡ-03Ａ　1層	土師器	甕	約450	--	--	工具ナデ・ハケ	ハケ	微細砂・赤褐色粒少量	良	暗茶～橙褐	淡茶褐	
235	ＳＡ-03Ａ　1層	土師器	甕	--	--	--	ハケ	工具ナデ	微細砂・茶褐色粒微量 黒褐色粒少量	良	淡褐～茶褐	淡茶褐	
236	ＳＡ-03Ａ　1層	土師器	甕	約400	--	--	ハケ～工具ナデ	ハケ～工具ナデ	粗細砂微量	良	淡茶褐～暗茶褐	淡褐・黒斑	
237	ＳＡ-03Ａ　1層	土師器	甕	約350	--	--	ハケ	ハケ→工具ナデ	微砂少量 赤褐色粒微量	良	淡桃褐	淡茶褐	
238	ＳＡ-03Ａ　1層	土師器	甕	約450	--	--	ハケ	工具ナデ	微細砂少量	良	茶褐～暗褐	淡黄褐～淡黄橙	
239	ＳＡ-03Ａ　1層	土師器	甕	--	--	--	工具ナデ	工具ナデ（ヨコ→タテ）	微細砂少量 小礫微量	良	暗茶灰～茶灰	茶褐・淡黒灰	
240	ＳＡ-03Ａ　1層	土師器	甕	--	70	--	工具ナデ	工具ナデ	白色粒少量 赤褐色粒微量	良	橙～淡黄褐	淡黄灰	
241	ＳＡ-03	土師器	甕	(269)	(92)	(273)	工具ナデ	ハケ・工具ナデ	微細石英やや多い、茶褐色粒少量	良	淡黄褐～淡橙黄	橙褐～淡黄灰～茶灰	埋設炉
242	ＳＡ-03Ａ　1層	土師器	甕	--	54	--	工具ナデ	工具ナデ	微細砂・茶褐色粒少量	良	暗褐～淡橙茶	暗紫灰～褐	
第29図 243	ＳＡ-03Ａ　1層	土師器	壷	93	--	--	工具ナデ	工具ナデ	茶褐色粒少量	ややあまい	淡黄褐～淡灰黄	淡黄褐	
244	ＳＡ-03Ａ　1層	土師器	壷	--	--	--	工具ナデ	ケズリ～強い工具ナデ	茶褐色粒微量	良	茶橙～淡黄	淡黄褐	被熱
245	ＳＡ-03Ａ　1層	土師器	高坏	--	--	--	ハケ	--	微細砂やや多い	良	淡黄～淡褐	淡黄灰 脚：淡黒灰	
246	ＳＡ-03Ａ　1層	土師器	高坏	--	188	--	工具ナデ	工具ナデ	微細砂やや多い 白色粒少量	ややあまい	黄褐	暗灰～桃褐	
247	ＳＡ-03Ａ　1層	土師器	鉢か蓋	152	--	--	ミガキ	工具ナデ	白色・茶褐色粒微量	ややあまい	茶～茶褐	暗黄褐	外面：丹塗り
248	ＳＡ-03Ａ　1層	須恵器模倣土師器	坏蓋	144	--	--	ミガキ	工具ナデ	茶褐色粒少量	ややあまい	淡黒褐～淡茶褐	茶褐	外面：丹痕
249	ＳＡ-03Ａ　1層	土師器	鉢か	90	--	--	ミガキ	工具ナデ	良	良	淡赤茶	淡赤茶・黄褐	丹塗り
250	ＳＡ-03Ａ　1層	土師器	鉢	171	--	--	ミガキ	ミガキ	良	良	赤茶	淡橙褐～淡褐	丹塗り
251	ＳＡ-03Ａ　1層	土師器	高坏	202	--	--	ミガキ	ミガキ（ヨコ→タテ）	良	ややあまい	淡赤茶	淡赤褐	丹塗り
252	ＳＡ-03Ａ　1層	土師器	高坏	165	--	--	ミガキ	半ミガキ	白色・茶褐色粒微量	ややあまい	淡赤茶	淡橙黄～淡褐	外面：丹痕
253	ＳＡ-03Ａ　1層	土師器	高坏	--	--	--	半ミガキ	工具ナデ	茶褐色粒少量	良	茶褐～暗茶褐	淡黄褐	外面：丹塗りか
254	ＳＡ-03Ａ　1層	土師器	高坏か	約250	--	--	ミガキ	工具ナデ	白色粒微量	あまい	暗茶～淡赤茶	茶～淡黄褐	丹塗り
255	ＳＡ-03Ａ　1層	土師器	高坏	--	--	--	ミガキ（ナナメ→タテ）	坏：ミガキ 脚：工具ナデ	良	ややあまい	淡赤桃	淡褐	外面：丹塗り
256	ＳＡ-03Ａ　1層	土師器	高坏	--	87	--	ミガキ	工具ナデ	黒褐色粒少量 茶褐色粒微量	良	淡赤桃	暗灰～暗灰褐	外面：丹塗り
257	ＳＡ-03Ａ　1層	土師器	鉢	--	--	--	ミガキ	工具ナデ	茶褐色粒少量 白色粒微量	ややあまい	桃褐	茶褐～淡黄灰	外面：丹塗り
258	ＳＡ-03Ａ　1層	土師器	鉢	--	38×40	--	ミガキ	工具ナデ	白色・茶褐色粒少量	ややあまい	淡赤茶～淡茶褐	茶橙・淡橙褐	外面：丹塗り
259	ＳＡ-03Ａ　1層	土師器	小型鉢	72×78	30~32	79	ミガキ	工具ナデ	良	ややあまい	淡赤褐～淡黄褐	茶褐～淡褐・黒斑	丹塗り
260	ＳＡ-03Ａ　1層	須恵器	甕	--	--	--	平行タタキ	同心円タタキ	微細砂少量	良好	灰青	淡褐灰	
261	ＳＡ-03Ａ　1層	須恵器	坏蓋	約200	--	--	工具ナデ	ナデ～ハケ状	良	良	灰青～淡灰青	淡灰褐	269と同一個体か
262	ＳＡ-03Ａ　1層	須恵器	横瓶か	--	--	--	カキ目	同心円タタキ～ナデ	微細砂少量 小礫微量	良	淡黒褐～暗灰	灰青	
第30図 268	ＳＡ-03Ａ　2層	須恵器	坏蓋	--	--	--	ナデ	ナデ	良	良	暗灰	淡褐灰	261と同一個体か
第31図 269	ＳＡ-03　1層	土師器	小型甕	--	--	--	ハケ	工具ナデ	微細砂少量 茶褐色粒微量	良	淡褐	淡褐～茶灰	
270	ＳＡ-03　1層	土師器	鉢	--	83	--	工具ナデ	工具ナデ（ヨコ→タテ）	赤褐色粒やや多い、白色粒少量	良	淡灰黄～淡黄褐	灰～暗灰	
271	ＳＡ-03　1層	土師器	壷	--	25	--	ハケ	ハケ	微細砂・白色・黒褐色粒少量	良	黄褐～淡茶褐	淡橙～黄褐	
272	ＳＡ-03　1層	土師器	高坏	--	--	--	--	ミガキ	微砂少量	良	--	淡黒灰～淡褐	
273	ＳＡ-03	土師器	高坏	182	--	--	ミガキ（ヨコ→タテ）	ミガキ	良	良	赤茶	淡赤茶・暗灰褐・淡橙褐	丹塗り
274	ＳＡ-03　1層	土師器	高坏か	--	--	--	--（マメツ）	布目	良	ややあまい	暗茶	淡褐	外面：丹塗り
275	ＳＡ-03　1層	須恵器模倣土師器	坏身	約180	--	--	ミガキ	--（ややマメツ）	良	ややあまい	淡赤茶	淡赤茶～橙褐	丹塗り
276	ＳＡ-03　1層	須恵器模倣土師器	坏身	--	--	--	ミガキ	工具ナデ	良	あまい	暗赤褐	橙褐	外面：丹塗り 内面：丹塗痕
277	ＳＡ-03　1層	須恵器模倣土師器	坏身	156	--	--	ミガキ	工具ナデ	良	ややあまい	淡赤茶	赤茶・橙褐	丹塗り
278	ＳＡ-03　1層	須恵器模倣土師器	坏身	153	--	--	ミガキ	工具ナデ	良	良	淡赤茶	淡赤茶～茶褐	丹塗り
281	ＳＡ-03Ｂ　1層	土師器	甕	--	--	--	工具ナデ	工具ナデ	白色粒微量	良	淡茶褐～淡褐	淡褐	
282	ＳＡ-03Ｂ　1層	土師器	甕	261	--	--	工具ナデ	工具ナデ～粗工具ナデ	茶褐色・白色粒少量、角閃石微量	良	褐～淡褐	褐～淡褐	

表５　出土遺物観察表（５）

縄文土器　弥生土器　土師器　須恵器

ＮＯ	出土地	種類	器種	法量(mm) 口径	底径	器高	調整 外面	調整 内面	胎土	焼成	色調 外面	色調 内面	備考
第31図 283	ＳＡ-03Ｂ	土師器	甕	約400	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微細砂・白色粒少量	良	茶橙～橙・淡灰	淡灰褐・淡茶褐～茶褐	
284	ＳＡ-03Ｂ　1層	土師器	甕	277	--	--	工具ナデ	ハケ（ヨコ→タテ）工具ナデ	白色粒やや多い 茶褐色・黒褐色粒少量	ややあまい	橙褐・黄褐	淡黄褐～淡橙褐	
285	ＳＡ-03Ｂ　1層	土師器	甕	--	80×83	--	工具ナデ	工具ナデ	微細砂・白色粒少量、茶褐色粒微量	良	茶褐～淡黄褐	淡黒褐	
286	ＳＡ-03Ｂ　1層	土師器	小型甕	98	--	--	工具ナデ 粗ミガキ	工具ナデ	白色粒微量	良	茶～茶褐	淡茶褐～淡黄褐	
287	ＳＡ-03Ｂ　1層	土師器	壷	122	--	--	工具ナデ～ハケ	工具ナデ	微細砂・茶褐色・白色粒少量	ややあまい	淡橙～黄褐	茶橙	
288	ＳＡ-03Ｂ　1層	土師器	壷	--	--	--	工具ナデ	工具ナデ	白色粒やや多い 茶褐色粒少量	良	橙褐・褐黄	淡黄褐～淡茶褐	
289	ＳＡ-03Ｂ　1層	土師器	高坏	約400	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微砂少量、白色・茶褐色粒微量	ややあまい	淡茶黄・淡黒灰～暗灰	褐～淡橙褐	
290	ＳＡ-03Ｂ　1層	土師器	蓋	約450	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微細砂やや多い 白色・茶褐色粒少量	ややあまい	暗茶褐	暗褐～淡褐	
291	ＳＡ-03Ｂ　1層	土師器	高坏	--	約170	--	工具ナデ	ハケ→工具ナデ	良	良	淡褐	淡褐～淡灰黄	やや歪つ
292	ＳＡ-03Ｂ　1層	土師器	鉢	130×132	52	54	ミガキ	ハケ・半ミガキ	良	あまい	暗茶褐～茶褐	淡茶褐・桃褐	丹塗り痕
293	ＳＡ-03Ｂ　1層	土師器	小型鉢	76	--	--	ミガキ	工具ナデ	微細砂微量	良	淡桃褐	淡黄褐～暗灰	外面：丹塗り
294	ＳＡ-03Ｂ　1層	土師器	鉢	108	--	67	粗ミガキ	工具ナデ	白色粒微量	あまい	赤褐～暗桃褐	淡黄白～淡褐	外面：丹塗り痕
295	ＳＡ-04　1層	縄文土器	深鉢	約450	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微砂少量	良	橙褐～暗茶褐	淡黄褐	被熱
296	ＳＡ-04　1層	縄文土器	鉢	--	--	--	条痕	工具ナデ	微砂少量	良好	橙褐～淡茶褐	淡茶褐	
297	ＳＡ-04　1層	土師器	甕	約400	--	--	工具ナデ	ハケ	微細石英少量	良	黒褐	暗茶灰・淡黄褐	
298	ＳＡ-04　1層	弥生土器	高坏	--	--	--	工具ナデ・ハケ	工具ナデ	白色・茶褐色粒少量	良	淡桃～淡褐	淡黄灰・暗灰～黒灰	焼成前穿孔
299	ＳＡ-04　1層	土師器	鉢	125	--	--	ハケ	工具ナデ	白色・茶褐色粒少量	ややあまい	黄褐～淡黄褐	黄褐～淡茶橙	
300	ＳＡ-04　1層	須恵器模倣土師器	蓋	約450	--	--	工具ナデ～ハケ	工具ナデ	微砂少量 茶褐色粒微量	良	淡茶橙～茶灰	淡茶褐	被熱
301	ＳＡ-04	土師器	小型壷	52×56	--	80	工具ナデ・半ミガキ	ナデ	黒褐色粒やや多い	良	淡茶灰～淡茶褐	淡茶褐～暗茶褐	
302	ＳＡ-04　1層	須恵器模倣土師器	坏蓋か	108	--	--	工具ナデ・ナデ	ナデ	白色粒少量	良	淡橙茶～茶褐・茶灰	暗灰褐・淡橙茶	やや歪つ
第35図 306	ＳＡ-05　1層	縄文土器	深鉢	--	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微細砂・茶褐色粒少量	良	暗灰～淡黄褐	淡橙褐～褐	被熱
307	ＳＡ-05　1層	縄文土器	深鉢	--	--	--	工具ナデ	工具ナデ	良	良	淡黄・淡橙	淡黄褐～淡桃橙	
308	ＳＡ-05Ｂ　1層	縄文土器	深鉢	--	--	--	丁寧ミガキ	丁寧ミガキ	微砂少量	良	黒褐～暗灰	黒褐	
309	ＳＡ-05Ａ　1層	土師器	甕	187	--	--	ハケ	工具ナデ・ハケ	白色粒少量 赤褐色粒微量	ややあまい	暗茶褐～淡橙黄	橙褐～茶橙	
310	ＳＡ-05Ａ　1層	土師器	甕	約400	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微細砂少量 茶褐色粒微量	良	淡橙茶～黄褐	淡黄褐～暗灰	
311	ＳＡ-05Ａ　1層	土師器	甕	約300	--	--	工具ナデ	工具ナデ	粗細砂微量	良	橙褐	黄褐	
312	ＳＡ-05Ａ　1層	土師器	甕	約400	--	--	工具ナデ	ハケ	白色粒少量 茶褐色粒微量	良	黄褐～淡黄褐	茶橙～黄褐	
313	ＳＡ-05Ａ　1層	土師器	甕	約400	--	--	工具ナデ	工具ナデ	白色粒少量	良	淡黄褐～褐	淡橙黄	
314	ＳＡ-05Ａ　1層	土師器	小型壷	64	--	--	工具ナデ	工具ナデ	茶褐色粒少量	良	淡橙褐～淡黄	淡黄褐	
315	ＳＡ-05Ａ　1層	土師器	甕	--	69×70	--	工具ナデ	丁寧工具ナデ	微細石英やや多い	良	淡橙褐～淡黄褐	淡黒灰～暗灰	外底：白色付着物少量、内面：オコゲ少量
316	ＳＡ-05Ａ　1層	土師器	甕	--	83×85	--	粗工具ナデ・工具ナデ	工具ナデ→半ミガキ	微細砂・白色・茶褐色粒少量	良	茶褐～淡灰褐～淡黄褐	暗茶灰～褐～淡黄褐	
317	ＳＡ-05	土師器	甕	(210×227)	58×66	(191)	工具ナデ	工具ナデ	白色粒やや多い 粗細砂・茶褐色粒少量	良	淡橙褐～淡黄褐～淡茶灰	淡桃褐～黄褐・淡黄～淡茶灰	埋設炉 歪つ
318	ＳＡ-05Ａ　1層	土師器	小型甕	--	50	--	ハケ	工具ナデ	微細砂・白色粒少量	良	淡橙～淡黄褐	淡黒灰・暗茶褐	
319	ＳＡ-05Ａ　1層	土師器	坏	--	--	--	工具ナデ・ミガキ	ミガキ	良	ややあまい	淡赤茶～淡黄褐 体部の一部：黒紫	淡灰黄・淡黒灰 体部の一部：暗灰褐	外面：丹塗り
320	ＳＡ-05Ａ　1a2層	土師器	高坏	172×174	140×142	169	ミガキ	坏：ミガキ 脚：工具ナデ	赤褐色粒微量	ややあまい	茶～淡赤橙	淡茶褐	丹塗り 被熱
321	ＳＡ-05Ａ　1層	土師器	高坏	--	--	--	ミガキ	工具ナデ	白色粒微量	良	淡赤桃	黄褐～淡橙	外面：丹塗り
322	ＳＡ-05Ａ　1層	須恵器	提瓶か	--	--	--	カキ目	同心円タタキ	微細砂微量	良好	暗灰褐	灰褐～淡茶灰	
323	ＳＡ-05Ａ　1層	須恵器	甕	--	--	--	格子目タタキ→ナデ消し	同心円タタキ	粗細砂微量	良	暗灰青	淡灰褐	
325	ＳＡ-05　2層	土師器	甕	約400	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微細砂少量、黒褐色・赤褐色粒微量	良	橙褐	淡橙	
326	ＳＡ-05　2層	土師器	甕	約200	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微細砂・黒褐色粒少量	良	淡橙～淡橙黄	淡黄褐～茶灰	
328	ＳＡ-05　2層	須恵器	提瓶か	--	--	--	カキ目	ナデ消し・同心円タタキ	黒褐色粒少量	ややあまい	淡灰～灰青～茶灰	淡灰褐	
329	ＳＡ-05　1層	土師器	甕	約500	--	--	工具ナデ	粗工具ナデ	微細砂微量	良	暗灰褐～淡茶褐	淡橙～淡褐	
330	ＳＡ-05　1ａ層	土師器	甕	約400	--	--	ハケ→工具ナデ	工具ナデ（ヨコ→タテ）	微細砂少量	良	淡黄茶～茶褐	淡橙褐	
331	ＳＡ-05　1a2層	土師器	甕	約250	--	--	工具ナデ	工具ナデ	粗細砂・赤褐色粒微量	良	茶褐	淡橙・淡黄	
332	ＳＡ-05　1ａ層	土師器	甕	約250	--	--	工具ナデ	工具ナデ	良	良	暗茶褐	暗茶褐	被熱
333	ＳＡ-05　1ａ層	土師器	ミニチュア甕	--	40	--	工具ナデ	工具ナデ	微砂少量	良	淡黄褐～淡橙褐	淡黄褐～橙褐	
第36図 334	ＳＡ-05　1層	土師器	鉢	約200	--	--	半ミガキ	工具ナデ	粗砂少量	良	暗褐～淡茶褐	暗褐～暗茶灰	
335	ＳＡ-05　1層	土師器	鉢	約250	--	--	粗ハケ	工具ナデ	粗細砂少量	良	淡茶褐～暗茶褐	淡茶褐～茶褐	
336	ＳＡ-05　1ａ層	土師器	鉢	168	--	--	ミガキ	ミガキ	良	ややあまい	桃褐	褐～淡褐	外面：丹塗り
337	ＳＡ-05　1a1層	須恵器	坏蓋	--	--	--	工具ナデ	ナデ	良	良	灰褐～淡黄灰	淡黄灰	
338	ＳＡ-05　1層	須恵器	坏蓋	--	--	--	ナデ	ナデ	良	良	淡灰～暗灰	淡褐灰	

表6　出土遺物観察表（6）

縄文土器　弥生土器　土師器　手捏ね土器　須恵器

NO	出土地	種類	器種	法量(mm) 口径	底径	器高	調整 外面	内面	胎土	焼成	色調 外面	内面	備考
第36図 342	ＳＡ-05Ｂ 土器炉周辺	土師器	甕	約200	--	--	工具ナデ	工具ナデ	白色粒微量	良	淡茶褐～淡黄褐	淡茶褐～暗灰褐	
343	ＳＡ-05Ｂ　1層	土師器	甕	約250	--	--	ハケ	工具ナデ (ヨコ→タテ)	白色・茶褐色粒微量	ややあまい	暗茶褐～暗黄褐	淡橙～黄褐	やや歪つ
344	ＳＡ-05Ｂ　1層	弥生土器	甕	300	--	--	ナデ～粗ハケ	工具ナデ	微細砂・白色粒少量、茶褐色粒微量	良	暗褐～暗茶灰	暗橙褐～橙灰	
345	ＳＡ-05Ｂ　1層	弥生土器	甕	--	95	--	粗工具ナデ	粗工具ナデ	白色・茶褐色粒少量	良	淡茶灰～淡黄褐	淡黄褐	
346	ＳＡ-05Ｂ　1層	弥生土器	甕	112	--	--	工具ナデ	工具ナデ	白色・茶褐色粒少量	良	黒褐～暗茶灰	淡黄褐～淡黄灰	被熱
347	ＳＡ-05Ｂ　1層	弥生土器	高坏	353	--	--	半ミガキ	ミガキ	微細砂・白色茶褐色粒少量小礫微量	良	淡黄～茶橙～暗茶褐	淡茶褐～淡橙褐・黒斑	やや歪つ
348	ＳＡ-05Ｂ　1層	土師器	高坏	--	--	--	ミガキ	ミガキ	良	ややあまい	淡赤桃	淡橙黄	外面：丹塗り
349	ＳＡ-05Ｂ　1層	土師器	高坏	--	--	--	ミガキ	工具ナデ	良	ややあまい	淡赤桃	暗灰	外面：丹塗り
350	ＳＡ-05Ｂ　1層	土師器	高坏	--	--	--	ミガキ	ミガキ 脚：工具ナデ	茶褐色粒微量	ややあまい	淡橙桃	淡褐	外面：丹塗り
353	ＳＡ-05Ｂ　2層	土師器	高坏	156	--	--	ミガキ	ミガキ	赤褐色・黒褐色粒少量、白色粒微量	ややあまい	淡赤桃	淡赤桃～桃褐	丹塗り
第38図 354	ＳＡ-06　1層	土師器	甕	約300	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微細砂少量 茶褐色粒微量	良	黒灰～暗灰	褐～淡褐	
355	ＳＡ-06　1層	土師器	甕	約250	--	--	工具ナデ	工具ナデ	茶褐色粒少量	良	淡黄～茶褐	淡黄～茶褐	
356	ＳＡ-06　1層	土師器	甕	約250	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微細砂微量	良	暗茶褐～淡褐	黄褐（口唇部）～淡褐	
357	ＳＡ-06　1層	土師器	甕	約200	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微細砂やや多い	良	淡茶褐～茶灰	淡黄褐～淡褐～暗茶褐	
358	ＳＡ-06	土師器	甕	約250	--	--	工具ナデ	工具ナデ	白色粒やや多い	ややあまい	淡黒褐・暗茶灰	暗茶褐～茶褐	
359	ＳＡ-06内撹乱	土師器	高坏（蓋に転用か）	258	--	--	粗ミガキ	ミガキ	白色・茶褐色粒微量	ややあまい	淡黒灰	淡黒灰	被熱
360	ＳＡ-06	土師器	小型壷	--	--	--	工具ナデか	工具ナデか	白色・茶褐色粒少量	ややあまい	黄褐～橙褐	淡茶褐・淡灰黄	
361	ＳＡ-06	土師器	甕	--	--	--	工具ナデ・ハケ	工具ナデ	白色・赤褐色粒微量	良	暗茶褐～黒灰	茶橙	
362	ＳＡ-06	土師器	不明	--	約40	--	粗工具ナデ	--	茶褐色粒少量	良	茶褐～茶灰	--	底部：布目
363	ＳＡ-06　1層	手捏ね土器	甕	約35	--	--	工具ナデ	工具ナデ	良	良	暗茶褐～淡灰褐	暗茶褐～淡褐	
364	ＳＡ-06　1層	須恵器模倣土師器		103	--	--	ミガキ	ミガキ	茶褐色粒少量	良	淡赤茶	灰褐～淡黄褐	外面：丹塗り
365	ＳＡ-06　1層	土師器	台付鉢か	--	--	--	粗ミガキ	ミガキ	良	良	淡赤茶～茶褐	淡黄～暗灰	外面：丹塗り
366	ＳＡ-06　1層	土師器	台付鉢か	--	--	--	ミガキ	半ミガキ	茶褐色粒少量	良	暗桃褐～明茶	淡黒灰	外面：丹塗り
367	ＳＡ-06　1層	土師器	高坏	--	--	--	ミガキ	--	白色粒微量 茶褐色粒少量	良	暗灰褐～淡褐	淡茶褐・淡黒灰	外面：丹塗り
368	ＳＡ-06　1層	須恵器	甕	--	--	--	平行タタキ	同心円タタキ	粗細砂少量、小礫・黒褐色粒微量	良好	暗灰褐～淡茶灰	暗灰～灰青	
第40図 372	ＳＡ-07　1層	土師器か	甕	378	--	--	ハケ	工具ナデ	赤褐色粒・小礫微量	良	淡灰黄	淡黄～暗灰	
373	ＳＡ-07　1層	土師器か	甕	313	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微細砂微量 赤褐色粒微量	ややあまい	淡茶褐～茶褐	淡黄褐	
374	ＳＡ-07　1層	土師器か	甕	約300	--	--	ハケ	ハケ・工具ナデ	良	良	淡灰白～淡褐	淡褐	
375	ＳＡ-07　1層	弥生土器	甕	--	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微細砂少量、小礫・赤褐色粒微量	良	淡桃褐	淡褐	
376	ＳＡ-07　1層	土師器か	甕	--	78×81	--	工具ナデ	工具ナデ	微砂やや多い、白色・赤褐色粒微量	ややあまい	淡桃黄～茶褐	淡茶褐～黒灰	
377	ＳＡ-07　1層	土師器か	高坏か	--	84	--	工具ナデ	工具ナデ	微砂少量	良	淡黒褐・黄褐	淡黄～淡黄褐	
378	ＳＡ-07　1層	土師器か	壷	--	--	--	工具ナデ	ナデ・工具ナデ	微細砂・白色粒やや多い、粗砂少量、赤褐色粒微量	ややあまい	淡黄褐～淡茶褐・淡桃褐	淡橙褐～橙褐	
379	ＳＡ-07　2層	弥生土器か	甕	約400	--	--	ハケ・工具ナデ	工具ナデ	微細砂やや多い 粗砂微量	良	淡黄～淡灰白	茶褐・淡茶灰・黒斑	
第42図 382	ＳＡ-08　1層	縄文土器	深鉢	--	--	--	工具ナデ	工具ナデ	雲母少量	良	灰褐	茶灰	
383	ＳＡ-08　1層	縄文土器	深鉢	400以上	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微細砂・角閃石少量、粗砂微量	良	淡黄褐～淡茶褐	暗茶灰～淡茶褐	
384	ＳＡ-08　1層	土師器	甕	約300	--	--	工具ナデ	工具ナデ	粗細砂少量	良	暗茶灰～淡黄灰	淡黄褐	
385	ＳＡ-08　1層	土師器	甕	約300	--	--	ハケ	工具ナデ	微細砂微量	良	茶褐～淡黄褐	淡黄褐～茶灰	
386	ＳＡ-08　1層	土師器	甕	約450	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微細砂やや多い	良	茶褐～橙褐	茶褐～淡黄褐・暗灰	
387	ＳＡ-08　1層	土師器	小型壷	--	--	--	丁寧ミガキ	丁寧ミガキ	粗砂微量	良	茶褐～暗茶褐	暗灰～茶灰	
388	ＳＡ-08　1層	土師器	高坏か	300強	--	--	半ミガキ	半ミガキ	微細砂微量	良	淡橙褐	茶褐～淡茶褐	
389	ＳＡ-08　1層	土師器	高坏	--	--	--	工具ナデ・半ミガキ→ミガキ	工具ナデ	微砂・赤褐色粒少量	良	淡黄褐	淡黄褐～淡褐・灰褐	
390	ＳＡ-08　1層	土師器	高坏	--	170	--	ミガキ	工具ナデ	茶褐色粒少量	良	淡赤茶	灰褐～淡黒灰	外面：丹塗り やや歪つ
393	ＳＡ-08　2層	縄文土器	深鉢	400以上	--	--	工具ナデ	工具ナデ	粗細砂微量	良	暗茶褐	淡黄褐	
394	ＳＡ-08　2層	縄文土器	浅鉢	約400	--	--	ミガキ	ミガキ	良	良	茶黄	暗茶灰	
395	ＳＡ-08　2層	土師器	甕	約300	--	--	ハケ→工具ナデ	ハケ	微砂少量	良	淡黄褐～淡灰黄	灰～淡黄褐	
396	ＳＡ-08　2層	土師器	小型壷か	--	--	--	半ミガキ	工具ナデ	茶褐色粒少量 白色粒微量	良	淡黄褐～淡茶褐	淡褐～淡黄褐	
397	ＳＡ-08　2層	土師器	小型高坏	--	--	--	工具ナデ	工具ナデ	良	良	黄灰～茶褐	淡茶褐 脚：淡褐白	
398	ＳＡ-08　2層	土師器	鉢	--	--	--	半ミガキ	ミガキ	茶褐色粒少量	ややあまい	淡赤茶	淡黄～暗灰	外面：丹塗り
第44図 399	ＳＡ-09　1層下半	縄文土器	深鉢	--	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微細砂少量	良	淡黄褐～淡橙褐	暗灰褐～淡茶褐	
400	ＳＡ-09　1層下半	縄文土器	深鉢	--	--	--	粗条痕	工具ナデ	微砂少量	良	橙桃～淡黄褐	暗灰褐・淡黄褐	被熱
401	ＳＡ-09　1層下半	縄文土器	浅鉢	184	--	--	ミガキ	ミガキ	良	良	淡黄褐～淡黄茶	黒褐～暗灰褐	
402	ＳＡ-09　1層下半	縄文土器	鉢	--	--	--	ミガキ	丁寧ミガキ	粗細砂・角閃石微量	良	淡黄褐～暗褐	淡黄褐～淡黄灰	

表７　出土遺物観察表（７）　縄文土器　弥生土器

NO	出土地	種類	器種	法量(mm) 口径	底径	器高	調整 外面	内面	胎土	焼成	色調 外面	内面	備考
第44図 403	ＳＡ-09　1層下半	縄文土器	深鉢	約400	--	--	半ミガキ	半ミガキ	白色・茶褐色粒少量	良	淡黄・淡茶褐	淡黄～淡褐	
404	ＳＡ-09　1ｂ層	縄文土器	浅鉢	約500	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微砂少量	良	茶褐～暗灰褐	淡橙茶	
405	ＳＡ-09　1層	縄文土器	浅鉢	約350	--	--	工具ナデ→ミガキ	ミガキ	良	良	淡黄褐	淡黄褐	
406	ＳＡ-09　1層	縄文土器	浅鉢	約450	--	--	粗工具ナデ	半ミガキ→ミガキ	微細砂やや多い 雲母少量	良	暗茶褐～淡茶褐	暗茶褐～黒褐	被熱
407	ＳＡ-09　1層下半	縄文土器	深鉢	約450	--	--	工具ナデ	条痕	小礫微量	良	淡黒灰・淡黄褐	淡黄褐～淡茶褐	
408	ＳＡ-09　1層下半	縄文土器	深鉢	--	--	--	条痕	条痕	微細砂少量 小礫微量	良	淡黒灰	淡黒灰～暗茶褐	被熱
409	ＳＡ-09　1層	弥生土器	甕か	265	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微砂・白色・黒褐色粒やや多い	良	茶橙・暗灰褐～淡黄褐	暗茶褐・橙褐～褐	
410	ＳＡ-09　1層	弥生土器	甕か	177	--	--	ハケ	ハケ・工具ナデ	白色・茶褐色粒少量	良	暗茶褐～淡橙褐	褐～淡黄褐	
411	ＳＡ-09　1層	弥生土器	甕	267	--	--	ハケ	ハケ	赤褐色・白色粒微量	良	淡黄褐～淡茶褐	淡黄灰～淡褐	
412	ＳＡ-09　1層	弥生土器	甕	192	--	--	ハケ・工具ナデ	丁寧工具ナデ	白色粒少量	良	暗茶褐～茶褐	暗茶褐～淡桃褐～淡褐灰	
413	ＳＡ-09　1層	弥生土器	甕	約200	--	--	工具ナデ	工具ナデ	良	良	淡褐灰～淡褐白	淡黄褐	
414	ＳＡ-09　1層	弥生土器	甕	約300	--	--	工具ナデ	工具ナデ	白色・茶褐色粒少量	ややあまい	茶～淡褐	桃橙～淡茶褐	
415	ＳＡ-09　1層	弥生土器	甕	約300	--	--	工具ナデ→ハケ	工具ナデ	白色・茶褐色粒微量	ややあまい	茶橙	橙褐・暗茶褐	
416	ＳＡ-09　1層	弥生土器	小型甕か蓋	--	50×54	--	工具ナデ	工具ナデ	茶褐色粒少量	ややあまい	淡褐～淡茶褐	淡灰褐～灰	やや歪つ
417	ＳＡ-09　1層下半	弥生土器	小型甕	--	(52)	--	粗工具ナデ	工具ナデ	微細砂微量、茶褐色粒やや多い	良	茶褐～淡褐	橙褐・淡黄褐	かなり歪つ
418	ＳＡ-09　1層下半	弥生土器	甕	--	56×59	--	粗工具ナデ	工具ナデ	良	ややあまい	淡黄～淡褐	淡黄褐	
419	ＳＡ-09　1層	弥生土器	蓋か	283	--	--	ハケ	ナデ→工具ナデ	良	良	淡黄褐～淡褐	淡褐	
420	ＳＡ-09　1層	弥生土器	高坏転用蓋	414	--	--	ハケ・ナデ	ミガキ	白色粒微量 茶褐色粒少量	良好	淡褐	淡黄灰～暗褐灰・淡褐	
421	ＳＡ-09　1層	弥生土器	甕	--	58×67	--	粗工具ナデ	工具ナデ	白色粒微量 茶褐色粒少量	ややあまい	淡黄白～淡褐	淡橙褐～淡黄	歪つ
422	ＳＡ-09　1層	弥生土器	甕	--	70×73	--	工具ナデ	工具ナデ	白色粒少量、茶褐色粒やや多い	ややあまい	淡黄～淡黄褐	淡黄褐	
423	ＳＡ-09	弥生土器	甕	--	76×81	--	工具ナデ	工具ナデ	微砂・白色粒少量	ややあまい	茶褐～桃褐・暗茶褐	淡黄褐	
424	ＳＡ-09　1層	弥生土器	甕	--	41	--	-- (器面剥落)	工具ナデ	白色粒やや多い	良	暗茶褐・黒斑	淡褐・茶褐	
425	ＳＡ-09　1層	弥生土器	甕	--	48	--	工具ナデ	粗工具ナデ	茶褐色粒少量	ややあまい	淡褐～淡茶褐	淡灰褐～灰	被熱
426	ＳＡ-09　1層	弥生土器	壷	156	--	--	工具ナデ	工具ナデ	白色粒微量、茶褐色粒やや多い	ややあまい	淡褐～淡黄	淡黄褐・橙褐	
第45図 427	ＳＡ-09　1層	弥生土器	小型壷	92	--	--	ハケ	工具ナデ	白色粒少量 赤褐色粒微量	良	黄褐	淡橙褐	
428	ＳＡ-09　1層	弥生土器	壷	116	--	--	ハケ	工具ナデ	白色・茶褐色粒微量	ややあまい	淡褐～淡黄白	淡黄褐～淡橙	
429	ＳＡ-09　1層下半	弥生土器	壷	約100	--	--	粗ハケ	工具ナデ	良	良	淡橙～淡茶褐	淡茶褐～茶褐	
430	ＳＡ-09　1層	弥生土器	壷	--	32	--	工具ナデ	工具ナデ	白色粒少量	良	淡黄褐～淡灰褐	淡褐～淡黄褐	
431	ＳＡ-09　1層下半	弥生土器	壷	--	--	--	工具ナデ	粗工具ナデ	白色・茶褐色粒微量	良	淡黄白・淡茶・黒斑	淡黄	
432	ＳＡ-09　1層	弥生土器	小型壷	108	--	--	半ミガキ	丁寧工具ナデ	良	ややあまい	淡黄～黄褐	淡黄褐	
433	ＳＡ-09　1層	弥生土器	台付鉢	155	--	--	粗ミガキ	工具ナデ・粗ミガキ	白色粒微量 茶褐色粒少量	ややあまい	黄褐～淡褐	淡橙褐～淡褐・淡黒灰	
434	ＳＡ-09	弥生土器	小型鉢	--	25	--	工具ナデ→半ミガキ	工具ナデ	微細砂・白色粒微量、茶褐色粒少量	良	淡橙～淡褐・淡灰～暗灰	淡黒灰	歪つ
435	ＳＡ-09　1層下半	弥生土器	高坏	約300	--	--	ハケ	丁寧ミガキ	白色・茶褐色粒少量、粗砂微量	ややあまい	淡褐～淡黄褐	淡桃褐～淡褐	
436	ＳＡ-09	弥生土器	高坏か	222	--	--	工具ナデ	工具ナデ	白色・茶褐色粒少量、角閃石微量	ややあまい	淡橙～黄褐	淡橙	
437	ＳＡ-09　1層	弥生土器	高坏か	173	--	--	ハケ・工具ナデ	丁寧工具ナデ	白色・茶褐色粒やや多い、黒褐色粒微量	ややあまい	淡褐～淡黄褐	茶褐～褐	
438	ＳＡ-09	弥生土器	高坏	--	--	--	坏：ハケ、脚：ハケ→半ミガキ	工具ナデ	微砂・白色粒少量 茶褐色粒微量	ややあまい	淡褐	淡褐	
439	ＳＡ-09　1層下半	弥生土器	高坏	--	--	--	工具ナデ	坏：工具ナデ 脚：ハケ	白色粒少量 赤褐色粒微量	あまい	淡橙	橙	
440	ＳＡ-09　1層	弥生土器	高坏	--	--	--	ミガキ	坏：ミガキ 脚：工具ナデ	白色・茶褐色粒微量	ややあまい	淡黄白・黄褐	淡黒灰	
441	ＳＡ-09　1層	弥生土器	高坏	--	131	--	工具ナデ・ハケ	坏：工具ナデ 脚：ハケ～工具ナデ	白色・茶褐色粒少量	ややあまい	橙褐～淡黄褐	淡褐	
442	ＳＡ-09　1層	弥生土器	高坏	--	80×84	--	工具ナデ	坏：粗ミガキ 脚：粗工具ナデ	白色粒少量 茶褐色粒微量	良	淡褐	淡褐～淡灰黄	歪つ
443	ＳＡ-09　1層	弥生土器	高坏	--	--	--	半ミガキ	坏：ミガキ 脚：半ミガキ	白色粒微量 茶褐色粒少量	良	淡黄～淡褐	淡褐	
444	ＳＡ-09　1層	弥生土器	高坏	--	131	--	工具ナデ	工具ナデ	白色・茶褐色粒少量	ややあまい	淡橙～淡黄	淡橙～淡褐	
445	ＳＡ-09　1ｂ層	弥生土器	甕	217	--	--	工具ナデ	工具ナデ	茶褐色粒少量	良	淡茶褐～淡褐	淡黄褐	
446	ＳＡ-09　1ｂ層	弥生土器	甕	約300	--	--	ハケ	ハケ	微細砂やや多い	良	淡褐～茶褐	淡黄・暗灰	
447	ＳＡ-09　1ｂ層	弥生土器	甕	179	--	--	工具ナデ→ハケ	工具ナデ	茶褐色粒微量	良	淡褐～暗茶褐	淡黄～黄褐	被熱
448	ＳＡ-09　1ｂ層	弥生土器	甕	253	--	--	工具ナデ	丁寧工具ナデ	白色粒少量 茶褐色粒微量	ややあまい	淡灰褐～暗茶褐	淡橙褐～淡灰黄	
449	ＳＡ-09内攪乱	弥生土器	甕	272	--	--	工具ナデ	工具ナデ・ハケ	茶褐色・白色粒少量	良	暗灰	暗灰・淡灰黄	
450	ＳＡ-09　1ｂ層	弥生土器	甕	205	--	--	粗ハケ	丁寧工具ナデ	白色粒少量	良	桃褐～茶褐	淡赤褐～茶褐	
第46図 451	ＳＡ-09　1ｂ層	弥生土器	甕	--	85	--	工具ナデ	工具ナデ	白色粒少量	良	茶褐～淡褐	淡黄褐	被熱
452	ＳＡ-09　1ｂ層	弥生土器	壷	--	--	--	半ミガキ～ハケ	丁寧工具ナデ	白色粒少量	良	橙・淡茶褐	茶褐～淡褐	
453	ＳＡ-09　1ｂ層	弥生土器	壷	--	34	--	工具ナデ	工具ナデ	白色・茶褐色粒少量	ややあまい	淡茶黄～橙褐	黄褐～桃橙	
454	ＳＡ-09　1ｂ層	土師器	高坏	--	141	--	ミガキ	工具ナデ	白色粒少量 赤褐色粒微量	良	淡黒褐～淡茶褐	淡褐	混入か

表８　出土遺物観察表（８）

縄文土器　弥生土器　土師器

ＮＯ	出土地	種類	器種	法量(mm) 口径	底径	器高	調整 外面	内面	胎土	焼成	色調 外面	内面	備考
第47図 469	ＳＡ-09　2層	縄文土器	浅鉢	--	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微細砂少量	良	暗茶褐～淡黄褐	淡黄褐～暗褐灰	被熱
470	ＳＡ-09　2層	弥生土器	小型甕	158	--	--	工具ナデ	工具ナデ	白色粒少量 茶褐色粒微量	良	淡茶橙～淡橙	淡橙黄～淡褐	
471	ＳＡ-09　2層	弥生土器	甕	291	--	--	ハケ	ハケ	白色粒少量 茶褐色粒微量	良	淡褐～淡桃褐	淡褐～淡桃褐	
472	ＳＡ-09　2層	弥生土器	甕	--	83×86	--	工具ナデ～ハケ	工具ナデ	白色粒少量	良	暗茶褐～淡茶褐	暗灰・淡灰褐	被熱 淡黄白付着物
473	ＳＡ-09　2層	弥生土器	甕	--	52	--	粗工具ナデ	粗工具ナデ	微砂・白色・茶褐色粒少量	良	橙褐・淡黄灰・黒灰	淡黄～灰～黒灰	
474	ＳＡ-09　2層	弥生土器	甕	--	87×91	--	粗工具ナデ	工具ナデ	白色粒少量 小礫微量	良	茶橙～茶褐	暗茶褐～淡黄	
475	ＳＡ-09　2層	弥生土器	甕	--	79×84	--	粗工具ナデ	粗工具ナデ	白色・茶褐色粒微量	良	淡黄白～灰褐	淡灰黄～淡黄褐	
476	ＳＡ-09　2層	弥生土器	甕	--	52×55	--	工具ナデ	工具ナデ	赤褐色粒やや多い、白色粒少量	ややあまい	淡橙・淡黄白	暗灰・淡黄褐	
477	ＳＡ-09　2層	弥生土器	高坏	319	--	--	半ミガキ	ミガキ	茶褐色・黒褐色粒少量、白色粒微量	ややあまい	淡茶褐～淡黄褐	淡灰白・茶灰	
478	ＳＡ-09　2層	弥生土器	蓋	227	--	--	ハケ	工具ナデ	白色粒少量	良	淡茶褐～淡黄褐	淡黄褐・淡灰	
479	ＳＡ-09　2層	弥生土器	壷	--	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微砂・白色・茶褐色粒少量	良	淡黄褐～茶褐・淡灰褐	淡茶黄～茶橙	
480	ＳＡ-09　2層	弥生土器	蓋	--	40	--	粗工具ナデ	工具ナデ	白色粒少量 茶褐色粒微量	良	淡黄～暗橙褐	淡黒褐	
第49図 483	ＳＡ-10　1ｂ層	縄文土器	鉢	--	--	--	条痕	工具ナデ	滑石粒やや多い	良	淡橙	淡黄灰・暗茶灰	
484	ＳＡ-10　1層	縄文土器	深鉢	--	--	--	条痕	工具ナデ	粗細砂・角閃石少量	良	暗茶灰～淡茶褐	淡黄	
485	ＳＡ-10　1ａ層	縄文土器	鉢	約450	--	--	工具ナデ	工具ナデ	粗細砂少量	良好	淡黄褐～淡黄	淡黄	
486	ＳＡ-10　1層	縄文土器	浅鉢	--	--	--	ミガキ・工具ナデ	工具ナデ	微細砂微量	良	淡茶褐～淡黄褐	淡黄褐	被熱
487	ＳＡ-10　1ａ層	縄文土器	浅鉢	約500	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微砂少量	良	茶褐～暗灰褐	淡橙茶	
488	ＳＡ-10　1ａ層	土師器	甕	205	--	--	ハケ	工具ナデ	白色粒微量 黒褐色粒少量	良	淡黄褐～淡茶褐	暗茶灰・淡黄灰	被熱
489	ＳＡ-10　1ａ層	土師器	甕	209	--	--	ハケ	工具ナデ	白色粒少量	良	淡桃褐	淡桃褐～淡黄褐	
490	ＳＡ-10　1ａ層	土師器	甕	235	--	--	丁寧工具ナデ・ハケ	ハケ→工具ナデ	微砂少量	良	暗褐～暗灰褐	暗灰褐～淡黄褐	
491	ＳＡ-10　1ａ層	土師器	甕	289	--	--	ハケ	工具ナデ・丁寧工具ナデ	微細砂・白色・茶褐色粒少量	ややあまい	茶褐～淡黄褐	橙褐～褐～茶灰	やや歪つ
492	ＳＡ-10　1ａ層	土師器	甕	240	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微砂少量	良好	黄褐～淡黄白	黄褐～淡黄褐	
493	ＳＡ-10　1層	土師器	甕	255	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微細砂やや多い 黒褐色粒少量 小礫微量	良	淡黄褐～暗茶褐	茶褐～淡黄褐	
494	ＳＡ-10　1ａ層	土師器	甕	358	--	--	粗工具ナデ	丁寧工具ナデ	微砂・黒褐色粒少量	ややあまい	暗茶褐～淡黄褐	淡褐・茶褐～暗茶褐	
495	ＳＡ-10　1ａ層	土師器	甕	約300	--	--	工具ナデ→ハケ	工具ナデ	白色粒微量	良	淡茶褐	茶灰～淡黄褐	
496	ＳＡ-10　1層	土師器	甕	約350	--	--	ハケ～工具ナデ	工具ナデ	茶褐色粒少量	良	淡茶灰	淡褐～淡黄褐	
497	ＳＡ-10　1ａ層	土師器	甕	--	--	--	ハケ	工具ナデ	白色粒少量	良	淡茶灰～淡茶褐	淡黄褐～淡黄	
498	ＳＡ-10　1ａ層	土師器	小型甕	--	43	--	工具ナデ	工具ナデ	微細砂・茶褐色粒少量	良	淡黄褐～淡灰・淡黒灰	淡褐	
499	ＳＡ-10　1ａ層	土師器	甕	--	86	--	工具ナデ	工具ナデ	微砂やや多い 小礫微量	良	淡黄褐～茶褐	暗灰褐～淡黒灰	被熱
500	ＳＡ-10　1ａ層	土師器	甕	--	75×80	--	工具ナデ	工具ナデ	微細砂・白色粒少量	良	淡黄褐・淡灰～暗灰	淡褐	
501	ＳＡ-10　1ａ層	土師器	甕	--	98	--	工具ナデ	丁寧工具ナデ	微細砂・白色粒少量、茶褐色粒微量	ややあまい	茶灰～褐	淡橙・暗茶褐	
502	ＳＡ-10　1層	土師器	甕	--	91×94	--	工具ナデ	工具ナデ	微細砂・茶褐色粒少量、白色粒やや多い、小礫微量	ややあまい	淡黄褐～淡黄	暗灰褐～暗褐	
503	ＳＡ-10　1ａ層	土師器	甕	--	74	--	半ミガキ 底部：ミガキ	半ミガキ	白色・茶褐色粒少量	良	淡黄灰～褐・淡黒褐	茶褐～黄褐・暗灰褐	
504	ＳＡ-10　1層	土師器	甕	--	70×73	--	工具ナデ	粗工具ナデ	微細砂・白色粒少量	良	茶灰～淡黄褐	淡黄～淡褐	やや歪つ
第50図 505	ＳＡ-10　1ａ層	土師器	甕	--	75	--	工具ナデ	工具ナデ・ハケ	微細砂・白色粒少量	良	淡黄灰～暗茶褐・暗灰褐	淡褐～褐灰	
506	ＳＡ-10　1ａ層	土師器	長頸壷	120	--	--	ハケ→工具ナデ	ハケ・工具ナデ	良	ややあまい	淡黄褐～淡黄	淡黄～淡黄白	
507	ＳＡ-10　1ａ層	土師器	鉢	156	--	70	工具ナデ	工具ナデ	茶褐色粒やや多い、微細砂・白色粒少量	あまい	淡橙～淡黄褐・淡褐・黒斑	淡橙褐	被熱
508	ＳＡ-10　1ａ層	土師器	鉢	168	--	--	ナデ～工具ナデ	工具ナデ	良	良	黄褐～淡黄・淡灰	淡褐	
509	ＳＡ-10　1ａ層	土師器	ミニチュア高坏か	--	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微砂・白色粒少量	良	淡茶灰～暗灰	淡黒褐	
510	ＳＡ-10　1ａ層	土師器	ミニチュア高坏	--	--	--	工具ナデ	工具ナデ	白色・微砂微量 茶褐色粒少量	良	淡黄～淡黄褐	橙褐～茶灰	被熱
511	ＳＡ-10 1ｂ層（床直）	土師器	小型甕	148	--	--	工具ナデ	工具ナデ	白色粒微量	良	淡褐～淡黄	淡黄褐・淡灰～灰褐	
512	ＳＡ-10 1ｂ層（床直）	土師器	甕	307	--	--	工具ナデ・ハケ	丁寧工具ナデ	微細砂やや多い 茶褐色・黒褐色粒少量	良	茶褐～茶橙	茶～茶褐	被熱
513	ＳＡ-10 1ｂ層（床直）	土師器	甕	279	--	--	ハケ・粗ハケ	ハケ→工具ナデ	白色粒少量 粗細砂微量	良好	淡褐～暗茶褐・暗褐	暗褐～淡褐・淡黒灰	
514	ＳＡ-10 1ｂ層（床直）	土師器	小型甕	174	--	--	ハケ	工具ナデ	微砂少量 茶褐色粒微量	良好	暗茶褐～橙褐	茶褐～暗茶褐	
515	ＳＡ-10 1ｂ層（床直）	土師器	甕	約250	--	--	工具ナデ	ハケ	微砂・白色粒微量	良好	淡茶黄～淡黄褐	淡黄褐	
516	ＳＡ-10 1ｂ層（床直）	土師器	甕	約450	--	--	ハケ→工具ナデ	ハケ	微細砂少量 茶褐色粒微量	良	茶灰・灰褐～淡黒褐	淡黒褐～暗灰褐	
517	ＳＡ-10 1ｂ層（床直）	土師器	甕	約400	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微細砂・茶褐色粒やや多い、白色粒少量	ややあまい	淡黒褐～茶灰	茶～茶灰	
518	ＳＡ-10 1ｂ層（床直）	土師器	甕	--	69	--	工具ナデ	工具ナデ	微細砂少量	良	茶橙～茶褐	暗茶～明茶	草茎圧痕
519	ＳＡ-10 1ｂ層（床直）	土師器	甕	--	88×93	--	粗工具ナデ	工具ナデ	白色粒少量 茶褐色粒微量	良	淡褐～淡灰黄	暗茶灰～淡茶褐	
520	ＳＡ-10 1ｂ層（床直）	土師器	壷	104	--	--	工具ナデ	工具ナデ	白色・茶褐色粒少量	ややあまい	暗茶褐～淡黄	黄褐～茶橙	
521	ＳＡ-10 1ｂ層（床直）	土師器	壷	--	--	--	半ミガキ	ハケ→粗半ミガキ	良	ややあまい	黄褐～淡黄	淡褐	

表９　出土遺物観察表（９）

縄文土器　弥生土器　土師器

NO	出土地	種類	器種	法量(mm) 口径	底径	器高	調整 外面	内面	胎土	焼成	色調 外面	内面	備考
第50図 522	ＳＡ-10 １ｂ層（床直）	土師器	壷	--	--	--	ミガキ・工具ナデ	工具ナデ	白色・黒褐色粒微量	良	淡褐～淡褐灰	淡灰褐	
第51図 528	ＳＡ-10　２層	土師器	甕	約250	--	--	ハケ	工具ナデ	白色・茶褐色粒微量	良	淡黄灰～淡黄褐	茶灰～淡黄褐	
529	ＳＡ-10　２層	土師器	深鉢か	約450	--	--	工具ナデ～半ミガキ	工具ナデ	粗細砂微量 角閃石少量	良	淡褐～淡黄褐	淡橙～淡黄	
530	ＳＡ-10　２層	土師器	甕	--	68×71	--	工具ナデ	工具ナデ	微細砂・白色粒少量、茶褐色粒微量	良	淡黄褐・暗褐・茶橙	淡橙褐・淡黒灰	
531	ＳＡ-10　２層	土師器	小型甕	49	--	--	丁寧工具ナデ	工具ナデ	白色粒少量	良	淡茶褐～茶灰・淡黒灰	淡褐	
532	ＳＡ-10　２層	土師器	甕	--	100	--	ハケ→工具ナデ	丁寧工具ナデ	白色粒少量 茶褐色粒微量	良	茶褐～淡茶褐	淡褐～暗灰褐	被熱
533	ＳＡ-10　２層	土師器	壷	119	--	205	ハケ・粗工具ナデ	ハケ・工具ナデ	白色・茶褐色粒少量	良	淡黄褐・淡茶灰	暗茶灰～淡茶褐	
534	ＳＡ-10　２層	土師器	蓋	--	63×67	--	ケズリ～半ミガキ	工具ナデ・ハケ	粗細砂・白色粒少量	良	淡褐～淡黄灰	淡灰～淡黒灰	
535	ＳＡ-10　２層	土師器	高坏	121	--	--	半ミガキ	工具ナデ	微細砂・白色粒少量	良	淡茶灰～淡灰黄	淡灰黄 脚上部：黒斑	やや歪つ
第53図 538	ＳＡ-11　1a2層	縄文土器	鉢	--	--	--	工具ナデ	ミガキ	微細砂・角閃石少量	良	淡灰褐～淡茶褐	茶灰～暗灰褐	
539	ＳＡ-11　1a2層	縄文土器	浅鉢	約450	--	--	ミガキ	ミガキ	粗細砂少量 角閃石微量	良	暗茶褐～淡黒灰	黒褐～暗茶灰	
540	ＳＡ-11　1a2層	土師器	甕	約400	--	--	工具ナデ	丁寧工具ナデ	微細砂・角閃石少量	良	暗茶褐～茶褐	茶褐～淡黄褐	
541	ＳＡ-11　1a2層	土師器	甕	約400	--	--	工具ナデ	工具ナデ	粗細砂微量 茶褐色粒やや多い	良	淡黄褐～淡黄灰	淡黄褐～淡褐	
542	ＳＡ-11　1a2層	土師器	甕	63	--	--	ハケ	工具ナデ	微細砂・茶褐色粒少量	良	茶褐～暗茶褐	淡褐～淡黄褐	
543	ＳＡ-11　1a2層	土師器か	小型壷	--	--	--	工具ナデ	ハケ	微細砂・白色粒少量	ややあまい	淡黄褐～淡茶褐	淡茶褐	
544	ＳＡ-11　1a2層	土師器	ミニチュア 高坏	--	--	--	工具ナデ	粗工具ナデ	白色粒少量	ややあまい	黄褐～淡橙黄	暗灰	
545	ＳＡ-11　1a層	土師器	ミニチュア 甕	68	--	--	工具ナデ	工具ナデ	良	良	淡茶褐・淡黒灰	淡黄褐～淡黒灰	
546	ＳＡ-11　1a2層	土師器	高坏	--	138	--	工具ナデ～半ミガキ	工具ナデ～ハケ	白色・茶褐色粒少量	良	淡黄・淡茶褐	淡褐～淡黄褐・黒褐	
550	ＳＡ-11　1ｂ層	土師器	甕	317	--	--	ハケ	工具ナデ	微細砂・茶褐色粒少量	良	淡黄褐～淡橙	淡褐～淡黒灰・茶褐	やや歪つ
551	ＳＡ-11　1ｂ層	土師器	甕	311	--	--	工具ナデ～ハケ	工具ナデ～ハケ	微細砂やや多い 粗砂・白色・茶褐色粒微量	良	淡黄灰～灰褐	暗灰～淡黒灰・淡茶灰	
552	ＳＡ-11　1ｂ層	土師器	甕	約400	--	--	工具ナデ～ハケ	工具ナデ	微細砂少量 茶褐色粒微量	良	灰～淡黄灰	暗灰～淡黒灰・淡黄褐	
553	ＳＡ-11　1ｂ層	土師器	甕	103	--	--	ハケ	ハケ	白色粒少量 茶褐色粒微量	ややあまい	淡黄褐～淡黄灰	淡黄灰	
554	ＳＡ-11　1ｂ層	土師器	甕	約400	--	--	ハケ	工具ナデ	微細砂・白色粒少量、角閃石微量、粗砂微量	良	茶褐～淡褐	茶褐	
555	ＳＡ-11　1ｂ層	土師器	甕	291	--	--	粗ハケ	工具ナデ	微細粗砂・茶褐色粒少量	良	淡黄～淡橙褐・茶灰	茶褐～暗灰褐・黒灰	被熱
556	ＳＡ-11　1ｂ層	土師器	甕	228	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微細砂・白色粒少量、粗砂微量	ややあまい	淡黄褐～淡茶褐	淡褐	
557	ＳＡ-11　1ｂ層	土師器	甕	約350	--	--	ハケ	ハケ・工具ナデ	微細砂微量	良	暗茶褐～淡黄灰	淡褐～暗灰褐	やや歪つ
第54図 558	ＳＡ-11　1ｂ層	土師器	甕	295	--	--	工具ナデ	ハケ	白色・茶褐色粒少量	良	淡黄灰～淡黄褐	淡黄褐～茶褐	
559	ＳＡ-11　1ｂ層	土師器	甕	--	60～61	--	丁寧工具ナデ	丁寧工具ナデ・半ミガキ	微細砂・白色・赤褐色粒少量	良	淡茶褐～暗茶灰・淡黒褐	淡灰黄・暗灰～淡黒灰	
560	ＳＡ-11　1ｂ層	土師器	壷	128	--	--	工具ナデ	工具ナデ	白色・赤褐色粒少量	良	褐	褐	
561	ＳＡ-11　1ｂ層	土師器	壷	103	--	--	ハケ	ハケ	白色粒少量 茶褐色粒微量	ややあまい	淡黄褐～淡黄灰	淡黄灰	
562	ＳＡ-11　1ｂ層	土師器	壷	--	57×63	--	工具ナデ・半ミガキ	工具ナデ（かなり剥落）	茶褐色粒やや多い、白色粒微量	ややあまい	淡褐～淡黄褐	淡褐～淡黄褐	
563	ＳＡ-11　1ｂ層	土師器	小型壷	76	--	--	ミガキ	ミガキ	良	良	淡黒灰	褐～淡黄褐	
564	ＳＡ-11　1ｂ層	土師器	小型壷	--	--	--	ハケ	工具ナデ	白色粒少量 茶褐色粒微量	良	黄褐・茶橙	橙褐・淡桃	
565	ＳＡ-11　1ｂ層	土師器	小型壷	--	--	--	ミガキ	工具ナデ	微砂少量、赤褐色、黒褐色粒微量	良	褐～淡灰褐・淡黒灰	淡褐・淡橙	
566	ＳＡ-11　1ｂ層	土師器	小型壷	--	--	--	ミガキ	ナデ	白色粒少量 茶褐色粒微量	ややあまい	淡茶褐～淡茶灰	淡黄褐	
567	ＳＡ-11　1ｂ層	土師器	小型壷	--	--	--	ミガキ	工具ナデ	白色・茶褐色粒微量	ややあまい	淡茶褐・淡黒灰	暗茶褐～淡黒灰	
568	ＳＡ-11　1ｂ層	土師器	壷	--	69	--	工具ナデ	--	微細砂・白色・茶褐色粒少量　粗砂微量	良	橙褐～黄褐・淡黄	--	
569	ＳＡ-11　1ｂ層	土師器	高坏	--	--	--	ハケ	工具ナデ	微細砂・白色・茶褐色粒少量　粗砂微量	ややあまい	淡橙褐・淡黄	淡黄褐～茶灰	
570	ＳＡ-11　1ｂ層	土師器	高坏	--	128	--	半ミガキ	半ミガキ	良	良	淡茶褐～淡褐	黒灰	
576	ＳＡ-11　2層	土師器	壷	80	--	--	ハケ	工具ナデ	微細砂・白色・茶褐色粒微量	良	淡褐	淡茶褐～淡褐	
577	ＳＡ-11　2層	土師器	甕	--	75×80	--	工具ナデ	工具ナデ	粗細砂・茶褐色粒少量 白色粒やや多い	あまい	淡茶褐～褐	暗茶褐・黒斑	
第56図 579	ＳＡ-12　1ａ層	縄文土器	浅鉢	--	--	--	ミガキ	工具ナデ	微細砂微量	良	黄褐	淡黄	
580	ＳＡ-12　1ｂ層	縄文土器	浅鉢	180	--	--	工具ナデ	ミガキ	良	ややあまい	茶灰～暗灰褐	暗灰褐～淡黒灰	
581	ＳＡ-12　1ｂ層	縄文土器	浅鉢	--	--	--	半ミガキ	工具ナデ	微砂少量	良	淡黄～茶灰	淡黄～暗茶灰	
582	ＳＡ-12　1ｂ層	縄文土器	浅鉢	--	98	--	丁寧工具ナデ	工具ナデ	微細砂少量 角閃石微量	良	淡橙茶～茶褐	淡黄褐・淡黒褐	
583	ＳＡ-12　1ｂ層	土師器	甕	約450	--	--	工具ナデ	丁寧工具ナデ	微細砂少量 粗砂微量	ややあまい	茶褐	淡黄褐～暗灰	
584	ＳＡ-12　1ｂ層	土師器	甕	約450	--	--	工具ナデ	ハケ→工具ナデ	微砂少量 粗砂微量	良	淡黄	淡黄褐～淡褐	
585	ＳＡ-12　1ｂ層	土師器	甕	--	--	--	ハケ	工具ナデ	微細砂・茶褐色粒少量	良	淡黄褐～淡茶灰	淡黄褐～暗茶灰	
586	ＳＡ-12　1ｂ層	土師器	複合口縁壷	--	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微砂・茶褐色粒少量	良	淡橙～淡黄	淡黄褐	
587	ＳＡ-12　1ｂ層	土師器	壷	--	--	--	工具ナデ～半ミガキ	工具ナデ	白色・茶褐色粒少量	ややあまい	桃褐～淡黄褐～茶褐	淡茶褐	
588	ＳＡ-12　1ｂ層	土師器	壷	--	--	--	半ミガキ	ハケ	茶褐色粒少量 白色粒微量	良	茶灰～黄褐	淡黄褐	

表10　出土遺物観察表（10）

縄文土器　弥生土器　土師器　須恵器

NO	出土地	種類	器種	法量(mm) 口径	底径	器高	調整 外面	内面	胎土	焼成	色調 外面	内面	備考
第56図 589	SA-12　1b層	土師器	小型壷	--	38	--	ミガキ	工具ナデ	良	ややあまい	淡茶褐～淡灰褐・黒斑	淡褐	歪つ
590	SA-12　1b層	土師器	壷か	--	--	--	半ミガキ～ハケ	工具ナデ	茶褐色粒やや多い、白色粒少量	ややあまい	淡橙褐～淡褐	橙褐～淡橙	
591	SA-12　1b層	土師器	鉢	--	--	--	工具ナデ	ミガキ	白色・茶褐色粒微量	良	茶～淡茶褐	淡褐・淡黒灰	
592	SA-12　1b層	土師器	鉢	--	92	--	半ミガキ	ミガキ	赤褐色・白色粒少量	ややあまい	暗褐～茶灰・黄褐	淡茶褐・暗褐・淡黒褐	
593	SA-12　1b層	土師器	坏	140	45	59～66	ミガキ	丁寧ミガキ	白色粒少量、茶褐色粒やや多い	ややあまい	淡黄褐～淡褐	淡橙・淡灰～灰	
594	SA-12　1b層	土師器	高坏	212	--	--	ミガキ	ミガキ	茶褐色粒少量	良	淡橙～褐	淡黄褐～淡橙	やや歪つ
595	SA-12　1b層	土師器	高坏	約180	--	--	ミガキ	ミガキ	白色・赤褐色粒少量	ややあまい	淡褐～淡橙褐・暗茶褐	褐・淡黄褐・橙褐・淡黒灰	歪つ
596	SA-12　1b層	土師器	高坏	--	--	--	ミガキ	工具ナデ	白色粒微量 茶褐色粒少量	ややあまい	淡橙～淡茶褐	暗灰～淡黒灰	
第58図 601	SA-13　1層	縄文土器	深鉢	--	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微細砂少量	良	淡黄褐～茶灰	淡黄褐～灰	
602	SA-13　1層	縄文土器	浅鉢	--	--	--	ミガキ	半ミガキ	茶褐色粒少量	良	淡黄褐	淡褐	
603	SA-13　1層	縄文土器	深鉢	--	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微細砂やや多い 粗砂・角閃石少量	良	淡灰褐～暗茶灰	暗灰褐～淡黄褐	
604	SA-13　1層	弥生土器	小型壷	87	--	--	ナデ～工具ナデ	工具ナデ	微細砂少量	良	褐	淡黒灰～茶褐	
605	SA-13　1層	弥生土器	蓋	約400	--	--	工具ナデ	工具ナデ～ナデ	微細砂少量	良	淡黄褐～淡黄灰	淡黄褐～暗茶褐	
第60図 608	SA-14　1層	土師器	甕	211	--	--	ハケ	工具ナデ	微細砂・白色・茶褐色粒少量	ややあまい	黄褐～橙褐	淡橙褐～淡黄褐	
609	SA-14　1層	土師器	甕	--	63	--	粗工具ナデ	工具ナデ	微細砂、赤褐色粒少量、粗砂微量	良好	暗桃褐～橙灰、外底：暗茶褐～黒灰	淡橙褐	被熱
610	SA-14　1層	土師器	甕	--	81	--	工具ナデ	丁寧工具ナデ	微細砂やや多い 茶褐色粒少量	ややあまい	淡黄褐～暗茶灰	淡黄灰～暗茶灰	被熱
611	SA-14　1層	土師器	壷	--	--	--	工具ナデ（ヨコ→タテ）	工具ナデ	微細砂やや多い	ややあまい	淡茶褐～橙褐	淡黄褐～暗灰褐	
612	SA-14　2層	弥生土器	甕	300～400	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微砂少量	良	暗茶褐・淡黄褐	暗茶褐～黄褐	
613	SA-14　2層	弥生土器	甕	約450	--	--	工具ナデ	工具ナデ	微細砂・赤褐色粒やや多い、白色粒・角閃石微量	ややあまい	茶褐～淡橙褐	橙褐・黄褐	
第62図 614	SA-15　1層	縄文土器	深鉢	--	--	--	粗工具ナデ	工具ナデ	滑石粒やや多い	良	淡黄褐～暗茶灰	淡灰褐～暗灰褐	
615	SA-15　1層	縄文土器	深鉢	--	--	--	粗工具ナデ	工具ナデ	滑石粒やや多い（1～9ミリ）	良	淡橙桃～淡黄褐	淡黄～淡褐	
616	SA-15　1層	縄文土器	深鉢	--	--	--	工具ナデ	半ミガキ	微細砂少量	良	暗茶褐～淡黒褐	暗茶褐～淡黒褐	
617	SA-15　1層	縄文土器	深鉢	--	--	--	ナデ	工具ナデ	微砂少量 角閃石微量	良	茶褐～暗茶灰	暗茶褐～灰褐	
618	SA-15　1層	縄文土器	浅鉢	--	--	--	半ミガキ	工具ナデ	微細砂微量	良	茶褐～淡橙茶	淡橙褐	
第64図 619	SA-16内 県試掘坑	弥生土器	甕	--	83×90	--	工具ナデ	工具ナデ	細砂・白色・茶褐色粒やや多い	良	茶褐～橙褐	淡黄灰	
620	SA-16　2層	弥生土器	壷	105	--	--	半ミガキ	工具ナデ	微細砂やや多い 粗砂・小礫微量 茶褐色粒少量	良	淡黄灰～淡黄褐	淡灰黄～淡茶褐	やや歪つ
第69図 621	SK-20	土師器	高坏	--	--	--	粗ミガキ	工具ナデ～ハケ	良	ややあまい	淡赤褐	淡黄褐～暗茶褐	外面：丹塗り
622	SK-29　上層	弥生土器	甕	--	60	--	ハケ	工具ナデ	微砂・白色粒少量	ややあまい	暗茶褐～桃褐	茶褐～暗茶褐	被熱
623	SK-29　中層	土師器	甕	約300	--	--	工具ナデ	工具ナデ	白色粒微量 茶褐色粒少量	良	淡橙～淡褐	黄褐～淡黄	
624	SK-29　中層	土師器	甕	316	--	--	ハケ→工具ナデ	工具ナデ	白色粒少量	良	茶褐～淡茶褐	茶褐～暗茶褐	
625	SK-29　下層	土師器	甕	332	--	--	工具ナデ	工具ナデ	粗細砂・白色粒少量	ややあまい	淡黄褐～淡黄灰	淡茶灰～暗茶褐～暗黄褐	
626	SK-29　上層	土師器	甕	186	--	--	工具ナデ	工具ナデ	白色・茶褐色粒少量、粗細砂微量	良	淡茶褐・暗灰～淡黒灰	淡黄褐～淡黄	
627	SK-29　上層	土師器	小型鉢	138	--	--	工具ナデ	工具ナデ	赤褐色粒やや多い、白色粒少量	良	淡褐	淡褐～淡橙	
628	SK-29　中層	土師器	甕	--	71	--	工具ナデ	工具ナデ	微細砂・白色粒少量、茶褐色粒微量	良	灰褐～淡茶褐	淡黒灰	被熱
629	SK-29　上層	土師器	甕	--	63×66	--	工具ナデ	工具ナデ	微細砂少量	良	茶褐～暗茶褐	暗灰褐～淡褐	内面：オコゲ微量
630	SK-29　下層	土師器	小型壷	109	--	--	ミガキ	ミガキ	白色粒少量	ややあまい	淡橙	淡橙～茶褐	
631	SK-29	土師器	小型壷	--	--	--	工具ナデ	工具ナデ	白色・茶褐色粒少量	ややあまい	橙～黄褐	淡黄褐	
633	SK-35	土師器	高坏	約250	--	--	ミガキ	ミガキ	茶褐色・黒褐色粒少量	ややあまい	淡黄灰～黄褐	茶褐・淡褐	
634	SK-35	土師器	小型壷	--	--	--	ミガキ	半ミガキ～ミガキ	白色・黒褐色粒少量	ややあまい	橙～淡黄	淡黒灰	
636	SK-37	土師器	高坏	--	--	--	ミガキ	ナデ	白色粒少量	良好	淡茶褐	淡茶灰～淡褐	
637	SK-37	須恵器	坏身	約150	--	--	ナデ	ナデ	良	良好	淡灰～灰	淡黄灰	外面：灰被り
638	SK-37　1層	土師器	高坏	217	--	--	ミガキ（ヨコ→タテ）	半ミガキ	白色粒少量	ややあまい	淡赤茶	茶褐～茶橙	外面：丹塗り
第70図 642	SK-44	土師器	甕	188	--	--	ハケ	工具ナデ	白色・粗細砂微量	良	暗褐～暗茶褐	暗茶～暗褐	
643	SK-44	土師器	甕	--	85×88	--	粗工具ナデ	工具ナデ	茶褐色粒少量	良	淡茶褐～淡褐	褐灰～淡黄灰	
644	SK-44	土師器	甕	--	94	--	ハケ	工具ナデ	白色粒やや多い 茶褐色粒少量	ややあまい	暗茶褐～茶褐	茶～暗茶	被熱
645	SK-44	土師器	甕	--	23	--	工具ナデ	丁寧工具ナデ	白色粒少量	良	茶褐・淡黄	淡橙褐～暗灰褐	
646	SK-44	土師器	鉢型	--	--	--	工具ナデ	工具ナデ	白色・黒褐色粒少量、茶褐色粒微量	あまい	橙褐	淡褐～茶褐～淡黄褐	
647	SK-44	土師器	蓋	270	--	--	ハケ	ハケ	微細砂少量	良	淡茶灰～暗茶灰	暗茶褐・淡黄褐・淡橙褐	被熱
648	SK-44上　Ⅱ層	須恵器	坏蓋	(128)	--	--	ケズリ	ナデ	粗細砂微量	良好	灰青～暗灰青	淡灰青	
650	SK-36　上層	縄文土器	深鉢	--	--	--	条痕	工具ナデ	微細砂少量 小礫微量	良	淡褐	淡褐～淡茶灰	
651	SK-36　上層	縄文土器	浅鉢	--	--	--	ミガキ	ミガキ	微細砂・白色粒少量、黒褐色粒微量	良	淡黄～淡橙	茶褐～淡黄褐	
652	SK-36　上層	縄文土器	浅鉢	--	--	--	ミガキ	ミガキ	白色・茶褐色粒微量	良好	暗茶褐～淡黄	暗灰褐～淡黄	

表11　出土遺物観察表（11）　縄文土器　土師器

NO	出土地	種類	器種	法量(mm) 口径	底径	器高	調整 外面	内面	胎土	焼成	色調 外面	内面	備考
第70図 653	SK-36　上層	縄文土器	浅鉢	--	99	--	工具ナデ	工具ナデ	茶褐色・黒褐色粒少量	良	淡橙～淡黄	淡黄～淡黄白	
654	SK-36　上層	土師器	高坏	--	98	--	ハケ	工具ナデ	茶褐色粒やや多い、白色粒少量	ややあまい	淡橙黄～黄褐	淡橙褐	
第74図 657	SK-09	土師質土器	Ⅲ	154×160	93×97	35～40	ナデ	ナデ	茶褐色粒少量	ややあまい	淡黄～茶灰～淡灰褐	淡茶褐	糸切り 被熱
658	SK-09	土師質土器	Ⅲ	148×159	90×97	37～43	ナデ	ナデ	茶褐色粒やや多い	ややあまい	淡黄褐～淡茶褐	淡黄褐～淡褐	糸切り 歪つ
659	SK-09	土師質土器	Ⅲ	156×158	93×98	37～43	ナデ	ナデ	茶褐色粒少量	ややあまい	淡黄～淡黄褐	淡黄～淡黄褐	糸切り やや歪つ
660	SK-09	土師質土器	小Ⅲ	86×89	66×68	12～15	ナデ	ナデ	茶褐色粒少量	ややあまい	淡褐～暗灰	淡黄～淡褐	糸切り 歪つ
661	SK-09	土師質土器	小Ⅲ	85×89	65×69	15	ナデ	ナデ	茶褐色粒少量	良	淡黄～淡灰	淡黄灰	糸切り
662	SK-09	土師質土器	小Ⅲ	99	78	17	ナデ	ナデ	茶褐色粒少量	ややあまい	暗灰～淡灰黄	暗灰～淡黄灰	糸切り やや歪つ
663	SK-09	土師質土器	小Ⅲ	74	57	(18)	工具ナデ	工具ナデ	茶褐色粒少量	ややあまい	淡茶灰～淡灰黄	淡灰褐	糸切り
666	SK-09内　PP攪乱	土師質土器	Ⅲ	--	106	--	工具ナデ	半ミガキ	茶褐色粒やや多い	良	淡黄褐～淡茶灰	淡黄褐	糸切り
667	SK-40	土師器	甕	約300	--	--	ハケ	ハケ	粗細砂・茶褐色粒少量	良	茶褐～褐	茶橙～淡茶褐	
668	SK-40	土師器	甕	280	--	--	ナデ→工具ナデ（ヨコ→タテ）	ナデ→工具ナデ	茶褐色・白色・黒褐色粒少量	ややあまい	淡茶褐	淡橙褐～淡黄褐	古代
669	SK-40	土師器	小型甕か	--	--	--	工具ナデ	工具ナデ	赤褐色粒やや多い、白色粒微量	良	暗灰褐～淡黄灰	淡褐	
670	SK-40	土師器	埦か	142	--	--	工具ナデ	半ミガキ	白色粒少量	良	橙褐～黄褐	淡黄褐～茶褐	古代
671	SK-09-37内攪乱	土師器	小型鉢	--	--	--	工具ナデ	丁寧工具ナデ	白色・赤褐色粒微量	ややあまい	赤茶～赤桃	茶褐～褐	やや歪つ 外面：丹塗り

表12　出土遺物観察表（12）　土製品

NO	出土地	器種	法量(mm)	調整 外面	内面	胎土	焼成	色調 外面	内面	備考
第11図 87	Ⅳ区　Ⅳa層	土器片加工円盤	長：34　幅：39 厚：5　孔：5	ミガキ	ミガキ	赤褐色粒微量	ややあまい	淡赤褐	淡黄褐	双孔 丹塗り、被熱
88	Ⅳ区南拡張区 Ⅲa層	土器片加工円盤	長：39　幅：（22） 厚：9　孔：（4）	粗ミガキ	ミガキ	黒褐色粒少量	良	淡橙褐	黒褐	丹塗り高坏片
89	Ⅳ区南拡張区 Ⅲb層	高坏転用鞴の羽口	長：54　幅：55 厚：7～22	--	--	良	ややあまい	淡緑褐～淡灰	淡褐～淡桃橙	
第14図 136	Ⅴ区　Ⅲ層	土器片加工円盤	長：47　幅：41 厚：12	工具ナデ	工具ナデ	白色粒少量	良	淡黄褐	淡黄褐～茶褐・灰褐	土師器片
第31図 279	SA-03　1層	土器片加工円盤	長：（24）　幅：（20）　厚：11	工具ナデ	工具ナデ	良	良	淡黄～暗灰	暗灰褐～淡灰褐	土師器片
第33図 303	SA-04　1層	土器片加工円盤	径：45　厚：8	工具ナデ	工具ナデ	暗茶褐色粒少量	ややあまい	淡橙黄	淡褐	土師器甕片
第38図 369	SA-06	土器片加工円盤	径：36　厚：8	ハケ	工具ナデ	微細石英やや多い	良	暗茶灰	暗茶灰～暗茶褐	土師器甕片
第69図 639	SK-37　1層	土器片加工円盤	長：（44）　幅：（19）　厚：11	工具ナデ	工具ナデ	白色粒少量 細砂微量	良	淡茶褐～茶褐	淡茶褐～褐	土師器甕片

表13　出土遺物観察表（13）　輸入陶磁器　近世国産陶器

NO	出土地	種類	器種	法量(mm) 口径	底径	器高	露胎	胎土色	釉調 外面	内面	産地	年代・備考
第8図 24	Ⅰ区　SB-01のPP	陶器	鉢	223	--	--	--	暗褐	淡オリーブ～暗オリーブ・淡黄白	淡黄白	南九州	18c～幕末
第10図 55	SK-17	陶器	Ⅲ	137	--	--	--	暗褐灰	淡黄褐・淡黄緑	淡黄褐	南九州	1820～60年代
56	SK-12	陶器	擂鉢	312	--	--	口唇～口縁内部	淡黒灰・暗茶褐	暗褐～暗緑灰	暗褐～暗緑灰	薩摩	18c
第11図 91	Ⅳ区　SA-06 Ⅲa層	白磁	碗	--	--	--	--	乳白	乳白	乳白	中国	11～12c
第74図 664	SK-09	白磁	Ⅲ	100	33	25	体外下半～外底	淡黄	褐～暗褐	褐～暗褐	中国	12c後半 焼成不良

表14　出土遺物観察表（14）　鉄・金属製品

No	出土地	器種	法量(mm) 長さ	幅	厚さ	材質	備考
第8図 25	SB-02	銭貨	24	--	1	銅	
第9図 40	SK-26	銭貨	24	--	2	鉄	
41	SK-23	煙管	(41)	13	10	銅	
第10図 57	SK-11	鉄鏃	(28)	--	3×3	鉄	
58	SK-11	鉄か	(40)	--	4×5	鉄	
第11図 90	SD-02	刀子か	(37)	9	4	鉄	

No	出土地	器種	法量(mm) 長さ	幅	厚さ	材質	備考
第14図 137	Ⅴ区　Ⅳa層	鉄鏃	(25)	5	4×5	鉄	
第29図 263	SA-03A　1層	鉄鏃か	(39)	5	3×5	鉄	
第35図 327	SA-05　2層	刀子か	(35)	11	3×11	鉄	
第36図 339	SA-05　1a2層	刀子	(69)	5×12	2×8	鉄	
第46図 455	SA-09　1層	鉄片か	(17)	(12)	(2)	鉄か	磁石に付かない

表15　出土遺物観察表（15）　小玉　管玉

No	出土地	器種	法量(mm) 長さ	幅	厚さ	色調	材質	備考
第46図 461	SA-09 1層下半	管玉	11	4	4	深緑	碧玉	

No	出土地	器種	法量(mm) 長さ	幅	厚さ	色調	材質	備考
第51図 536	SA-10　排土	ガラス小玉	6	6	6	紺	ガラス	

表16 出土遺物観察表（16） 石器

No	出土地	器種	法量（mm） 長さ	幅	厚さ	重さ	石材	備考
第8図 26	Ⅰ区 撹乱	打製石鏃	19	17	5	1.5 g	チャート	刃部再生か
27	Ⅰ区 SD－03	打製石鏃	24	16	3	0.9 g	チャート	
28	Ⅰ区 Ⅳa1層	極部磨製石鏃	30	14	5	1.8 g	安山岩	
第9図 42	Ⅱ区西側 Ⅱ層	打製石鏃	(14)	15	3	0.4 g	黒曜石	刃部再生か
43	Ⅱ区 排土	打製石鏃	26	(18)	3	1.1 g	安山岩	
44	Ⅱ区 排土	打製石鏃	(23)	18	4	1.2 g	安山岩	
45	Ⅱ区 排土	打製石鏃	16	(10)	2	0.3 g	黒曜石	腰岳産
46	Ⅱ区西半 Ⅱ層	石鎚か	32	16	5	2.3 g	チャート	
47	Ⅱ区西半 Ⅱ層	石核	59	92	24	128.2 g	硬質頁岩か	
48	Ⅱ区西側 Ⅱ層	磨製石鏃未製品	55	26	4	7.2 g	粘板岩	
49	Ⅱ区 排土	打製石斧	(112)	(63)	(17)	142.6 g	溶結凝灰岩	
第10図 59	Ⅲ区 SK－12	打製石鏃	12	(12)	2	0.2 g	黒曜石	
60	Ⅲ区 排土	打製石鏃未製品	16	(16)	3	0.5 g	チャート	
61	Ⅲ区 SK－11	打製石鏃	(16)	16	3	0.8 g	チャート	
62	Ⅲ区 <01>（撹乱）	打製石鏃	16	15	5	1.0 g	黒曜石	桑ノ木津留産か
63	Ⅲ区 撹乱	打製石鏃未製品	(16)	15	2	0.6 g	安山岩	
64	Ⅲ区 Ⅱ層	打製石斧	(45)	61	14	55.6 g	凝灰質砂岩	
第12図 92	Ⅳ区 排土	打製石鏃	17	17	3	0.7 g	玉髄	
93	Ⅳ区 Ⅳa層	打製石鏃	(18)	16	3	0.7 g	チャート	
94	Ⅳ区 撹乱	石錐	25	15	7	2.4 g	玉髄	
95	Ⅲ区 南拡張区 Ⅲ層	打製石鏃未製品	24	20	10	4.1 g	黒曜石	桑ノ木津留産か
96	Ⅳ区 排土	打製石斧	(115)	93	18	191.7 g	溶結凝灰岩	
97	Ⅳ区 Ⅳa層	石包丁	47	(82)	4	19.9 g	粘板岩	
98	Ⅳ区 Ⅳa層	擦石	77	71	40	323.6 g	砂岩	主として B面を使用
第14図 138	Ⅴ区 南東部 Ⅳa層上半	打製石斧か	(60)	(40)	14	40.2 g	安山岩質	
139	Ⅴ区 SA－01 上面	使用痕のある剥片	53	59	10	30.3 g	珪化凝灰岩	微細使用痕か
140	Ⅴ区 Ⅳa層	砥石	(37)	17	8	10.8 g	砂質頁岩	
141	Ⅴ区 SD－01	火打石	42	31	30	48.7 g	石英	自然面あり
第16図 165	Ⅵ区 SK－30の東 2mの撹乱	打製石鏃	21	13	3	0.7 g	黒曜石	腰岳産
166	Ⅵ区 SA12南2～5 mのⅣa層	打製石鏃	22	14	3	0.7 g	安山岩	
167	Ⅵ区 Ⅳa'層	打製石鏃	18	15	3	0.6 g	玉髄か	
168	Ⅵ区 Ⅳa'層	打製石鏃	(10)	16	3	0.3 g	黒曜石	腰岳産
169	Ⅵ区 Ⅲ～Ⅳa層	打製石鏃	(15)	17	4	0.8 g	安山岩	
170	Ⅵ区 SK－29の上 Ⅳa'層	打製石鏃	(29)	(13)	4	1.0 g	玉髄	
171	Ⅵ区 E6北1mの 長さ3.5mの 撹乱	打製石鏃	15	15	3	0.7 g	玉髄	
172	Ⅵ区 SA－11外 Ⅳa1層	石鏃未製品	15	12	4	0.5 g	安山岩	
173	Ⅵ区 E6北1mの長さ 3.5mの撹乱	打製石鏃未製品	26	17	7	0.2 g	玉髄	
174	Ⅵ区 SA－11北側 Ⅳa1'層	石錐	36	18	3～8	5.2 g	チャート	刃部磨耗
175	Ⅵ区 南縁 Ⅳa'層	2次加工のある剥片	30	44	6	6.5 g	溶結凝灰岩（砂質）	
176	Ⅵ区 東SD下 撹乱	敲磨石	90	102	53	722.1 g	溶結凝灰岩（砂岩質）	破損後も若干使用
177	Ⅵ区 Ⅳa'層	敲石か	(58)	65	27	90.1 g	珪化凝灰岩	欠損後に廃棄か
178	Ⅵ区 SA－12の西 側 Ⅳa1層	2次加工のある剥片	47	41	8	16.9 g	砂質頁岩	
189	Ⅵ区北西端 Ⅱ層	磨製石斧	(118)	44	(27)	222.6 g	蛇紋岩	
180	Ⅵ区 SK－13上 Ⅳa層	打製石斧	(112)	(87)	28	326 g	砂岩	
第21図 182	Ⅵ区 SK－27	刃器	(68)	(106)	(20)	127.1 g	珪化凝灰岩	
194	Ⅵ区 SK－10 1a層	打製石鏃未製品	19	18	3	1.0 g	チャート	
195	Ⅵ区 SK－10	敲磨石	(62)	(89)	(55)	322 g	溶結凝灰岩	
第22図 206	Ⅵ区 SK－34南半 上半層	石錐	(34)	20	4～9	5.4 g	チャート	
207	Ⅵ区 SK－34	台石	429	290	92	14.6kg	溶結凝灰岩	使用痕は不明瞭
第24図 217	SA－01 1c層	勾玉	(14)	(7)	3	0.3 g	クロム白雲母か	
218	SA－01 上面	石包丁未製品	48	86	7	35.7 g	硬質粘板岩	
219	SA－01 1層	台石	281	(210)	48	4.6kg	溶結凝灰岩	側面に線状痕
220	SA－01 1層	鉄床石	246	243	66	6.1kg	溶結凝灰岩	
第30図 264	SA－03A 1層	砥石	(98)	39	20	146.6g	砂岩	折損面も若干使用
265	SA－03A 1層	台石か	208	153	27	1.3kg	溶結凝灰岩	
266	SA－03A 1層	鉄床石	(455)	288	121	29.3kg	溶結凝灰岩	鍛造剥片付着
267	SA－03A 1層	鉄床石	(298)	(216)	62	4.7kg	溶結凝灰岩	黒色付着物多量

No	出土地	器種	法量（mm） 長さ	幅	厚さ	重さ	石材	備考
第31図 280	SA－03A 1層	打製石鏃	(21)	(13)	3	0.7g	黒曜石	腰岳産
第33図 304	SA－04 1層	台石	112	88	49	812.1g	溶結凝灰岩	全面被熱
305	SA－04 1層	台石か	458	222	116	18.5kg	溶結凝灰岩	使用痕は顕著ではない
第35図 324	SA－05A 1層	台石か	94	(92)	57	608.8g	溶結凝灰岩	
第36図 340	SA－05 1層	打製石鏃未製品	22	(17)	7	1.8g	チャート	失敗品
341	SA－05 1a層	打製石鏃未製品	74	58	18	69.3g	溶結安山岩	失敗品か
351	SA－05B 1層	石匙	23	46	4	3.6g	頁岩か	
352	SA－05B 1層	石包丁	46	(66)	5	22.7g	粘板岩	a面右に穿孔時の小穴2がある
第38図 370	SA－06 1層	打製石鏃	(16)	16	3	0.6g	安山岩	
371	SA－06 1層	打製石鏃	18	(11)	3	0.4g	黒曜石	腰岳産
第40図 380	SA－07 2層	磨製石鏃未製品	20	12	3	0.7g	粘板岩	
381	SA－07 2層	打製石鏃	(12)	19	3	0.6g	黒曜石	
第42図 391	SA－08 1層	打製石鏃	19	15	3	0.7g	チャート	
392	SA－08 1層	打製石鏃	(42)	63	12	38.3g	黒色頁岩か	淡黄白色に風化
第46図 456	SA－09 1層	打製石鏃	(14)	(15)	3	0.5g	黒曜石	腰岳産
457	SA－09 1層	打製石鏃	20	15	5	1.1g	チャート	
458	SA－09 1層	打製石鏃未製品	21	19	8	2.7g	安山岩	
459	SA－09 1層	打製石鏃未製品	20	16	5	1.2g	玉髄	
460	SA－09 1層下半	打製石鏃未製品	26	22	11	6.3g	頁岩	
462	SA－09 1b層	敲磨石	88	65	49	416.1g	不明	
463	SA－09 1層 下半	擦石	48	45	44	128.2g	凝灰質砂岩（火山弾か）	
464	SA－09	鉄床石か	(264)	150	(103)	5.7kg	溶結凝灰岩	
465	SA－09 1b層	打製石斧	(102)	59	18	131.5g	溶結凝灰岩	欠損後も使用か
466	SA－09 1層	打製石斧か	96	113	14	140.7g	溶結凝灰岩	
第47図 467	SA－09	台石	216	213	43	4.0kg	溶結凝灰岩	両面若干擦り
468	SA－09	被熱・弾けのある石	195	156	118	4.5kg	溶結凝灰岩	
481	SA－09 2層	打製石鏃	18	(14)	3	0.6g	安山岩	
482	SA－09 2層	敲石か	70	44	36	152.5g	石英（不透明）	
第50図 523	SA－10 1層	刃器	(14)	34	(7)	2.7g	頁岩か	
524	SA－10 1層	打製石鏃	(23)	(19)	3	1.0g	安山岩	
525	SA－10 1層	打製石鏃未製品	24	22	5	1.8g	安山岩	
526	SA－10 1層	打製石鏃	20	13	3	0.5g	チャート	
527	SA－10 1b層 床直	砥石	225	91	41	1503g	砂岩	光沢あり
537	SA－10 2層	石鏃転用錐か	21	16	7	2.1g	黒曜石	白浜産か
第53図 547	SA－11 1a2層	打製石鏃	28	17	6	2.3g	玉髄	
548	SA－11 1a2層	擦石	(60)	(107)	39	244g	溶結凝灰岩	被熱
549	SA－11 1a2層	擦石か・投弾	49	33	29	44.1g	溶結凝灰岩か	
第54図 571	SA－11 1b層	打製石鏃	14	(11)	3	0.4g	黒曜石	桑ノ木津留産か 刃部再生
572	SA－11 1b層	磨製石鏃 未製品か	64	34	5	11.2g	粘板岩	淡灰色に風化
573	SA－11 1b層	砥石	127	(64)	(37)	380.4g	砂岩	光沢あり
574	SA－11 1b層	台石	350	294	100	14.6kg	溶結凝灰岩	赤色顔料付着
575	SA－11 1b層	石核（敲石か）	83	62	38	266.5g	珪化凝灰岩か	
578	SA－11 2層	スクレイパー	52	41	21	41.9g	珪化凝灰岩	
第56図 597	SA－12 1b層	敲石	152	77	46	597.6g	珪化凝灰岩	A・B面自然面
598	SA－12 1b層	鉄床石か	(126)	134	43	1386g	溶結凝灰岩	右側面被熱か
599	SA－12 1b層	擦石か	120	122	86	360.5g	軽石	
600	SA－12 1b層	打製石鏃	18	(15)	3	0.6g	チャート	
第58図 606	SA－13 1層	磨製石鏃	37	26	2	2.8g	粘板岩	両面穿孔
607	SA－13 1層	敲磨石	171	89	62	1501g	砂岩	
第69図 632	SK－29 下層	石錐	37	15	5	2.4 g	チャート	
635	SK－35	石匙	35	71	12	26.3 g	凝灰岩か	
640	SK－37	敲磨石	(67)	(89)	(44)	410.3 g	凝灰質砂岩	欠損後も使用
第70図 641	SK－37	鉄床石	367	255	126	19.3 g	溶結凝灰岩	被熱 鍛造剥片付着
649	SK－44	打製石斧	(32)	45	9	14.7 g	溶結凝灰岩	
655	SK－36 上層	打製石斧	(68)	(49)	(20)	86.2 g	溶結凝灰岩	
第71図 656	SK－36 上層	台石（砥石的）	46	41	9	11.2kg	溶結凝灰岩	かなり平滑
第74図 665	SK－09 1層	石匙未製品	27	11	2～5	1.1 g	黒曜石	白浜産か 基部のみ2次加工

写　真　図　版

調査地　遠景（南西から，調査前）

図版 2

調査区　近景（南西から）

Ⅰ～Ⅴ区　完掘全景（左が北）